

第 19回 県民意識調査報告書

調査テーマ

「ひょうごの社会基盤整備を考える」

平成25年度

兵 庫 県

目次

I	調査の概要	
1	調査目的	1
2	調査設計	1
3	回収結果	1
4	標本抽出および集計方法	2
5	回答者のプロフィール	3
6	標本誤差	4
II	調査の結果	
1	「道路」に関することについて	5
問1	一般道路の満足度（歩行者・自転車移動の視点）	5
問2	一般道路に対する不満（歩行者・自転車移動の視点）	8
問3	一般道路の満足度（車・バイク移動の視点）	11
問4	一般道路に対する不満（車・バイク移動の視点）	14
問5	自動車専用道路の満足度	17
問6	自動車専用道路に対する不満	20
2	「海や川など水辺の環境の保全」に関することについて	23
問7	水辺の環境の満足度	23
問8	水辺の環境に対する不満	26
3	「自然災害に対する意識」に関することについて	29
問9	不安に感じる自然災害	29
問10	自然災害への備えに対する不安	32
問11	水害・土砂災害からの避難に必要な情報	35
問12	CGハザードマップの認知度	38
4	「今後の社会基盤整備の方向性」等に関することについて	41
問13	社会基盤の老朽化の認識	41
問14	道路・河川等の美化活動への参加状況	44
問15	社会基盤整備で重視すべき視点	47
問16	整備が必要な社会基盤施設	50
5	毎年調査項目	53
問18	今の生活全般での満足度	53
問19	今の生活の個別側面での満足度	57
問20	去年と比べた生活の向上感	97
問21	大地震発生の可能性	101
問22	地域活動への参加状況	105
問23	県政への関心	109
問24	県政への評価	112
問25	県民局の認知度	145

Ⅲ 調査票

第 19 回 県民意識調査「ひょうごの社会基盤整備を考える」調査票…………… 148

調査結果を読む際の注意

結果数値（％）は0.1%未満を四捨五入しているため、内訳の合計が計に一致しないことがある。

グラフ中のカテゴリーの順番が、調査票と異なることがある。

グラフ・表中での選択肢表記は、語句を短縮・簡略化していることがある。

I 調査の概要

1 調査目的

本調査は県民の価値観や行動志向、行政への評価・要望など、県民生活の基本的な意識の経年変化を大きな潮流として捉えることにより、政策形成、施策運営の基礎資料を得ることを目的としている。今回は、年次テーマを「ひょうごの社会基盤整備を考える」とし、第2次行革プランの総点検を踏まえ、「社会基盤整備プログラム」を改定することから、県民の社会基盤に対する満足度や評価、自然災害に対する地域の脆弱性の意識、今後の社会基盤整備の方向性等について調査する。

2 調査設計

- (1) 調査地域 兵庫県全域
- (2) 調査対象 県内に居住する満20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 5,000人
- (4) 調査方法 郵送法（ハガキによる督促1回）
- (5) 調査時期 平成25年8月27日（火）～9月17日（火）
- (6) 県民意識調査委員会
設問作成にあたり、県民意識調査委員会を設置して、下記の学識経験者から指導・助言を得た。

沖村 孝 （神戸大学名誉教授）

立木 茂雄 （同志社大学教授）

鳥越 皓之 （早稲田大学教授）

吉田 三千代 （(株)サンケイリビング新聞社 企画開発部長）

[五十音順]

3 回収結果

回収数 2,978件(回収率59.6%)

地域	標本数	回収数	回収率	無効票	有効回答
神戸	500	291	58.2%	2	289
阪神南	500	267	53.4%	0	267
阪神北	500	292	58.4%	0	292
東播磨	500	293	58.6%	1	292
北播磨	500	291	58.2%	0	291
中播磨	500	292	58.4%	0	292
西播磨	500	323	64.6%	1	322
但馬	500	321	64.2%	1	320
丹波	500	318	63.6%	1	317
淡路	500	290	58.0%	2	288
全県	5000	2,978	59.6%	8	2,970

※無効票は属性不明等

4 標本抽出および集計方法

- (1) 母集団 住民基本台帳（H25.3.31）に記載された県民数（外国人県民を含む。）を母集団とした。
- (2) 標本配分 地域ごとに500の標本数を都市規模別母集団構成比に応じて配分（合計5,000人）した。
- (3) 抽出方法 層化無作為抽出法
 - ・住民基本台帳（H25.3.31）に記載された県民数を母集団数とし、10の地域毎に500の標本数を市町別・男女別・年齢10歳階級別の母集団構成比に応じて配分した。
 - ・各地点における対象者の抽出は、住民基本台帳から等間隔抽出法で抽出した。
- (4) 集計方法 地域ごとの回収数について、全県内の母集団構成比を復元するよう重み付け集計をした。



地域区分

県民局	該当市町
神戸	神戸市
阪神南	尼崎市、西宮市、芦屋市
阪神北	伊丹市、宝塚市、川西市、三田市、猪名川町
東播磨	明石市、加古川市、高砂市、稲美町、播磨町
北播磨	西脇市、三木市、小野市、加西市、加東市、多可町
中播磨	姫路市、神河町、市川町、福崎町
西播磨	相生市、たつの市、赤穂市、宍粟市、太子町、上郡町、佐用町
但馬	豊岡市、養父市、朝来市、香美町、新温泉町
丹波	篠山市、丹波市
淡路	洲本市、南あわじ市、淡路市

5 回答者のプロフィール

○ 性別 (%)

	男性	女性	不明
全県	43.3	54.5	2.1
神戸	40.5	57.4	2.1
阪神南	43.8	53.6	2.6
阪神北	45.9	52.7	1.4
東播磨	45.9	52.1	2.1
北播磨	43.0	55.7	1.4
中播磨	43.5	54.5	2.1
西播磨	44.7	53.1	2.2
但馬	45.6	50.3	4.1
丹波	41.0	54.6	4.4
淡路	41.7	56.9	1.4

○ 年齢 (%)

	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80歳以上	不明
全県	7.8	12.6	14.9	17.0	21.4	15.9	8.1	2.2
神戸	8.7	13.1	16.6	16.3	20.1	15.6	7.3	2.4
阪神南	6.4	15.4	13.5	17.6	19.9	17.6	7.1	2.6
阪神北	8.2	11.6	17.1	17.1	21.2	13.7	9.6	1.4
東播磨	8.6	12.7	15.4	17.8	20.9	16.1	6.5	2.1
北播磨	7.9	12.0	11.3	17.5	24.1	17.9	8.2	1.0
中播磨	7.9	12.0	14.7	17.5	24.7	13.7	7.9	1.7
西播磨	6.8	9.0	14.3	16.5	23.9	17.4	9.6	2.5
但馬	5.0	10.3	9.1	15.0	24.4	19.4	12.5	4.4
丹波	7.9	7.3	13.2	18.0	21.1	15.5	12.6	4.4
淡路	8.7	10.1	10.1	17.0	23.3	16.3	13.2	1.4

○ 職業 (%)

	職業別								不明
	自営業	正規社員 (職員)	会社等の 役員	契約・ 派遣社員	パート・ アルバイト	主婦 (主夫)	学生	その他 無職	
全県	10.0	25.1	2.8	5.3	12.9	17.0	1.6	22.3	3.0
神戸	9.0	25.6	3.1	7.3	12.8	17.3	2.4	19.4	3.1
阪神南	9.0	22.8	3.7	4.9	11.6	17.6	1.5	24.7	4.1
阪神北	12.0	26.4	2.7	4.5	12.0	18.8	1.7	20.5	1.4
東播磨	5.8	27.7	1.7	4.8	14.0	18.8	0.7	23.3	3.1
北播磨	12.4	26.5	1.7	3.4	16.2	13.4	0.7	23.0	2.7
中播磨	8.6	26.0	2.4	4.8	14.7	17.8	1.0	22.6	2.1
西播磨	11.8	22.7	2.8	4.3	14.6	12.4	1.9	27.0	2.5
但馬	16.6	21.6	3.8	5.3	8.4	12.5	0.3	26.9	4.7
丹波	14.2	25.6	2.5	3.5	12.6	13.2	1.6	21.1	5.7
淡路	26.4	18.4	0.7	4.2	11.5	11.5	1.0	23.6	2.8

○ 世帯構成 (%)

	1人世帯	夫婦だけ (1世代)	親と子ども (2世代)	親と子と孫 (3世代)	その他	不明
全県	7.9	25.6	52.4	10.6	1.1	2.4
神戸	8.7	26.0	54.3	7.6	1.0	2.4
阪神南	13.5	24.3	52.1	6.7	0.4	3.0
阪神北	8.6	29.1	51.7	8.9	0.3	1.4
東播磨	4.8	24.0	56.5	10.6	2.1	2.1
北播磨	3.1	22.7	48.5	21.3	1.0	3.4
中播磨	3.8	26.4	55.8	11.0	1.7	1.4
西播磨	5.9	26.7	46.9	16.1	1.9	2.5
但馬	4.7	24.4	42.2	23.8	0.9	4.1
丹波	7.3	20.2	38.8	26.5	2.5	4.7
淡路	7.6	26.0	44.8	17.4	3.1	1.0

6 標本誤差

世論調査で無作為抽出法をとった場合は、数学的に標本誤差を計算することが可能であり、誤差の幅はサンプル数と得られた結果の比率などによって異なる。

今回の調査のサンプル数についての標本誤差の幅は、以下のとおりである。

誤差の算出 (層化抽出、信頼度95%の場合)

$$\text{標本誤差} = \pm 2 \sqrt{\frac{N-n}{N-1} \times \frac{P(100-P)}{n}}$$

N : 母集団 n : 回答者 P : 回答比率 (%)

〈例 : サンプル数 2,970 の場合〉

回答比率	10%	20%	30%	40%	50%
(%)	(または90%)	(または80%)	(または70%)	(または60%)	
誤差 (%)	±1.10	±1.47	±1.68	±1.80	±1.83

II 調査の結果

1 『道路』に関することについて

問1 一般道路の満足度（歩行者・自転車移動の視点）

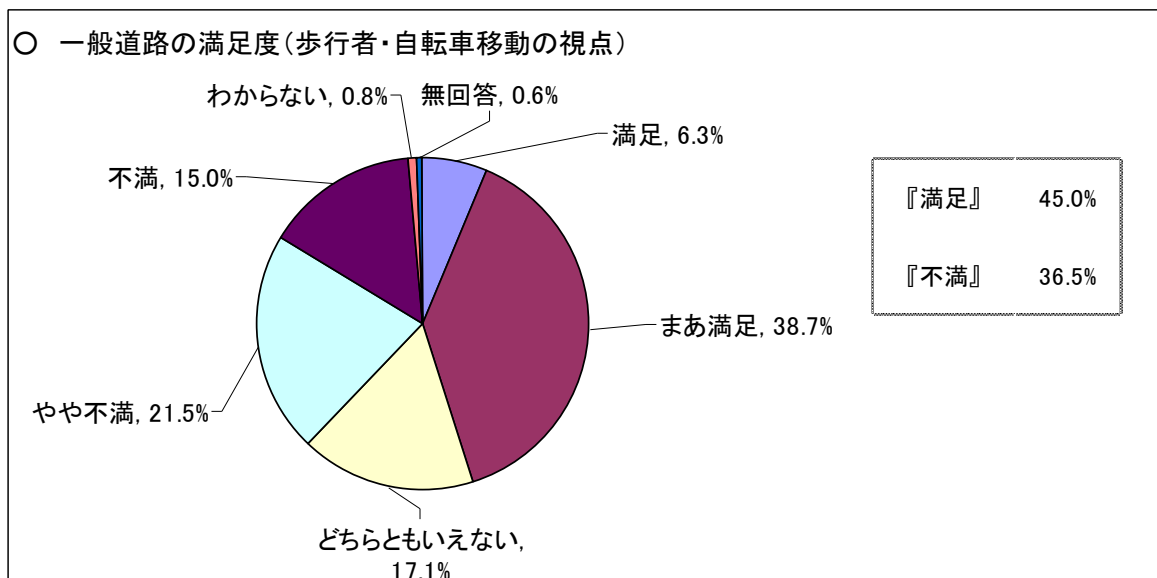
問1

あなたがお住まいの地域で、通勤・通学、買い物など普段の生活に利用する「道路（一般道路）」の整備や維持管理の状態について、歩いたり自転車で移動するときに、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | 6 わからない |

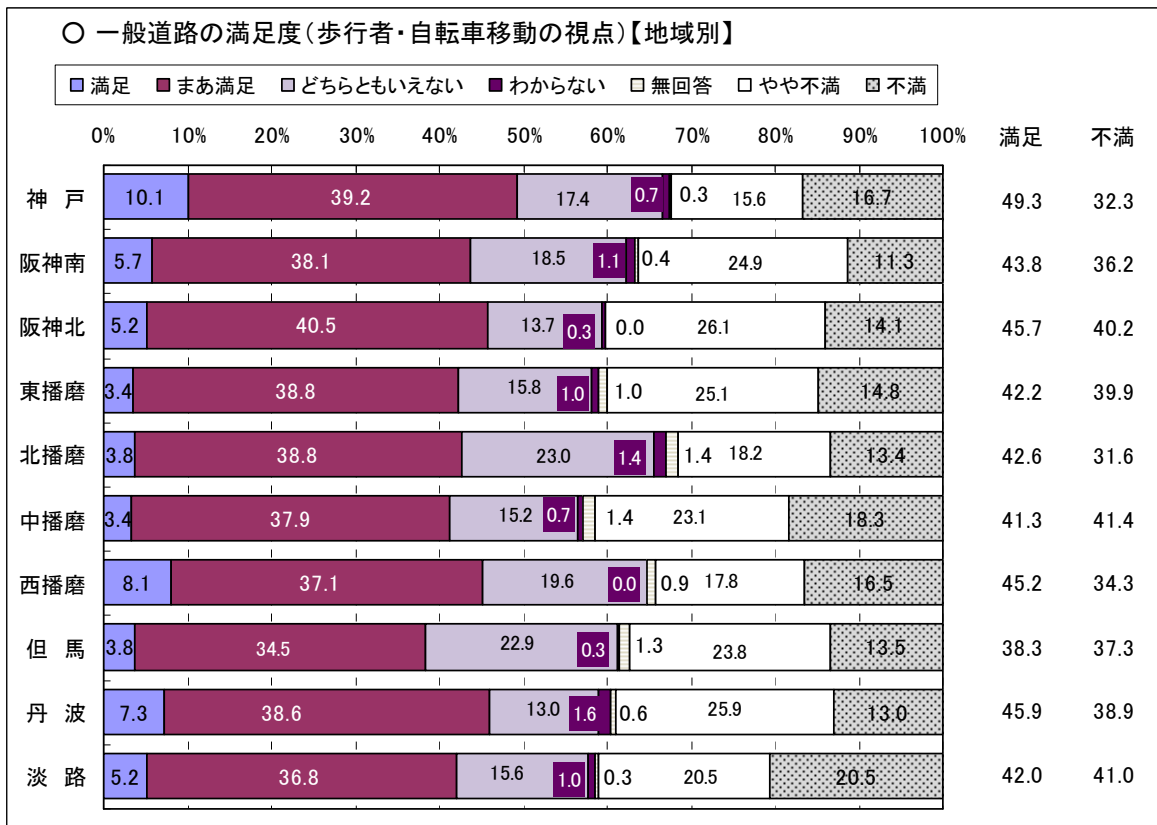
【全 県】

- 「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が4割半ばで、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の3割半ばを8.5ポイント上回っている。



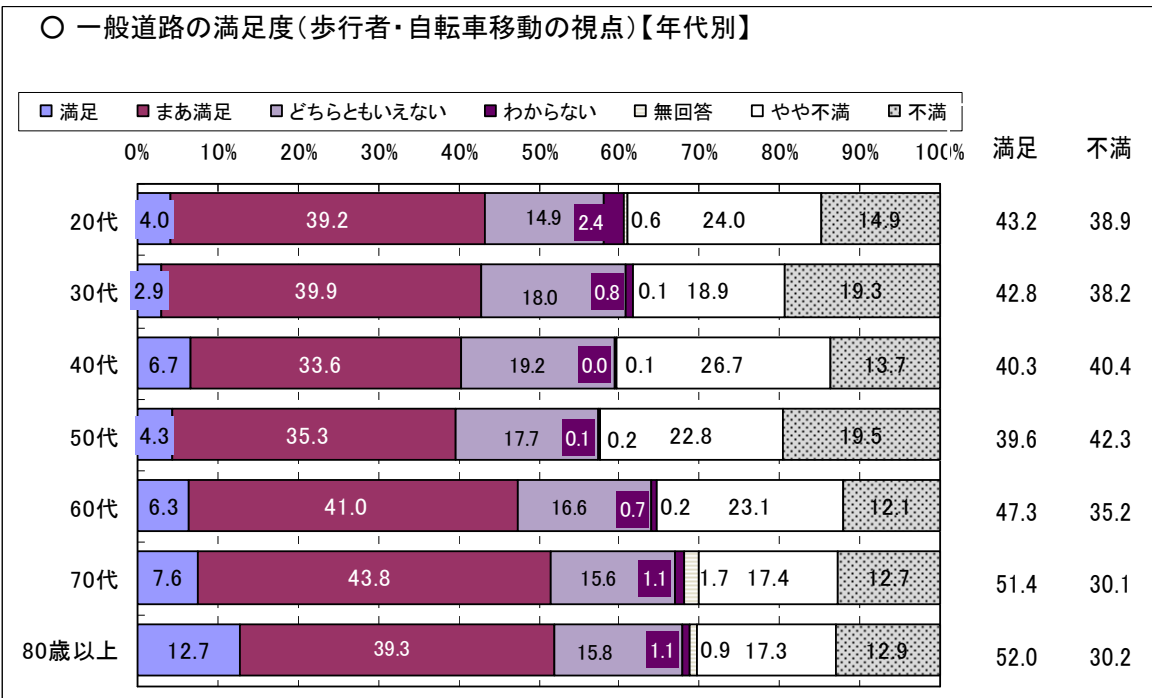
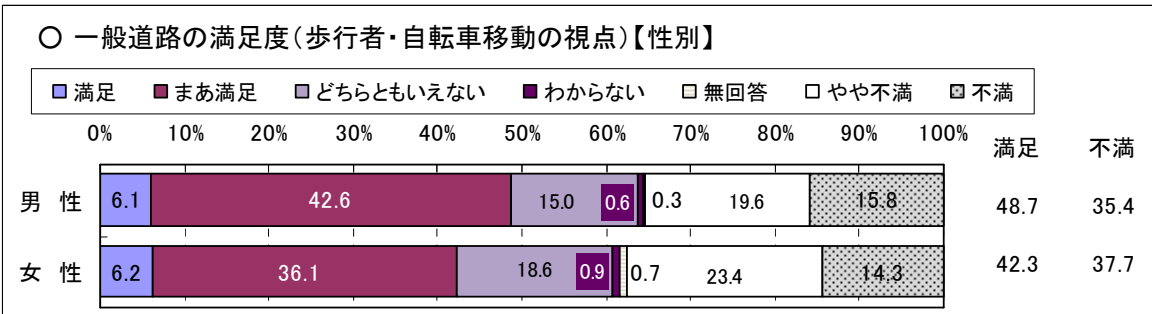
【地域別】

- 神戸が最も高く、丹波、阪神北、西播磨で全県の満足度（45.0%）を上回っている。



【性別、年代別】

- 性別で見ると、男女とも『満足』が『不満』を上回っており、男性の方が『満足』と思っている人の割合が高い。
- 高齢の人の方が満足度が高くなっており、60代、70代、80代は全県の満足度（45.0%）を上回っている。



【地域別】

- 都市部では、「歩行者と自転車が混在していて危ない」の割合が高い。また、郡部では「照明灯が少なく夜間が暗い」の割合が高くなっている。

○ 一般道路に対する不満(歩行者・自転車移動の視点)【地域別】

												最大値	最小値		(%)
	歩道がなく危ない	歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩ぎにくい	歩行者と自転車が混在して危ない	高齢者や車いす等の利用に配慮されていない	側溝にふたがなく危ない	ガードレールがなく車にぶつかりそう	照明灯が少なく夜間が暗い	電柱や電線がじゃまで景観が悪い	並木や植え込みの雑草やゴミが気になる	車の騒音や排気ガスが気になる	緑が少なくうるおいがない	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県	31.5	29.9	47.5	28.7	12.7	13.0	30.2	8.0	18.1	9.2	4.8	4.8	8.5	0.8	0.3
地域別															
神 戸	18.1	31.9	48.3	27.8	12.2	13.2	25.3	8.3	22.6	11.5	5.9	6.3	10.8	0.7	0.0
阪神南	26.8	31.3	59.6	32.1	10.2	9.1	22.3	8.7	12.5	12.8	6.0	6.0	9.1	0.8	0.0
阪神北	36.1	30.2	48.5	32.6	11.3	13.1	27.8	10.0	14.1	8.9	4.1	4.5	7.2	0.7	0.3
東播磨	40.5	30.2	50.9	27.1	12.0	14.4	32.3	8.2	12.7	8.6	6.5	3.1	7.9	0.3	0.7
北播磨	50.5	19.6	32.3	27.1	17.9	18.2	37.8	3.8	22.3	5.5	2.7	4.1	6.2	1.7	1.0
中播磨	36.9	35.9	45.5	23.1	14.5	15.5	36.9	7.2	21.0	4.1	3.1	3.1	7.6	0.7	0.0
西播磨	34.6	25.2	35.8	28.3	13.7	13.1	45.5	6.2	23.7	6.5	1.6	3.1	8.1	0.9	0.9
但 馬	39.8	20.4	29.2	31.3	17.9	13.2	40.4	6.6	17.2	4.7	2.2	5.3	5.6	0.9	1.3
丹 波	50.0	18.0	28.5	30.7	17.4	13.0	43.7	6.3	23.1	6.3	1.6	2.8	4.7	1.3	0.9
淡 路	51.7	19.1	30.2	23.3	17.0	12.2	48.6	5.6	23.6	4.9	2.4	2.4	4.5	1.0	0.7
地域間の差	33.7	17.8	31.1	9.5	7.7	9.2	26.3	6.2	11.2	8.7	5.0	3.8	6.3	1.4	1.3

【性別、年代別】

- 性別による大きな違いはみられないが、年代別では、高齢の人ほど「高齢者や車いす等の利用に配慮されていない」の割合が高くなっている。

○ 一般道路に対する不満(歩行者・自転車移動の視点)【性別】

	歩道がなく危ない	歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい	歩行者と自転車が混在していて危ない	高齢者や車いす等の利用に配慮されていない	側溝にふたがなく危ない	ガードレールがなく車にぶつかりそう	照明灯が少なく夜間が暗い	電柱や電線がじゃまで景観が悪い	並木や植え込みの雑草やゴミが気になる	車の騒音や排気ガスが気になる	緑が少なくうるおいがない	不満はない	その他	わからない	無回答	
全 県	31.5	29.9	47.5	28.7	12.7	13.0	30.2	8.0	18.1	9.2	4.8	4.8	8.5	0.8	0.3	
性別																
男 性	33.8	28.4	47.0	26.9	14.9	14.9	28.0	9.7	17.6	8.8	5.8	4.5	8.6	0.8	0.3	
女 性	29.5	31.2	48.4	29.5	11.0	11.8	32.4	6.7	18.6	9.9	4.2	4.5	8.5	0.7	0.3	
性別間の差	4.3	2.8	1.3	2.6	3.9	3.1	4.4	3.0	1.0	1.1	1.5	0.1	0.2	0.1	0.1	

○ 一般道路に対する不満(歩行者・自転車移動の視点)【年代別】

	歩道がなく危ない	歩道が傾いていたりデコボコして歩いて歩きにくい	歩行者と自転車が混在していて危ない	高齢者や車いす等の利用に配慮されていない	側溝にふたがなく危ない	ガードレールがなく車にぶつかりそう	照明灯が少なく夜間が暗い	電柱や電線がじゃまで景観が悪い	並木や植え込みの雑草やゴミが気になる	車の騒音や排気ガスが気になる	緑が少なくうるおいがない	不満はない	その他	わからない	無回答	
全 県	31.5	29.9	47.5	28.7	12.7	13.0	30.2	8.0	18.1	9.2	4.8	4.8	8.5	0.8	0.3	
年代別																
20代	29.9	32.0	45.7	17.7	9.2	15.4	40.4	7.3	19.2	14.3	6.6	1.6	7.4	1.3	0.6	
30代	41.3	35.7	42.8	22.6	13.9	17.6	29.2	3.8	15.0	7.4	6.1	2.6	17.7	0.5	0.0	
40代	39.1	30.6	52.0	18.9	13.0	15.6	32.2	5.9	14.3	7.0	3.8	3.8	12.3	0.0	0.3	
50代	32.3	32.5	49.2	32.1	14.7	12.7	34.9	12.6	18.1	8.0	4.0	2.2	5.9	0.4	0.0	
60代	27.8	26.2	51.2	35.4	11.8	10.9	32.3	9.9	20.2	8.4	4.9	4.2	6.0	1.3	0.4	
70代	25.2	29.8	47.1	32.4	11.6	11.4	23.4	8.8	21.3	14.1	5.7	7.1	5.8	0.4	0.4	
80歳以上	23.9	23.7	39.4	30.5	14.4	10.1	18.4	2.9	17.8	8.5	3.8	12.0	6.6	2.2	0.6	
年代間の差	17.5	11.9	12.6	17.7	5.5	7.5	22.0	9.7	7.0	7.3	2.8	10.3	11.8	2.2	0.6	

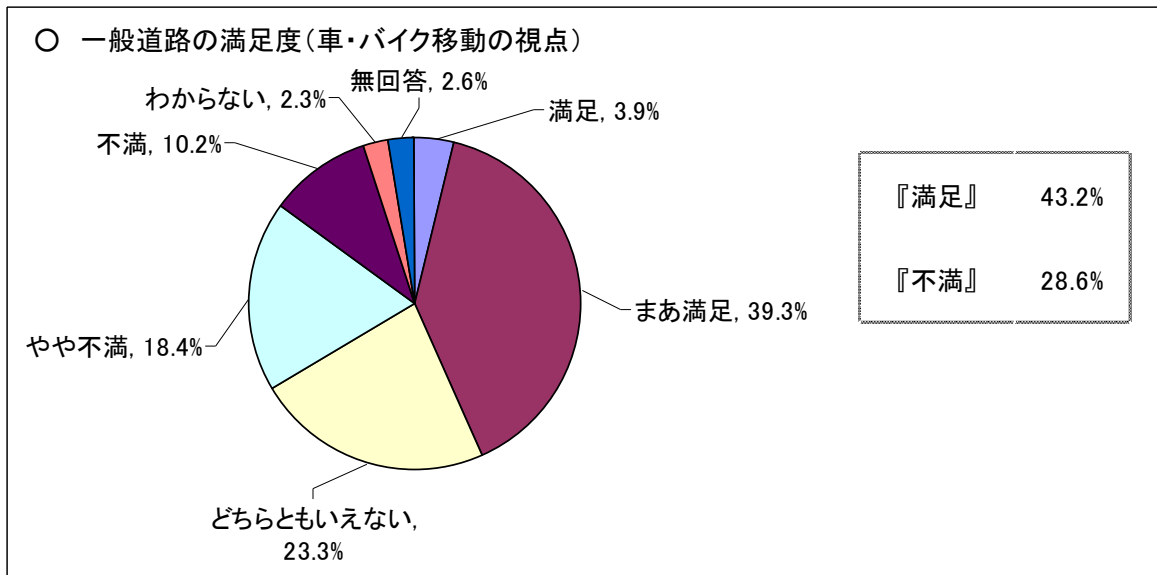
問3 一般道路の満足度（車・バイク移動の視点）

問3
 あなたは「道路（一般道路）」の整備や維持管理の状態について、自動車やバイク、バスで移動するとき、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない
 4 やや不満 5 不満 6 わからない

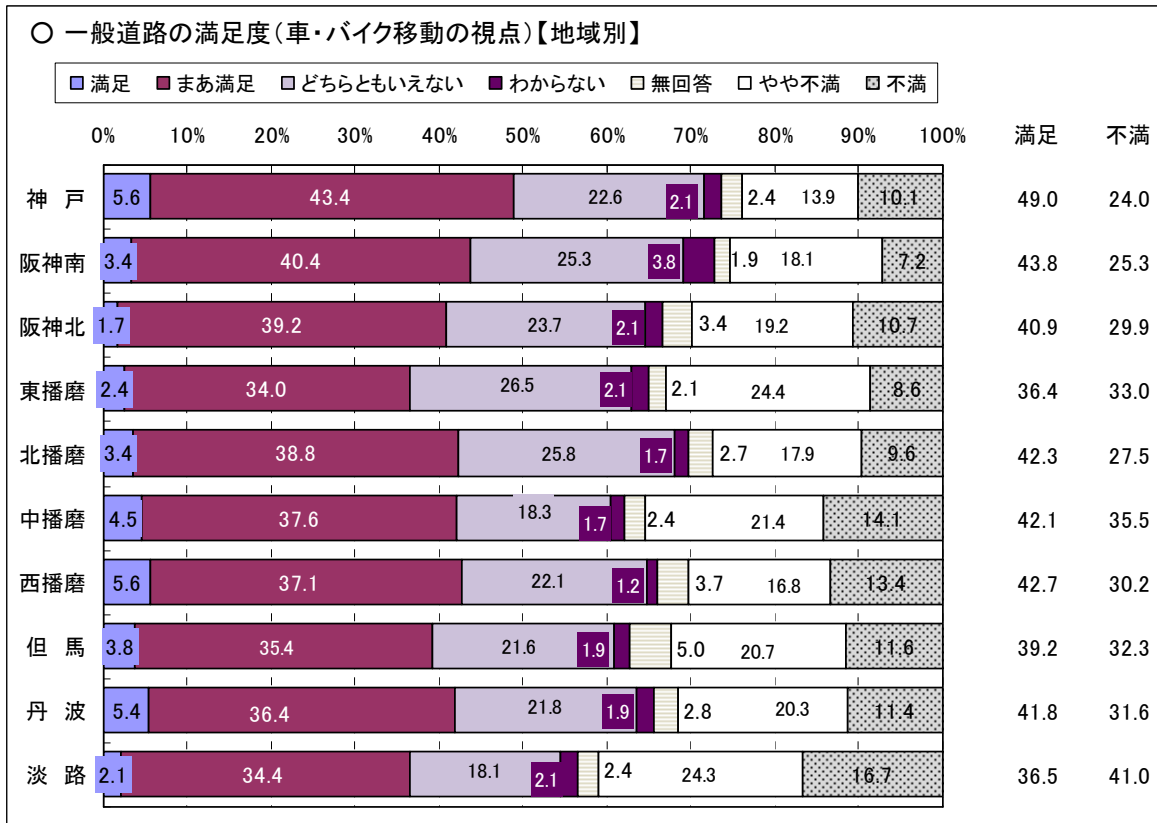
【全 県】

- 「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が4割強で、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の3割弱を14.6ポイント上回っている。



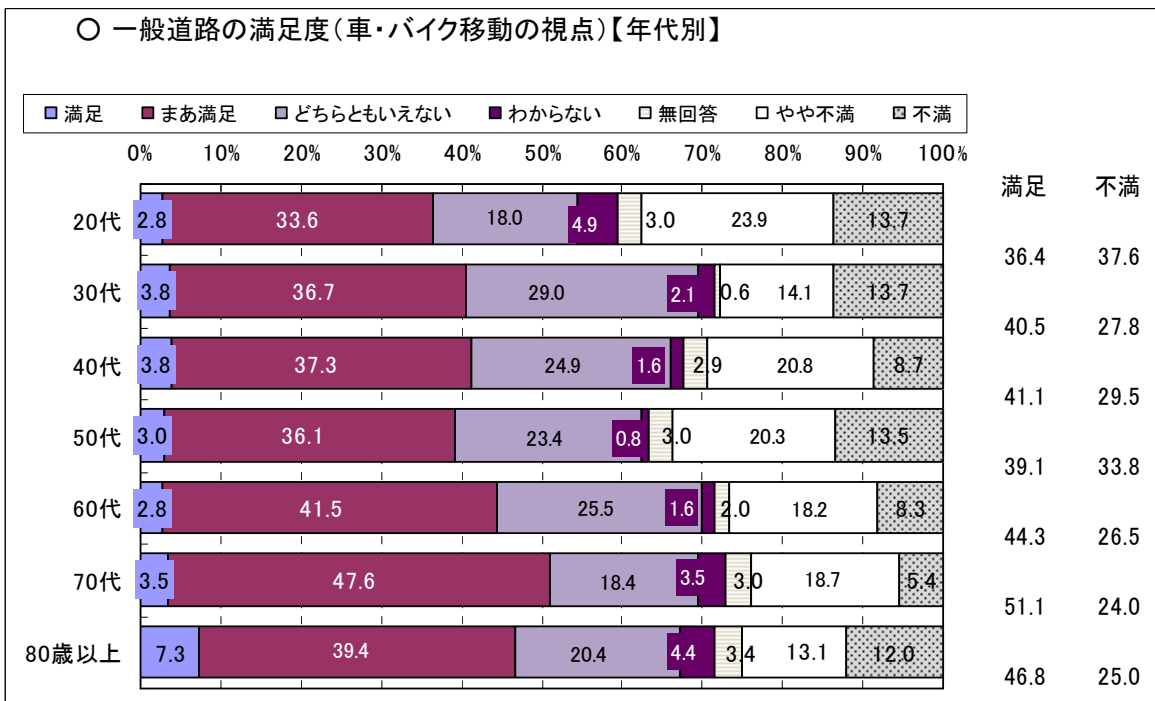
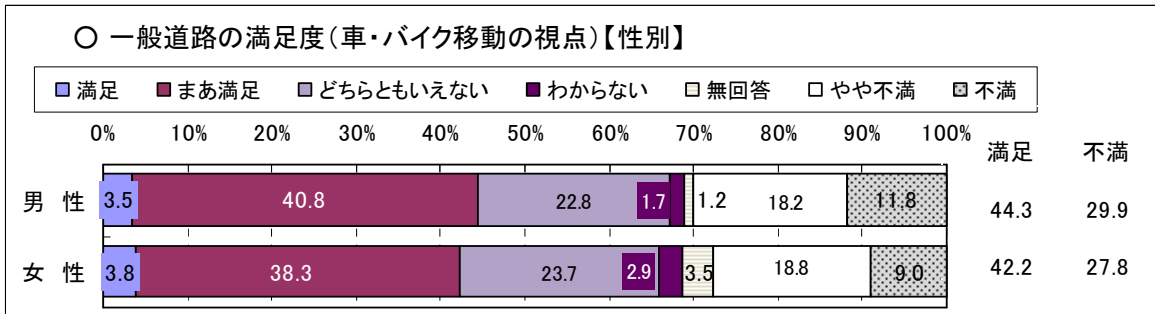
【地域別】

- 神戸が最も高く、阪神南とともに、全県の満足度（43.2%）を上回っている。



【性別、年代別】

- 性別で見ると、男性は全県の満足度（43.2%）を上回っているが、女性は下回っている。
- 高齢の方が満足度が高くなっており、60代、70代、80代は全県の満足度（43.2%）を上回っている。



問4 一般道路に対する不満（車・バイク移動の視点）

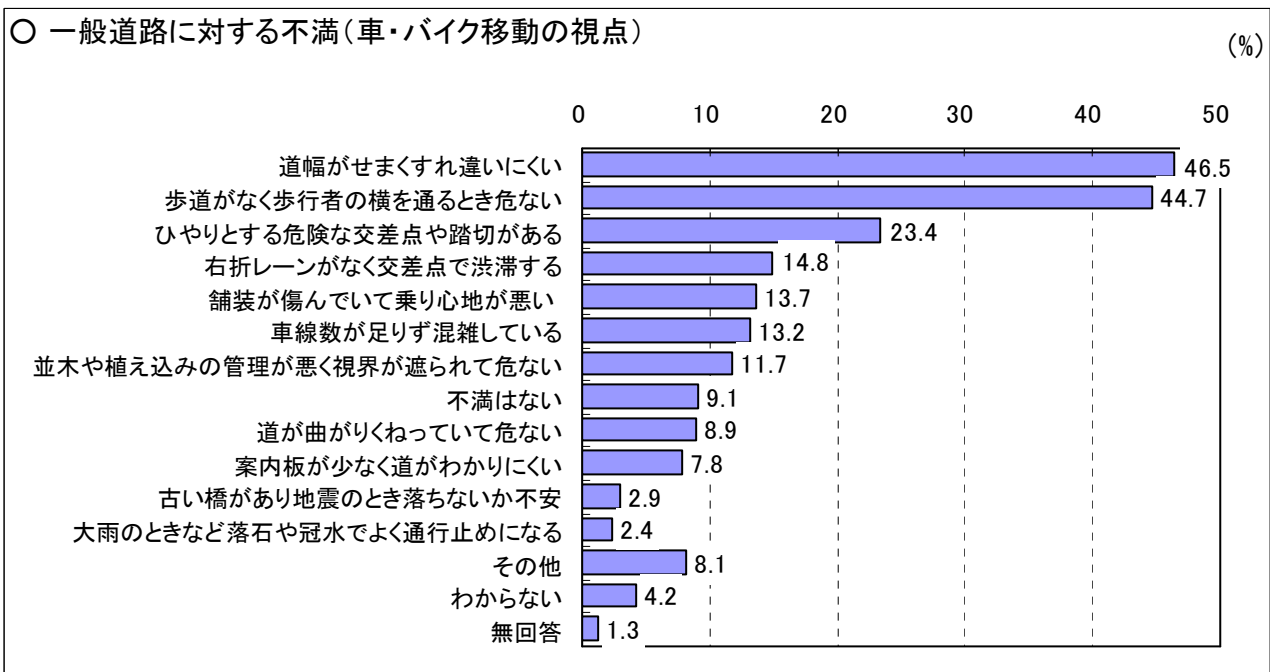
問4

あなたは、「道路（一般道路）」について、自動車やバイク、バスで移動するとき、どのようなことを不満に思いますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない
- 2 道幅がせまくすれ違いにくい
- 3 車線数が足りず混雑している
- 4 道が曲がりくねって危ない
- 5 右折レーンがなく交差点で渋滞する
- 6 ひやりとする危険な交差点や踏切がある
- 7 大雨のときなど落石や冠水でよく通行止めになる
- 8 古い橋があり地震のとき落ちないか不安
- 9 舗装が傷んでいて乗り心地が悪い
- 10 並木や植え込みの管理が悪く視界が遮られて危ない
- 11 案内板が少なく道がわかりにくい
- 12 不満はない
- 13 その他（ ）
- 14 わからない

【全 県】

● 「道幅がせまくすれ違いにくい」が4割半ばと最も高くなっている。また、「歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない」も上位にあり、車・バイク移動の視点でも、歩行者の安全確保に対する不満がうかがえる。次は「ひやりとする危険な交差点や踏切がある」が2割強で、以下「右折レーンがなく交差点で渋滞する」と「舗装が傷んでいて乗り心地が悪い」が続いている。



【地域別】

- 淡路地域で「歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない」と「道幅がせまくすれ違いにくい」の割合が特に高くなっている。「車線数が足りず混雑している」は都市部で割合が高く、「舗装が痛んでいて乗り心地が悪い」は郡部で割合が高くなっている。

○ 一般道路に対する不満(車・バイク移動の視点)【地域別】

	最大値											最小値		(%)	
	歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない	道幅がせまくすれ違いにくい	車線数が足りず混雑している	道が曲がりくねっていて危ない	右折レーンがなく交差点で渋滞する	ひやりとする危険な交差点や踏切がある	大雨のときなど落石や冠水でよく通行止めになる	古い橋があり地震のとき落ちないか不安	舗装が傷んでいて乗り心地が悪い	並木や植え込みの管理が悪く視界が遮られて危ない	案内板が少なく道がわかりにくい	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県	44.7	46.5	13.2	8.9	14.8	23.4	2.4	2.9	13.7	11.7	7.8	9.1	8.1	4.2	1.3
地域別															
神 戸	33.7	39.9	13.2	8.7	9.4	20.5	1.0	2.1	12.2	10.8	10.1	13.5	9.4	5.6	2.4
阪神南	44.2	40.4	14.0	6.0	17.0	30.2	1.9	1.9	10.9	9.1	7.2	9.8	7.9	7.5	0.8
阪神北	43.0	47.4	15.8	12.4	15.5	21.6	0.7	2.4	15.5	11.3	6.5	8.9	11.0	3.4	0.7
東播磨	54.6	55.7	17.5	5.5	20.3	26.8	0.3	2.7	12.0	8.9	7.6	6.5	7.2	1.7	0.7
北播磨	56.7	52.6	5.2	10.0	19.2	23.7	0.7	6.5	15.1	17.5	4.8	4.5	6.5	1.0	2.1
中播磨	53.4	52.8	15.9	5.9	20.3	22.1	2.8	4.5	13.8	15.5	7.9	5.2	7.2	2.4	0.3
西播磨	44.2	52.0	7.5	15.3	14.0	24.0	5.3	4.4	17.1	18.4	5.9	6.2	6.2	2.8	1.9
但 馬	45.1	47.3	5.0	16.0	8.2	17.9	14.1	3.8	24.5	11.0	8.2	7.2	6.0	3.1	1.9
丹 波	55.4	45.3	5.1	11.1	13.0	21.5	9.2	4.1	27.8	20.3	7.6	6.0	3.5	2.8	0.9
淡 路	59.0	62.2	6.9	19.8	9.0	11.5	13.9	4.5	14.2	13.2	5.2	5.6	2.1	1.7	1.0
地域間の差	25.3	22.2	12.5	14.3	12.2	18.7	13.8	4.6	16.9	11.3	5.3	9.1	8.9	6.5	2.1

【性別、年代別】

- 性別で見ると、差が大きいのは「右折レーンがなく交差点で渋滞する」で男性の方が8.6ポイント高くなっている。
- 年代別で見ると、全県で突出している「歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない」や「道幅がせまくすれ違いにくい」では、60代以下の人の割合が高くなっている。

○ 一般道路に対する不満(車・バイク移動の視点)【性別】

	歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない	道幅がせまくすれ違いにくい	車線数が足りず混雑している	道が曲がりくねっていて危ない	右折レーンがなく交差点で渋滞する	点や踏切がある	ひやりとする危険な交差点	大雨のときなど落石や冠水でよく通行止めになる	古い橋があり地震のとき落ちないか不安	舗装が悪い	舗装が傷んでいて乗り心地が悪い	並木や植え込みの管理が悪く視界が遮られて危ない	案内板が少なく道がわかりにくい	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県	44.7	46.5	13.2	8.9	14.8	23.4	2.4	2.9	13.7	11.7	7.8	9.1	8.1	4.2	1.3		
性別																	
男 性	46.4	47.6	15.7	9.6	19.8	23.7	2.6	2.6	15.4	11.7	8.5	6.8	9.3	2.9	1.4		
女 性	43.7	46.0	11.3	8.0	11.2	23.2	2.2	3.1	12.5	11.9	7.5	10.3	7.5	5.4	1.3		
性別間の差	2.7	1.5	4.4	1.6	8.6	0.5	0.5	0.5	2.8	0.1	1.0	3.5	1.8	2.5	0.1		

○ 一般道路に対する不満(車・バイク移動の視点)【年代別】

	歩道がなく歩行者の横を通るとき危ない	道幅がせまくすれ違いにくい	車線数が足りず混雑している	道が曲がりくねっていて危ない	右折レーンがなく交差点で渋滞する	点や踏切がある	ひやりとする危険な交差点	大雨のときなど落石や冠水でよく通行止めになる	古い橋があり地震のとき落ちないか不安	舗装が悪い	舗装が傷んでいて乗り心地が悪い	並木や植え込みの管理が悪く視界が遮られて危ない	案内板が少なく道がわかりにくい	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県	44.7	46.5	13.2	8.9	14.8	23.4	2.4	2.9	13.7	11.7	7.8	9.1	8.1	4.2	1.3		
年代別																	
20代	42.9	47.9	18.9	8.8	9.7	29.9	1.7	5.3	11.2	9.7	7.8	7.2	12.4	5.5	0.6		
30代	45.9	43.6	21.6	5.9	21.5	25.2	1.8	3.5	13.8	10.7	3.1	6.4	9.0	5.2	0.8		
40代	50.3	47.2	16.6	6.4	14.7	24.1	1.3	2.0	9.7	12.3	3.4	6.0	12.5	2.2	0.6		
50代	49.9	55.2	11.6	8.1	21.3	27.4	4.6	1.8	17.3	15.4	8.8	4.0	8.2	1.0	0.6		
60代	44.8	50.3	12.1	9.7	16.1	24.4	2.1	2.5	15.5	13.0	10.9	7.0	6.7	3.7	0.4		
70代	40.8	43.3	9.6	11.1	9.1	17.0	1.7	3.4	14.4	10.8	10.1	15.4	5.4	4.9	3.7		
80歳以上	34.5	29.9	2.9	11.7	6.5	15.3	3.4	3.1	10.8	6.2	9.9	20.1	5.7	11.3	3.5		
年代間の差	15.8	25.2	18.7	5.8	15.0	14.7	3.3	3.5	7.6	9.2	7.8	16.1	7.2	10.3	3.2		

問5 自動車専用道路の満足度

問5

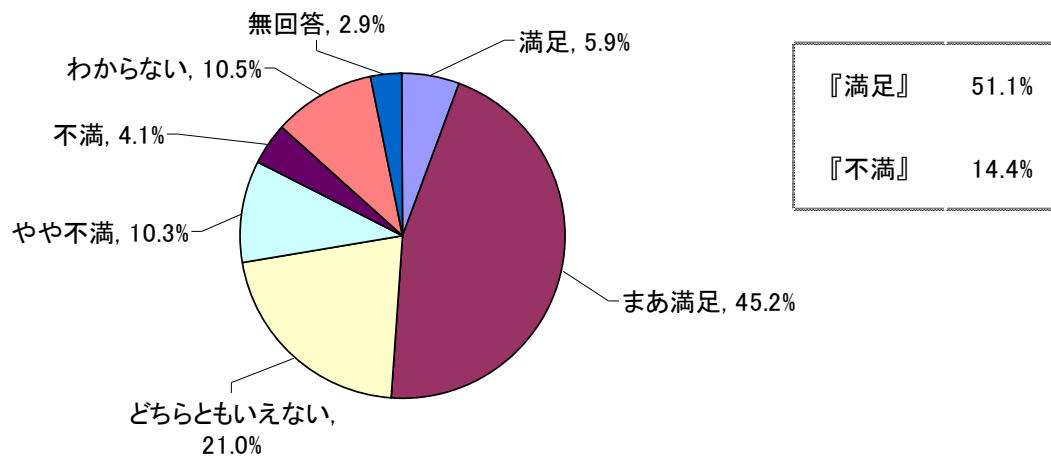
あなたが居住地から他府県など長距離を移動する際に使う「自動車専用道路」について、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | 6 わからない |

【全 県】

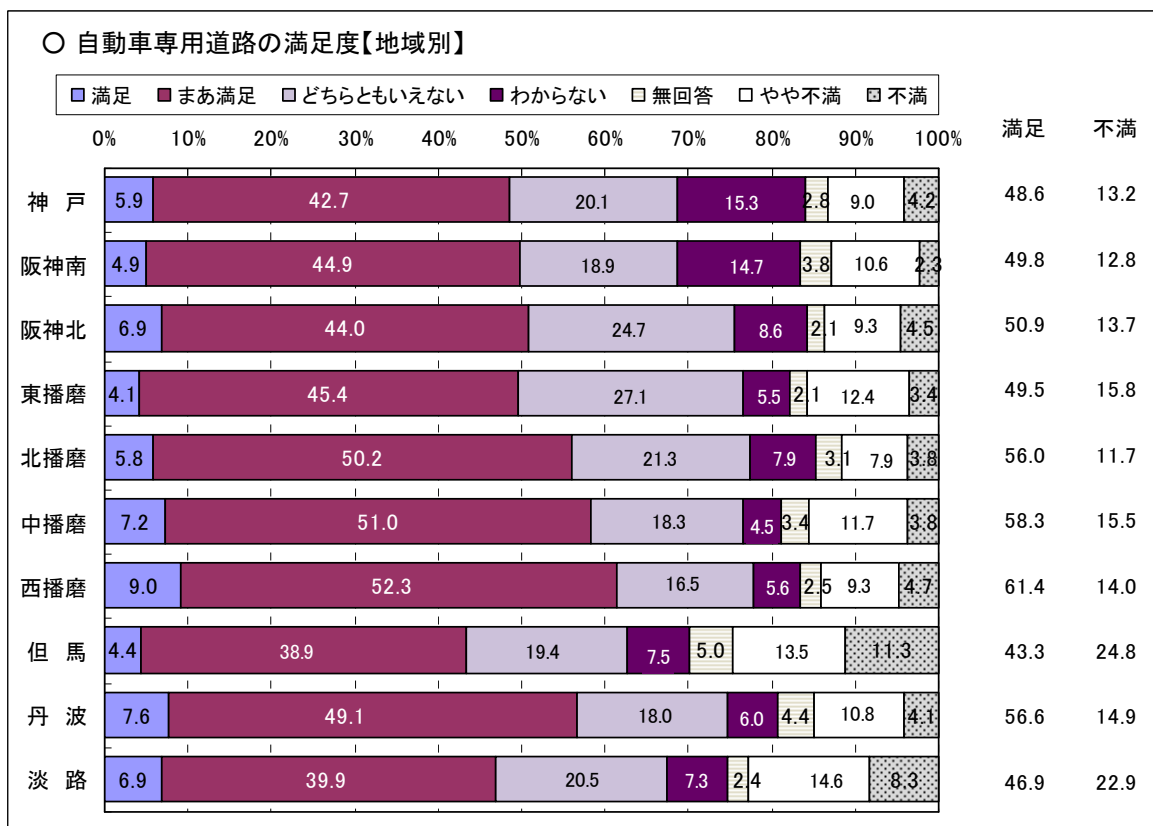
- 「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が5割を超え、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の1割半ばを36.7ポイント上回っている。

○ 自動車専用道路の満足度



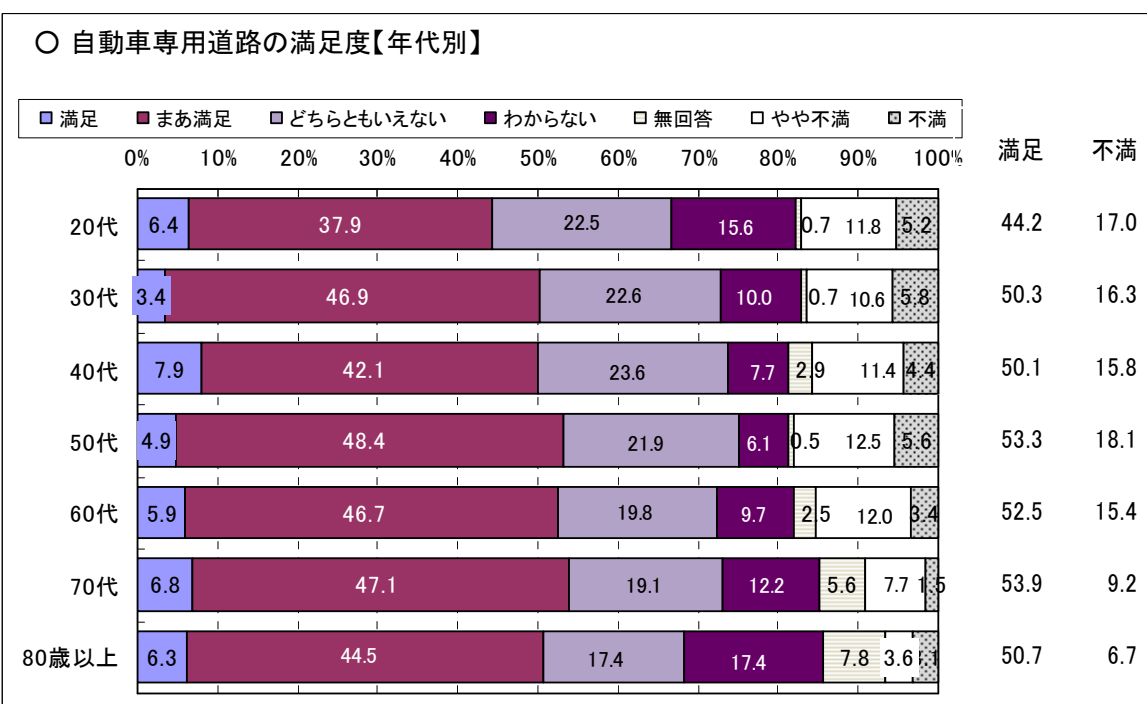
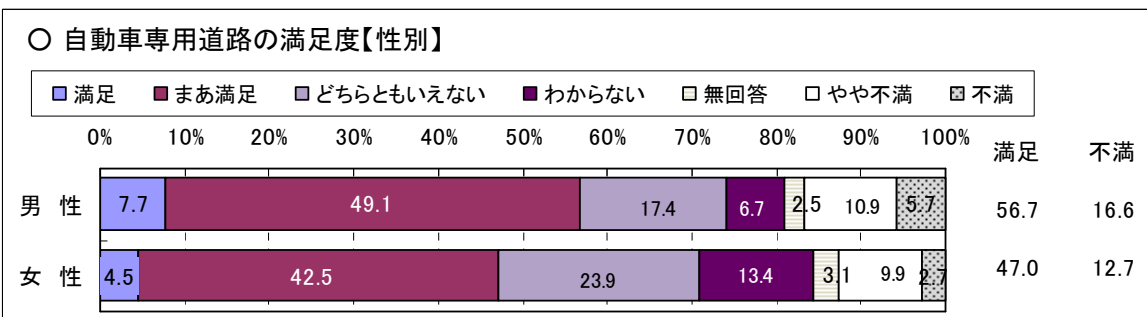
【地域別】

- 地域別では、西播磨が最も高く、中播磨、丹波、北播磨で全県の満足度（51.1%）を上回っている。



【性別、年代別】

- 男性の方が自動車専用道路について満足度が高い。
- 20代を除く年代で、満足が5割を上回っており、50代から70代は全県の満足度（51.1%）を上回っている。



問6 自動車専用道路に対する不満

問6

あなたは、「自動車専用道路」について、どのようなことを不満に思いますか。次の中から該当するものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

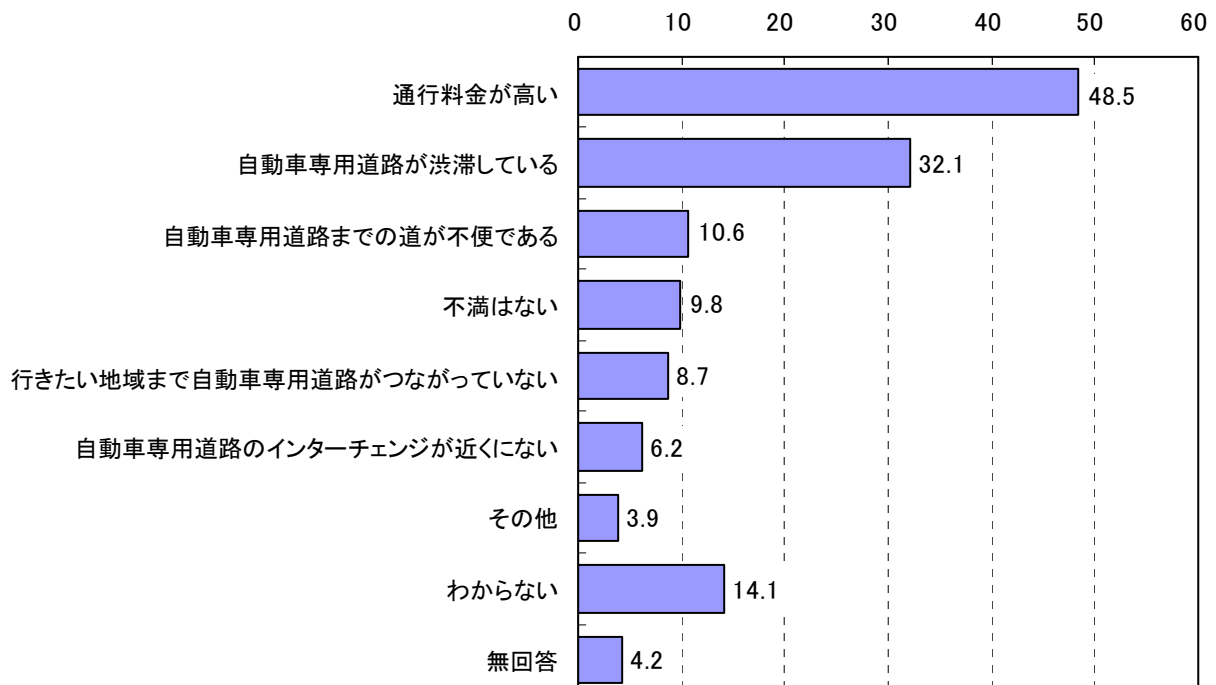
- 1 自動車専用道路が渋滞している
- 2 行きたい地域まで自動車専用道路がつながっていない
- 3 自動車専用道路のインターチェンジが近くにない
- 4 自動車専用道路までの道が不便である
- 5 通行料金が高い
- 6 不満はない
- 7 その他 ()
- 8 わからない

【全 県】

- 「通行料金が高い」が5割弱と最も多い。次に「自動車専用道路が渋滞している」が3割強、「自動車専用道路までの道が不便である」が約1割と続いている。

○ 自動車専用道路に対する不満

(%)



【地域別】

- 但馬は、「行きたい地域まで自動車専用道路がつながっていない」、「自動車専用道路までの道が不便である」、「自動車専用道路のインターチェンジが近くにない」の割合が高くなっている。

また、「通行料金が低い」は淡路が、「自動車専用道路が渋滞している」は東播磨が最も高くなっている。

○ 自動車専用道路に対する不満【地域別】 最大値 最小値 (%)

	滞 自動車 専用道 路が渋 滞して いる	行 きたい 地域ま で自 動車 専用道 路が つな がって いない	自 動車 専用道 路の 近 くに ない	自 動車 専用道 路ま での 道が 不便 である	通 行料 金 が 高 い	不 満 は な い	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答
全 県	32.1	8.7	6.2	10.6	48.5	9.8	3.9	14.1	4.2
地域別									
神 戸	30.6	6.3	3.8	5.9	50.3	11.8	2.8	18.8	3.1
阪神南	37.7	6.0	2.6	7.9	44.5	8.3	3.0	19.2	6.8
阪神北	37.5	5.8	4.5	11.7	48.1	7.9	5.2	13.1	3.8
東播磨	38.1	9.3	6.2	13.4	49.1	8.2	6.2	8.9	3.1
北播磨	22.7	10.3	5.8	12.0	51.5	13.4	2.7	11.7	4.1
中播磨	36.6	8.3	10.3	13.4	50.0	8.3	5.5	7.9	4.5
西播磨	25.5	12.1	12.5	13.7	48.6	12.1	2.8	8.7	5.6
但 馬	6.0	35.7	25.1	29.8	31.0	7.2	3.8	8.5	3.8
丹 波	14.9	20.6	14.6	13.3	41.5	17.1	2.5	10.1	4.7
淡 路	11.1	12.5	8.0	14.6	69.1	7.6	2.1	8.7	3.1
地域間の差	32.2	29.9	22.4	23.9	38.1	9.9	4.1	11.3	3.7

【性別、年代別】

- 性別で見ると、差が大きいのは「自動車専用道路が渋滞している」で、男性が女性より13.4ポイント高くなっている。
- 不満度が高い「通行料金が低い」や「自動車専用道路が渋滞している」で、年代間の格差が大きくなっている。

○ 自動車専用道路に対する不満【性別】

(%)

	自動車専用道路が渋滞している	行きたい地域まで自動車専用道路が繋がっていない	インターチェンジが近くにない	自動車専用道路までの道が不便である	通行料金が低い	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県	32.1	8.7	6.2	10.6	48.5	9.8	3.9	14.1	4.2
性別									
男 性	40.0	9.6	6.3	10.7	53.5	10.4	4.5	8.2	3.4
女 性	26.6	7.7	6.0	10.6	44.9	9.2	3.2	18.8	4.5
性別間の差	13.4	1.9	0.3	0.1	8.7	1.1	1.3	10.6	1.1

○ 自動車専用道路に対する不満【年代別】

最大値

最小値

(%)

	自動車専用道路が渋滞している	行きたい地域まで自動車専用道路が繋がっていない	インターチェンジが近くにない	自動車専用道路までの道が不便である	通行料金が低い	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県	32.1	8.7	6.2	10.6	48.5	9.8	3.9	14.1	4.2
年代別									
20代	35.3	6.2	5.5	9.2	46.7	10.0	3.3	17.6	0.9
30代	33.3	9.9	7.8	8.9	50.2	10.8	4.2	14.0	1.4
40代	34.0	4.9	6.0	8.9	54.8	9.2	3.5	11.1	5.5
50代	45.6	8.1	6.9	10.5	58.7	5.9	4.6	7.4	1.3
60代	31.9	10.3	5.3	10.3	57.0	9.7	2.7	10.8	2.2
70代	28.1	9.0	6.3	14.3	37.1	10.9	3.3	19.2	5.5
80歳以上	9.6	11.3	5.3	11.8	18.7	15.0	6.3	27.4	15.2
年代間の差	36.0	6.4	2.6	5.5	40.0	9.0	3.6	19.9	14.3

2 『海や川など水辺の環境の保全』に関することについて

問7 水辺の環境の満足度

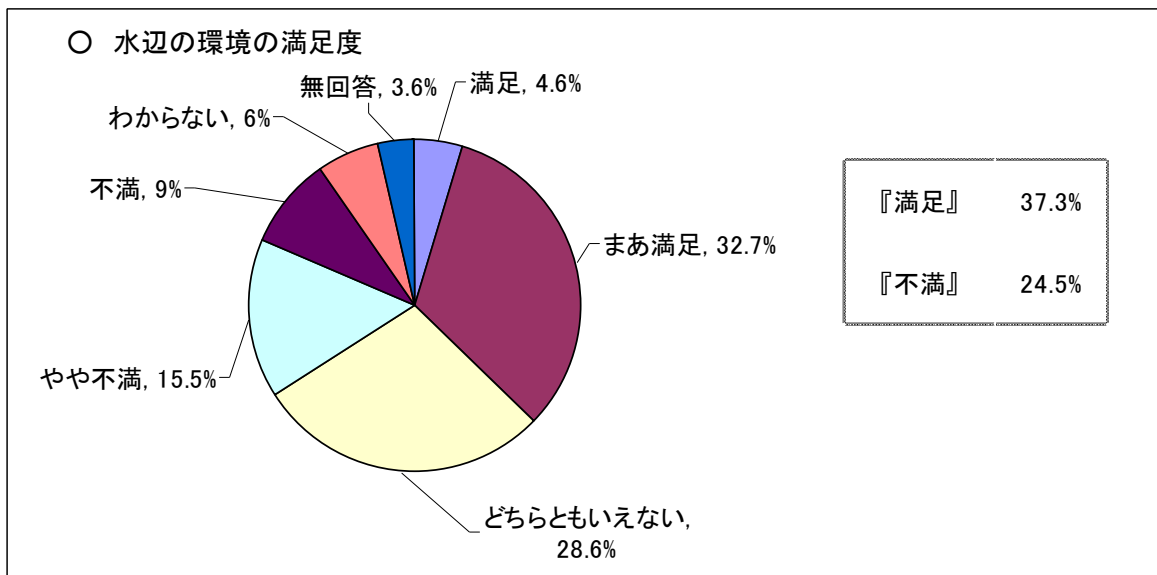
問7

あなたがお住まいの地域の海・川など水辺の環境について、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|--------|--------|-------------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 | 3 どちらともいえない |
| 4 やや不満 | 5 不満 | 6 わからない |

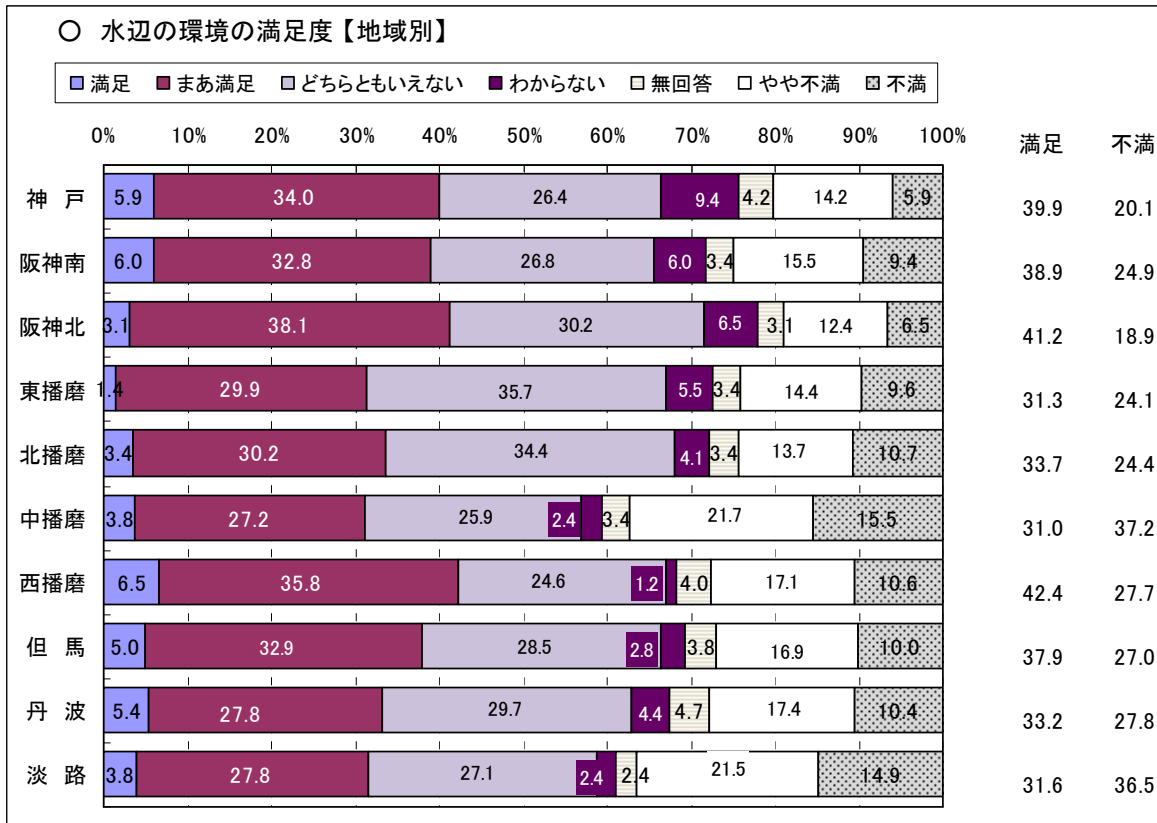
【全 県】

- 「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が4割弱で、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』の2割半ばを12.8ポイント上回っている。



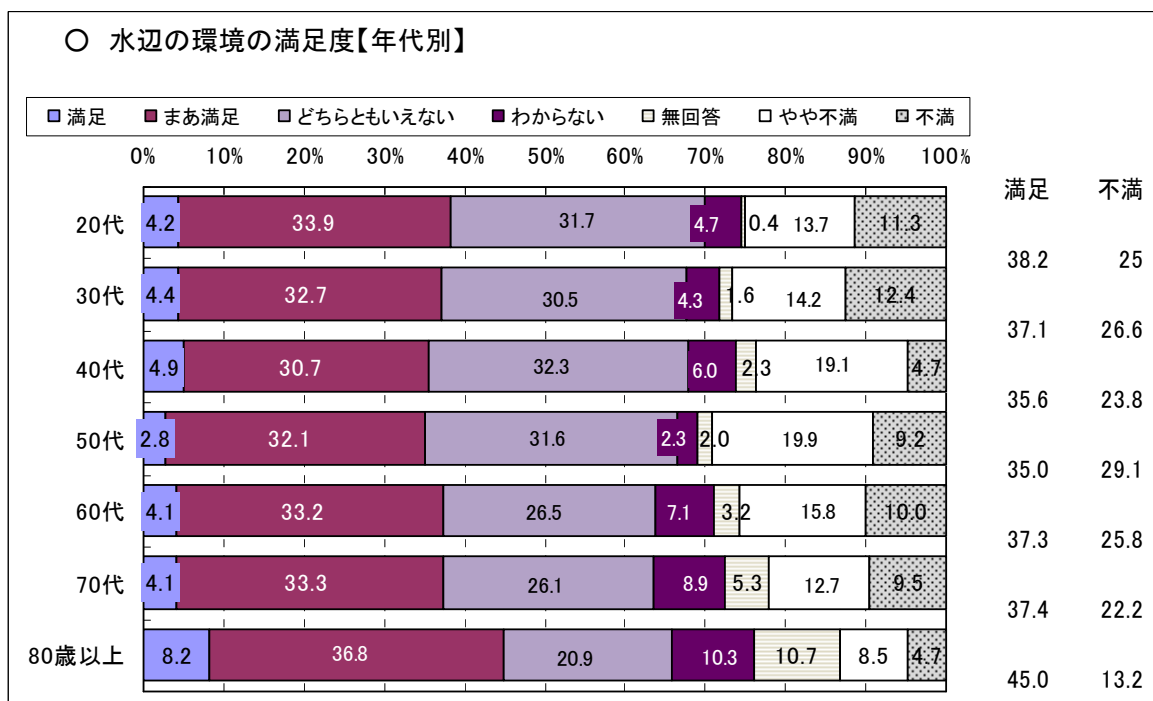
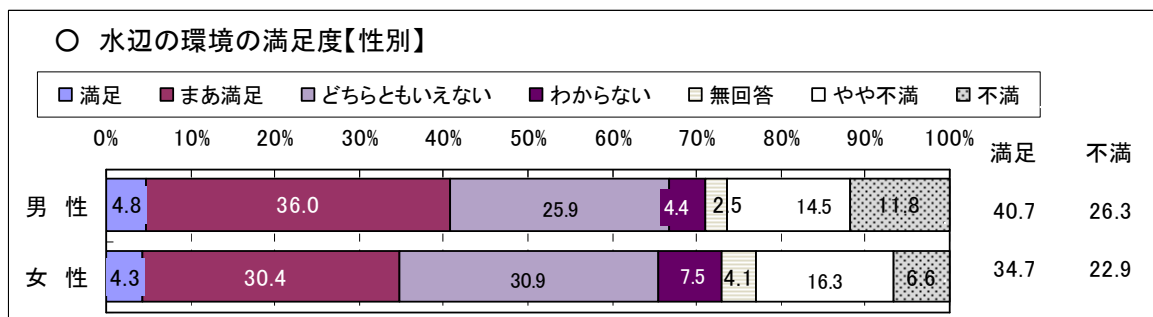
【地域別】

- 西播磨が最も高く、阪神北、神戸、阪神南、但馬で全県の満足度（37.3%）を上回っている。



【性別、年代別】

- 満足度も不満度も男性の方が高くなっている。
- 年代別では、80代が最も満足度が高くなっているが、どの年代も「どちらともいえない」の割合も高くなっている。



問8 水辺の環境に対する不満

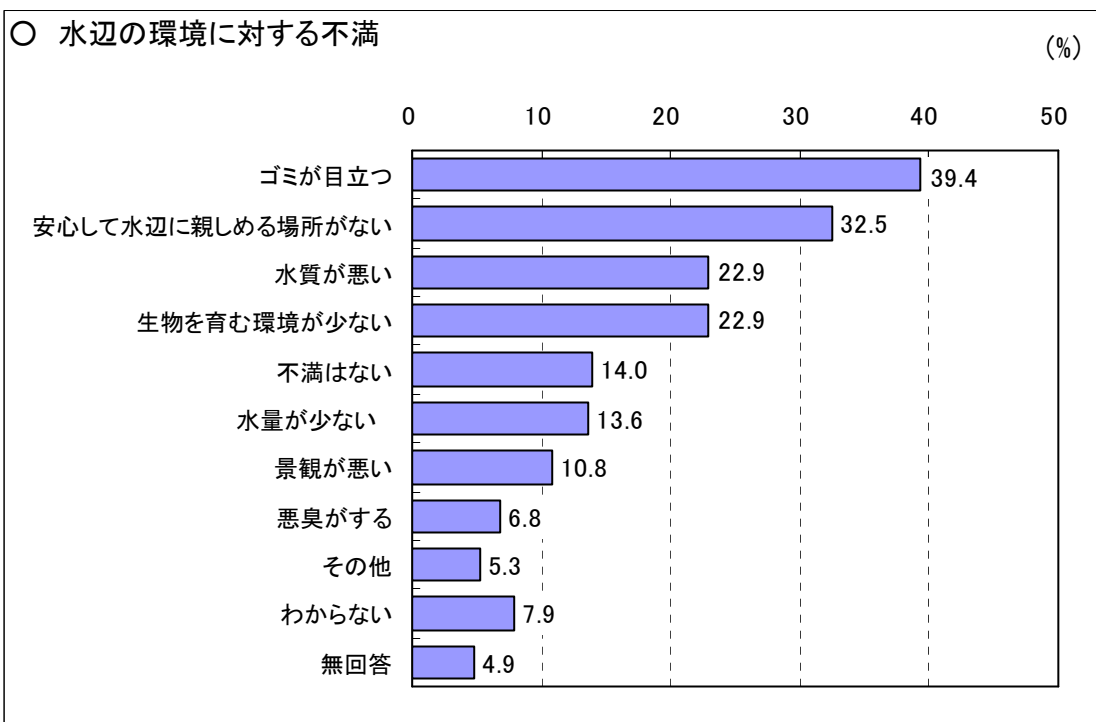
問8

あなたは、どのようなことを不満に思っていますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|---------------|---------|--------------------|
| 1 水質が悪い | 2 悪臭がする | 3 ゴミが目立つ |
| 4 水量が少ない | 5 景観が悪い | 6 安心して水辺に親しめる場所がない |
| 7 生物を育む環境が少ない | 8 不満はない | |
| 9 その他 (| |) 10 わからない |

【全 県】

- 「ゴミが目立つ」が4割弱と最多で、次に「安心して水辺に親しめる場所がない」が3割強、「水質が悪い」と「生物を育む環境が少ない」が2割強と続いている。



【地域別】

- 地域別では、瀬戸内海側の特に、東播磨や中播磨、淡路で「ゴミが目立つ」が高くなっている。また、郡部で「安心して水辺に親しめる場所がない」が高い。

○ 水辺の環境に対する不満【地域別】 最大値 最小値 (%)

	水質が悪い	悪臭がする	ゴミが目立つ	水量が少ない	景観が悪い	安心して水辺に親しめる場所がない	生物を育む環境が少ない	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県	22.9	6.8	39.4	13.6	10.8	32.5	22.9	14.0	5.3	7.9	4.9
地域別											
神 戸	17.4	6.3	39.9	11.8	8.3	26.0	22.9	16.3	4.2	11.1	5.6
阪神南	26.0	8.3	37.4	15.5	9.8	27.2	24.2	13.6	4.9	6.4	6.4
阪神北	21.0	6.5	32.6	15.5	10.3	32.3	21.6	15.5	5.8	8.9	4.8
東播磨	33.7	7.2	44.0	8.9	9.3	35.7	24.4	10.3	6.9	6.9	3.4
北播磨	19.9	3.4	32.3	15.1	12.7	43.0	22.0	13.1	5.8	7.2	4.5
中播磨	30.0	8.3	50.3	13.4	14.5	38.6	20.0	11.4	5.2	5.9	3.4
西播磨	15.0	7.2	40.8	18.4	16.2	41.1	22.4	15.9	8.4	3.4	2.2
但 馬	12.9	4.1	30.1	19.1	15.0	46.7	25.1	13.5	4.4	5.6	4.7
丹 波	15.5	3.2	25.0	19.6	17.1	45.9	29.1	14.6	5.4	7.9	4.1
淡 路	25.7	7.6	49.0	12.2	16.7	34.7	20.8	11.5	4.5	5.6	5.6
地域間の差	20.8	5.1	25.3	10.7	8.8	20.7	9.1	6.0	4.2	7.7	4.2

【性別、年代別】

- 性別では、男性の方が、女性よりも不満な項目が多い。
- 年代別では、「ゴミが目立つ」、「水質が悪い」では、50代以下の割合が高い。

○ 水辺の環境に対する不満【性別】 (％)

	水質が悪い	悪臭がする	ゴミが目立つ	水量が少ない	景観が悪い	安心して水辺に親しめる場所がない	生物を育む環境が少ない	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県	22.9	6.8	39.4	13.6	10.8	32.5	22.9	14.0	5.3	7.9	4.9
性別											
男 性	27.3	6.4	43.8	15.2	11.9	34.1	26.4	12.7	5.6	6.7	3.7
女 性	19.5	6.9	36.2	12.3	10.1	31.8	20.4	14.8	5.0	9.0	5.6
性別間の差	7.9	0.5	7.6	2.8	1.8	2.3	6.0	2.1	0.6	2.3	1.9

○ 水辺の環境に対する不満【年代別】 最大値 最小値 (％)

	水質が悪い	悪臭がする	ゴミが目立つ	水量が少ない	景観が悪い	安心して水辺に親しめる場所がない	生物を育む環境が少ない	不満はない	その他	わからない	無回答
全 県	22.9	6.8	39.4	13.6	10.8	32.5	22.9	14.0	5.3	7.9	4.9
年代別											
20代	30.3	7.7	50.0	9.0	10.7	23.0	17.8	15.0	5.7	7.1	1.9
30代	29.8	8.2	44.7	6.0	11.8	36.6	21.8	11.5	5.1	8.0	3.1
40代	24.4	9.1	42.4	8.1	9.0	25.8	17.3	12.2	4.4	10.3	3.7
50代	23.3	4.9	45.2	16.3	12.2	34.7	22.3	10.1	6.5	7.0	4.2
60代	22.4	5.9	36.6	16.6	13.7	36.7	28.0	15.1	5.7	6.4	4.5
70代	20.1	6.6	36.7	19.4	8.3	36.1	29.4	14.7	3.5	7.0	5.5
80歳以上	9.3	4.8	19.2	14.8	7.5	28.8	17.0	20.9	6.0	12.5	12.5
年代間の差	20.9	4.3	30.8	13.4	6.2	13.7	12.4	10.8	3.0	6.2	10.6

3 『自然災害に対する意識』に関することについて

問9 不安を感じる自然災害

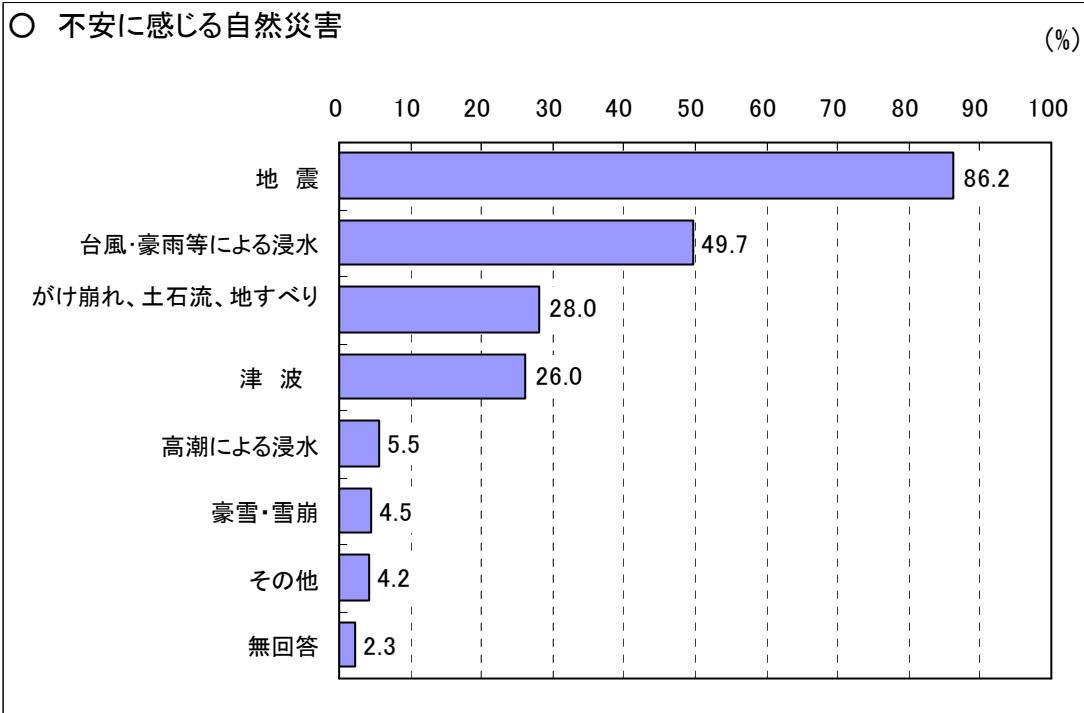
問9

あなたがお住まいの地域で特に不安を感じる自然災害はどれですか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | | |
|-----------------|-----------|---------------|
| 1 地震 | 2 津波 | 3 台風・豪雨等による浸水 |
| 4 がけ崩れ、土石流、地すべり | 5 高潮による浸水 | 6 豪雪・雪崩 |
| 7 その他 () | | |

【全 県】

- 「地震」が8割半ばと突出している。次に「台風・豪雨等による浸水」が5割弱と高く、以下、「がけ崩れ、土石流、地すべり」と「津波」が2割台が続いている。



【地域別】

- 但馬、丹波以外は「地震」が最も高くなっている。但馬、丹波は「台風・豪雨等による浸水」が最も高くなっている。

○ 不安を感じる自然災害【地域別】

	最大値				最小値				(%)
	地震	津波	台風・豪雨等による浸水	流がけ崩れ、土石	高潮による浸水	豪雪・雪崩	その他	無回答	
全 県	86.2	26.0	49.7	28.0	5.5	4.5	4.2	2.3	
地域別									
神 戸	89.6	27.1	30.2	36.5	3.8	3.5	4.5	2.4	
阪神南	89.1	49.1	55.1	10.9	10.6	0.8	2.3	1.9	
阪神北	89.7	5.5	43.6	30.2	0.7	5.8	7.2	2.4	
東播磨	87.6	34.7	56.7	8.9	8.6	1.0	3.4	1.7	
北播磨	84.9	0.0	63.2	41.9	0.3	2.1	3.1	2.7	
中播磨	83.8	23.1	65.2	26.2	6.2	1.0	4.8	2.1	
西播磨	76.9	15.3	67.3	45.5	6.5	5.9	5.0	2.5	
但 馬	56.7	6.6	66.1	49.8	4.4	52.4	2.2	3.8	
丹 波	68.4	0.6	71.5	56.6	0.3	10.8	6.0	2.5	
淡 路	85.1	36.8	59.7	40.6	8.3	1.7	1.4	2.1	
地域間の差	33.0	49.1	41.3	47.7	10.2	51.6	5.8	2.0	

【性別、年代別】

- 性別による大きな違いはみられない。
- 年代別では、「津波」が年代間の格差が大きくなっている。

○ 不安を感じる自然災害【性別】 (%)

	地震	津波	台風・豪雨等による浸水	がけ崩れ、土石流、地すべり	高潮による浸水	豪雪・雪崩	その他	無回答
全 県	86.2	26.0	49.7	28.0	5.5	4.5	4.2	2.3
性別								
男 性	85.5	25.5	50.6	29.2	5.9	4.3	4.9	2.3
女 性	87.1	26.8	49.3	27.0	5.2	4.2	3.7	1.9
性別間の差	1.6	1.3	1.3	2.2	0.6	0.2	1.1	0.5

○ 不安を感じる自然災害【年代別】 最大値 最小値 (%)

	地震	津波	台風・豪雨等による浸水	がけ崩れ、土石流、地すべり	高潮による浸水	豪雪・雪崩	その他	無回答
全 県	86.2	26.0	49.7	28.0	5.5	4.5	4.2	2.3
年代別								
20代	86.4	27.0	44.1	29.8	4.8	4.7	2.6	0.7
30代	87.8	36.6	54.5	28.9	6.4	3.9	0.8	0.7
40代	83.8	18.5	46.8	32.8	4.7	3.0	3.5	2.8
50代	88.5	27.6	52.1	28.9	4.6	3.3	5.2	0.5
60代	87.1	26.9	48.5	27.0	5.0	4.6	5.3	1.5
70代	88.0	25.8	50.8	22.3	9.1	4.5	5.0	3.5
80歳以上	79.7	19.9	51.5	26.8	2.8	7.2	6.4	6.3
年代間の差	8.7	18.1	10.3	10.5	6.4	4.2	5.7	5.9

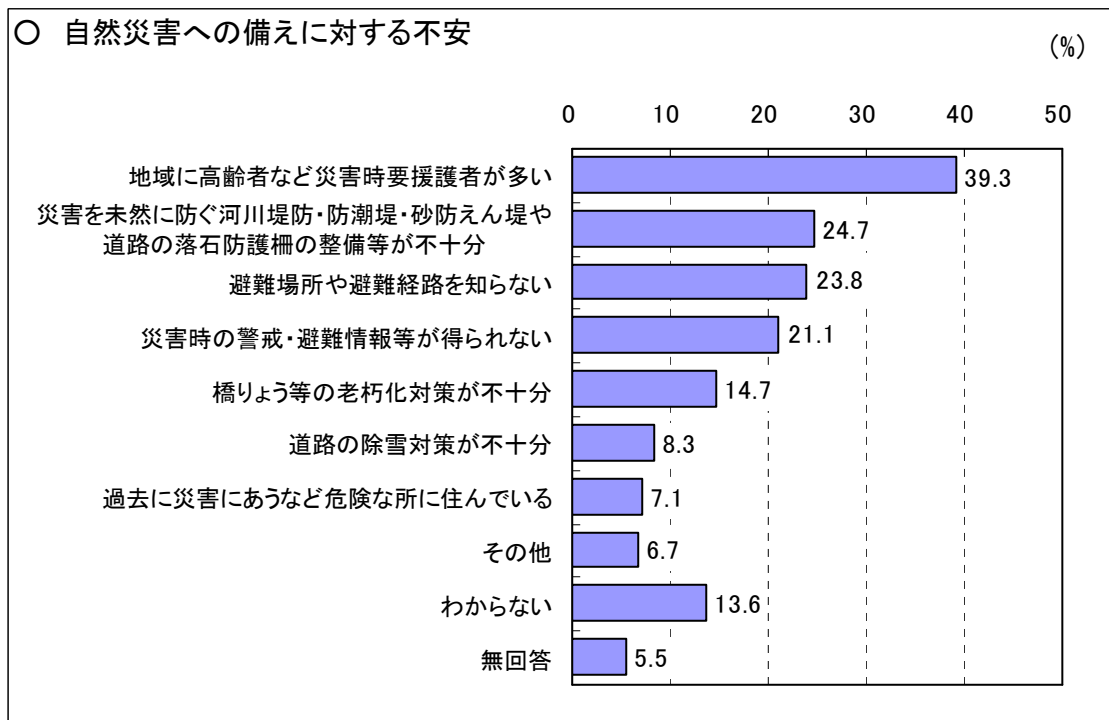
問10 自然災害への備えに対する不安

問10
 あなたがお住まいの地域において、自然災害への備えで特に不安を感じることはどれですか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤・砂防えん堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分
- 2 橋りょう等の老朽化対策が不十分
- 3 道路の除雪対策が不十分
- 4 過去に災害にあうなど危険な所に住んでいる
- 5 避難場所や避難経路を知らない
- 6 地域に高齢者など災害時要援護者が多い
- 7 災害時の警戒・避難情報等が得られない
- 8 その他 ()
- 9 わからない

【全 県】

- 高齢化の影響もあり「地域に高齢者など災害時要援護者が多い」が4割弱と高い。次に「災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤・砂防えん堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分」が2割半ばで、以下、「避難場所や避難経路を知らない」と「災害時の警戒・避難情報等が得られない」が2割台で続いている。



【地域別】

- 地域別では、郡部ほど「地域に高齢者など災害時要援護者が多い」が高くなっている。
また、「道路の除雪対策が不十分」は但馬が突出して高い。

○ 自然災害への備えに対する不安【地域別】

						最大値		最小値		(%)
	災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤・砂防えん堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分	橋りょう等の老朽化対策が不十分	道路の除雪対策が不十分	過去に災害にあうなど危険な所に住んでいる	避難場所や避難経路を知らない	地域に高齢者など災害時要援護者が多い	災害時の警戒・避難情報等が得られない	その他	わからない	無回答
全 県	24.7	14.7	8.3	7.1	23.8	39.3	21.1	6.7	13.6	5.5
地域別										
神 戸	17.4	14.6	8.3	6.9	21.2	37.8	23.6	7.6	16.0	5.2
阪神南	27.9	11.7	4.2	8.7	27.9	34.7	24.5	5.3	13.6	5.7
阪神北	15.5	14.1	7.9	3.4	28.2	41.9	21.3	8.2	14.4	4.5
東播磨	22.3	18.6	2.4	2.7	29.6	38.8	23.0	6.5	12.7	6.2
北播磨	32.0	18.9	8.2	7.6	19.6	38.8	15.8	5.2	14.1	6.2
中播磨	31.4	14.1	4.5	5.9	23.4	39.0	17.9	6.9	15.2	5.5
西播磨	38.9	18.1	12.5	13.7	15.9	43.6	15.9	9.7	6.9	6.9
但 馬	37.9	11.6	59.9	14.7	7.5	53.3	8.5	3.4	4.4	4.1
丹 波	35.4	13.9	23.4	10.1	22.2	46.8	17.4	2.8	8.2	5.7
淡 路	47.6	14.9	1.0	16.0	18.4	45.8	10.8	3.5	9.7	5.9
地域間の差	32.1	7.3	58.8	13.2	22.0	18.6	16.1	6.8	11.6	2.8

【性別、年代別】

- 性別で見ると、差が大きいのは「災害時の警戒・避難情報等が得られない」で、男性が女性より6.7ポイント高くなっている。
- 年代別では「災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤・砂防えん堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分」が年代間で20.1ポイントと最も格差があり、高齢者の方が低くなっている。

○ 自然災害への備えに対する不安【性別】

(%)

	災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤・砂防えん堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分	橋りょう等の老朽化対策が不十分	道路の除雪対策が不十分	過去に災害にあうなど危険な所に住んでいる	避難場所や避難経路を知らない	地域に高齢者など災害時要援護者が多い	災害時の警戒・避難情報等が得られない	その他	わからない	無回答
全 県	24.7	14.7	8.3	7.1	23.8	39.3	21.1	6.7	13.6	5.5
性別										
男 性	26.7	17.0	8.3	6.2	26.6	41.9	24.7	6.1	9.6	4.7
女 性	23.5	12.9	7.9	7.7	21.6	38.1	18.0	7.4	16.7	5.9
性別間の差	3.2	4.1	0.4	1.5	5.0	3.8	6.7	1.3	7.1	1.2

○ 自然災害への備えに対する不安【年代別】

最大値

最小値

(%)

	災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤・砂防えん堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分	橋りょう等の老朽化対策が不十分	道路の除雪対策が不十分	過去に災害にあうなど危険な所に住んでいる	避難場所や避難経路を知らない	地域に高齢者など災害時要援護者が多い	災害時の警戒・避難情報等が得られない	その他	わからない	無回答
全 県	24.7	14.7	8.3	7.1	23.8	39.3	21.1	6.7	13.6	5.5
年代別										
20代	26.2	18.8	9.7	6.2	24.4	33.3	14.4	8.7	16.1	1.8
30代	35.0	16.6	8.3	7.6	25.7	31.0	17.5	5.8	17.0	1.5
40代	22.4	11.8	8.0	6.4	21.7	34.5	14.0	6.8	20.9	4.7
50代	33.4	19.1	9.2	8.8	22.4	39.8	23.5	5.3	8.7	3.4
60代	23.3	16.0	8.1	6.6	25.3	46.7	22.2	8.0	9.6	5.0
70代	17.2	10.8	6.9	6.6	25.6	45.6	29.9	5.8	12.6	8.9
80歳以上	14.8	8.8	6.2	6.8	18.4	39.9	20.3	8.4	14.6	13.6
年代間の差	20.1	10.3	3.6	2.6	7.3	15.8	15.9	3.4	12.2	12.1

問 1 1 水害・土砂災害からの避難に必要な情報

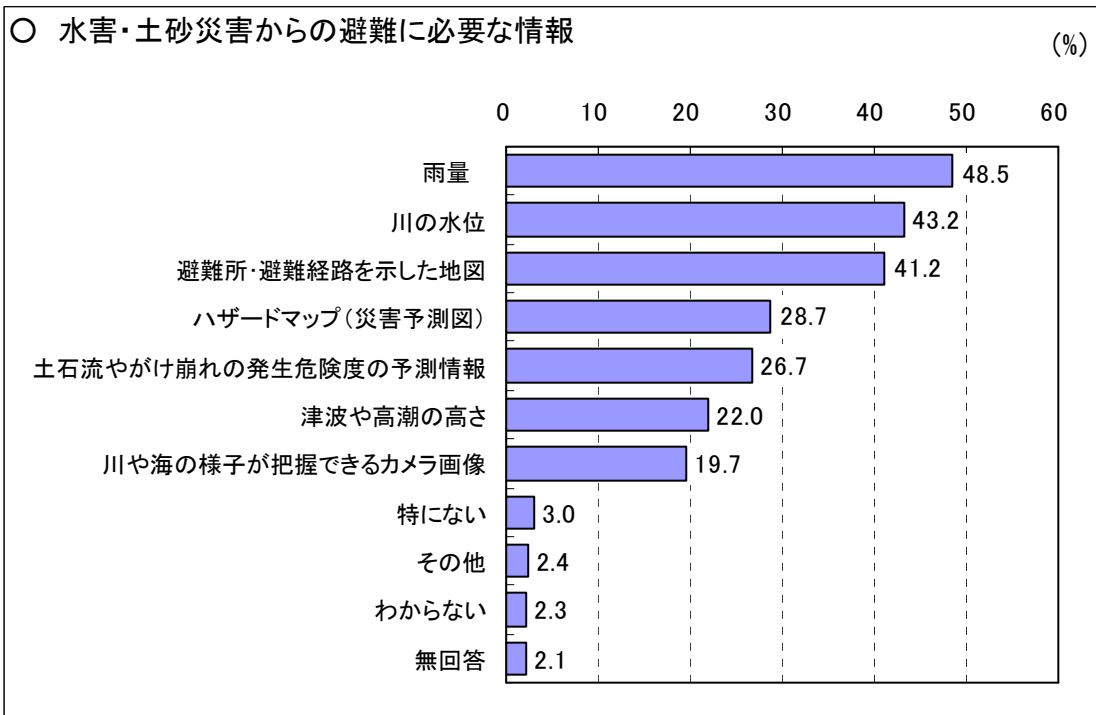
問 1 1

あなたは、水害・土砂災害について、的確に避難準備や避難判断するためには、どのような情報が必要だと思いますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1 雨量 | 2 川の水位 |
| 3 津波や高潮の高さ | 4 土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報 |
| 5 川や海の様子が把握できるカメラ画像 | 6 ハザードマップ（災害予測図） |
| 7 避難所・避難経路を示した地図 | 8 その他（ ） |
| 9 特にない | 10 わからない |

【全 県】

- 「雨量」が5割弱と最も高く、次に「川の水位」が4割強となっている。次に「避難所・避難経路を示した地図」も4割強と高く、以下、「ハザードマップ（災害予測図）」、「土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報」が2割台が続いている。



【地域別】

- 地域別では、「川の水位」、「津波や高潮の高さ」、「土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報」で3割を超える地域間の格差がみられる。

○ 水害・土砂災害からの避難に必要な情報【地域別】 最大値 最小値 (%)

	雨量	川の水位	津波や高潮の高さ	土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報	川や海の様子を把握できるカメラ画像	ハザードマップ（災害予測図）	避難所・避難経路を示した地図	その他	特になし	わからない	無回答
全 県	48.5	43.2	22.0	26.7	19.7	28.7	41.2	2.4	3.0	2.3	2.1
地域別											
神 戸	46.9	26.0	27.4	31.6	21.9	28.1	40.6	2.8	5.6	2.8	1.0
阪神南	40.8	50.6	35.1	17.0	18.5	34.0	46.8	2.3	0.0	2.3	3.0
阪神北	48.5	37.5	7.6	33.0	14.1	33.3	48.5	2.1	3.4	2.4	1.0
東播磨	52.2	45.4	27.8	12.4	19.6	29.9	45.0	2.7	1.4	2.4	2.7
北播磨	58.8	51.5	2.4	29.2	17.9	27.1	37.8	2.7	2.7	1.7	2.4
中播磨	49.3	58.6	14.1	22.4	24.1	26.2	35.9	2.4	2.8	1.7	3.1
西播磨	52.0	61.4	12.1	37.4	22.7	18.7	31.2	1.9	2.5	1.2	3.4
但 馬	54.2	65.5	7.5	45.5	20.1	20.4	21.9	1.6	2.8	0.9	3.4
丹 波	58.5	62.0	1.9	45.3	13.6	17.1	33.5	0.9	3.8	1.6	3.2
淡 路	58.0	37.5	33.7	35.1	16.7	20.5	28.5	0.7	3.8	2.4	1.0
地域間の差	18.0	39.5	33.2	33.1	10.5	16.9	26.5	2.1	5.6	1.8	2.4

【性別、年代別】

- 性別による大きな違いはみられない。
- 年代別でみると、「雨量」は、80代を除き、高齢者ほど高くなっている。

○ 水害・土砂災害からの避難に必要な情報【性別】 (%)

	雨量	川の水位	津波や高潮の高さ	土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報	川や海の様子を把握できるカメラ画像	ハザードマップ（災害予測図）	避難所・避難経路を示した地図	その他	特にない	わからない	無回答
全 県	48.5	43.2	22.0	26.7	19.7	28.7	41.2	2.4	3.0	2.3	2.1
性別											
男 性	50.0	44.5	21.5	24.8	20.0	30.0	40.3	2.7	2.8	1.3	1.8
女 性	46.9	42.4	22.6	28.2	19.7	27.6	42.0	2.2	3.0	3.1	2.2
性別間の差	3.0	2.1	1.1	3.3	0.3	2.5	1.7	0.5	0.2	1.8	0.4

○ 水害・土砂災害からの避難に必要な情報【年代別】 最大値 最小値 (%)

	雨量	川の水位	津波や高潮の高さ	土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報	川や海の様子を把握できるカメラ画像	ハザードマップ（災害予測図）	避難所・避難経路を示した地図	その他	特にない	わからない	無回答
全 県	48.5	43.2	22.0	26.7	19.7	28.7	41.2	2.4	3.0	2.3	2.1
年代別											
20代	37.6	40.8	28.8	33.5	23.7	31.6	47.4	2.8	1.6	5.9	0.6
30代	39.8	45.4	31.4	24.2	30.9	29.6	45.2	2.9	0.1	2.8	0.5
40代	42.6	40.9	16.9	32.5	25.4	31.4	41.0	2.7	2.1	2.6	2.8
50代	48.6	50.1	19.8	28.3	21.8	33.3	41.8	1.3	0.8	1.9	0.6
60代	49.6	46.3	22.4	26.4	18.2	28.7	41.4	2.0	3.5	0.9	1.2
70代	59.8	36.0	22.8	21.0	10.5	27.2	40.0	2.4	5.4	1.7	3.1
80歳以上	55.9	39.0	11.7	21.5	7.8	13.3	31.1	4.1	8.2	3.2	7.5
年代間の差	22.2	14.1	19.8	12.5	23.1	20.0	16.3	2.8	8.1	5.0	7.0

問 1 2 CGハザードマップの認知度

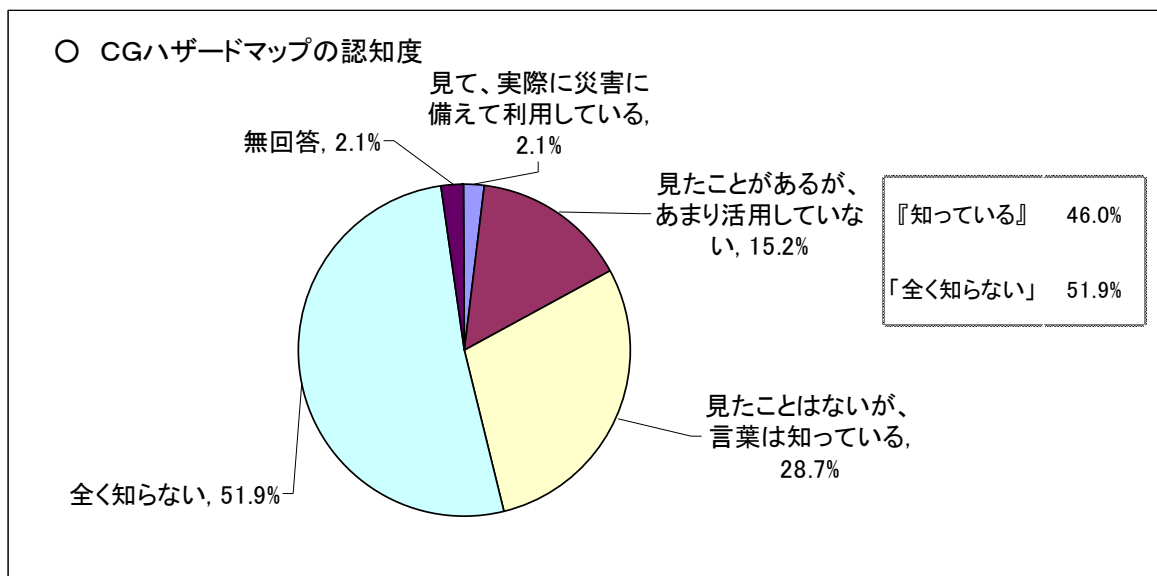
問 1 2

あなたは「CGハザードマップ」を知っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 見て、実際に災害に備えて利用している
- 2 見たことがあるが、あまり活用していない
- 3 見たことはないが、言葉は知っている
- 4 全く知らない

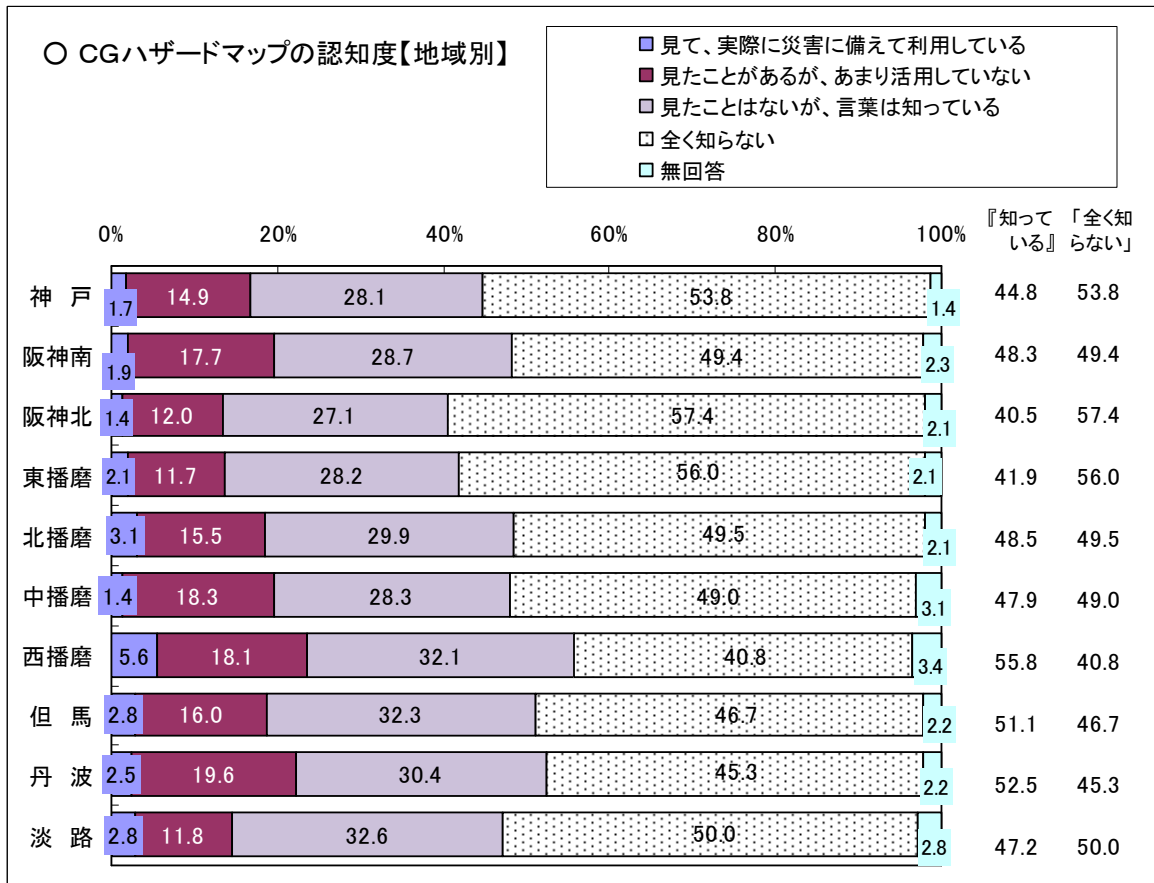
【全 県】

- 県がインターネットで提供しているCGハザードマップについて全く知らない人が5割を超えており、さらに認識を高める必要がある。また、実際に利用している人は1割を切っている。



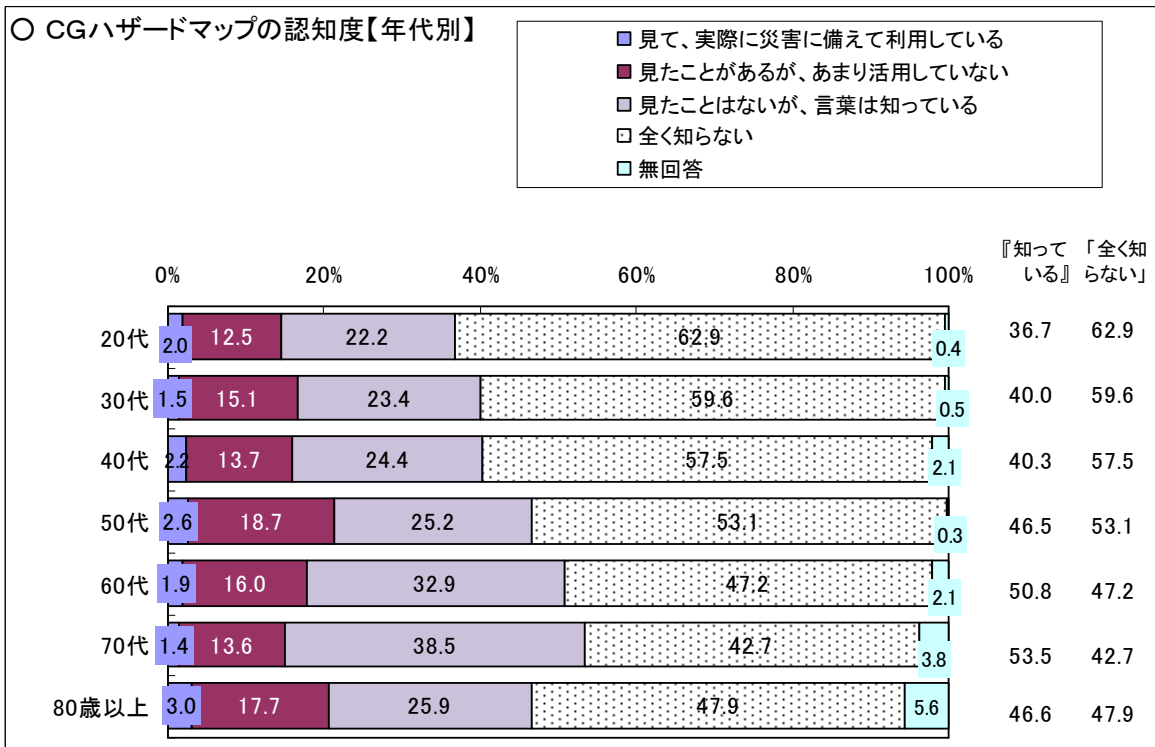
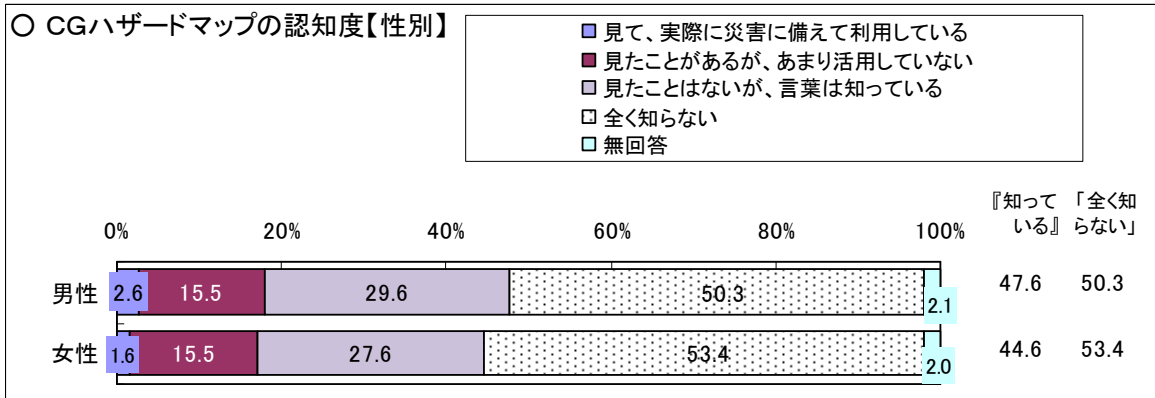
【地域別】

- 地域別では、西播磨が最も高く、阪神北が最も低い。



【性別、年代別】

- 性別による大きな違いはみられない。
- 20代ではCGハザードマップを知らない人が6割強で、若い人ほど認識が低い傾向にある。



4 『今後の社会基盤整備の方向性』等に関することについて

問13 社会基盤の老朽化の認識

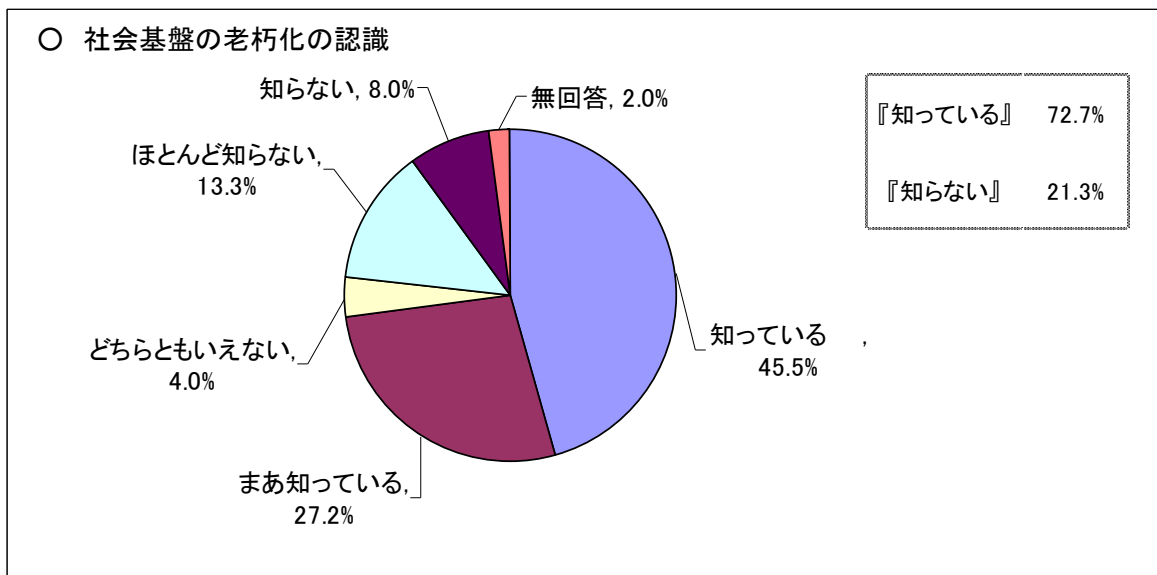
問13

あなたは、道路や橋りょう、トンネルなど戦後の一時期（高度経済成長期）に多く建設した施設が、一気に老朽化することを知っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 知っている 2 まあ知っている 3 どちらともいえない
4 ほとんど知らない 5 知らない

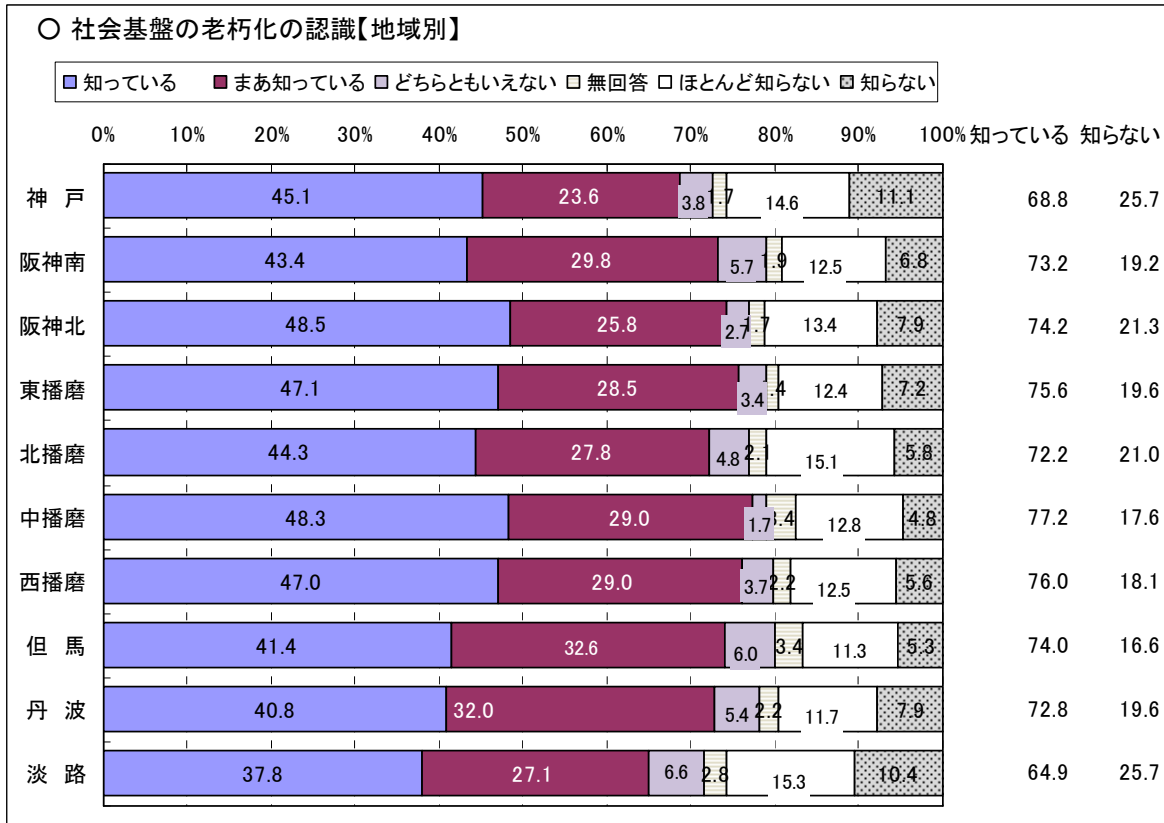
【全 県】

- 「知っている」と「まあ知っている」を合わせた『知っている』が7割を超え、多くの人が社会基盤の老朽化を認識している。



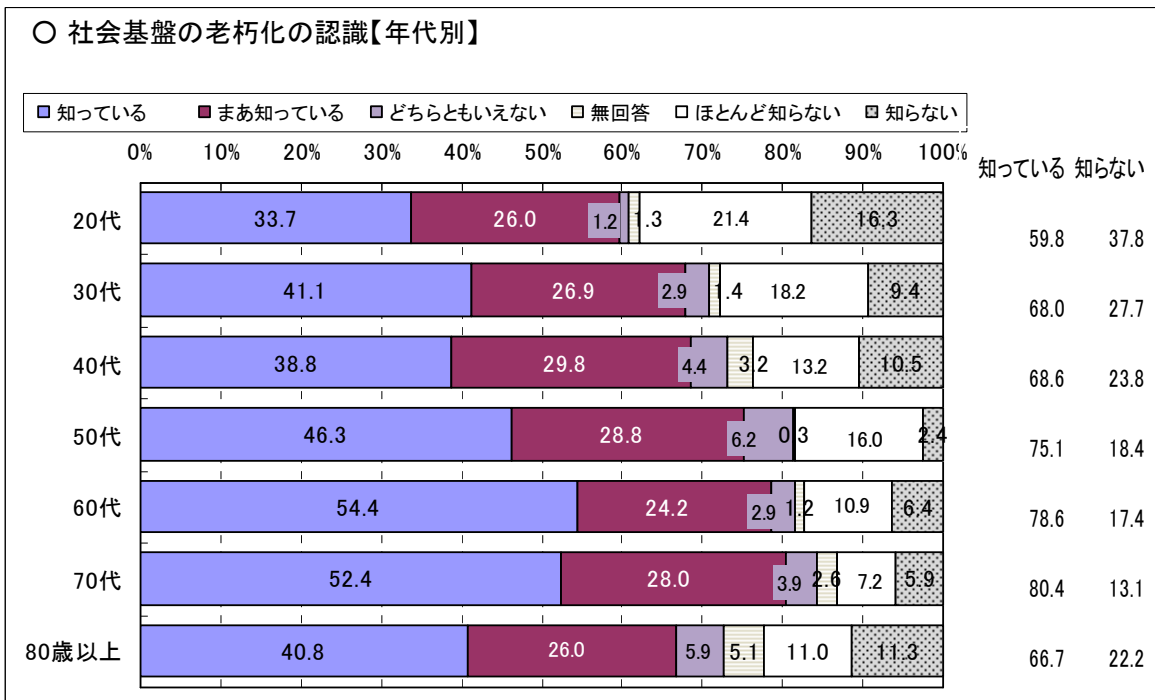
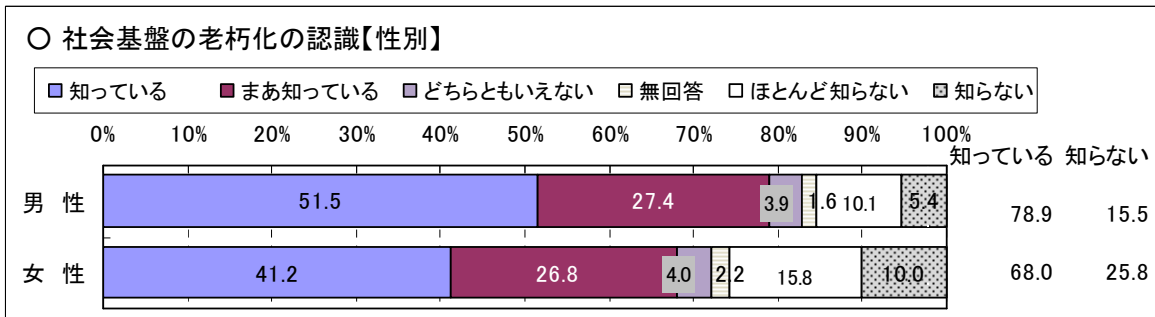
【地域別】

- 神戸、淡路以外は「知っている」が7割を超え、阪神南、阪神北、東播磨、中播磨、西播磨、但馬、丹波と多くの地域で全県の認識度（72.7%）を上回っている。



【性別、年代別】

- 性別では、男性が全県の認知度（72.7%）を大きく上回っている。
- 年代別では、50代、60代、70代は全県の認知度（72.7%）を上回っている。



問 1 4 道路・河川等の美化活動への参加状況

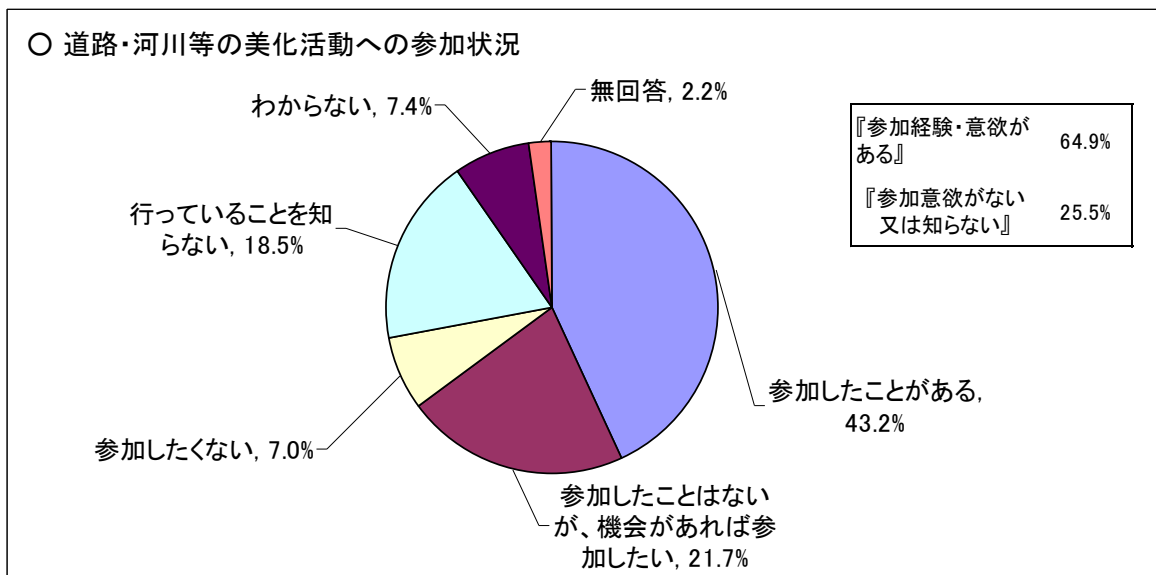
問 1 4

地域住民主体で実施している道路や河川等の花や木の手入れ、草刈りなどの美化活動に参加したことがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------------------|
| 1 参加したことがある | 2 参加したことはないが、機会があれば参加したい |
| 3 参加したくない | 4 地域で美化活動等を行っているかどうか知らない |
| 5 わからない | |

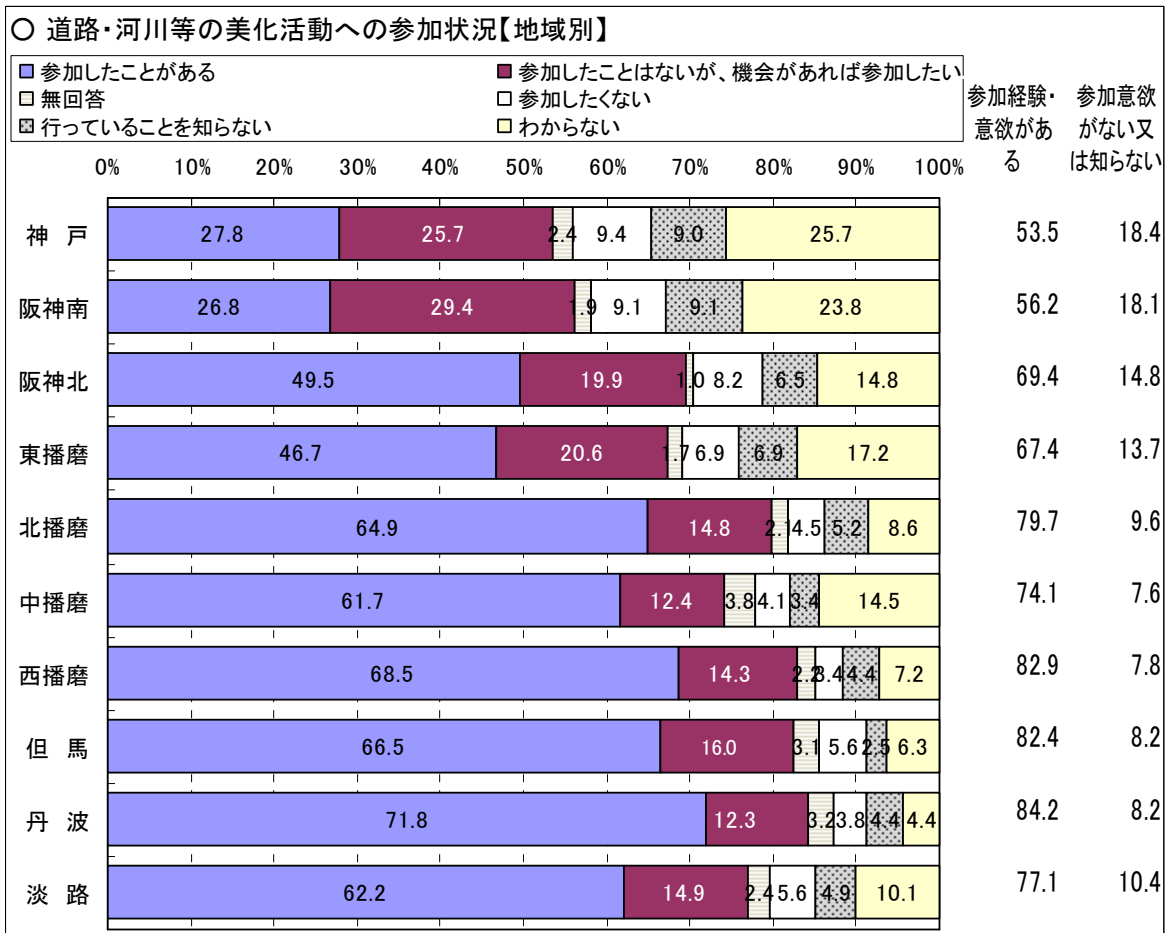
【全 県】

- 「参加したことがある」が4割強、「機会があれば参加したい」が2割強あり、美化活動への参加に積極的な人が多い状況がうかがえる。



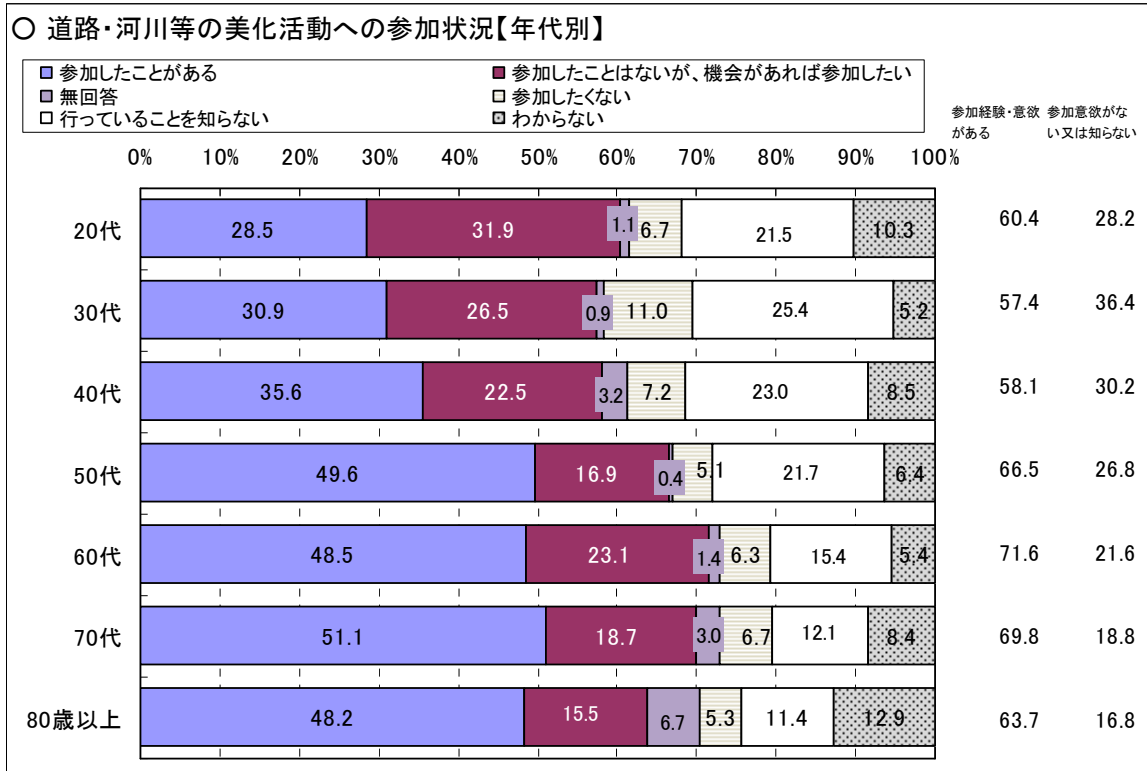
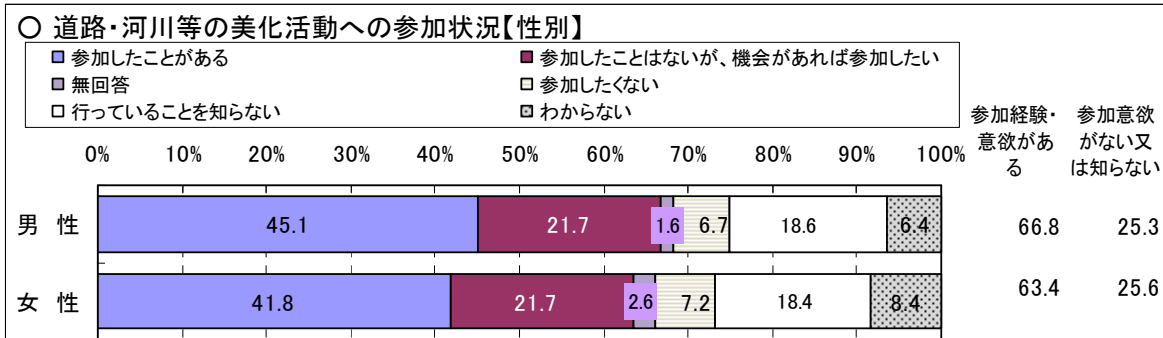
【地域別】

- 神戸と阪神南以外は参加経験・意欲がある人が全県の割合（64.9%）を超えており、特に西播磨、但馬、丹波で8割を超えて高くなっている。



【性別、年代別】

- 性別では、大きな違いは見られない。
- 年代別では、60代、70代で参加経験や参加意欲が高い傾向にある。



問 1 5 社会基盤整備で重視すべき視点

問 1 5

あなたは、今後の社会基盤整備について、どのような視点を重視して進めるべきだと思いますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

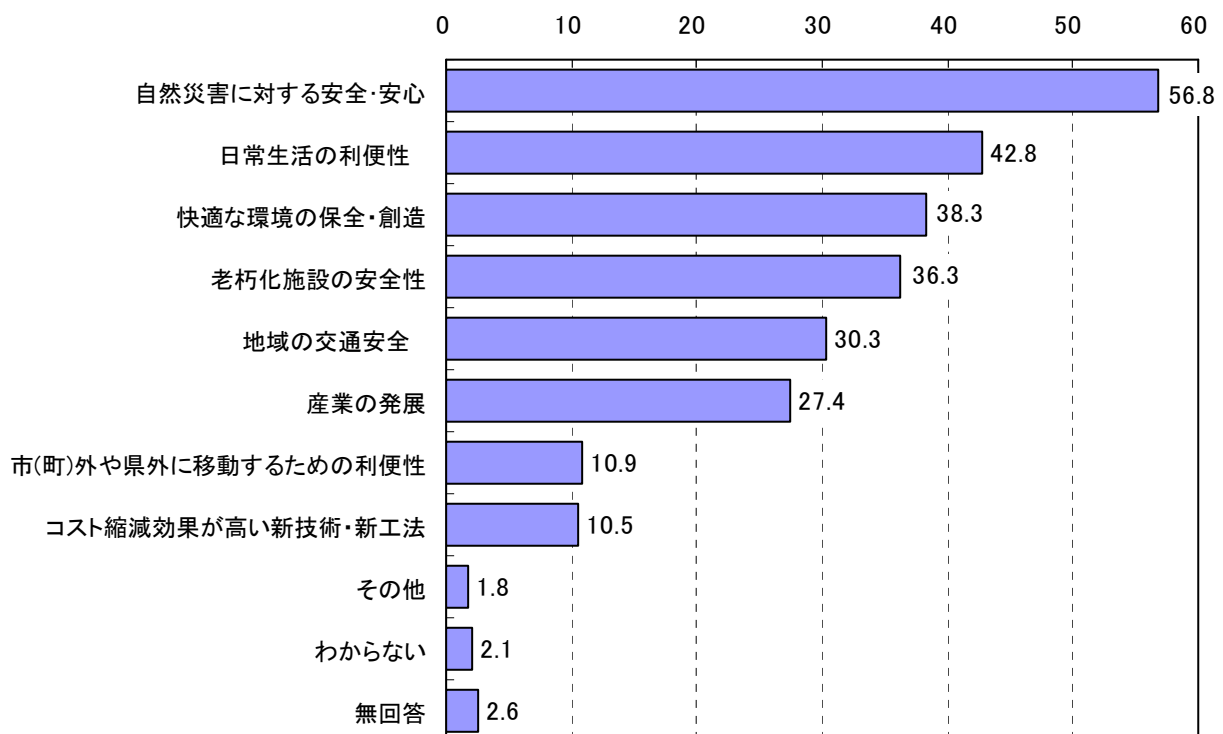
- | | |
|-----------------------|---------------------|
| 1 市(町)外や県外に移動するための利便性 | 2 産業の発展 |
| 3 日常生活の利便性 | 4 地域の交通安全 |
| 5 快適な環境の保全・創造 | 6 老朽化施設の安全性 |
| 7 自然災害に対する安全・安心 | 8 コスト縮減効果が高い新技術・新工法 |
| 9 その他 () | 10 わからない |

【全 県】

- 「自然災害に対する安全・安心」が5割半ばと最も高く、次に「日常生活の利便性」が4割強で、以下、「快適な環境の保全・創造」、「老朽化施設の安全性」、「地域の交通安全」が3割台で続いている。

○ 社会基盤整備で重視すべき視点

(%)



【地域別】

- 「自然災害に対する安全・安心」は全地域で最も高く、それ以外では郡部は「産業の発展」が高く、都市部は「老朽化施設の安全性」や「快適な環境の保全・創造」が高くなっている。

○ 社会基盤整備で重視すべき視点【地域別】											最大値	最小値	(%)
	市(町)外や県外に 移動するための利 便性	産業の 発展	日常生 活の利 便性	地 域の 交 通 安 全	快 適 な 環 境 の 保 全 ・ 創 造	老 朽 化 施 設 の 安 全 性	自 然 災 害 に 対 す る 安 全 ・ 安 心	高 い 新 技 術 ・ 新 工 法	コ ス ト 縮 減 効 果	そ の 他	わ か ら な い	無 回 答	
全 県	10.9	27.4	42.8	30.3	38.3	36.3	56.8	10.5	1.8	2.1	2.6		
地域別													
神 戸	7.3	28.1	40.6	29.2	40.6	37.5	57.3	9.4	2.4	2.4	3.1		
阪神南	7.2	20.0	44.5	31.3	42.3	42.3	63.4	10.2	0.8	1.5	2.3		
阪神北	13.7	23.0	39.5	31.6	40.5	35.4	53.3	11.3	2.1	3.1	1.4		
東播磨	12.4	25.4	44.0	35.7	37.5	36.1	52.6	12.7	2.4	1.0	2.4		
北播磨	15.5	39.5	47.4	29.2	30.2	31.3	51.9	10.3	1.7	3.1	2.7		
中播磨	11.0	24.8	44.5	31.0	37.9	39.0	54.8	11.7	1.4	1.7	2.8		
西播磨	15.3	38.3	41.4	24.9	31.5	28.3	57.6	10.6	2.8	2.5	2.5		
但 馬	21.6	42.9	43.9	25.1	26.6	23.8	57.4	7.2	0.6	3.1	3.4		
丹 波	18.0	39.2	48.7	23.1	34.8	25.3	57.9	8.2	0.9	1.6	3.8		
淡 路	18.4	41.0	46.5	21.9	23.6	23.6	57.3	10.1	0.7	2.8	3.1		
地域間の差	14.5	22.9	9.2	13.9	18.7	18.7	11.5	5.5	2.2	2.1	2.4		

【性別、年代別】

- 性別で見ると差が最も大きいのは「産業の発展」で、男性が女性より5.2ポイント高くなっている。
- 年代別では、「地域の交通安全」が21.2ポイントと最も年代間の格差が大きく、続いて「老朽化施設の安全性」と「自然災害に対する安全・安心」が続く。

○ 社会基盤整備で重視すべき視点【性別】

(%)

	市(町)外や県外に移動するための利便性	産業の発展	日常生活の利便性	地域の交通安全	快適な環境の保全・創造	老朽化施設の安全性	自然災害に対する安全・安心	コスト削減効果が高い新技術・新工法	その他	わからない	無回答
全 県	10.9	27.4	42.8	30.3	38.3	36.3	56.8	10.5	1.8	2.1	2.6
性別											
男 性	10.4	30.5	43.5	30.0	39.6	37.6	55.9	12.7	2.7	1.0	2.3
女 性	11.6	25.3	42.3	30.7	37.0	35.1	57.5	8.5	1.2	3.1	2.7
性別間の差	1.2	5.2	1.2	0.7	2.6	2.5	1.6	4.2	1.4	2.1	0.4

○ 社会基盤整備で重視すべき視点【年代別】

最大値

最小値

(%)

	市(町)外や県外に移動するための利便性	産業の発展	日常生活の利便性	地域の交通安全	快適な環境の保全・創造	老朽化施設の安全性	自然災害に対する安全・安心	コスト削減効果が高い新技術・新工法	その他	わからない	無回答
全 県	10.9	27.4	42.8	30.3	38.3	36.3	56.8	10.5	1.8	2.1	2.6
年代別											
20代	13.3	30.5	48.8	32.3	40.7	37.1	45.4	12.0	1.8	2.1	1.1
30代	13.2	28.7	46.5	42.6	35.6	37.9	55.2	9.2	1.5	1.0	0.9
40代	7.7	23.9	41.8	35.1	40.3	42.0	55.9	9.3	2.6	1.1	4.1
50代	12.7	31.2	37.0	28.2	42.5	42.0	65.9	7.4	2.6	0.6	0.4
60代	12.0	29.4	45.4	21.3	40.5	36.4	61.0	11.3	1.8	2.0	0.9
70代	8.9	24.0	43.5	29.8	35.7	30.8	54.1	11.7	0.3	3.5	3.9
80歳以上	10.5	25.1	38.1	31.1	26.1	21.6	47.9	13.2	2.6	5.9	9.2
年代間の差	5.6	7.4	11.8	21.2	16.4	20.5	20.5	5.8	2.4	5.3	8.8

問 1 6 整備が必要な社会基盤施設

問 1 6

あなたがお住まいの地域に、特に整備が必要と思う社会基盤施設やその対策を、次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

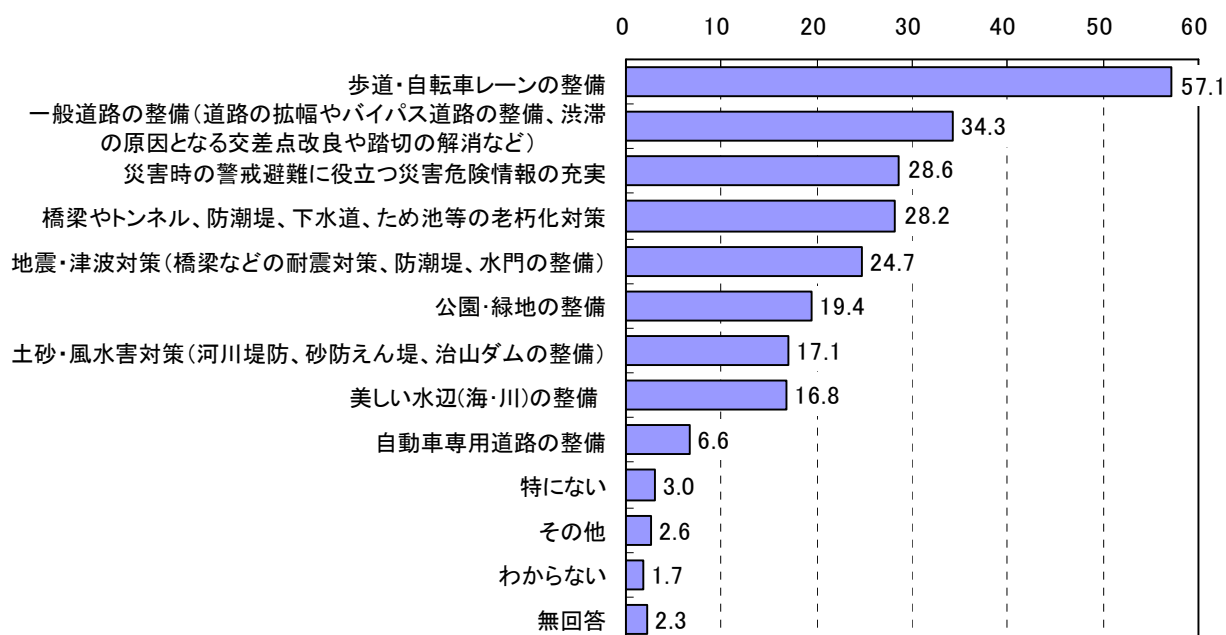
- 1 一般道路の整備（道路の拡幅やバイパス道路の整備、渋滞の原因となる交差点改良や踏切の解消など）
- 2 自動車専用道路の整備
- 3 歩道・自転車レーンの整備
- 4 地震・津波対策（橋梁などの耐震対策、防潮堤、水門の整備）
- 5 土砂・風水害対策（河川堤防、砂防えん堤、治山ダムの整備）
- 6 災害時の警戒避難に役立つ災害危険情報の充実
- 7 美しい水辺（海・川）の整備
- 8 橋梁やトンネル、防潮堤、下水道、ため池等の老朽化対策
- 9 公園・緑地の整備
- 10 その他（ ）
- 11 特にない
- 12 わからない

【全 県】

- 「歩道・自転車レーンの整備」が6割弱と突出して高く、次に「一般道路の整備」が3割半ばと続き、道路に関する項目が上位を占めている。以下、「災害時の警戒避難に役立つ災害危険情報の充実」や「橋梁やトンネル、防潮堤、下水道、ため池等の老朽化対策」、「地震・津波対策」が2割台で続いている。

○ 整備が必要な社会基盤施設

(%)



【地域別】

- 地域別では、「地震・津波対策（橋梁などの耐震対策、防潮堤、水門の整備）」が最も地域間の格差が大きく、次に「歩道・自転車レーンの整備」と「土砂・風水害対策（河川堤防、砂防えん堤、治山ダム）」が格差が大きくなっている。

○ 整備が必要な社会基盤施設【地域別】

								最大値		最小値		(%)	
	一般道路の整備（道路の拡幅やバイパス道路の整備、渋滞の原因となる交差点改良や踏切の解消など）	自動車専用道路の整備	歩道・自転車レーンの整備	地震・津波対策（橋梁などの耐震対策、防潮堤、水門の整備）	土砂・風水害対策（河川堤防、砂防えん堤、治山ダム）の整備	災害時の警戒避難に役立つ災害危険情報の充実	美しい水辺（海・川）の整備	橋梁やトンネル、防潮堤、下水道、ため池等の老朽化対策	公園・緑地の整備	その他	特になし	わからない	無回答
全 県	34.3	6.6	57.1	24.7	17.1	28.6	16.8	28.2	19.4	2.6	3.0	1.7	2.3
地域別													
神 戸	27.4	5.6	54.2	22.9	15.3	28.1	15.6	30.2	20.1	3.8	4.5	1.7	2.4
阪神南	30.6	4.5	59.6	39.2	12.5	30.2	17.0	25.7	23.0	2.3	1.9	1.1	2.3
阪神北	37.5	5.5	64.6	15.1	11.3	31.6	14.1	32.0	23.7	1.4	2.1	1.7	1.0
東播磨	46.4	7.2	63.9	25.8	11.7	23.4	17.5	27.5	16.5	3.8	2.1	2.1	2.1
北播磨	34.7	6.2	54.6	16.2	26.8	26.8	18.2	32.0	15.8	2.4	2.1	4.5	3.1
中播磨	42.1	9.0	59.3	23.1	20.7	30.0	17.6	23.1	19.0	1.0	2.4	0.7	2.4
西播磨	33.0	5.9	46.1	20.9	31.5	32.4	19.9	26.8	15.6	2.8	3.4	1.9	3.4
但 馬	34.2	23.2	37.9	15.7	37.9	26.3	19.7	24.1	13.2	1.6	4.4	2.5	3.8
丹 波	35.1	7.3	49.1	8.9	37.0	26.3	22.5	35.1	10.4	2.2	3.2	1.9	2.8
淡 路	30.2	6.6	47.2	37.2	24.7	29.5	20.1	26.0	8.7	1.0	4.2	2.4	2.1
地域間の差	19.0	18.7	26.7	30.4	26.6	9.0	8.4	12.0	15.0	2.8	2.6	3.8	2.7

【性別、年代別】

- 男女で差が最も大きいのは「一般道路の整備（道路の拡幅やバイパス道路の整備、渋滞の原因となる交差点改良や踏切の解消など）」で、次に「美しい水辺（海・川）の整備」が続く、いずれも男性が女性を上回っている。
- 年代間では「地震・津波対策（橋梁などの耐震対策、防潮堤、水門の整備）」が26.1ポイントと最も格差が大きく、続いて「一般道路の整備（道路の拡幅やバイパス道路の整備、渋滞の原因となる交差点改良や踏切の解消など）」が続く。

○ 整備が必要な社会基盤施設【性別】

(%)

	一般道路の整備（道路の拡幅やバイパス道路の整備、渋滞の原因となる交差点改良や踏切の解消など）	自動車専用道路の整備	歩道・自転車レーンの整備	地震・津波対策（橋梁などの耐震対策、防潮堤、水門の整備）	土砂・風水害対策（河川堤防、砂防えん堤、治山ダム等の整備）	災害時の警戒避難に役立つ災害危険情報の充実	美しい水辺（海・川）の整備	橋梁やトンネル、防潮堤、下水道、ため池等の老朽化対策	公園・緑地の整備	その他	特になし	わからない	無回答
全 県	34.3	6.6	57.1	24.7	17.1	28.6	16.8	28.2	19.4	2.6	3.0	1.7	2.3
性別													
男 性	38.2	6.8	55.7	24.5	17.9	27.7	20.0	29.5	20.4	3.4	2.0	1.6	1.7
女 性	31.4	6.4	58.5	25.4	16.5	28.8	14.6	27.4	18.9	2.1	3.7	1.7	2.5
性別間の差	6.9	0.4	2.8	0.9	1.4	1.1	5.5	2.1	1.4	1.2	1.6	0.1	0.8

○ 整備が必要な社会基盤施設【年代別】

最大値

最小値

(%)

	一般道路の整備（道路の拡幅やバイパス道路の整備、渋滞の原因となる交差点改良や踏切の解消など）	自動車専用道路の整備	歩道・自転車レーンの整備	地震・津波対策（橋梁などの耐震対策、防潮堤、水門の整備）	土砂・風水害対策（河川堤防、砂防えん堤、治山ダム等の整備）	災害時の警戒避難に役立つ災害危険情報の充実	美しい水辺（海・川）の整備	橋梁やトンネル、防潮堤、下水道、ため池等の老朽化対策	公園・緑地の整備	その他	特になし	わからない	無回答
全 県	34.3	6.6	57.1	24.7	17.1	28.6	16.8	28.2	19.4	2.6	3.0	1.7	2.3
年代別													
20代	34.5	7.0	51.6	39.2	16.3	17.7	20.8	26.0	25.4	3.7	4.5	0.6	1.3
30代	40.9	6.2	59.3	37.0	14.6	21.7	22.7	26.4	26.3	4.5	0.4	0.5	1.0
40代	36.0	5.7	60.4	24.7	13.9	21.4	15.9	26.2	23.1	2.4	1.7	2.6	3.2
50代	42.6	8.5	54.9	25.4	20.6	26.8	18.2	39.2	14.9	1.1	1.7	0.5	0.4
60代	32.8	5.3	57.9	23.2	20.0	32.3	17.2	30.2	20.4	1.7	2.8	1.2	0.9
70代	30.4	6.5	61.6	17.1	15.7	37.8	11.8	24.0	14.5	2.9	3.9	2.9	3.0
80歳以上	16.6	7.6	48.5	13.1	16.4	36.1	13.7	18.7	15.1	4.8	7.5	4.1	7.6
年代間の差	26.0	3.2	13.2	26.1	6.6	20.2	10.9	20.5	11.8	3.7	7.1	3.6	7.2

5 毎年調査項目

問18 今の生活全般での満足度

問18

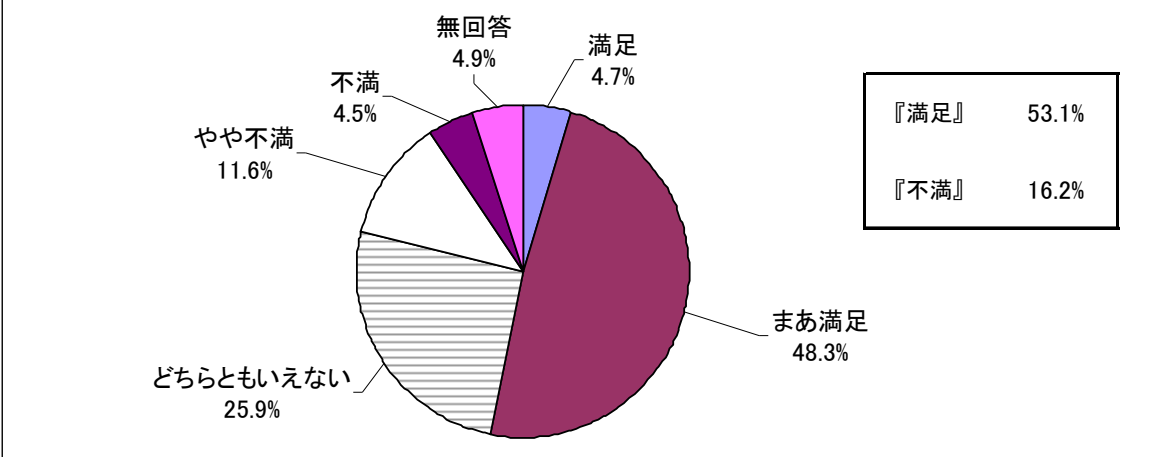
あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------|
| 1 満足 | 2 まあ満足 |
| 3 どちらともいえない | 4 やや不満 |
| 5 不満 | |

【全 県】

- 「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』が、「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』を36.9ポイント上回っている。

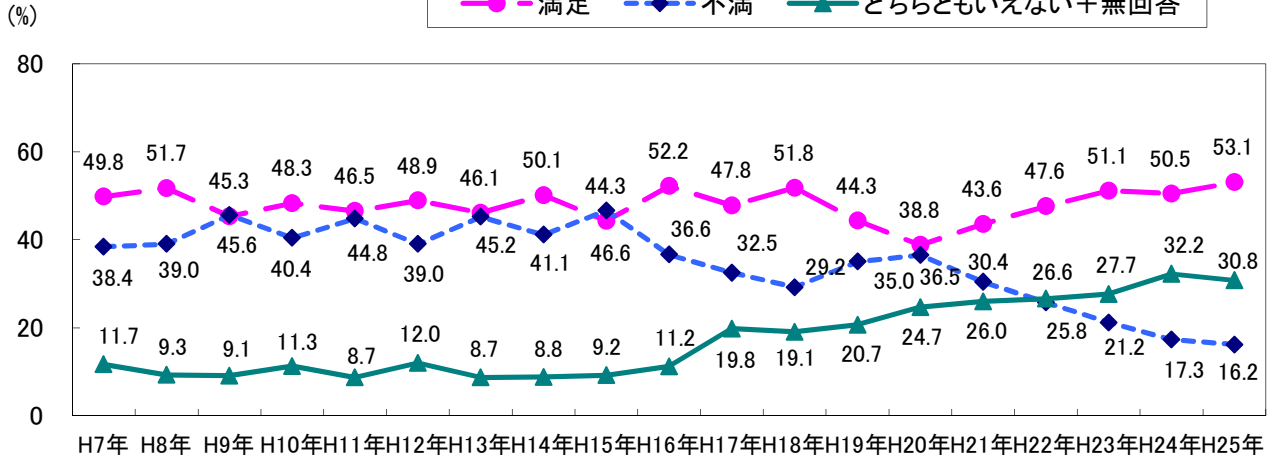
○ 今の生活全般での満足度



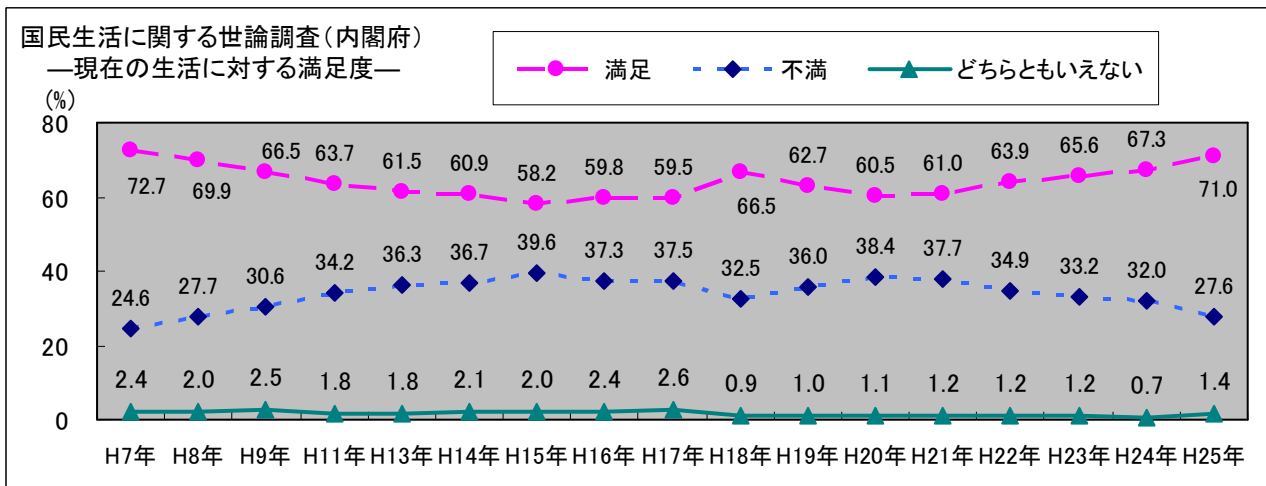
【経年比較】

- 『満足』は前年度減少したが、今年度は2.6ポイント増加し、過去最高となっている。『不満』については前年より1.1ポイント減少し、4年連続で過去最低を更新している。

◎ 生活の満足度【経年比較】

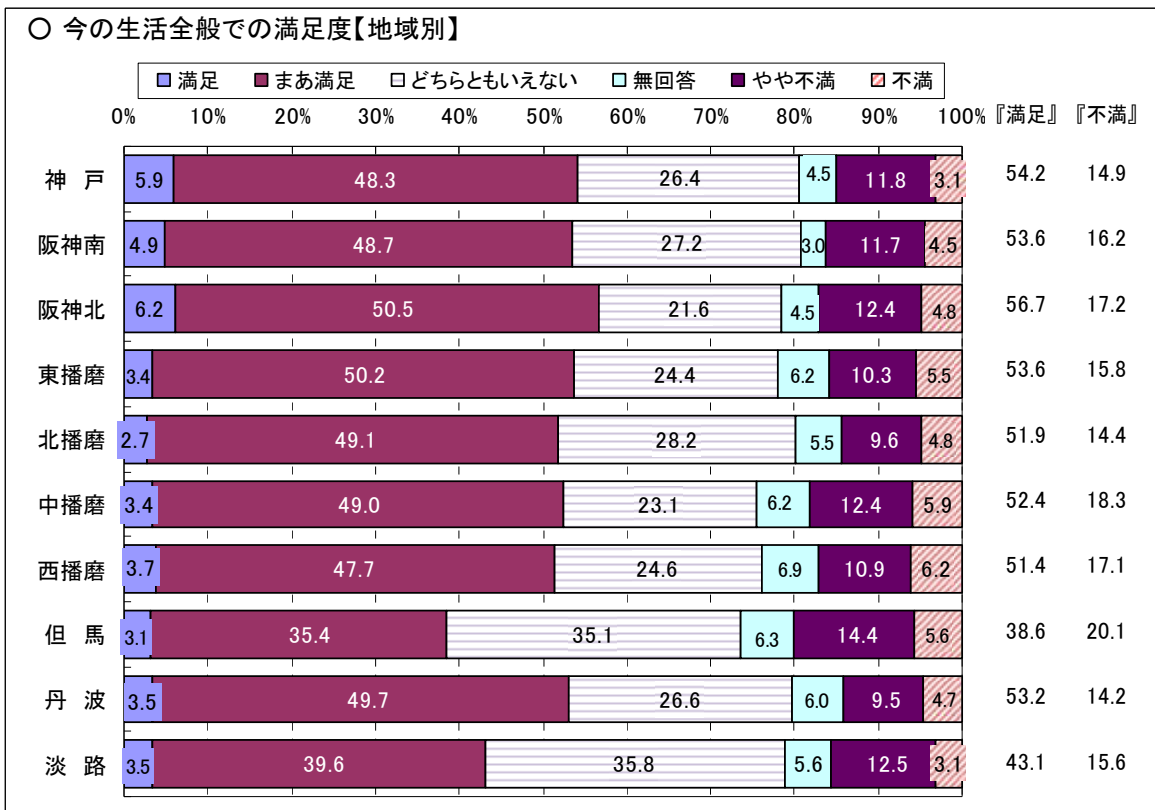


(参 考)



【地域別】

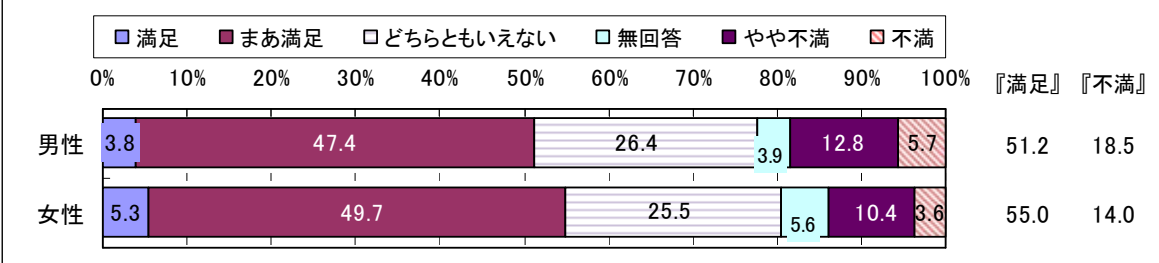
● 阪神北が最も高く、神戸、阪神南、東播磨、丹波で全県の満足度（53.1%）を上回っている。



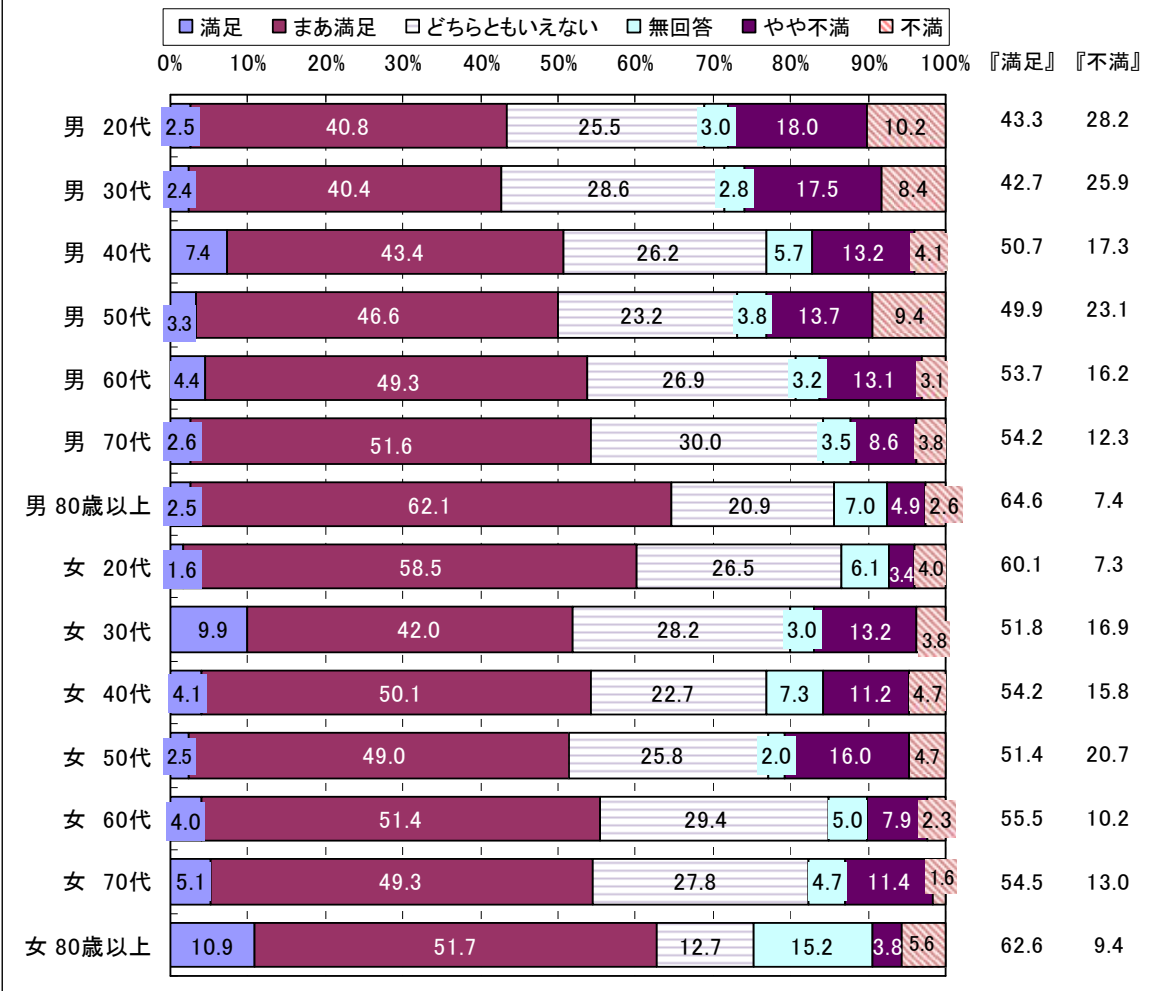
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性より満足度が3.8ポイント高い。
- 男女ともに、全ての年代で『満足』が『不満』を上回っており、最も『満足』の割合が多いのは男女ともに80代以上でいずれも6割を上回っている。

○ 今の生活全般での満足度【性別】

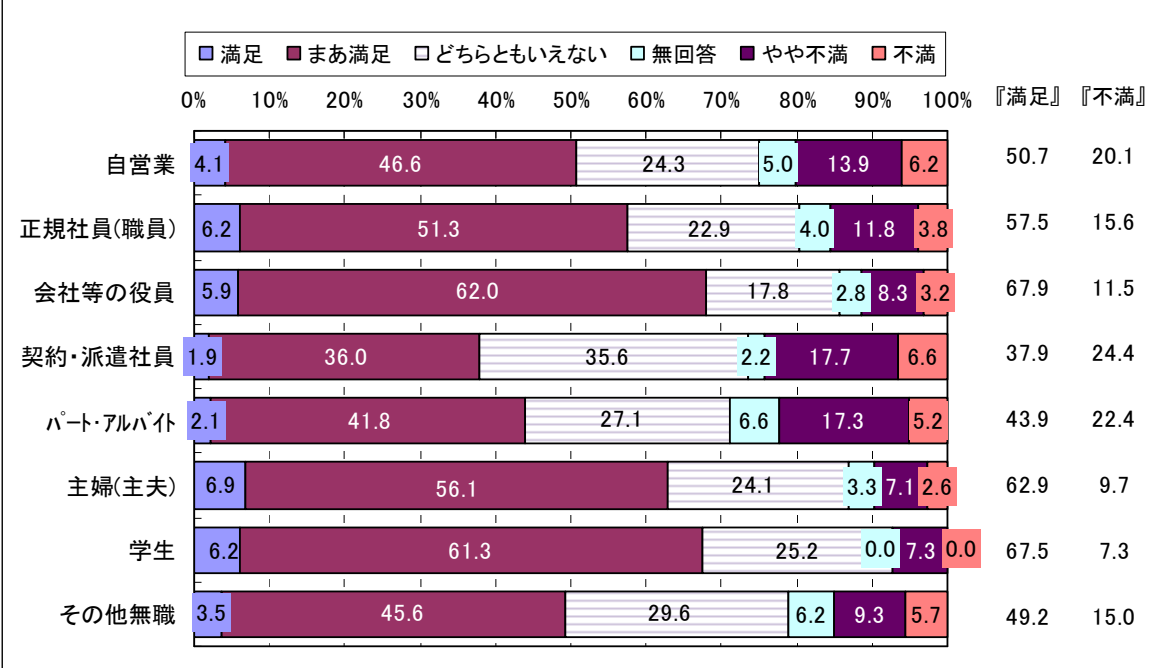


○ 今の生活全般での満足度【性・年代別】



【職業別】

○ 今の生活全般での満足度【職業別】



問 19 今の生活の個別側面での満足度

問 19

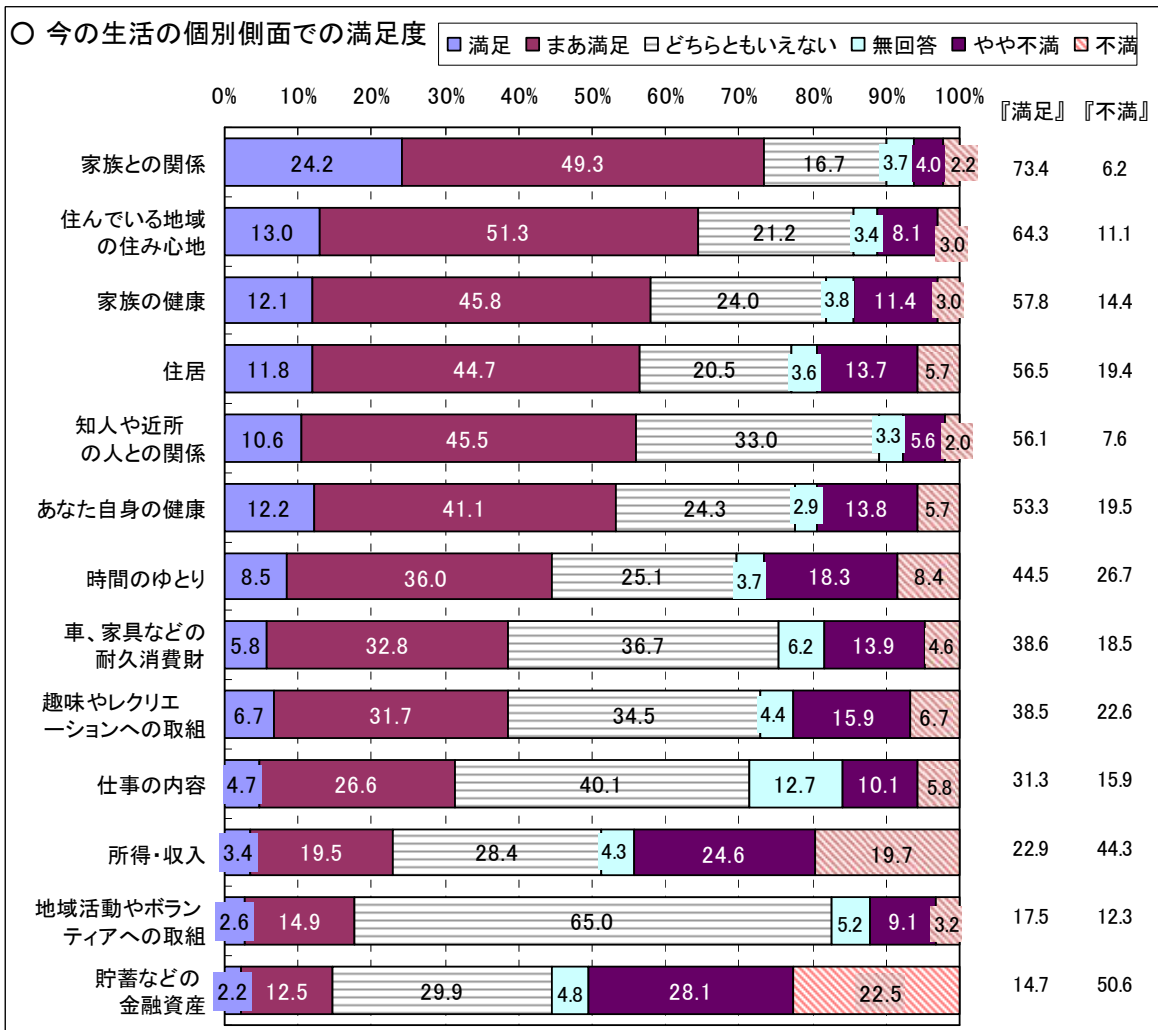
あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれどの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------------|-------------------|
| ア 所得・収入 | イ 貯蓄などの金融資産 |
| ウ 住居 | エ 車、家具などの耐久消費財 |
| オ 時間のゆとり | カ 趣味やレクリエーションへの取組 |
| キ 地域活動やボランティアへの取組 | ク 仕事の内容 |
| ケ 家族との関係 | コ 知人や近所の人との関係 |
| サ 住んでいる地域の住み心地 | シ あなた自身の健康 |
| ス 家族の健康 | |

- 1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない 4 やや不満 5 不満

【全 県】

- 「満足」と「まあ満足」を合わせた『満足』では、〔家族との関係〕が7割を超え最も多く、〔住んでいる地域の住み心地〕、〔家族の健康〕、〔住居〕の順で続いており、13項目中6項目で『満足』が5割を上回っている。
- 「不満」と「やや不満」を合わせた『不満』では、〔貯蓄などの金融資産〕が5割を超え、〔所得・収入〕が4割半ばで、いずれも『満足』を上回っている。

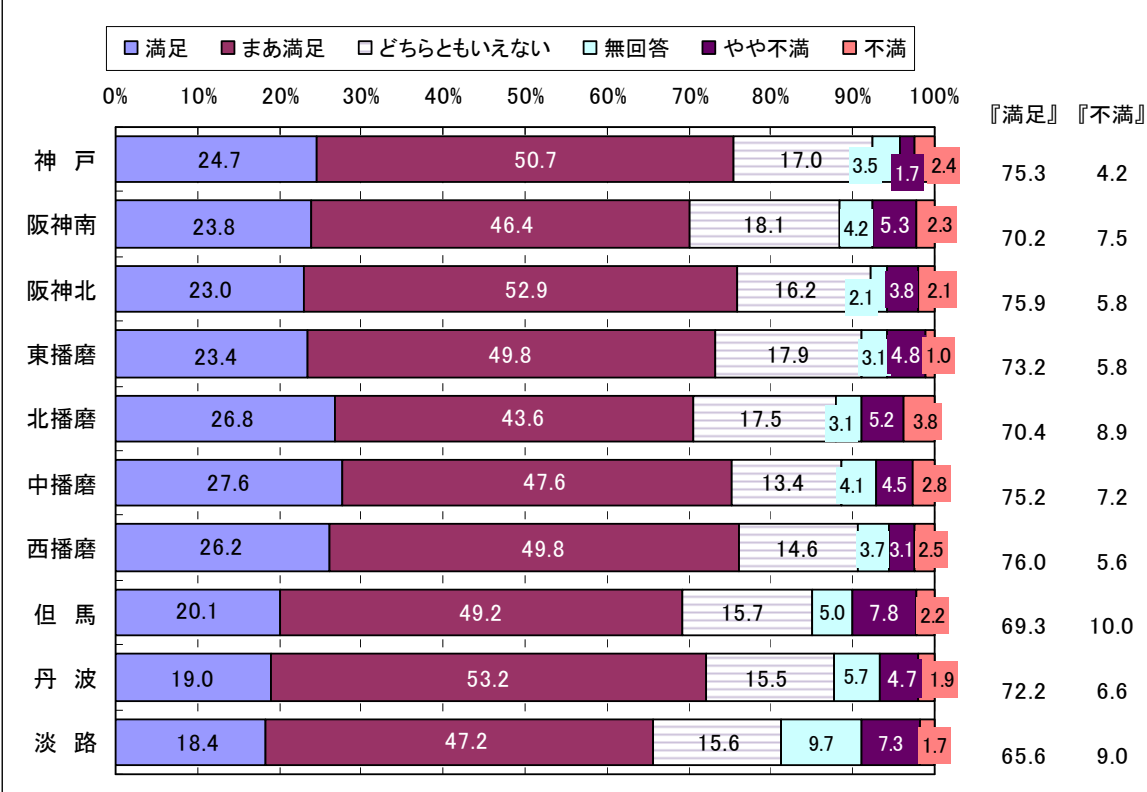


〔家族との関係〕

【地域別】

- 〔家族との関係〕では、西播磨の満足度が最も高くなっており、神戸、阪神北、中播磨が全県（73.4%）を上回っている。

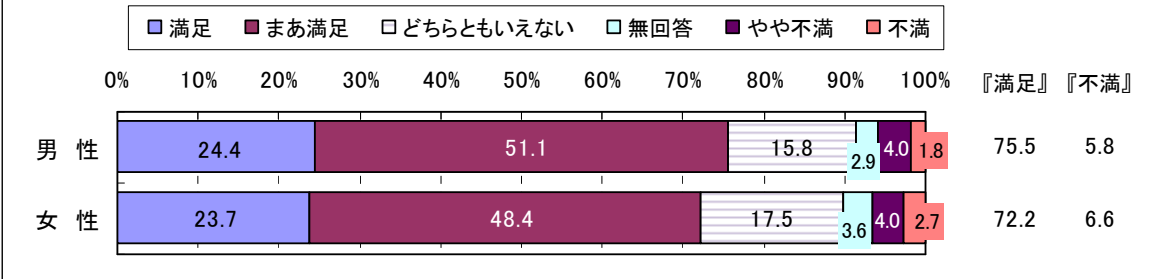
○ ケ 家族との関係【地域別】



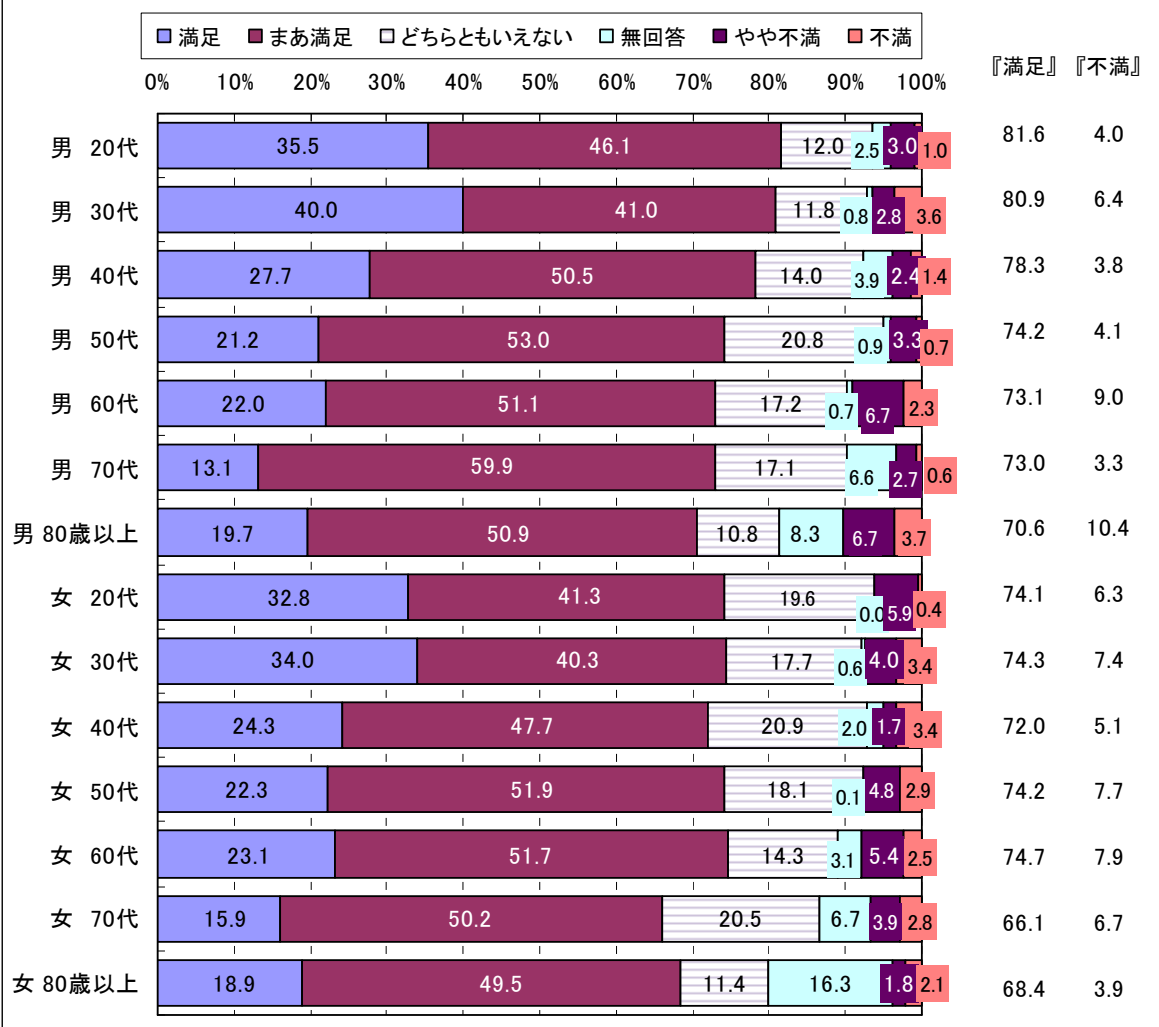
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より満足度が3.3ポイント高い。
- 性・年代別では、男性の20、30代の満足度が特に高くなっている。

○ ケ 家族との関係【性別】

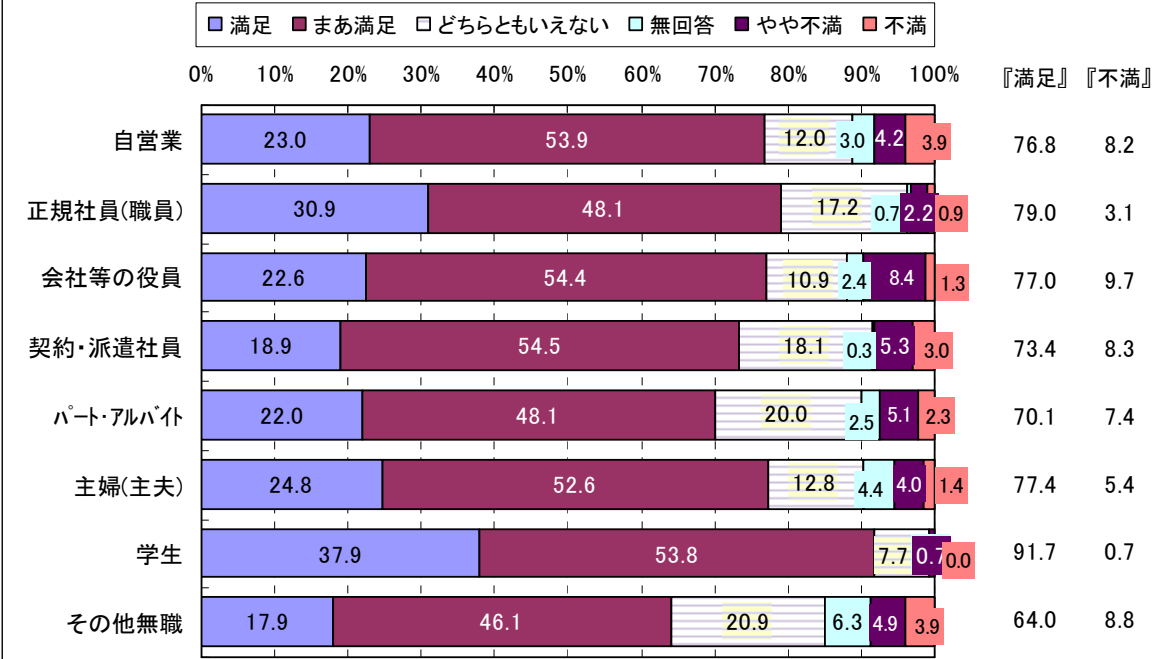


○ ケ 家族との関係【性・年代別】



【職業別】

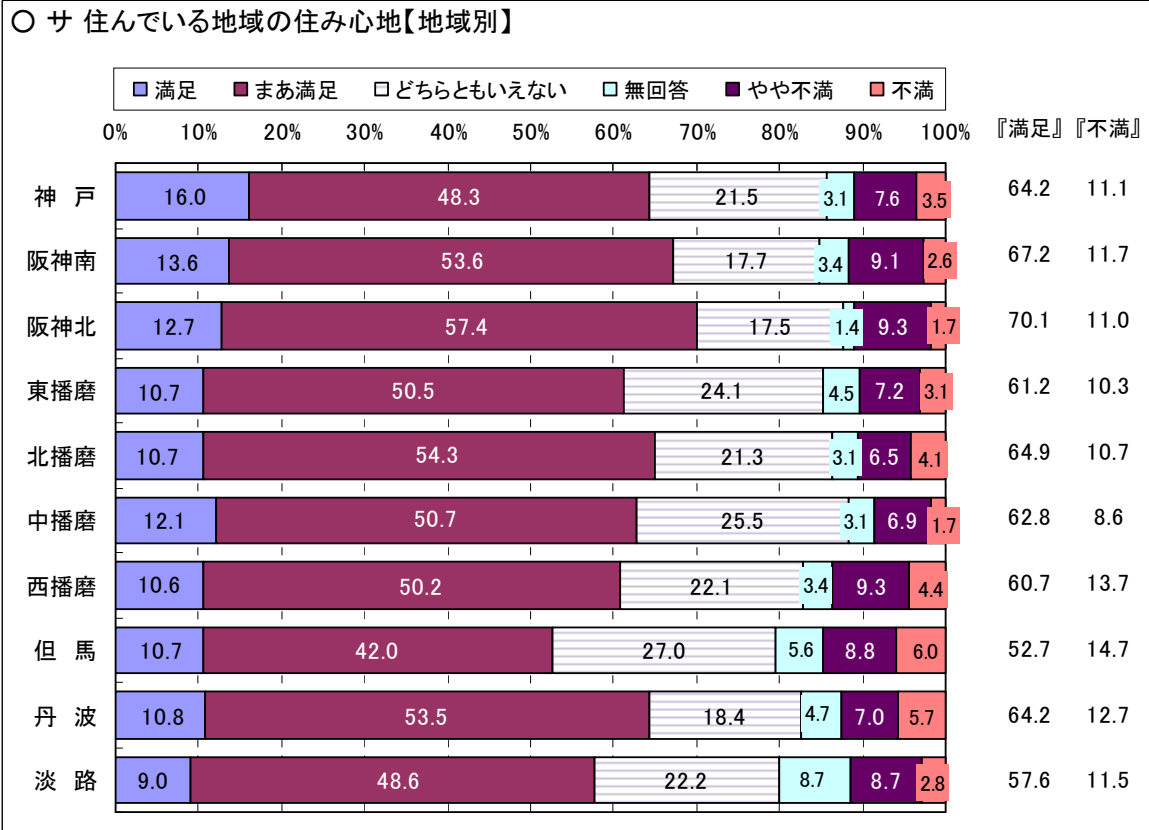
○ ケ 家族との関係【職業別】



〔住んでいる地域の住み心地〕

【地域別】

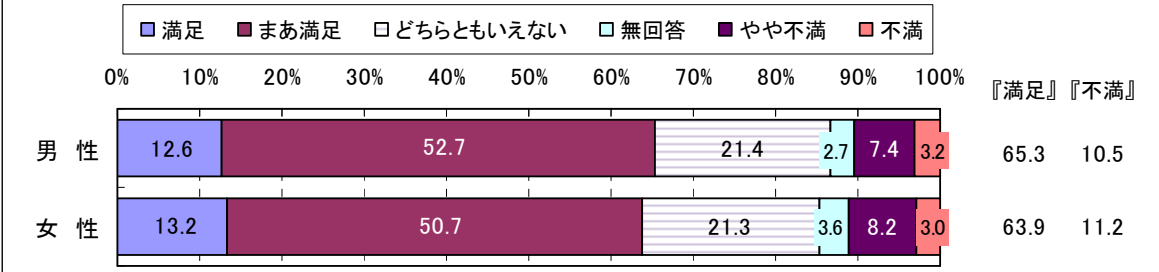
- 阪神北が最も満足度が高く、阪神南、北播磨が全県（64.3%）を上回っている。



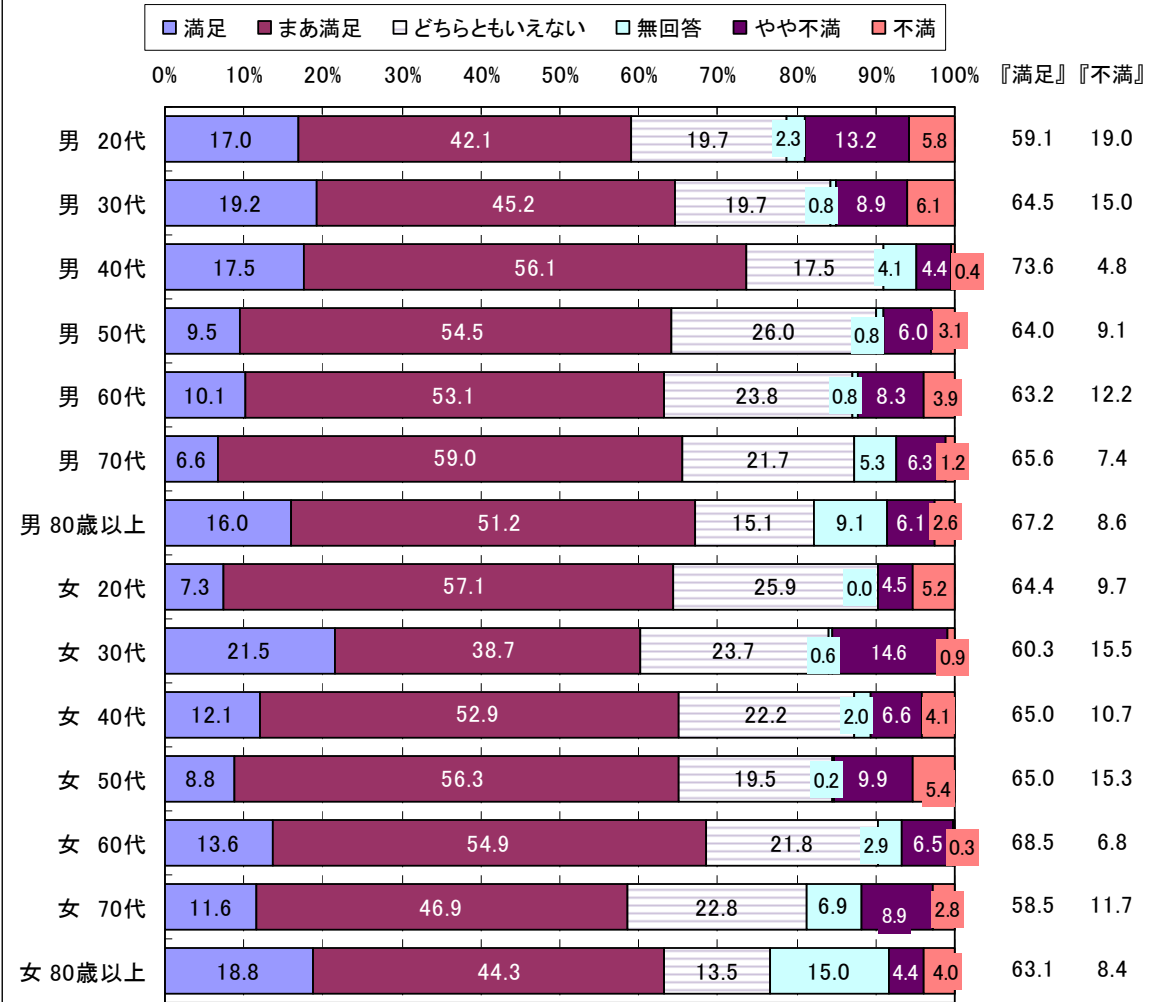
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より1.4ポイント満足度が高い。
- 性・年代別では、男性の40代が7割を超え、満足度が最も高くなっている。

○ サ 住んでいる地域の住み心地【性別】

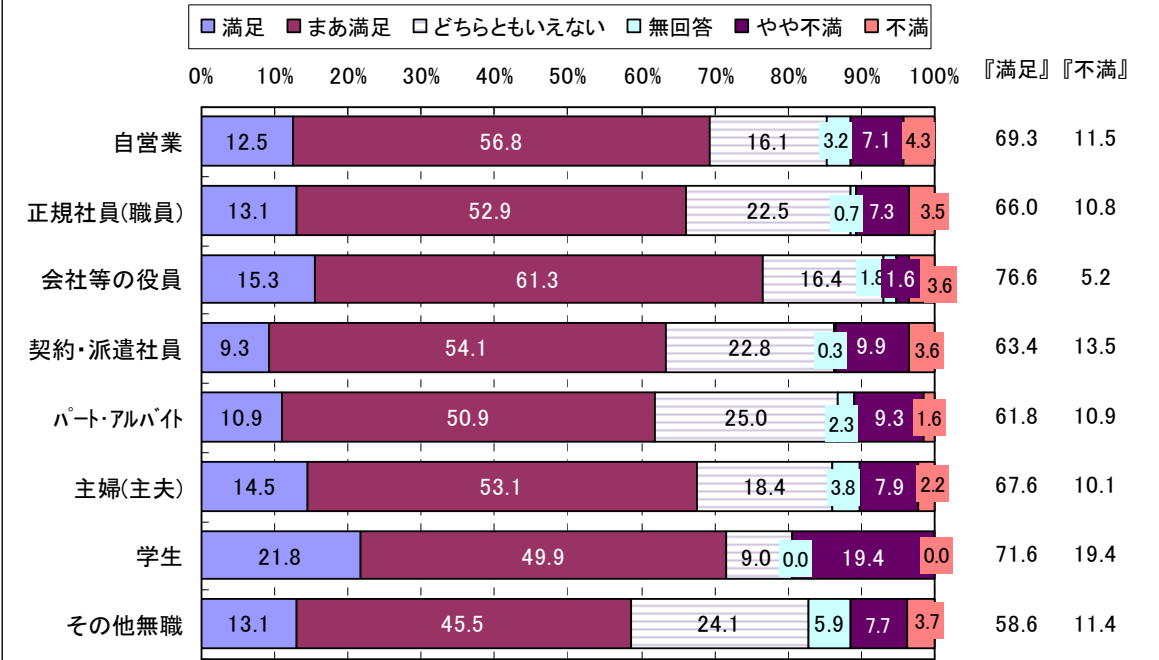


○ サ 住んでいる地域の住み心地【性・年代別】



【職業別】

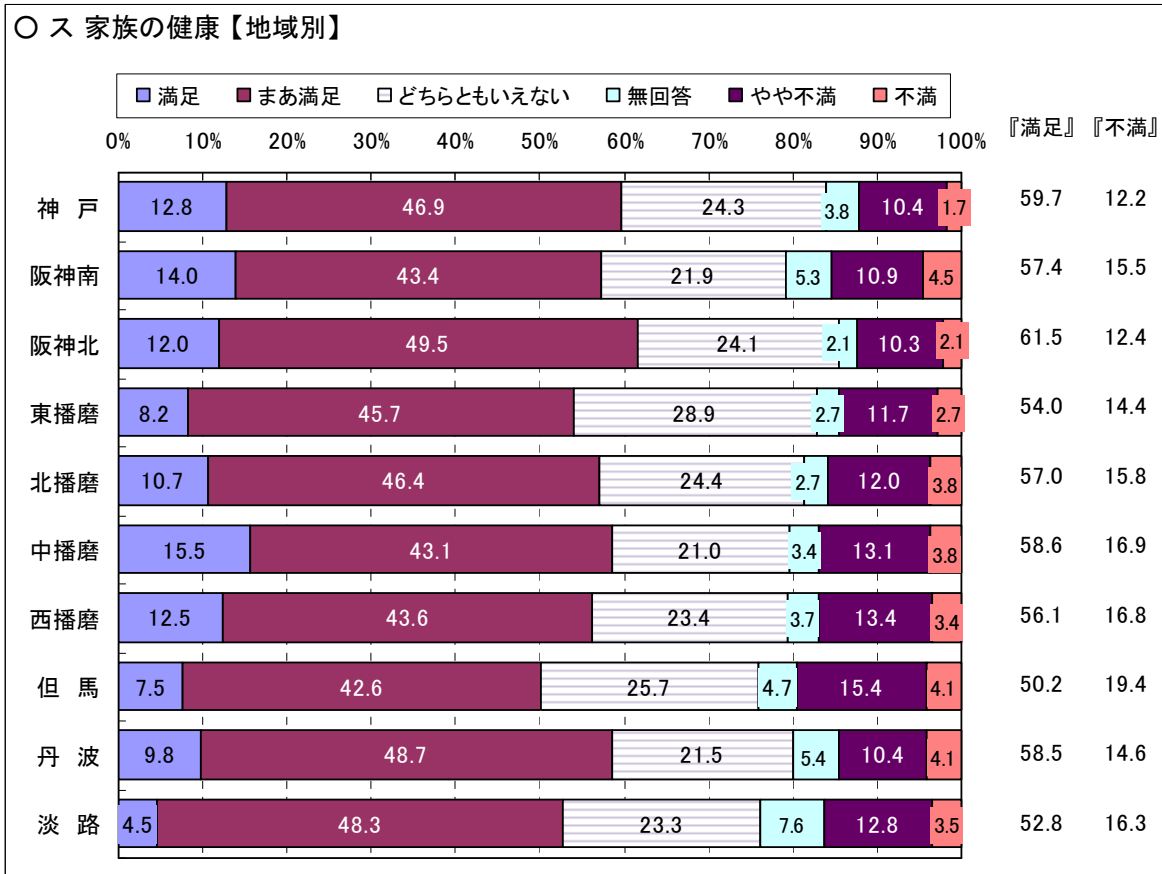
○ サ 住んでいる地域の住み心地【職業別】



〔家族の健康〕

【地域別】

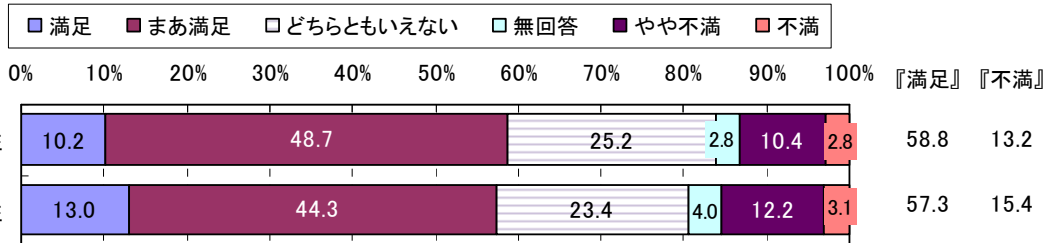
- 阪神北の満足度が6割を超え最も高くなっており、神戸、中播磨、丹波が全県の満足度（57.8%）を上回っている。



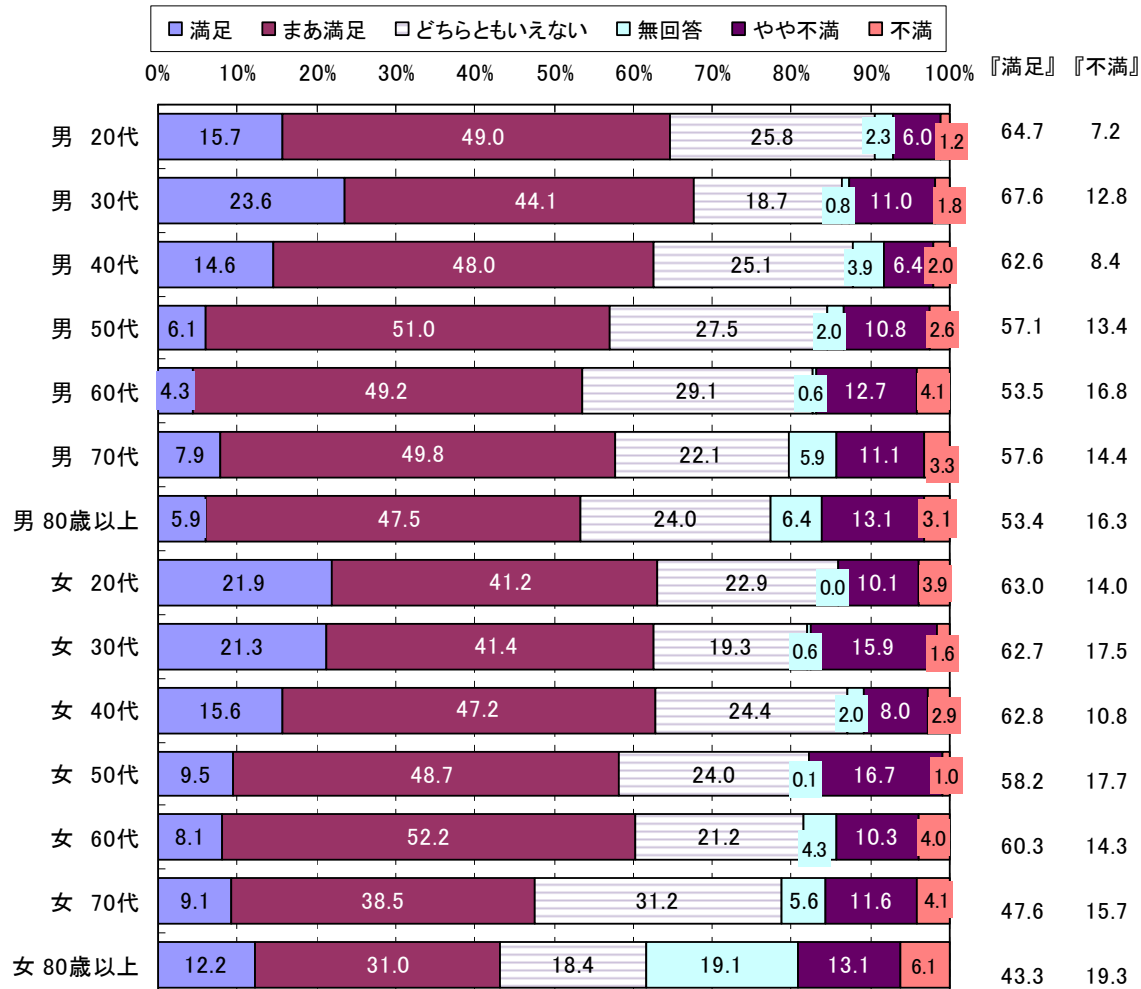
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より1.5ポイント満足度が高い。
- 性・年代別では、男女ともに高齢の方の満足度が低い傾向にある。

○ ス 家族の健康【性別】

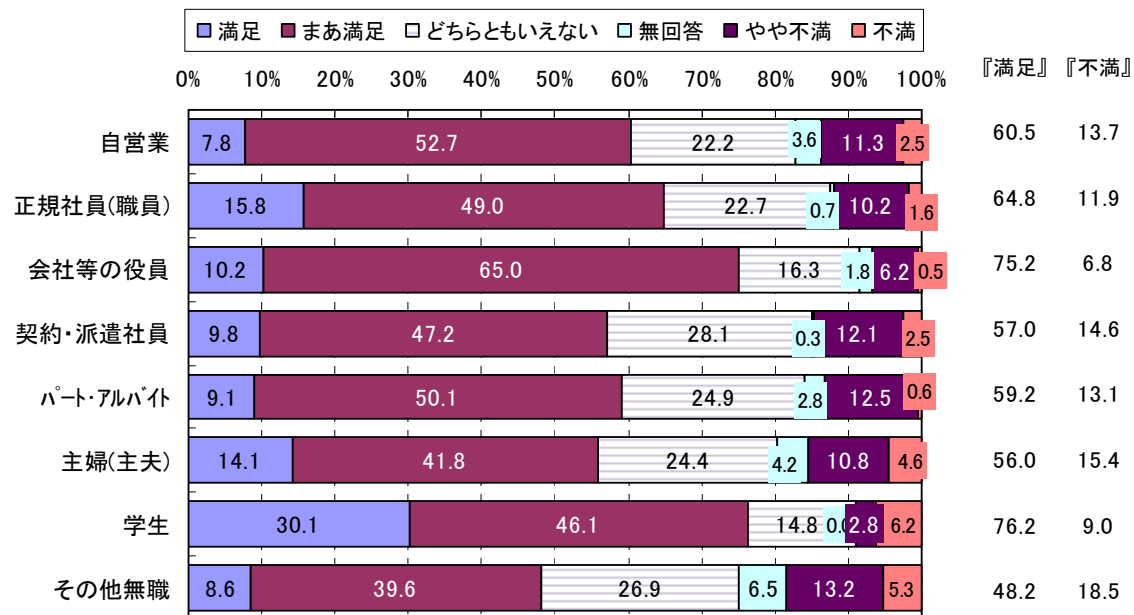


○ ス 家族の健康【性・年代別】



【職業別】

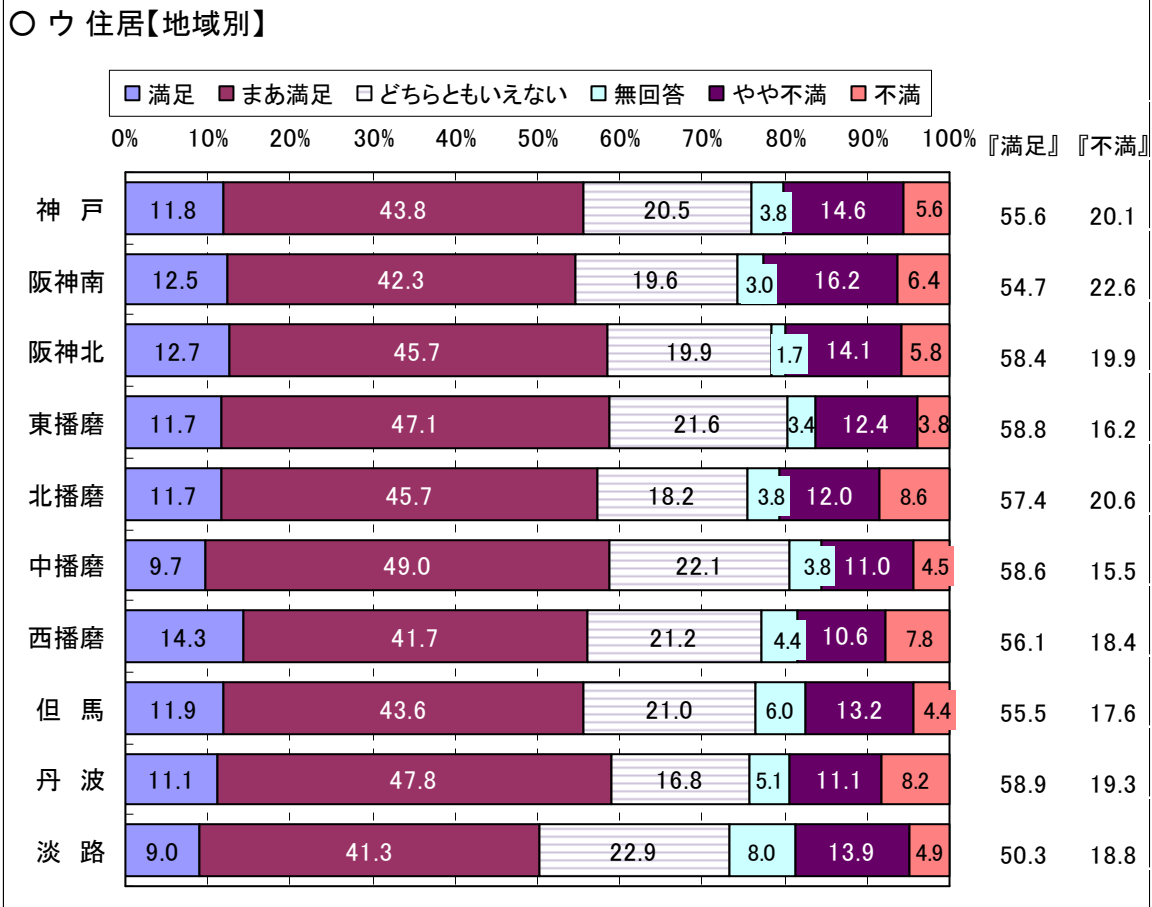
○ ス 家族の健康【職業別】



〔住居〕

【地域別】

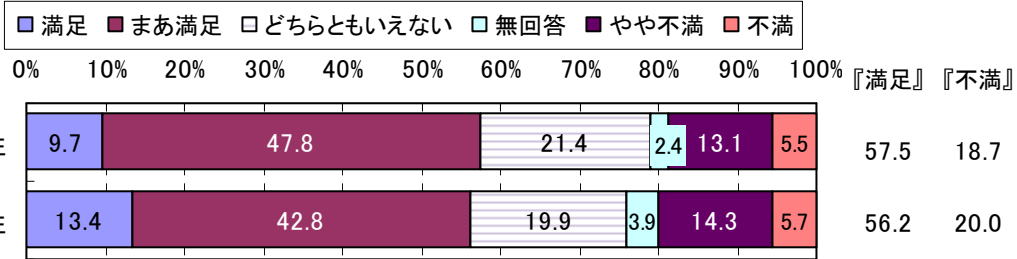
- 地域別では、全地域とも満足度が5割を上回っているが、その中で淡路が最も低くなっている。



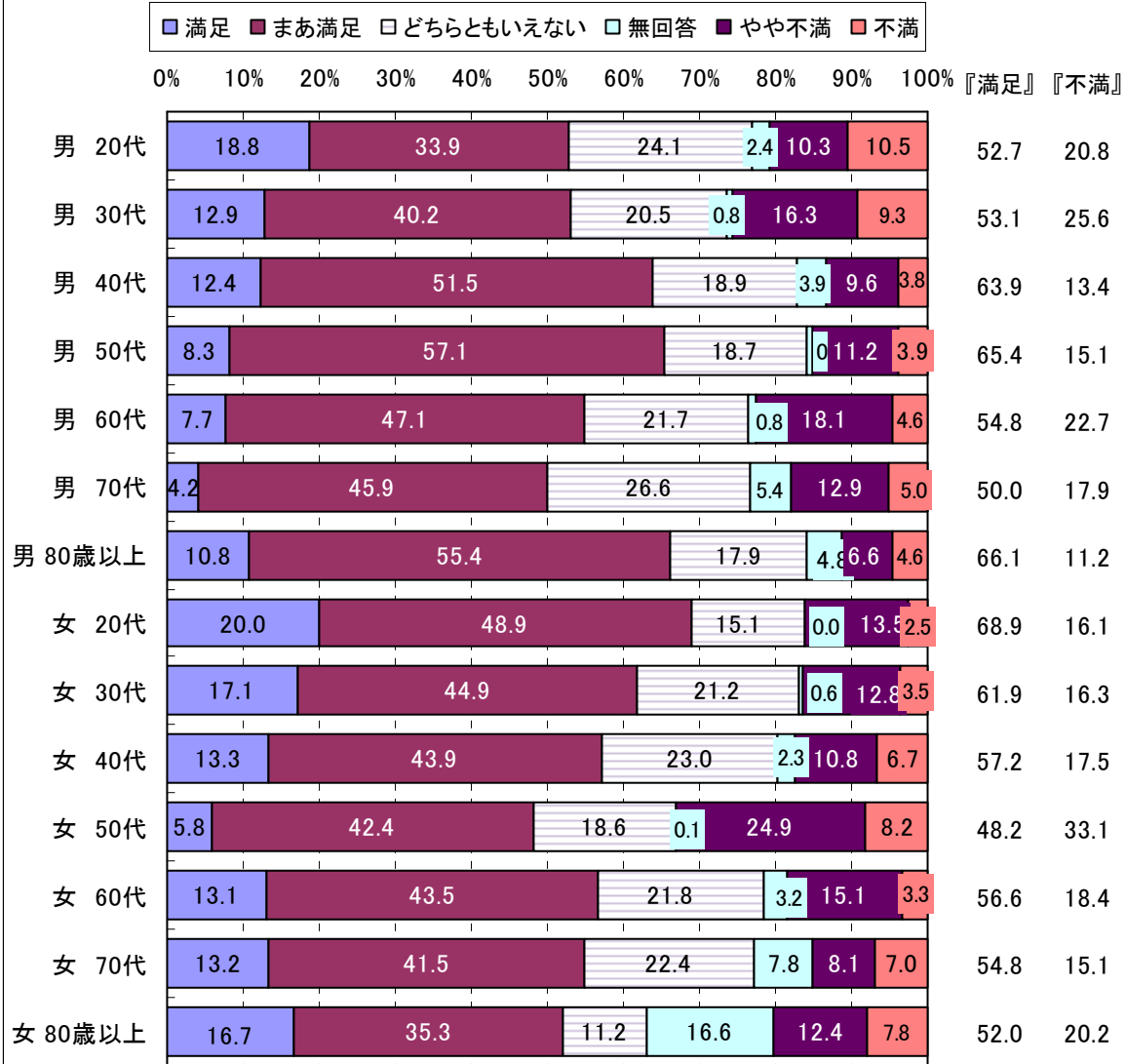
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より1.3ポイント満足度が高い。
- 性・年代別では、男性は40代、50代、80代が、女性では20代、30代、40代、60代が全県の満足度（56.5%）を上回っている。

○ ウ 住居【性別】

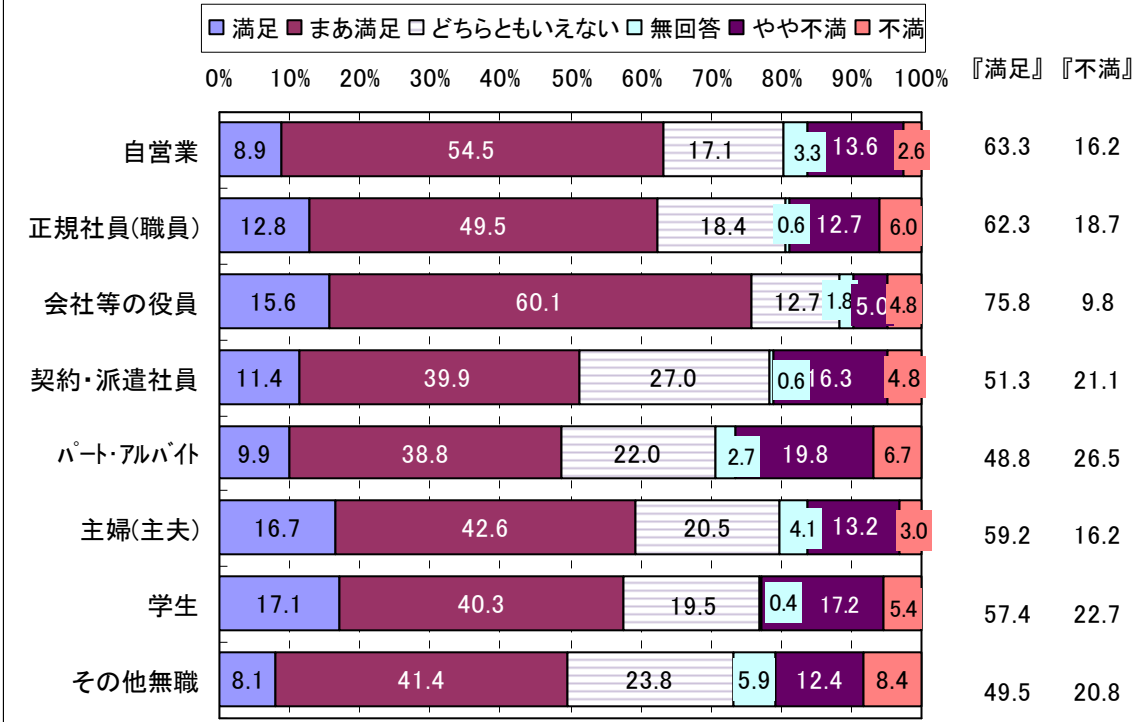


○ ウ 住居【性・年代別】



【職業別】

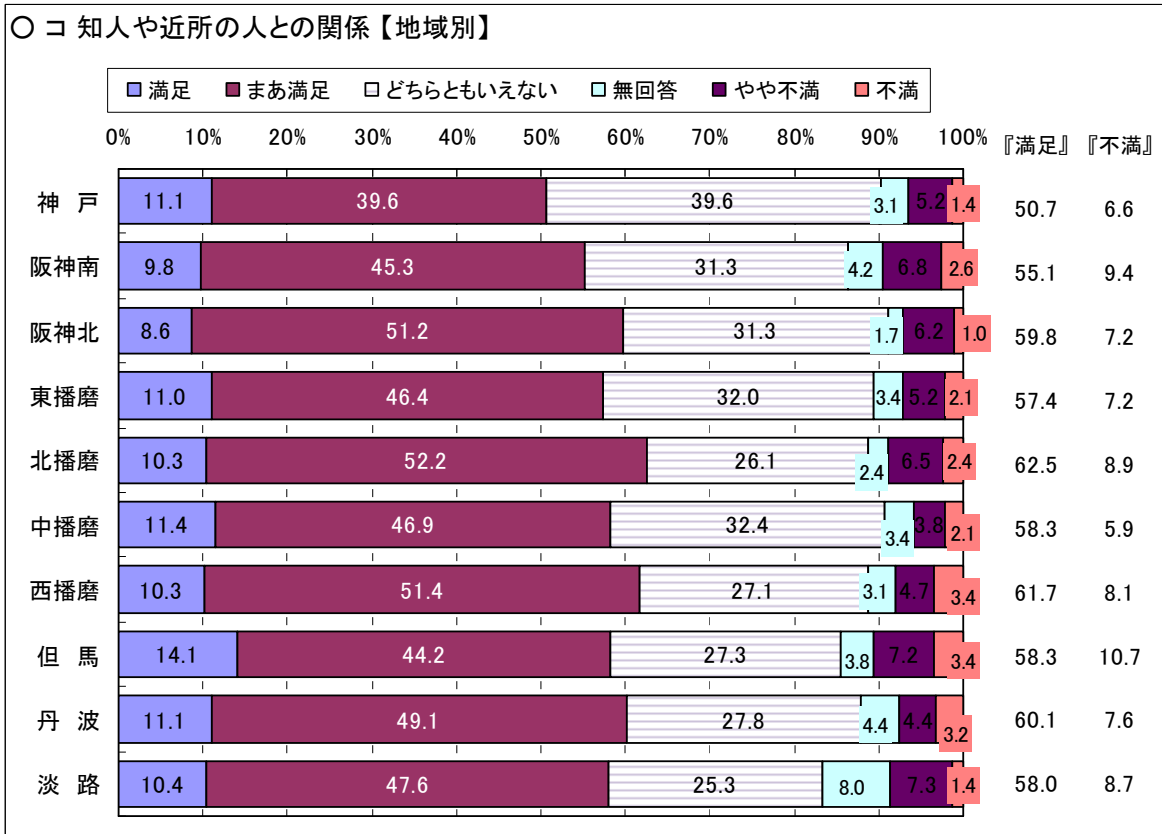
○ ウ 住居【職業別】



〔知人や近所の人との関係〕

【地域別】

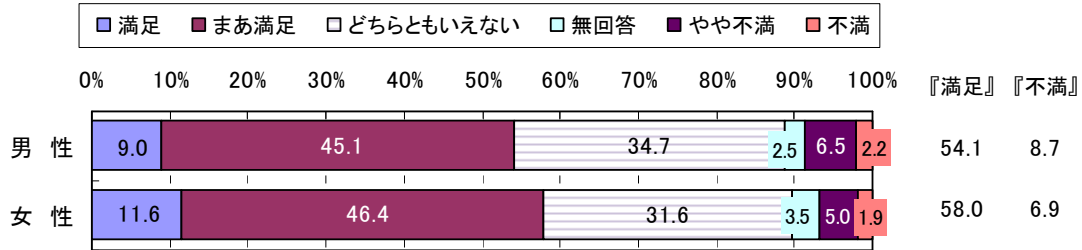
- 神戸、阪神南以外は、満足度が全県の満足度（56.1%）を上回っている。



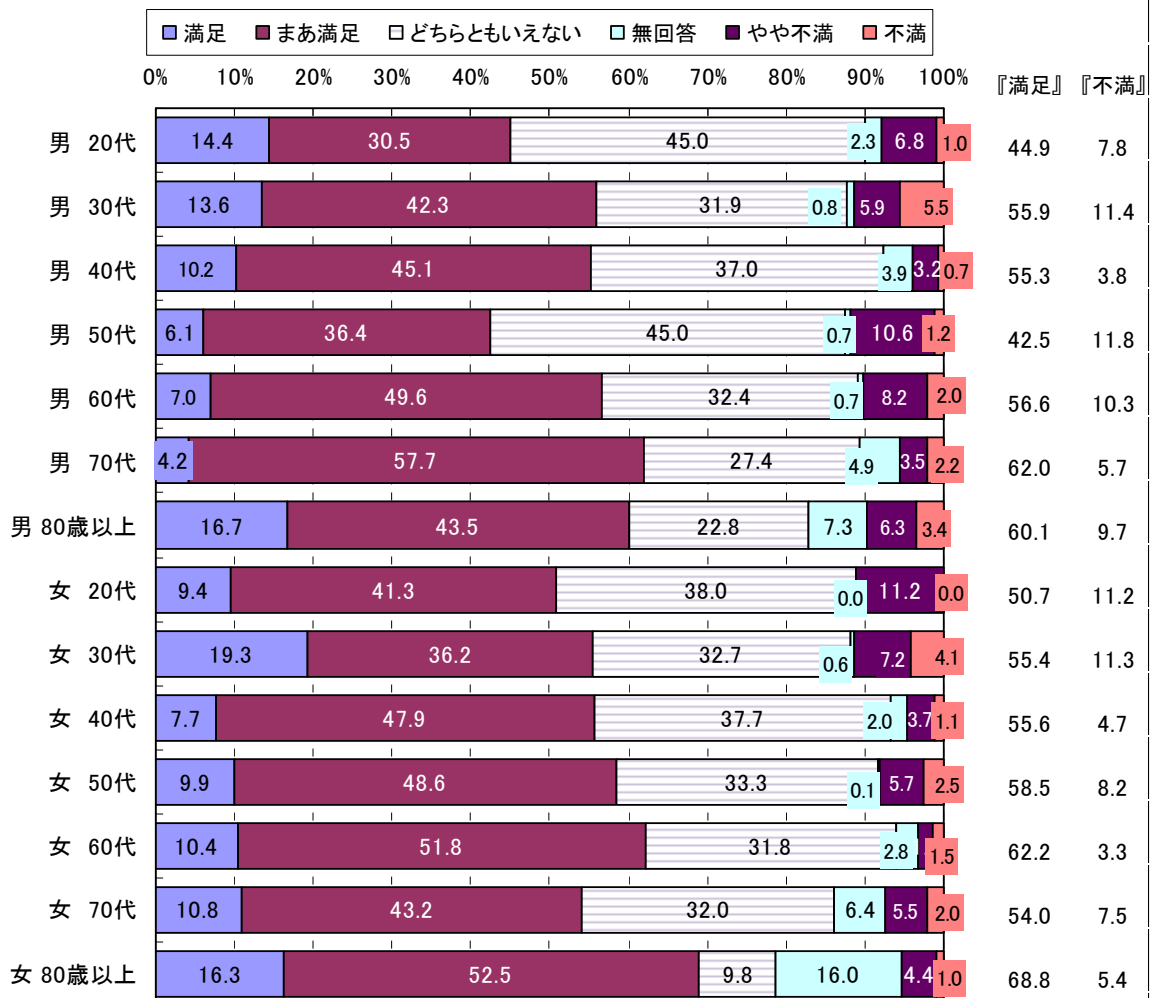
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性の満足度より3.9ポイント高い。
- 性・年代別では、男性の20代と50代が5割を切って低くなっている。

○ コ 知人や近所の人との関係【性別】

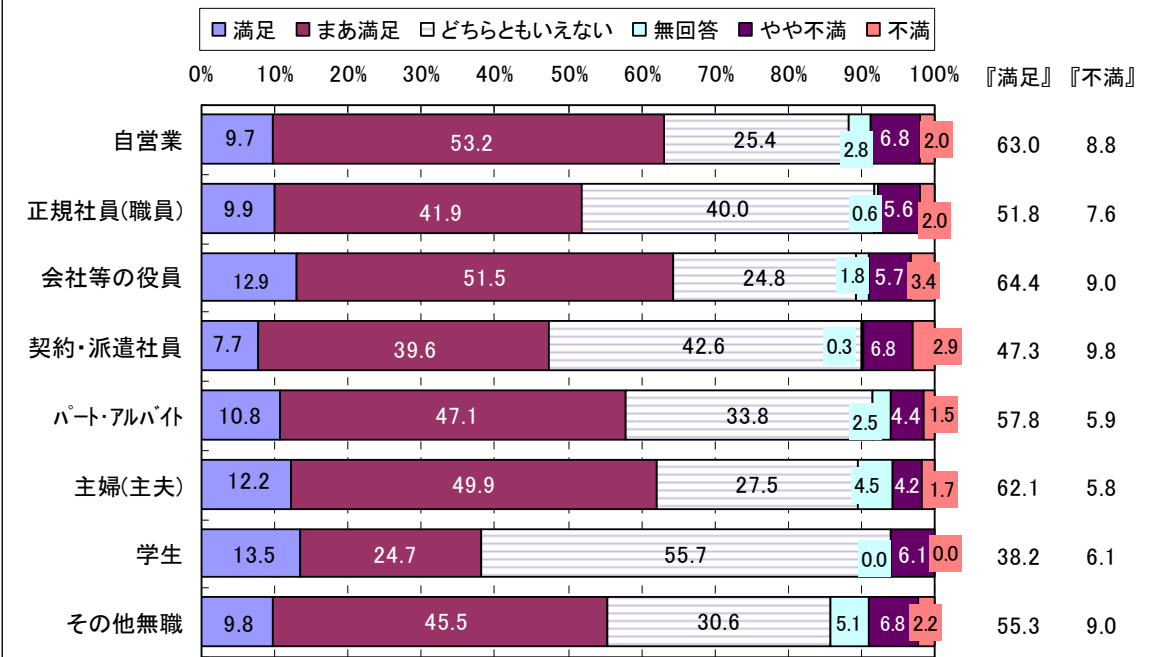


○ コ 知人や近所の人との関係【性・年代別】



【職業別】

○ コ 知人や近所の人との関係【職業別】

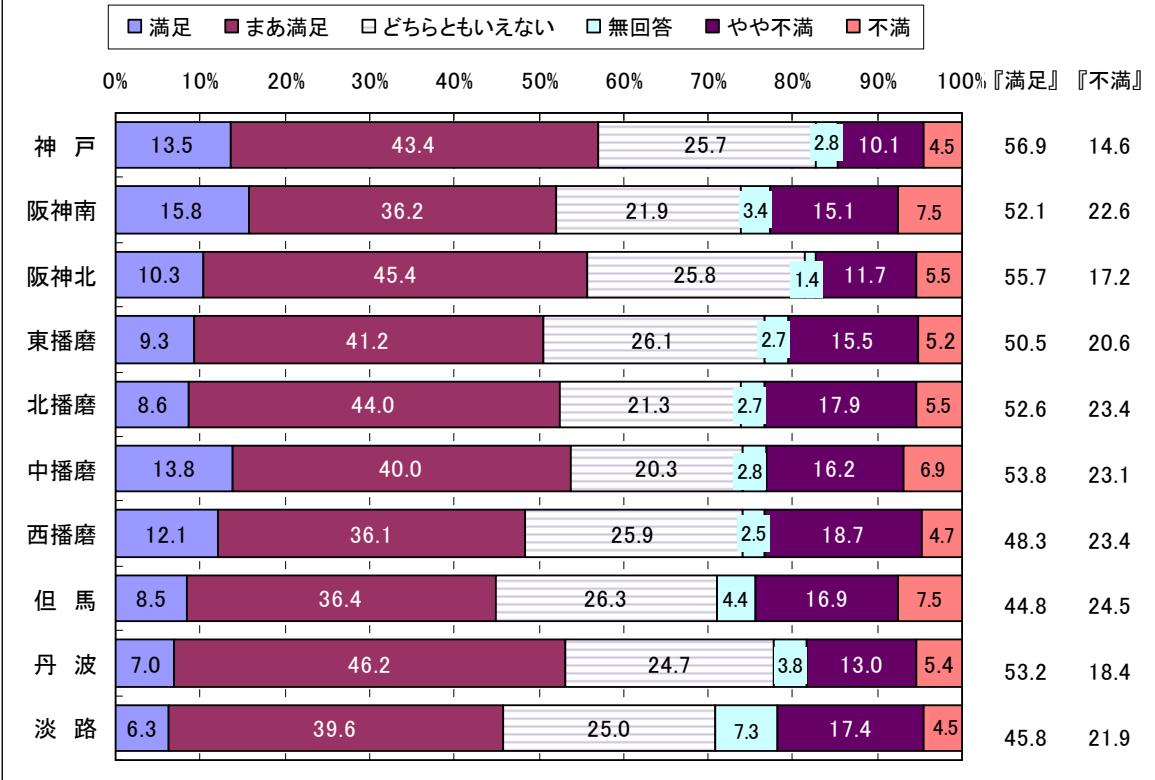


〔あなた自身の健康〕

【地域別】

- 地域別では、神戸が最も高く、阪神北、中播磨で全県の満足度（53.3%）を上回っている。

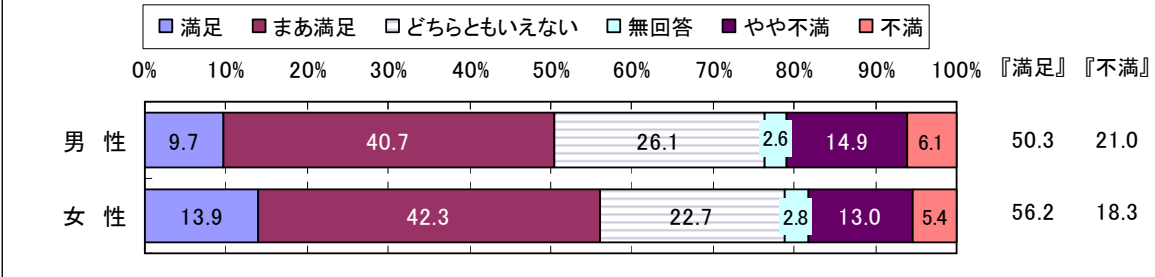
○ シ あなた自身の健康【地域別】



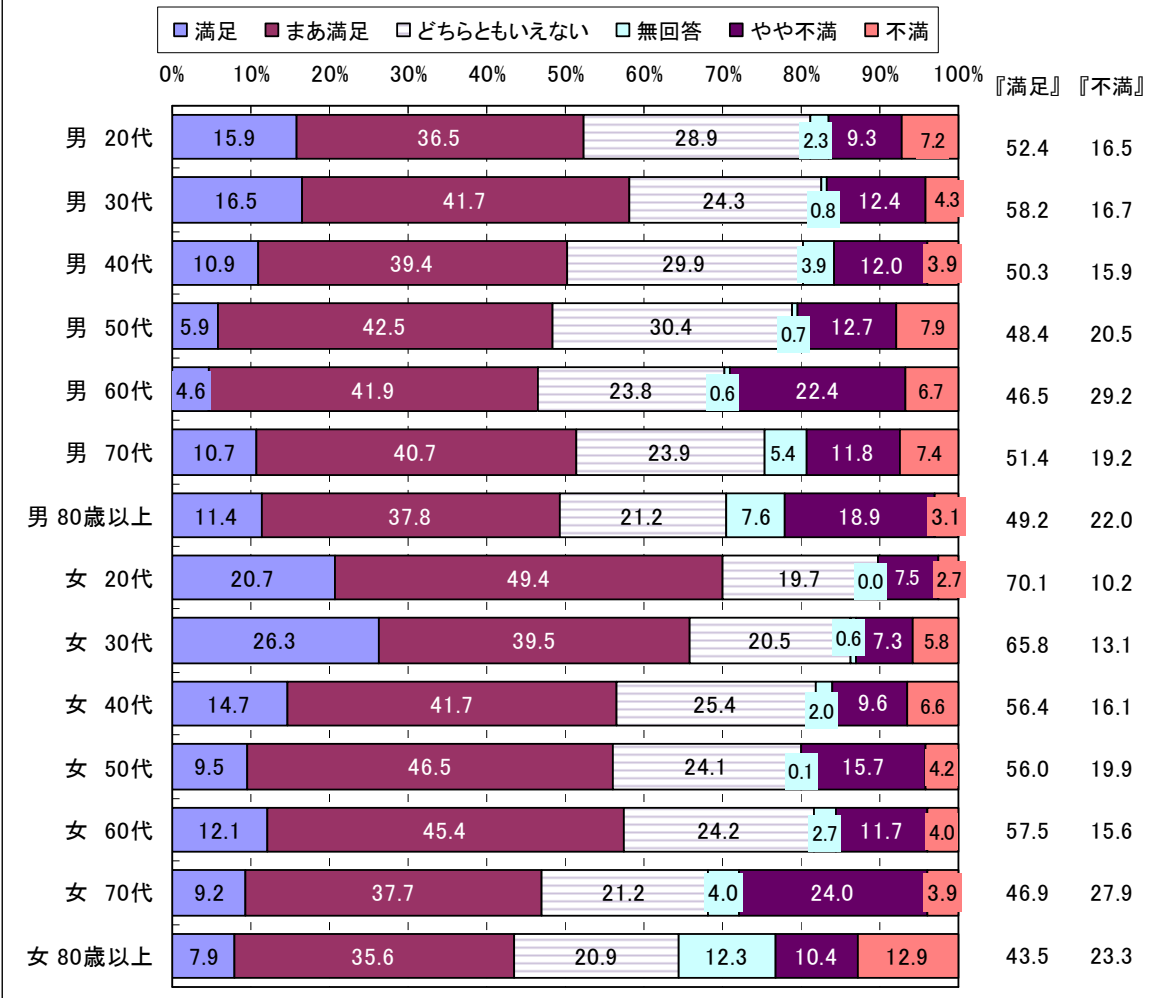
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性の満足度より5.9ポイント高い。
- 性・年代別では、若年層の満足度が高い傾向がみられ、特に女性の20代は約7割を上回り高くなっている。

○ シ あなた自身の健康【性別】

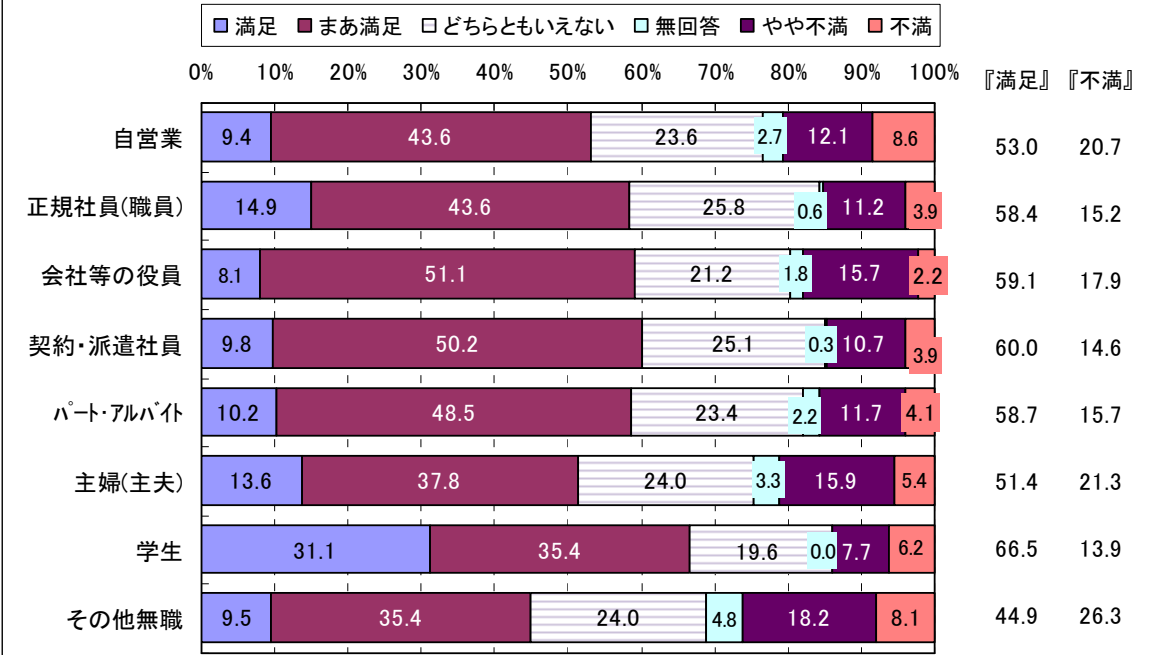


○ シ あなた自身の健康【性・年代別】



【職業別】

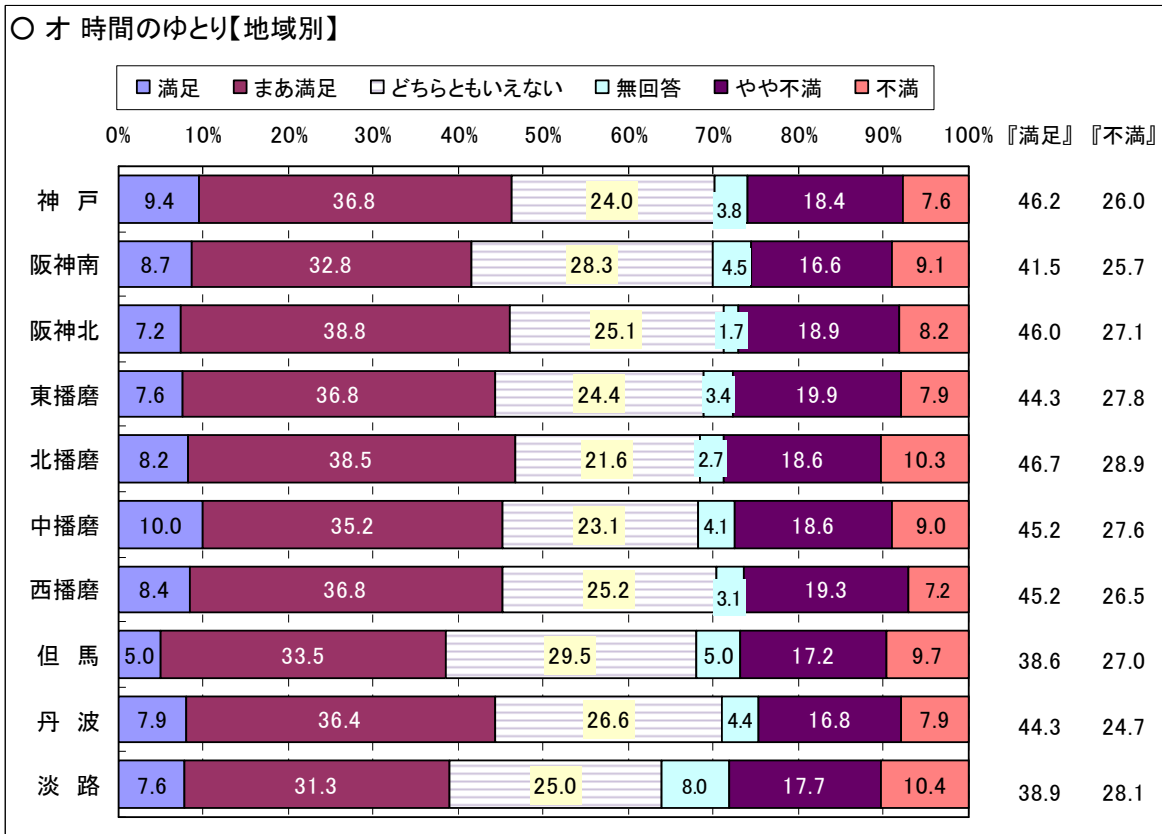
○ シ あなた自身の健康【職業別】



〔時間のゆとり〕

【地域別】

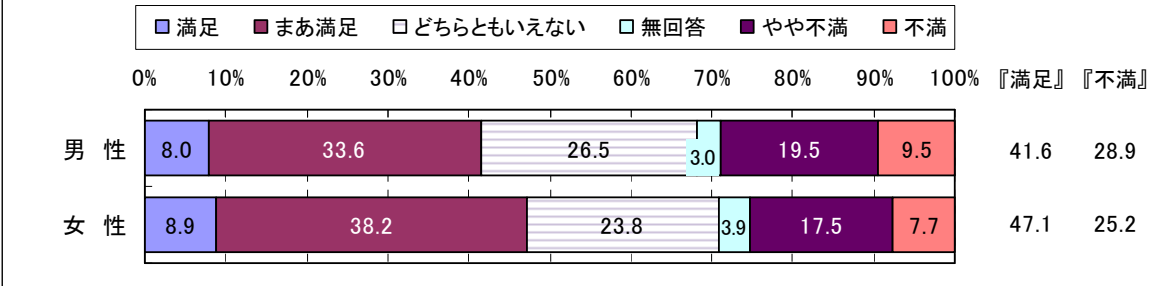
- 北播磨の満足度が最も高く、神戸、阪神北、中播磨、西播磨が全県の満足度（44.5%）を上回っている。



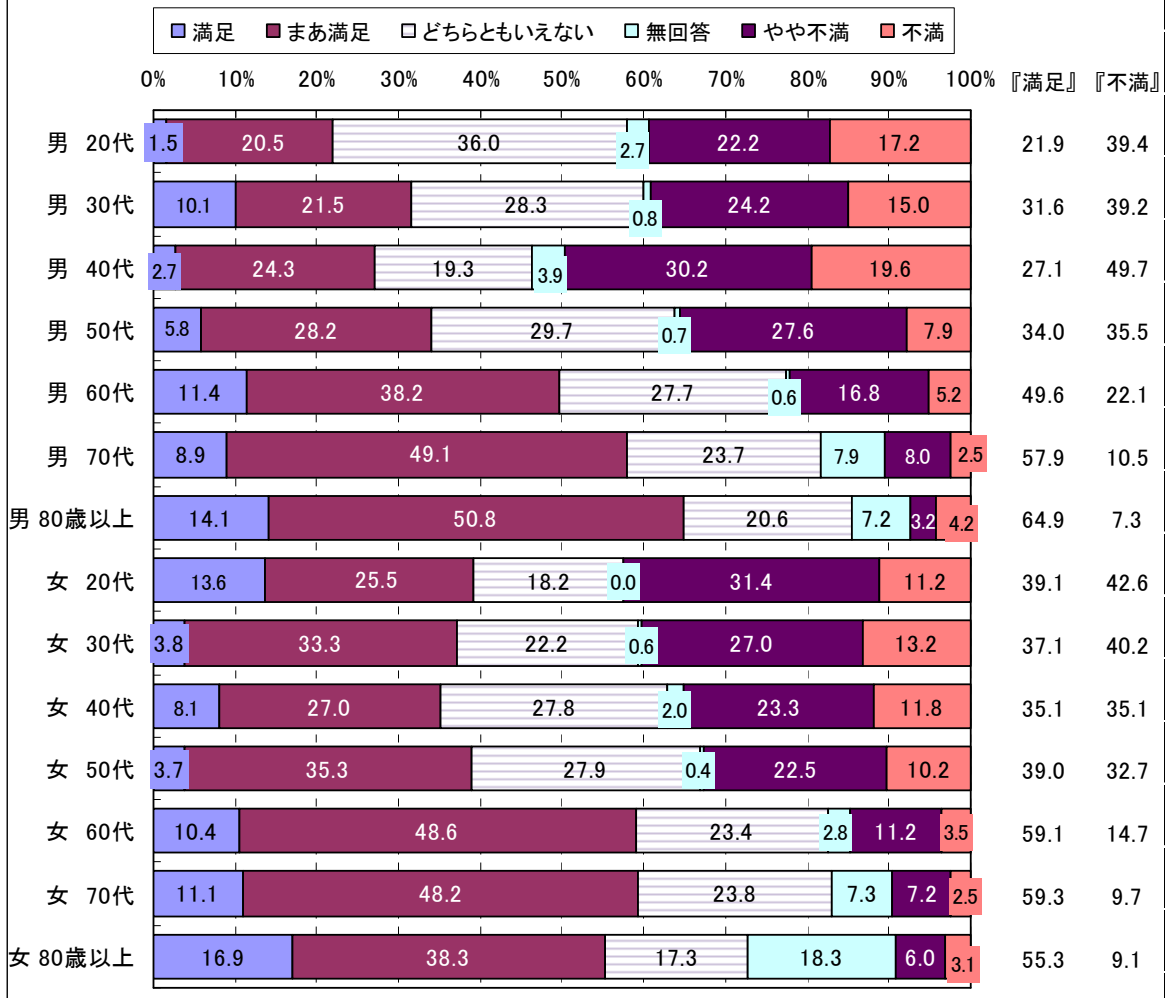
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性の満足度より5.5ポイント高い。
- 性・年代別で見ると、男女ともに高齢者の満足度が高く、特に男性の80代は6割を上回っている。

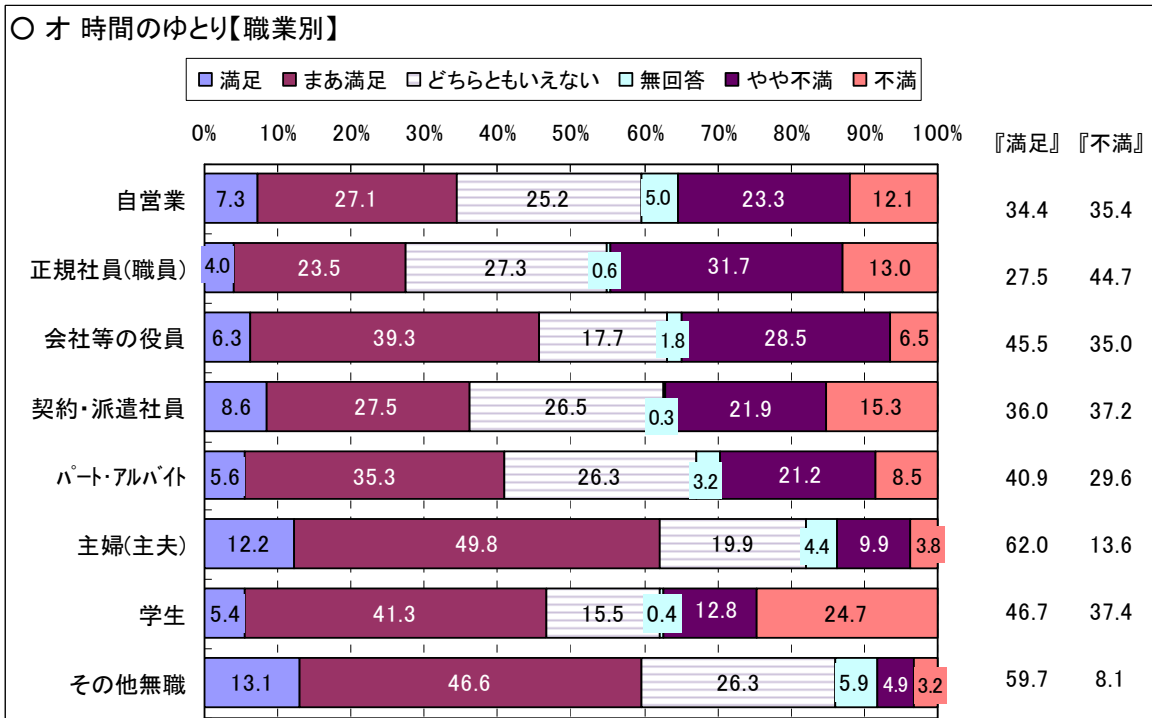
○ オ時間のゆとり【性別】



○ オ時間のゆとり【性・年代別】



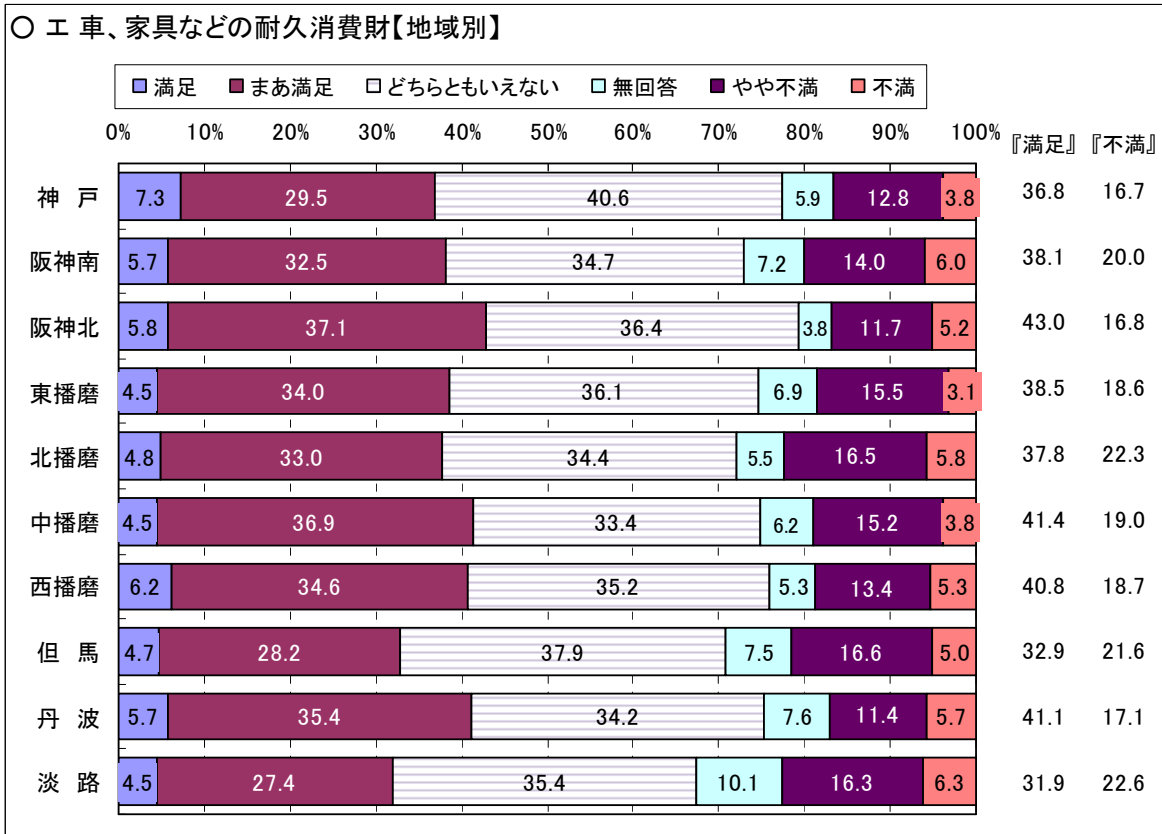
【職業別】



〔車、家具などの耐久消費財〕

【地域別】

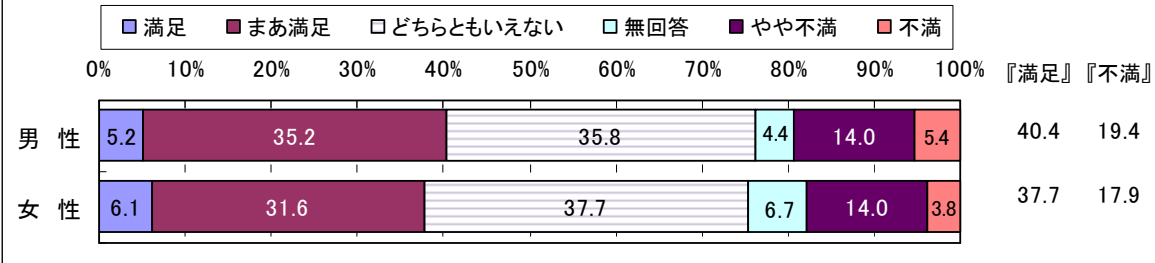
- 阪神北、中播磨、西播磨、丹波は、全県の満足度（38.6%）を上回っている。



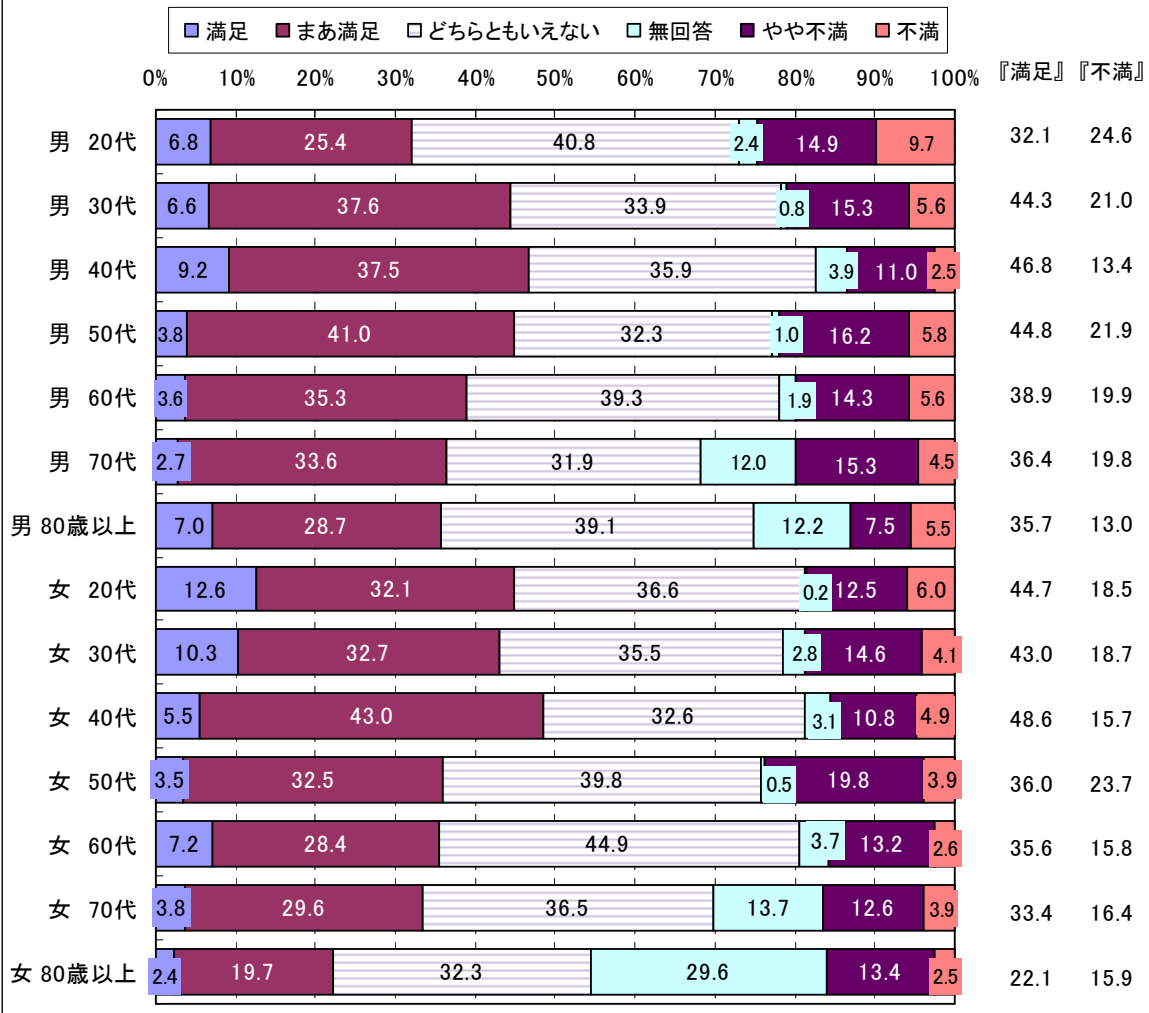
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性の満足度より2.7ポイント高い。
- 性・年代別では、男性は30～50代が、女性は20～40代が4割を超え、満足度が高くなっている。

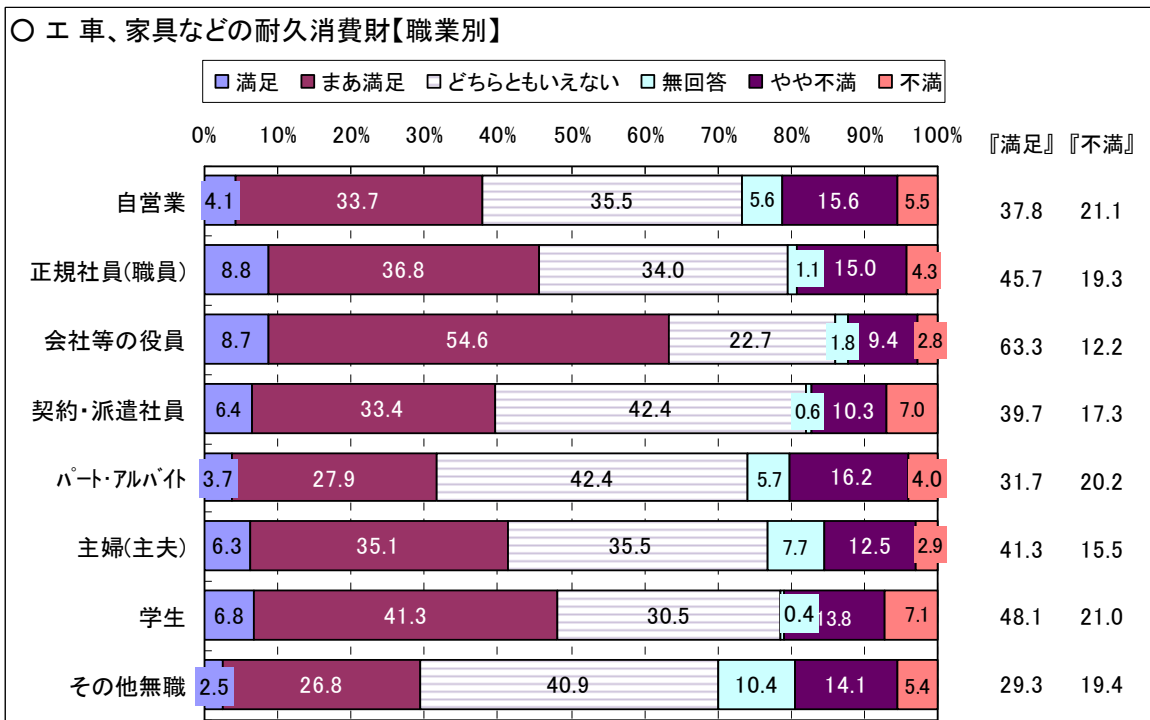
○ エ車、家具などの耐久消費財【性別】



○ エ車、家具などの耐久消費財【性・年代別】



【職業別】

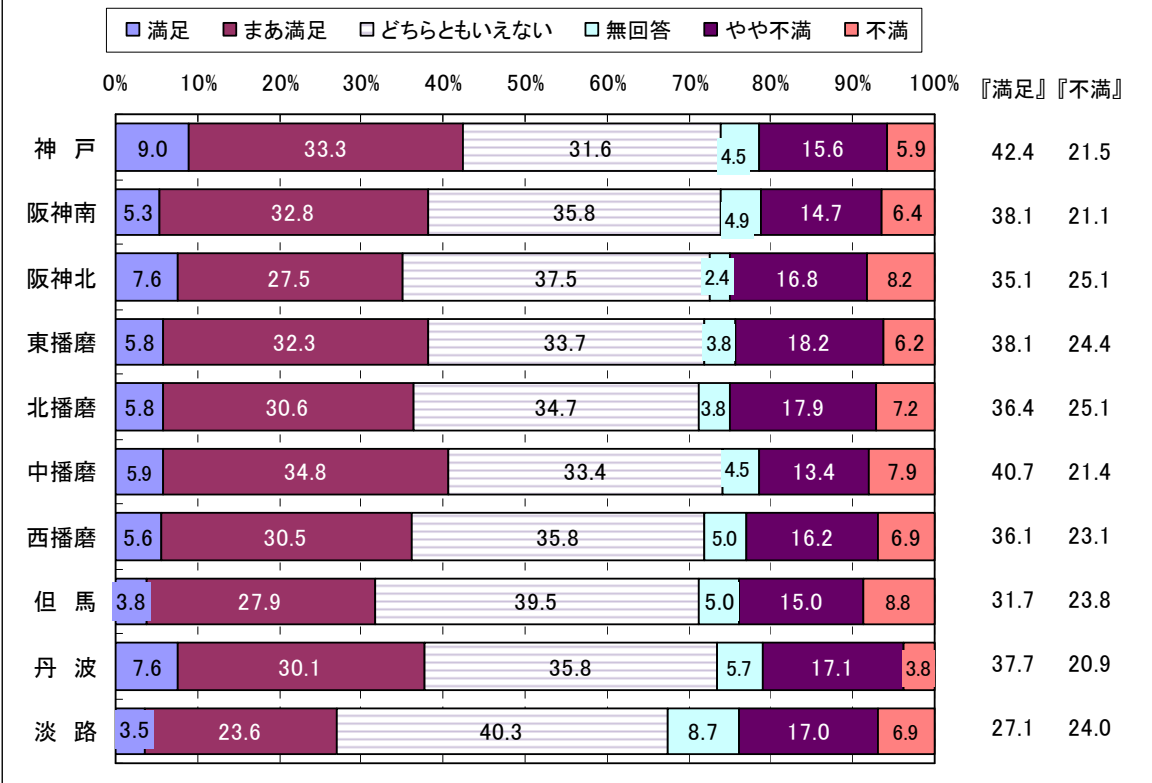


〔趣味やレクリエーションへの取組〕

【地域別】

- 神戸と中播磨が全県の満足度（38.5%）を上回っている。

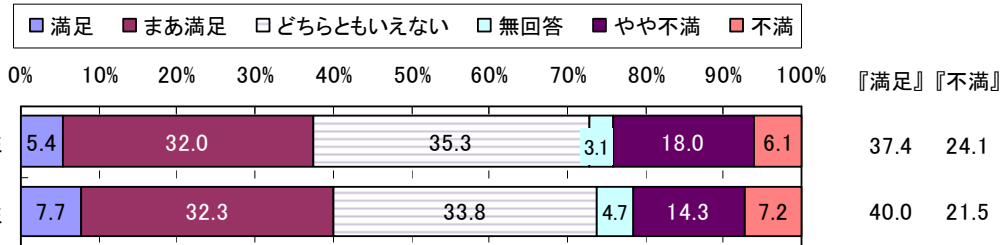
○ カ 趣味やレクリエーションへの取組【地域別】



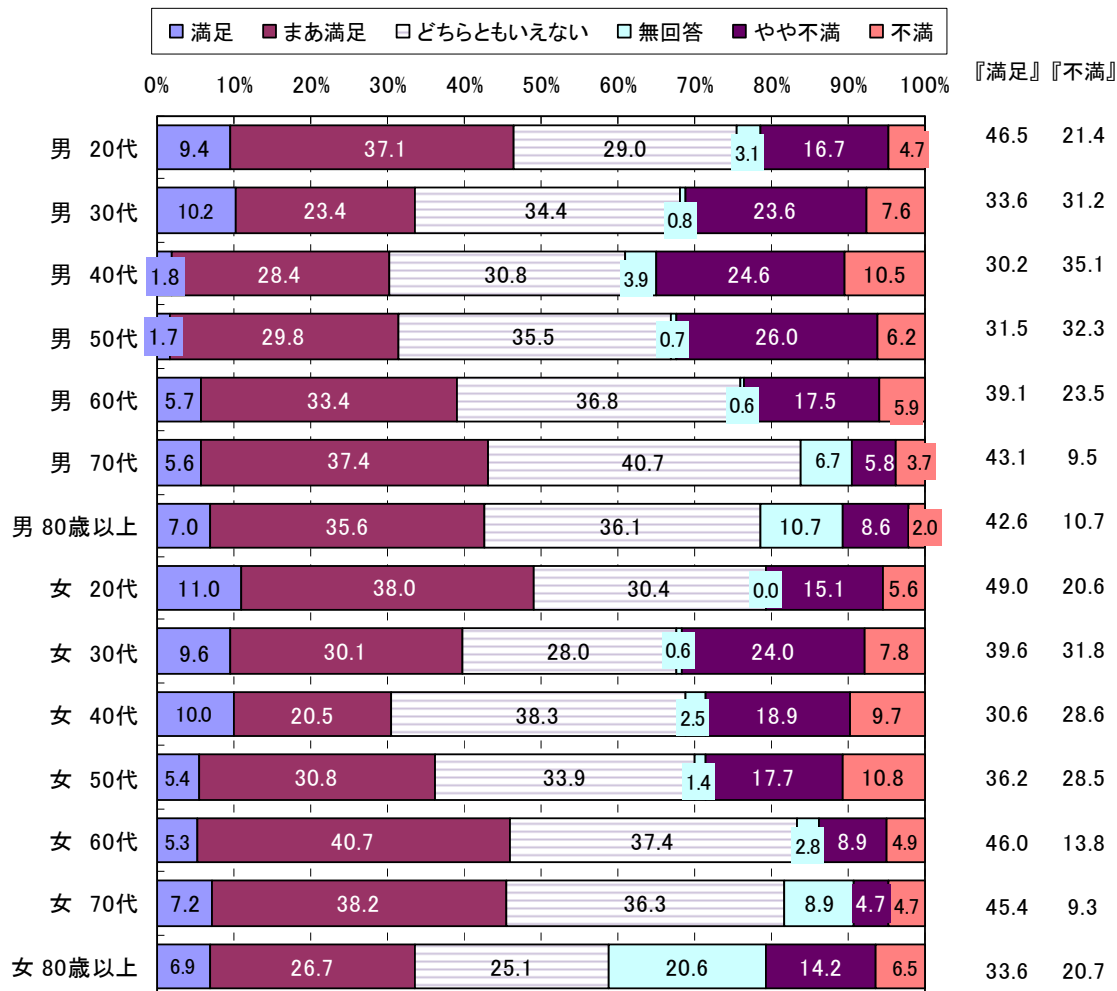
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性の満足度より2.6ポイント高い。
- 性・年代別では、男性、女性とも20代の満足度がそれぞれの性別の中で最も高くなっている。

○ カ 趣味やレクリエーションへの取組【性別】

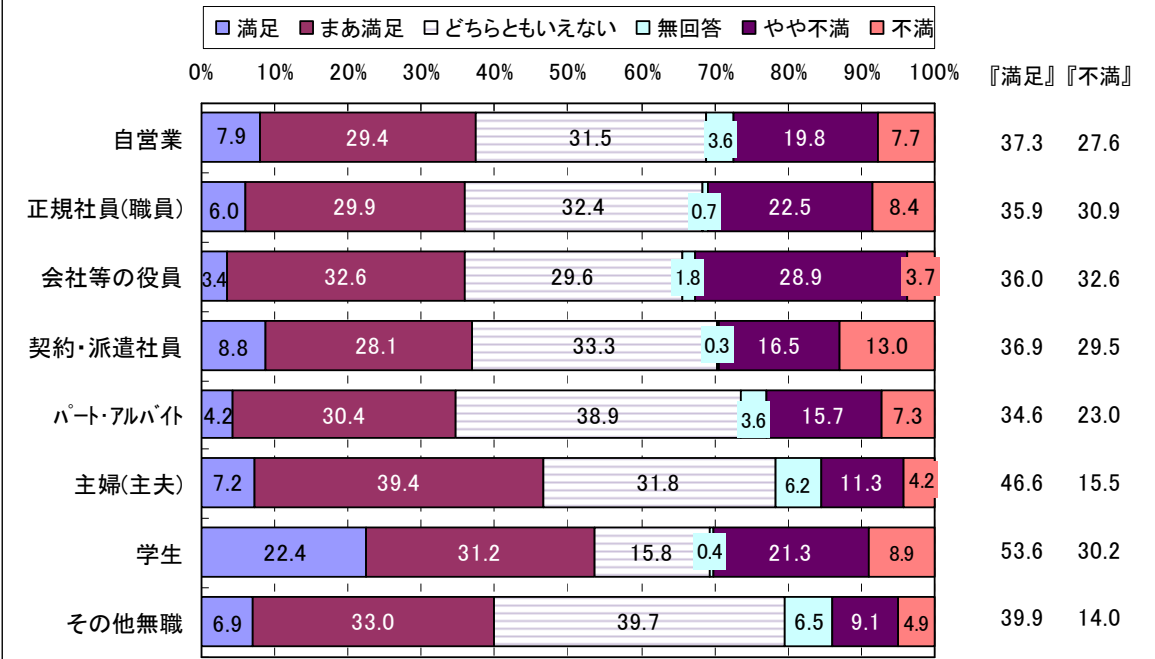


○ カ 趣味やレクリエーションへの取組【性・年代別】



【職業別】

○ カ 趣味やレクリエーションへの取組【職業別】

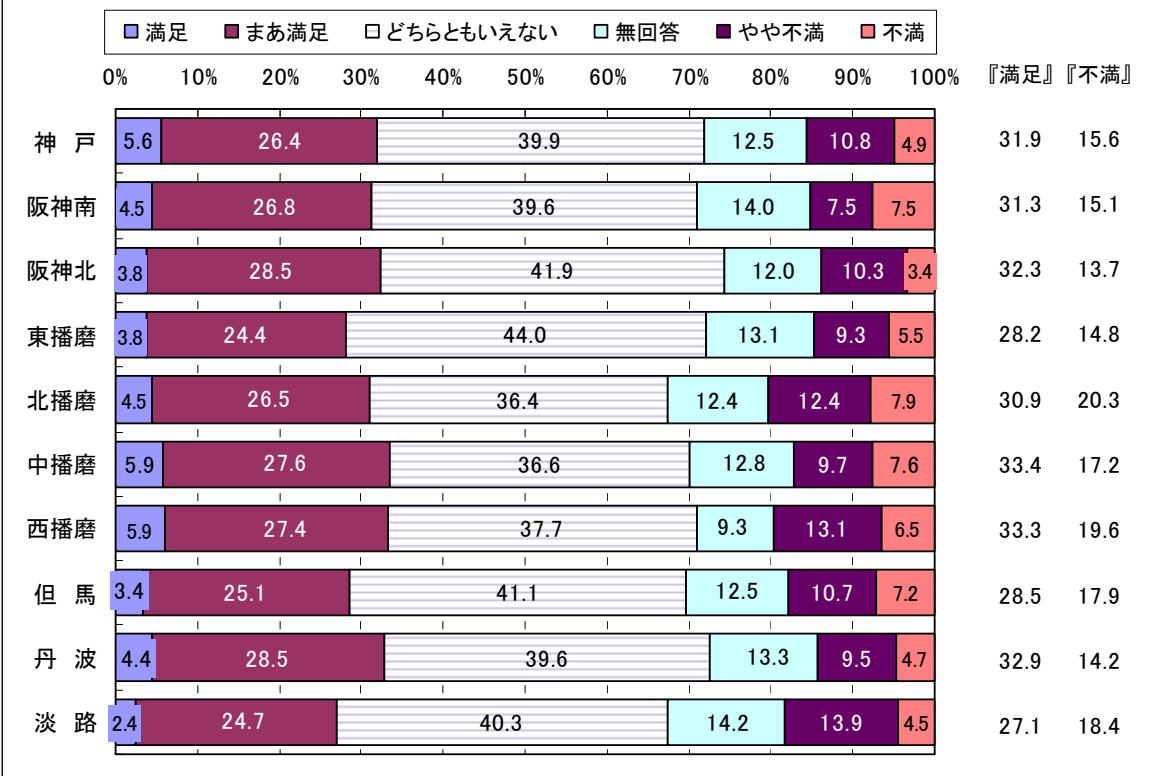


〔仕事の内容〕

【地域別】

- いずれの地域も3割前後の満足度であるが、東播磨と但馬、淡路は3割を切っている。

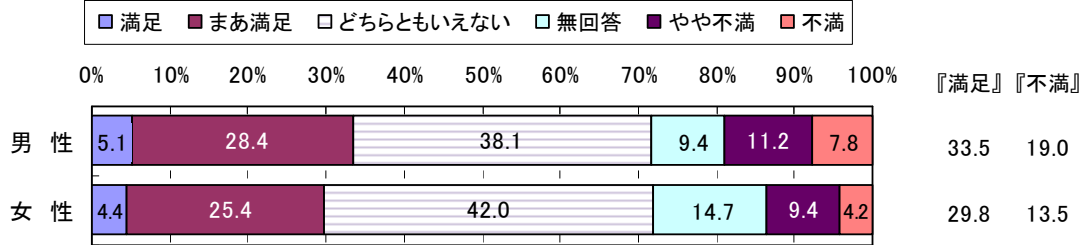
○ ク 仕事の内容【地域別】



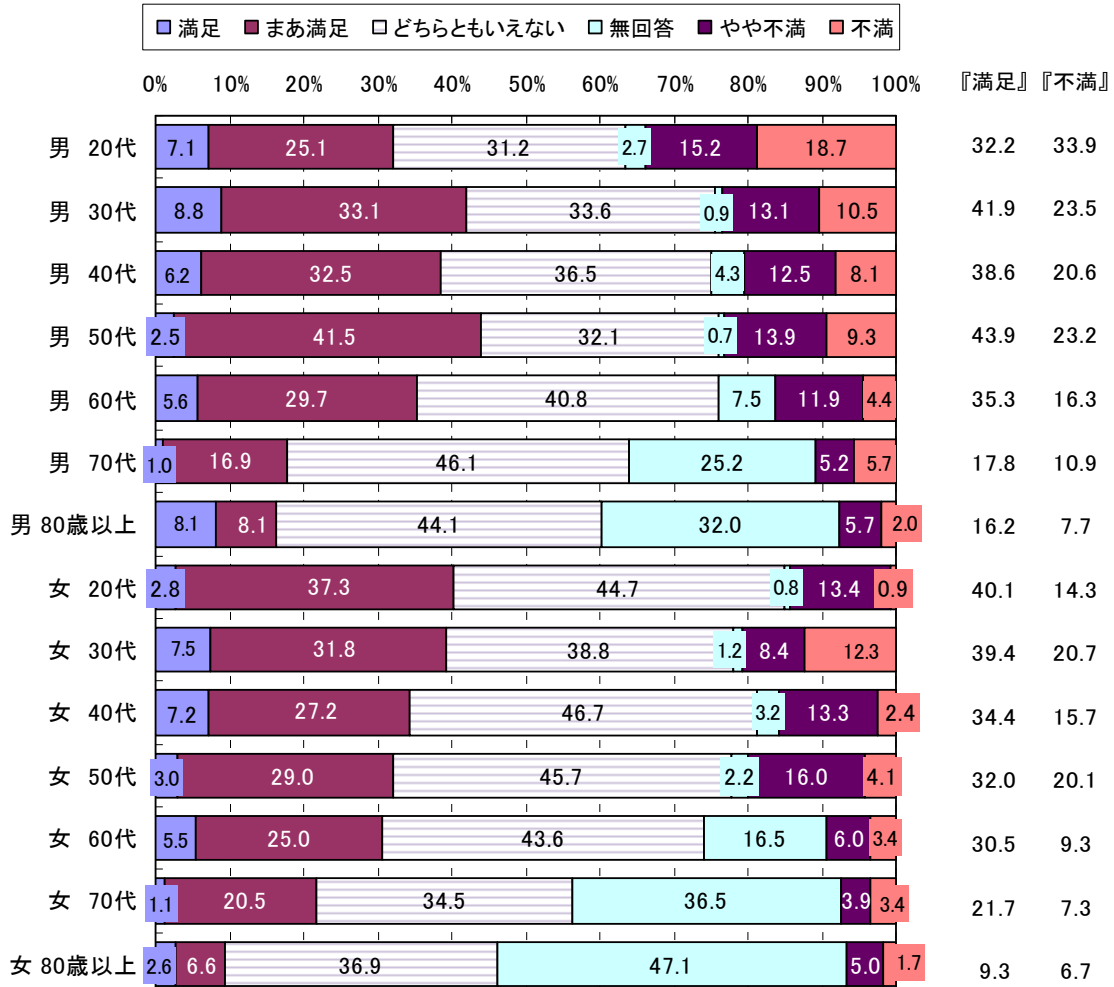
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性の満足度より3.7ポイント高い。
- 性・年代別でみると、『満足』は男性で50代、女性は20代で最も高くなっている。

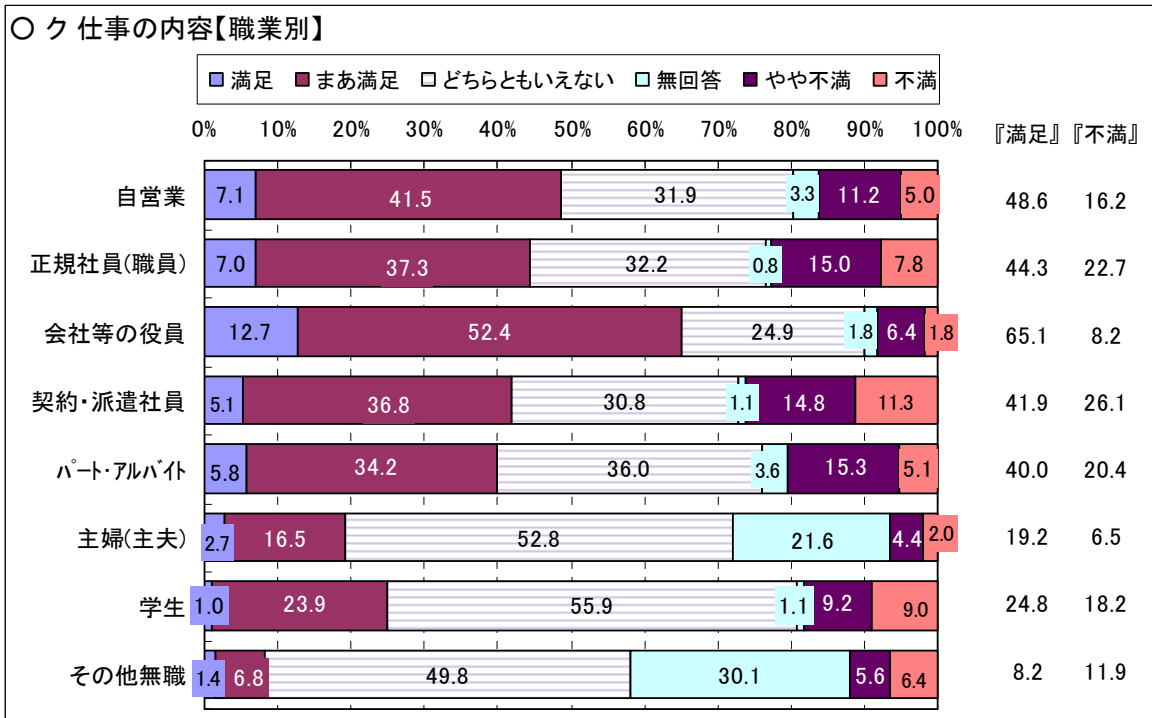
○ ク 仕事の内容【性別】



○ ク 仕事の内容【性・年代別】



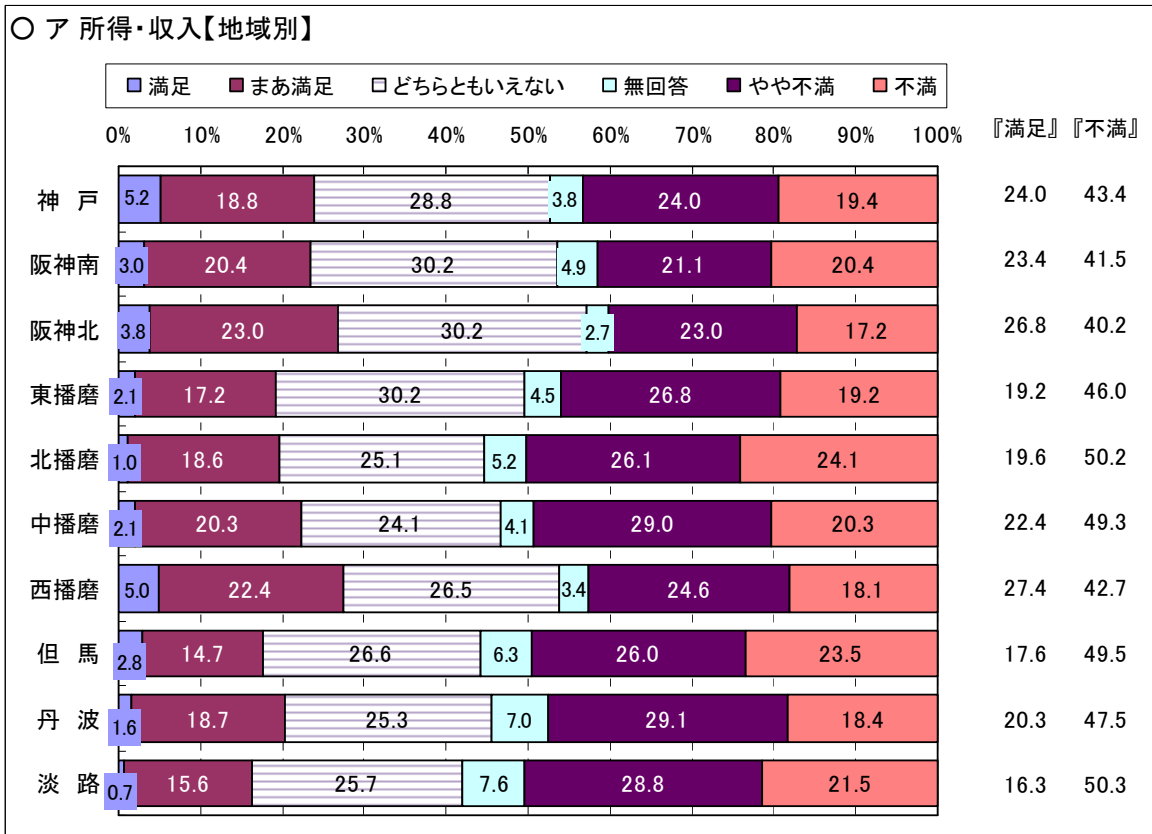
【職業別】



〔所得・収入〕

【地域別】

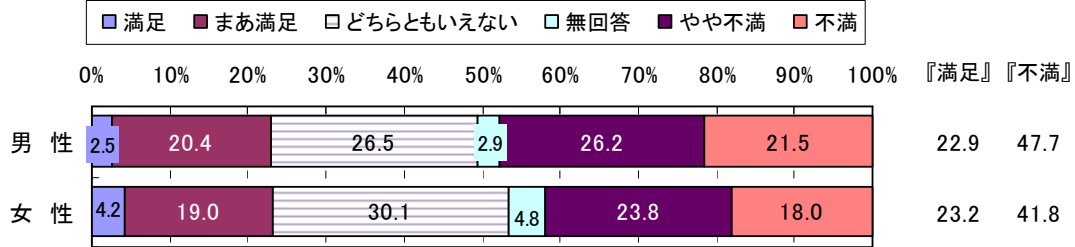
- 西播磨が3割弱で最も高く、阪神間とともに全県の満足度（22.9%）を上回っている。また、但馬と淡路が2割を切り低くなっている。



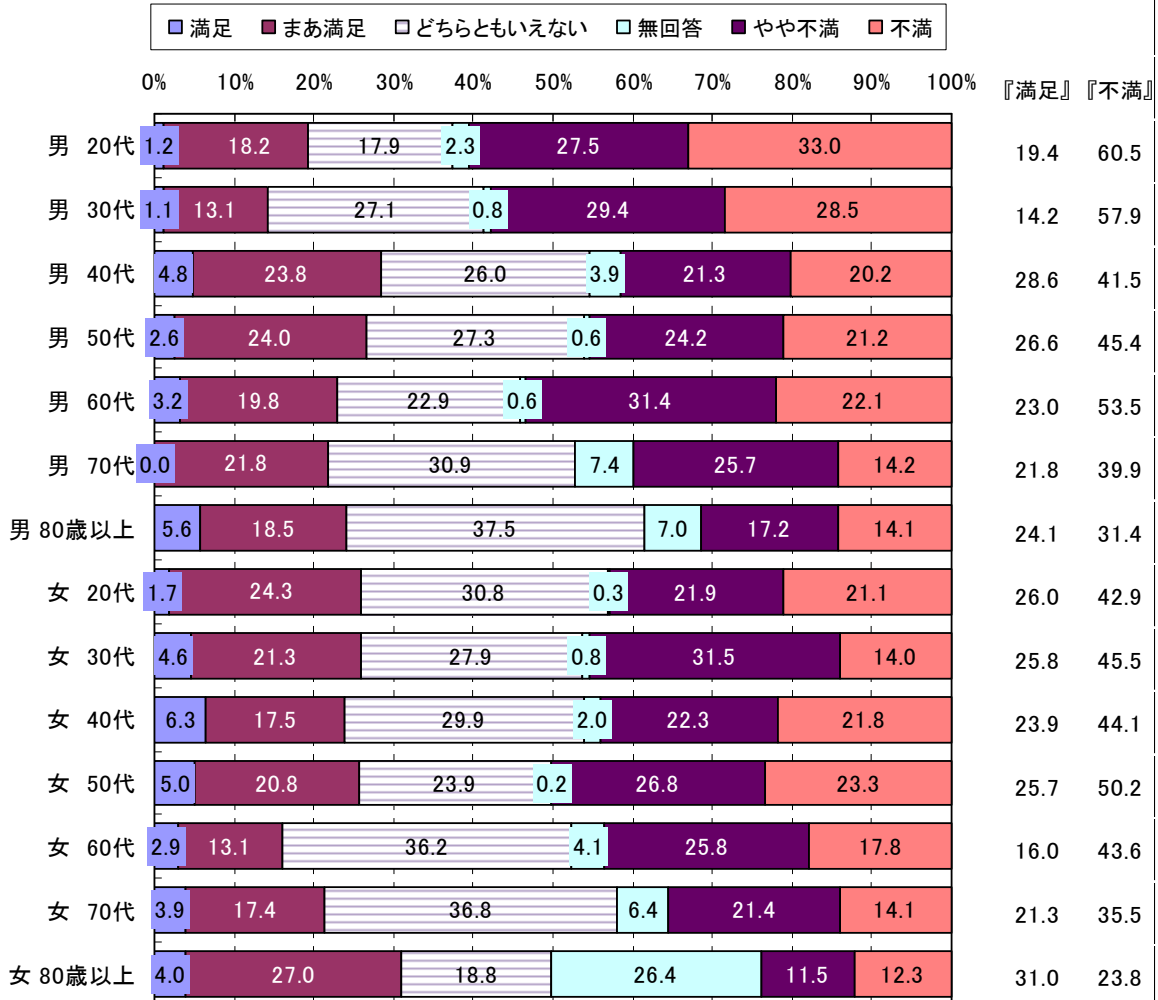
【性別、性・年代別】

- 性別による大きな違いはみられない。
- 性・年代別では、男性は40代が、女性は80代が満足度が高くなっている。

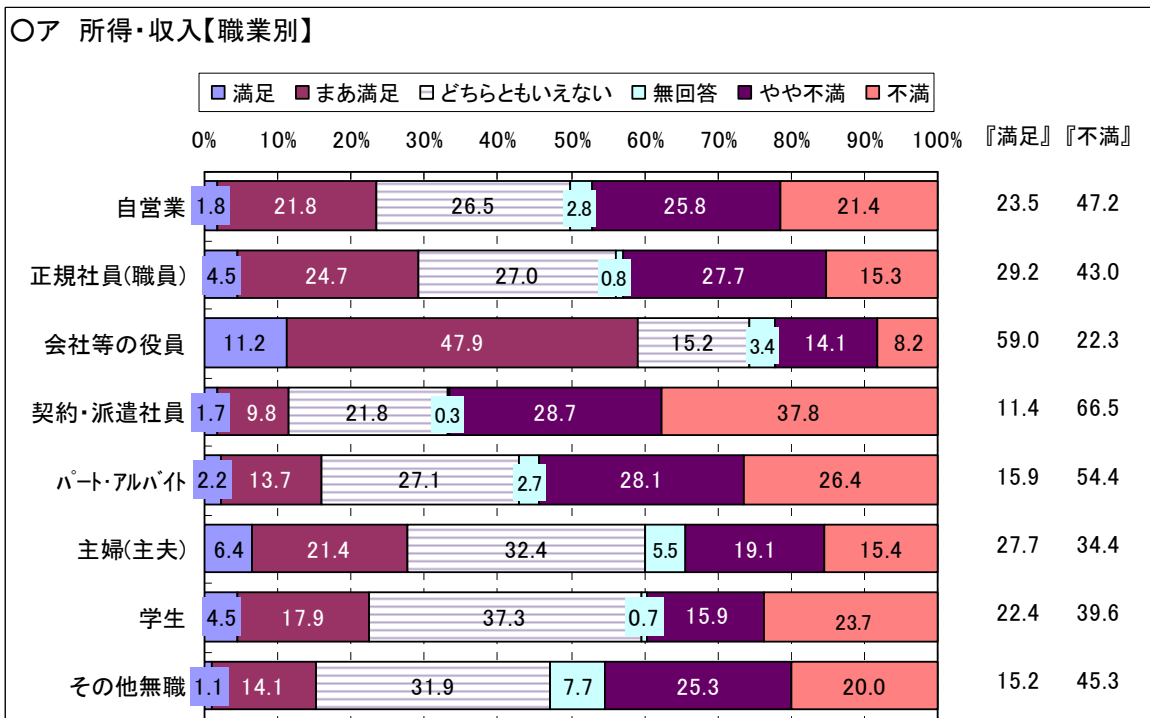
○ ア 所得・収入【性別】



○ ア 所得・収入【性・年代別】



【職業別】

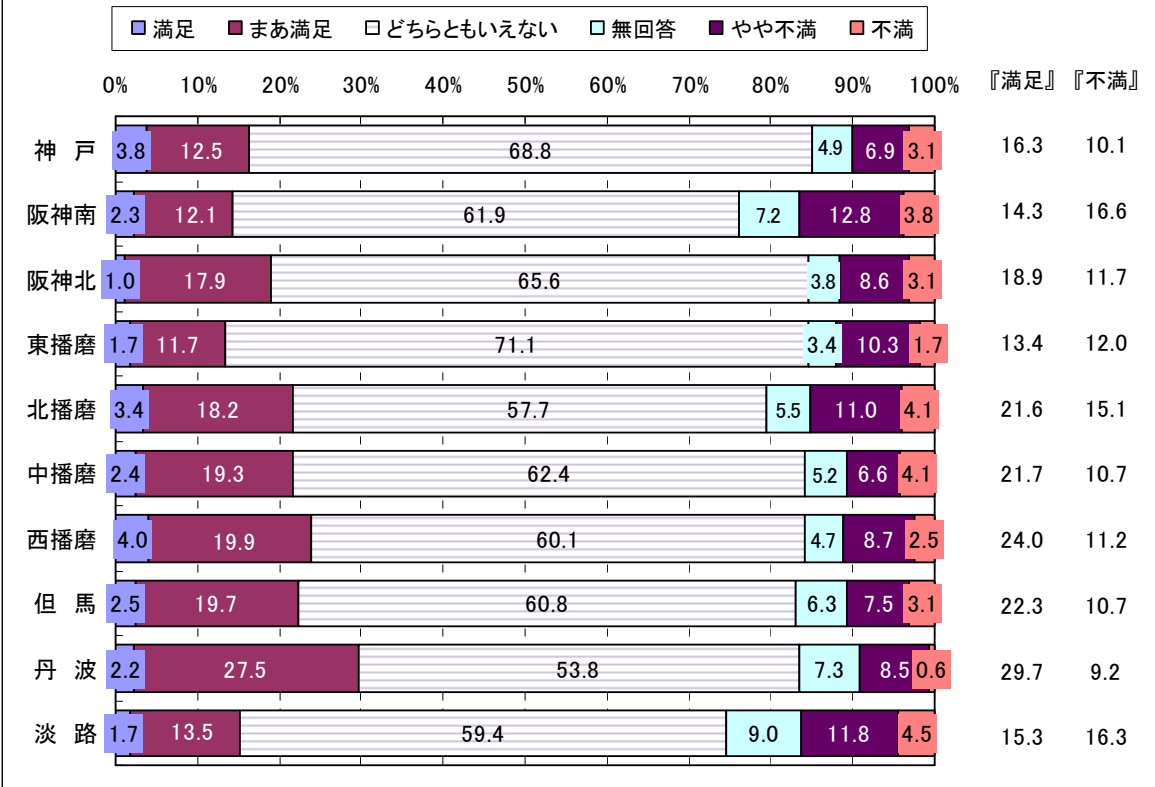


〔地域活動やボランティアへの取組〕

【地域別】

- 地域別では、農村部の方が都市部よりも満足度が高い傾向がみられる。

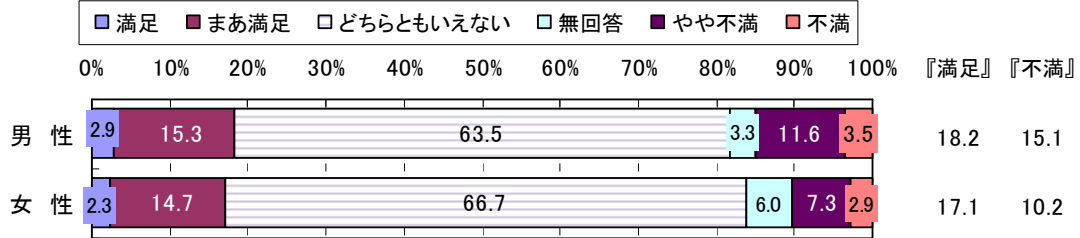
○ キ 地域活動やボランティアへの取組【地域別】



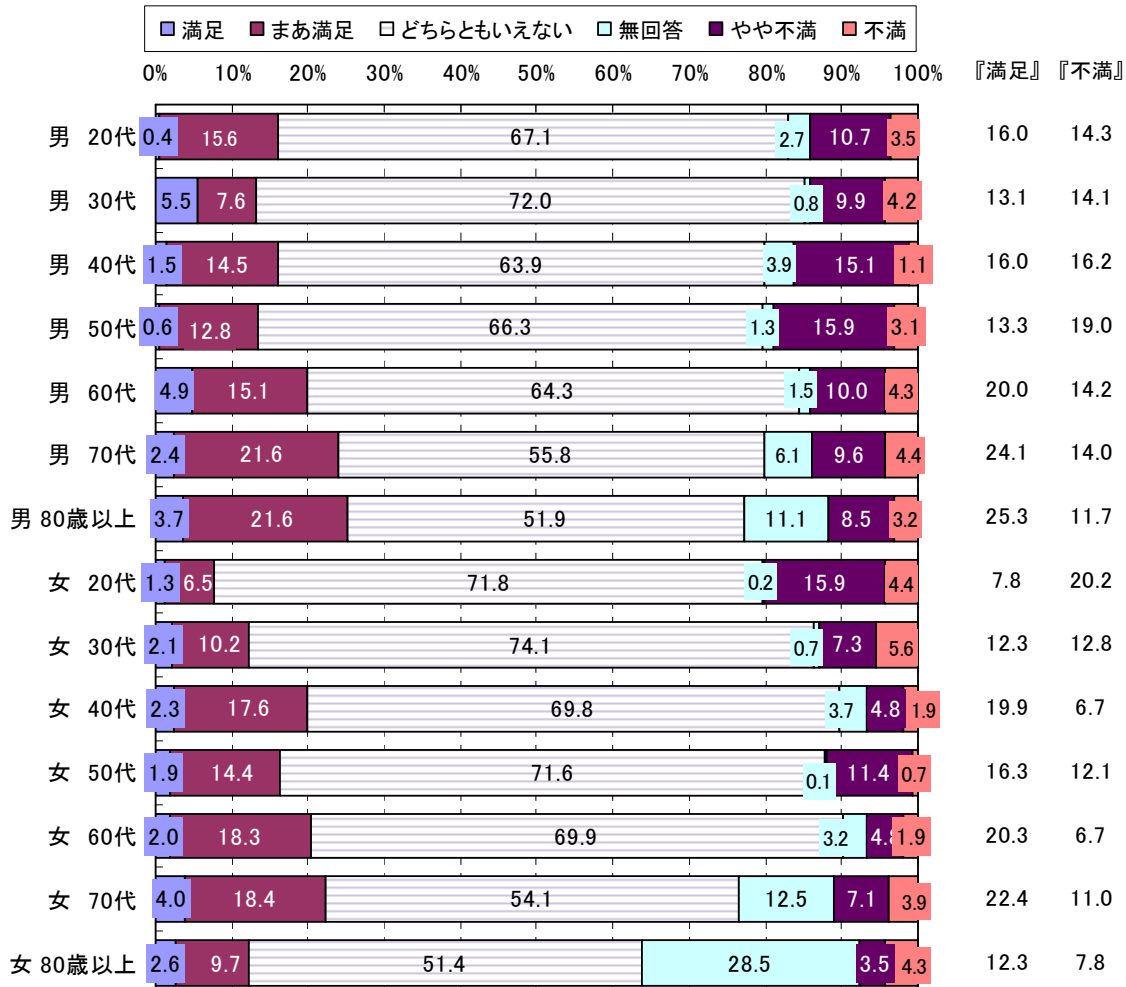
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より1.1ポイント満足度が高い。
- 性・年代別では、男女ともに60代、70代が満足度が高く、男性は80代も高くなっている。

○ キ 地域活動やボランティアへの取組【性別】

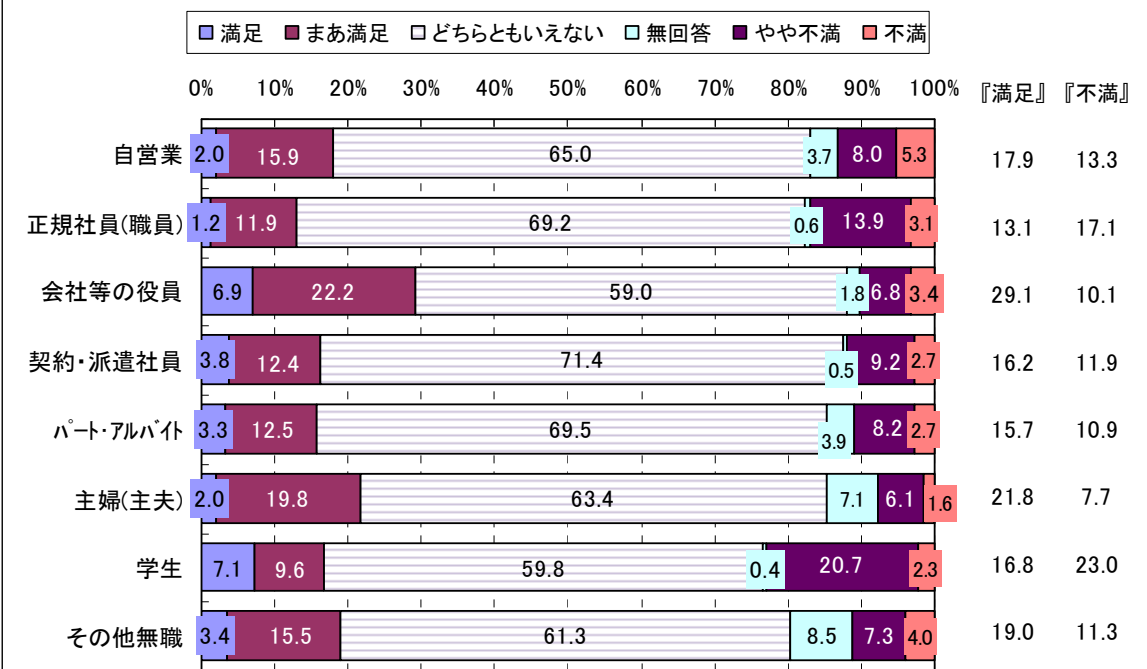


○ キ 地域活動やボランティアへの取組【性・年代別】



【職業別】

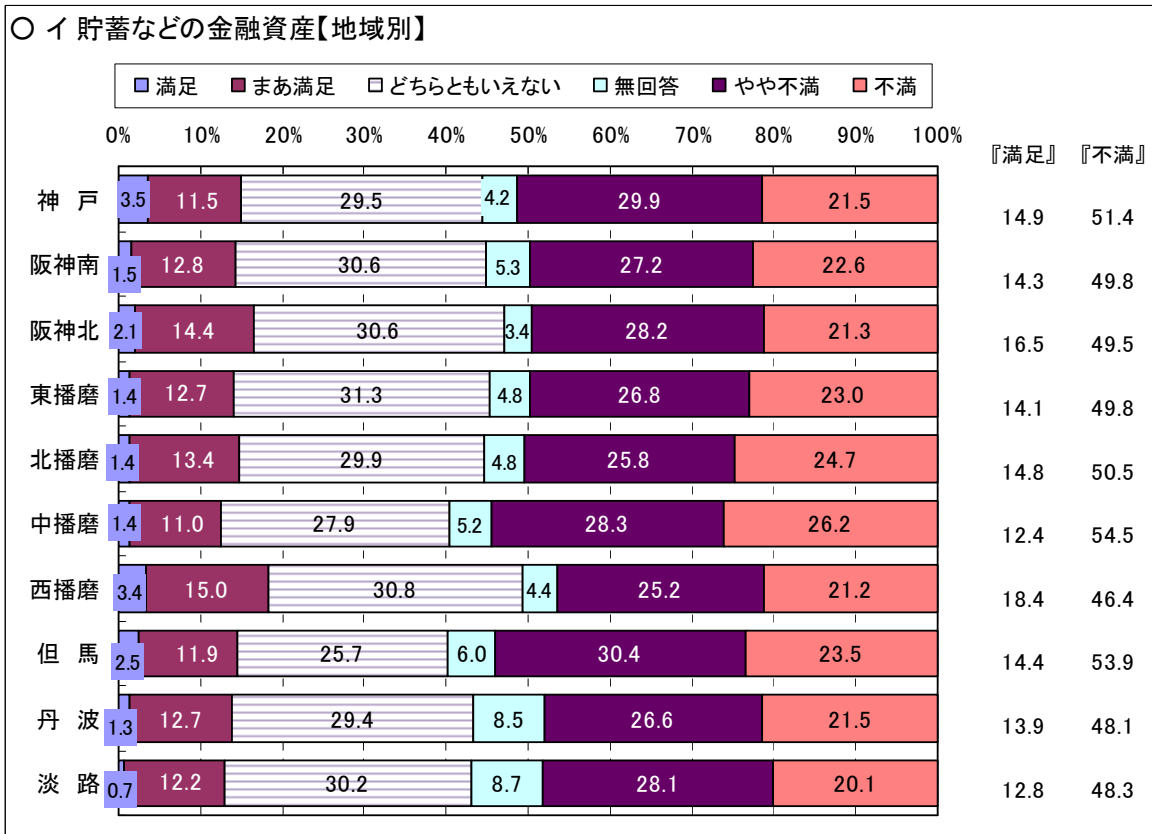
○ キ 地域活動やボランティアへの取組【職業別】



〔貯蓄などの金融資産〕

【地域別】

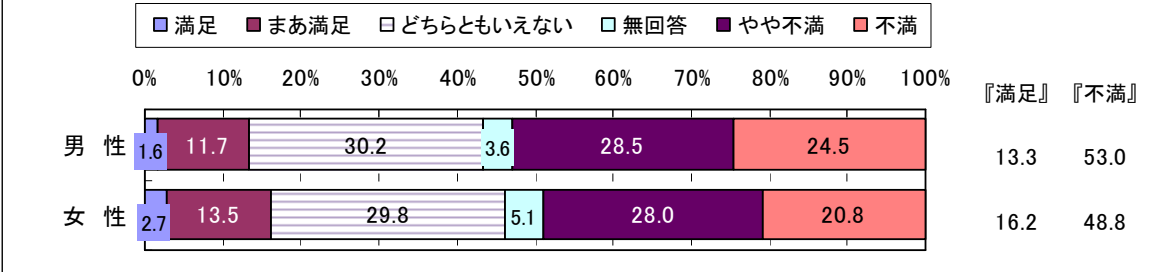
- いずれの地域も不満度が4割を超え、神戸、中播磨、但馬は全県の不満度（50.6%）を上回っている。



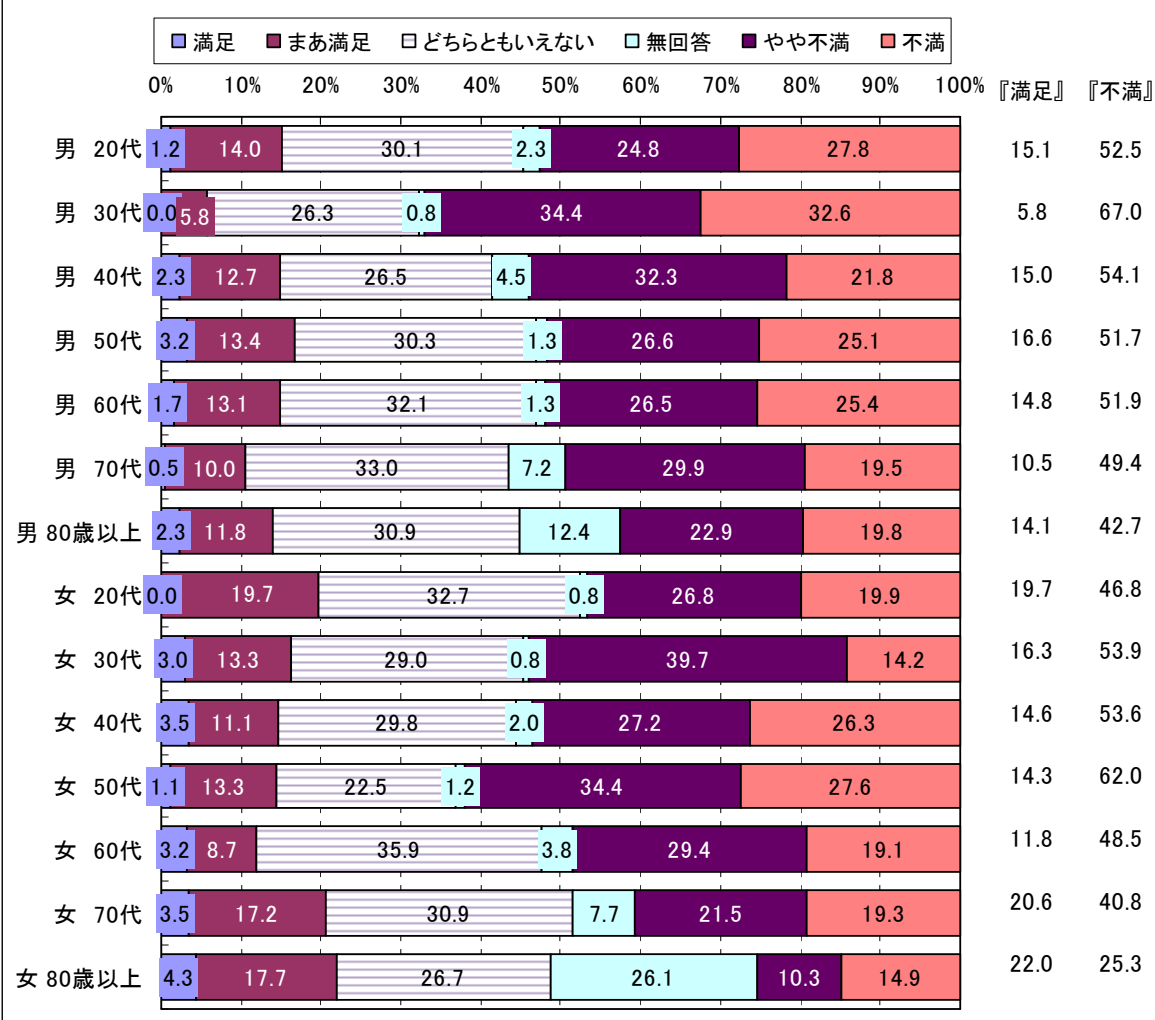
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より不満度が4.2ポイント高い。
- 性・年代別では、男性の30代の不満度が67ポイントと最も高く、次いで女性の50代の不満度が62ポイントと高くなっている。

○ イ貯蓄などの金融資産【性別】

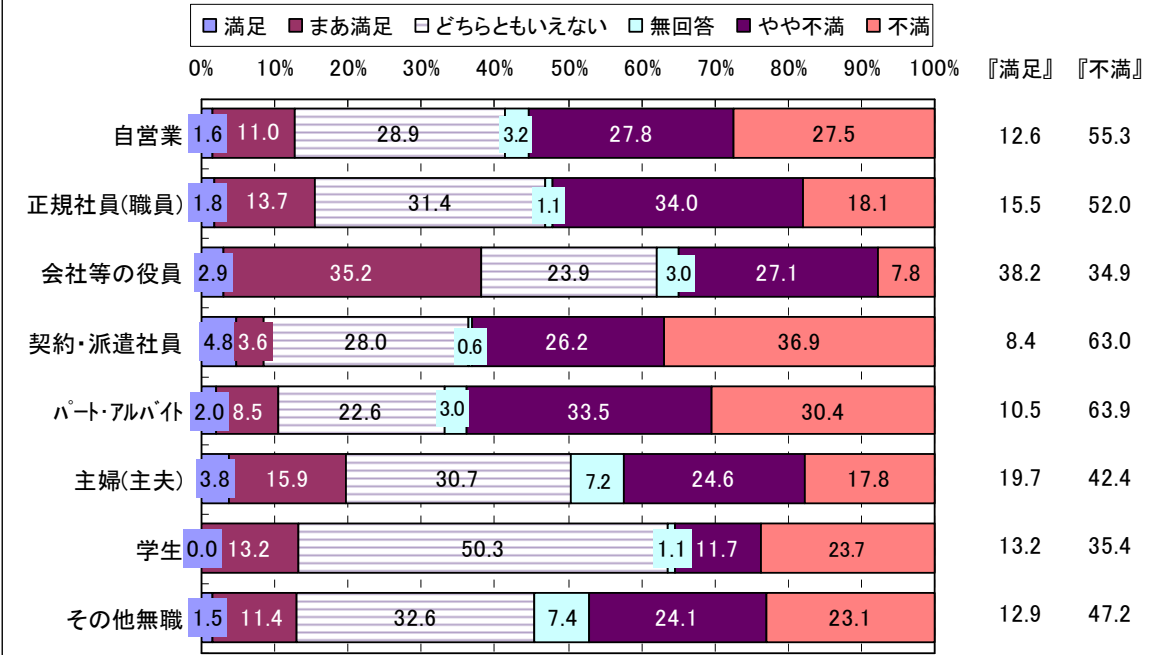


○ イ貯蓄などの金融資産【性・年代別】



【職業別】

○ イ 貯蓄などの金融資産【職業別】



問20 去年と比べた生活の向上感

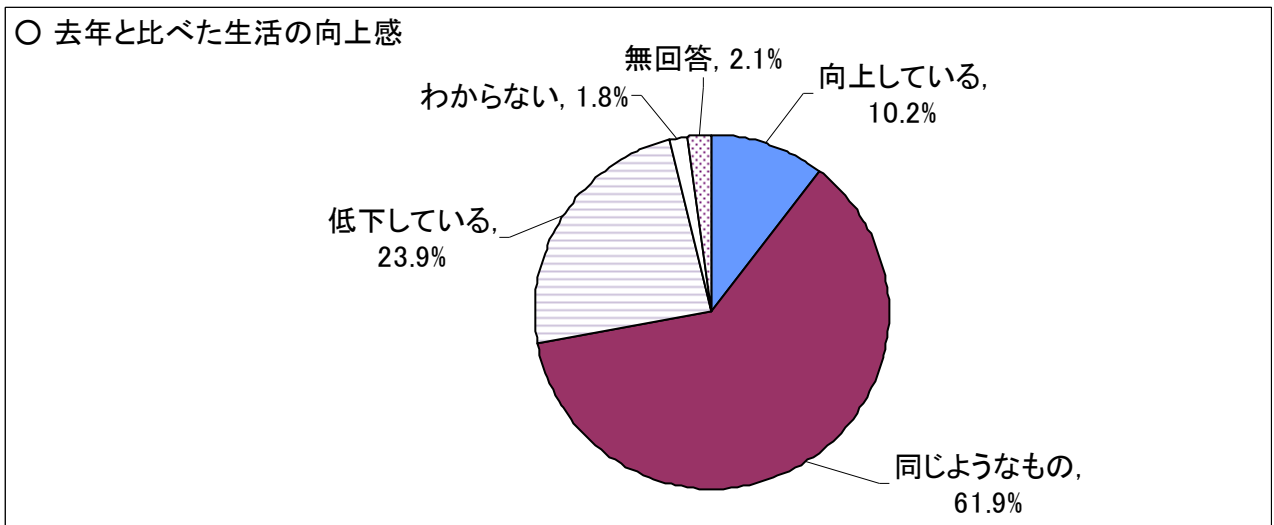
問20

あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 向上している
- 2 同じようなもの
- 3 低下している
- 4 わからない

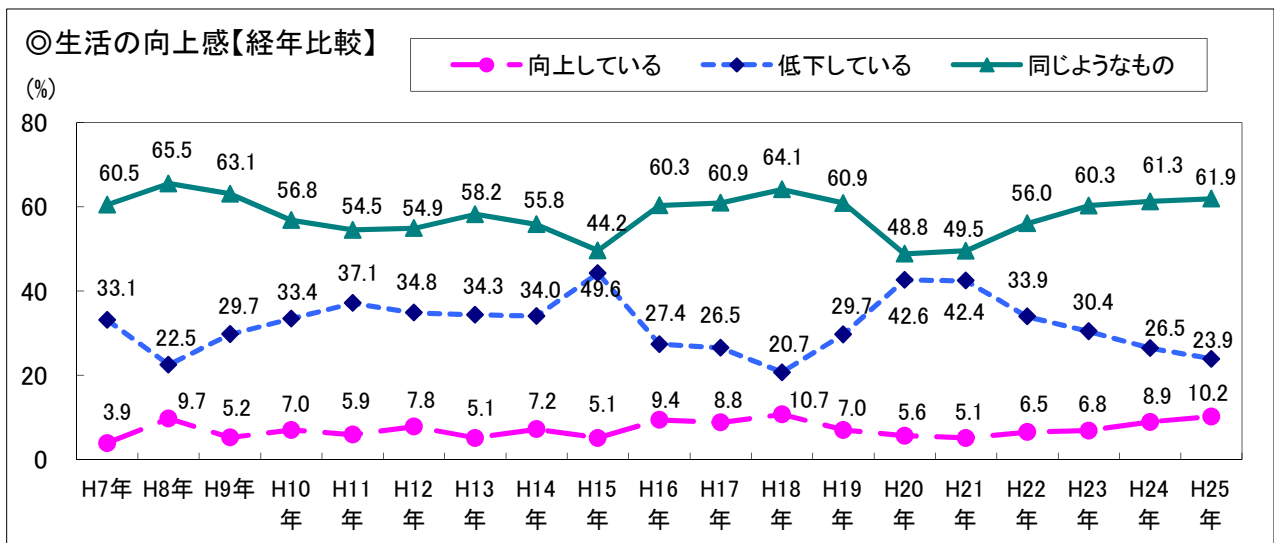
【全 県】

- 「同じようなもの」が6割強と最も多く、「低下している」は2割強、「向上している」は約1割となっている。

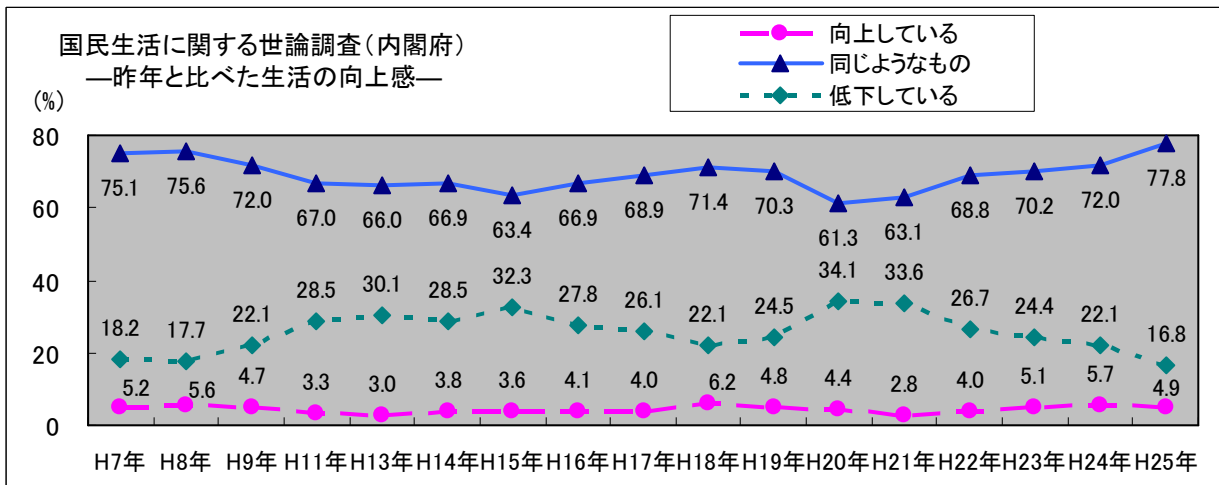


【経年比較】

- 前年度調査と比較すると、「向上している」は1.3ポイント増加し、「低下している」は2.6ポイント減少している。



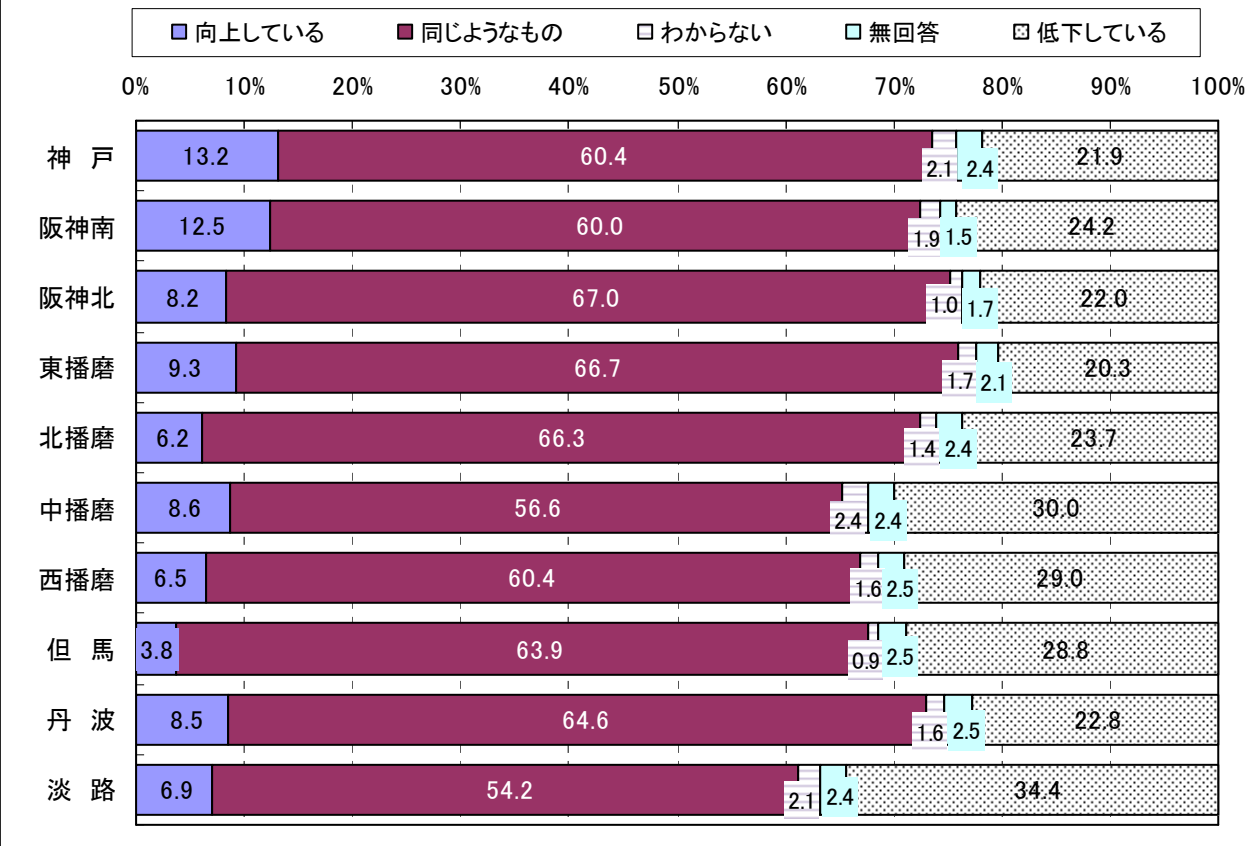
(参考)



【地域別】

- 「向上している」は、神戸が最も高く、阪神南と全県（10.2%）を上回っている。
「低下している」は、淡路が最も高く、中播磨、西播磨、但馬、阪神南が全県（23.9%）を上回っている。

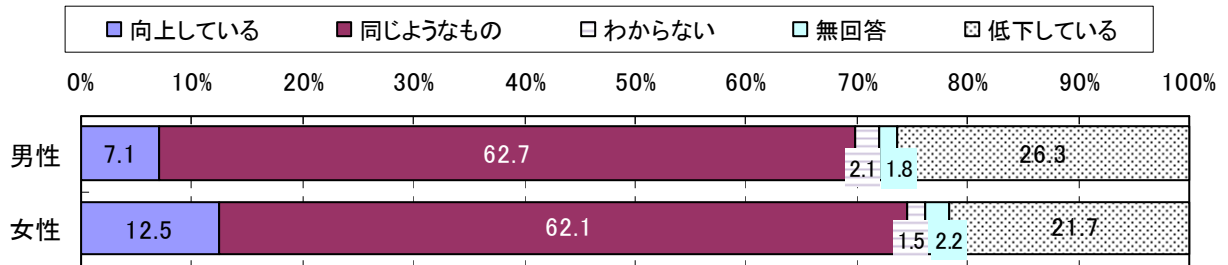
○ 去年と比べた生活の向上感【地域別】



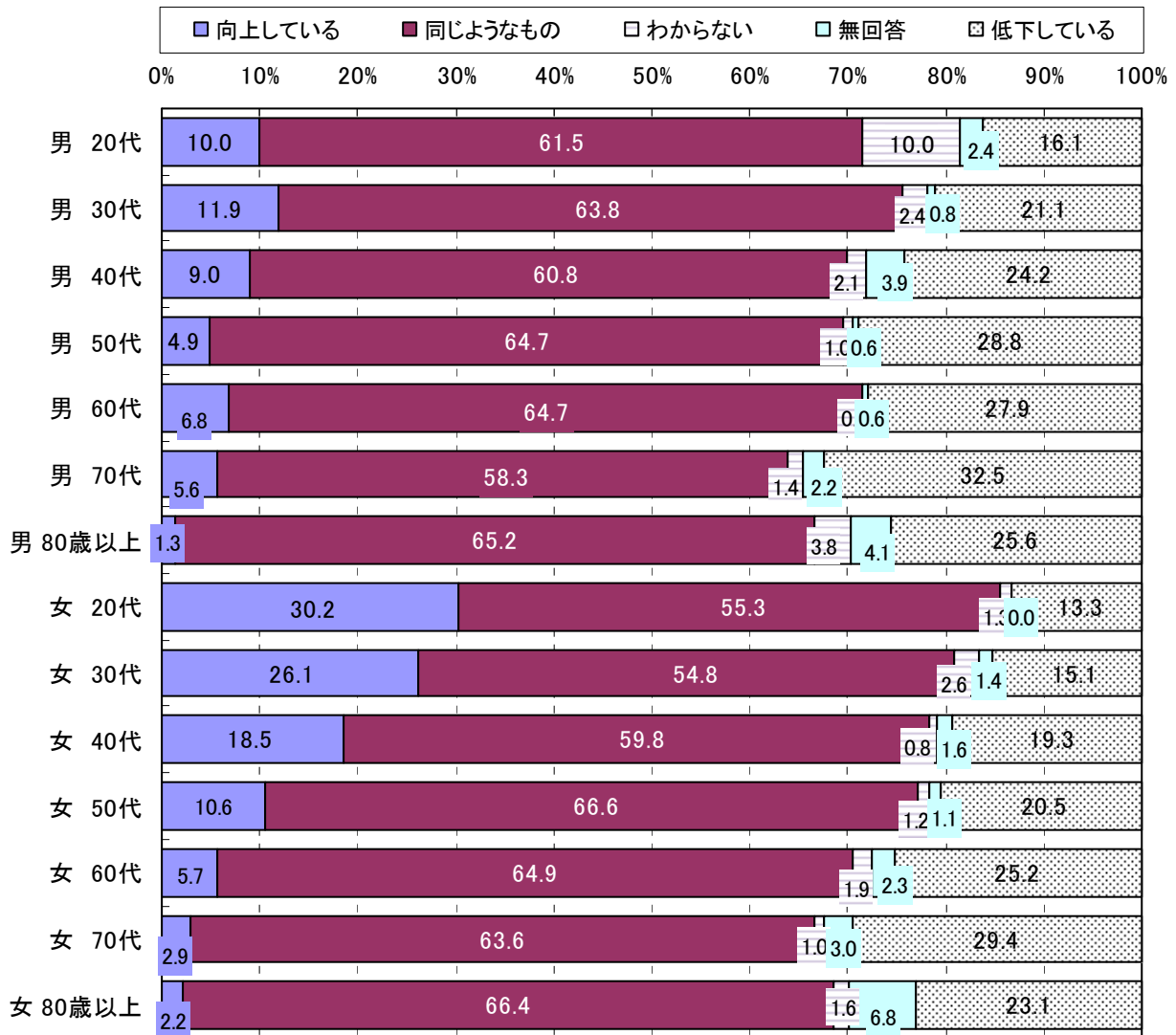
【性別、性・年代別】

- 性別では、女性の方が男性より「向上している」は多くなっている。
- 性・年代別では、男女とも高齢者ほど「向上している」が少なくなる傾向にある。

○ 去年と比べた生活の向上感【性別】

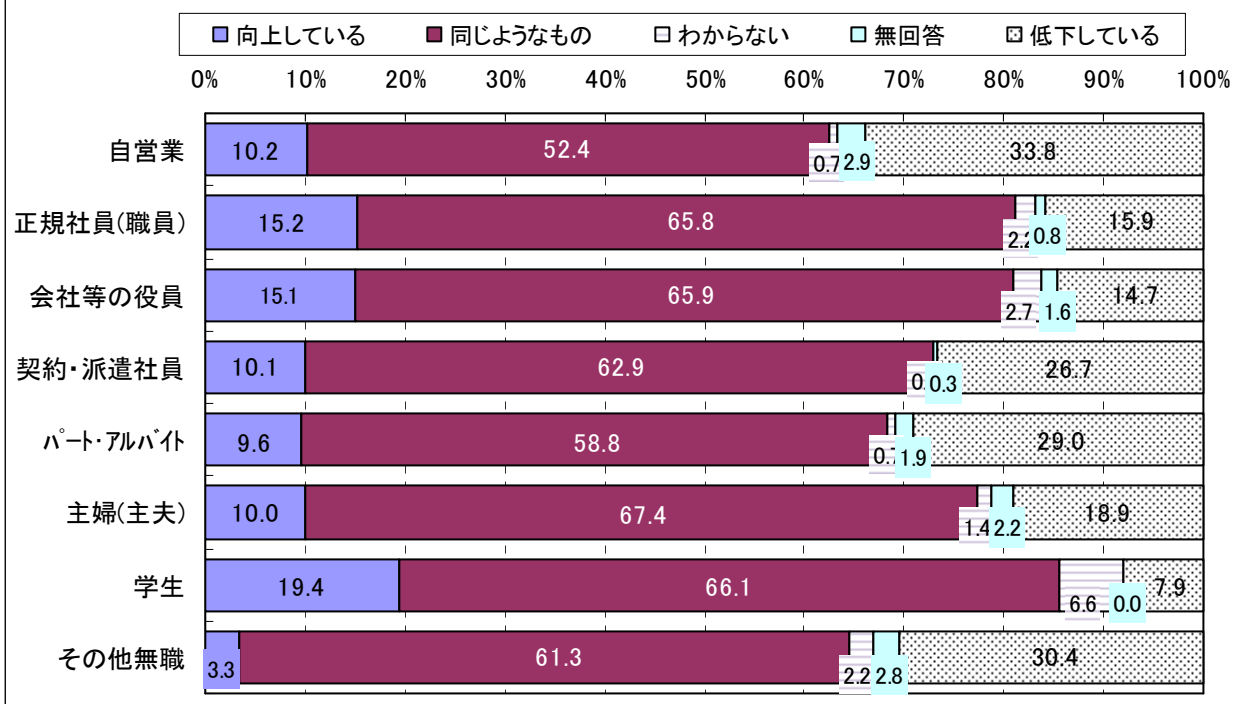


○ 去年と比べた生活の向上感【性・年代別】



【職業別】

○ 去年と比べた生活の向上感【職業別】



問 2 1 大地震発生の可能性

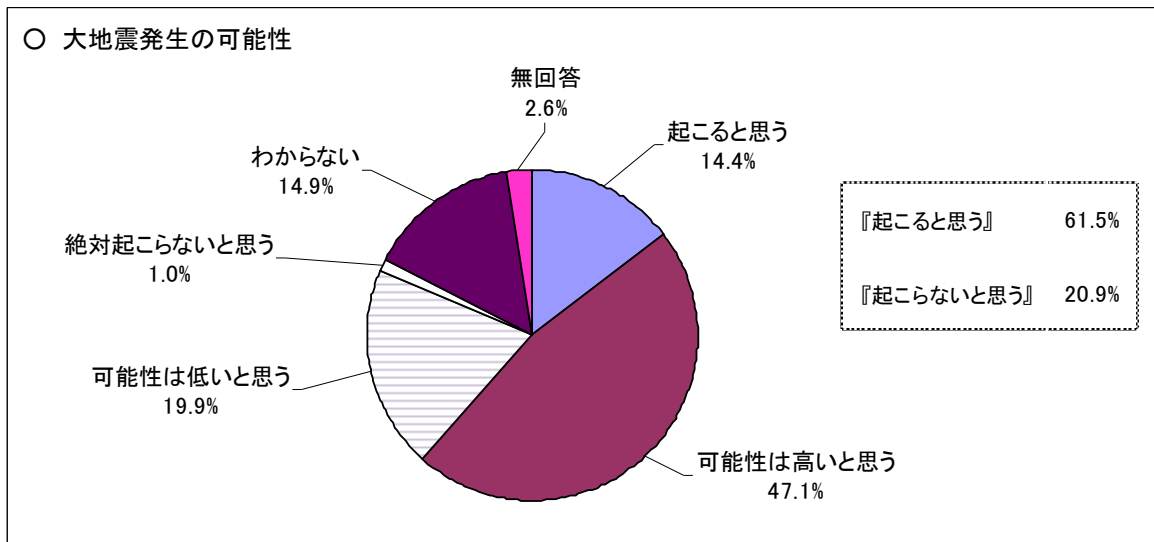
問 2 1

あなたの住んでいる地域で、今後 10 年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から 1 つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|-------------|--------------|
| 1 起こると思う | 2 可能性は高いと思う |
| 3 可能性は低いと思う | 4 絶対起こらないと思う |
| 5 わからない | |

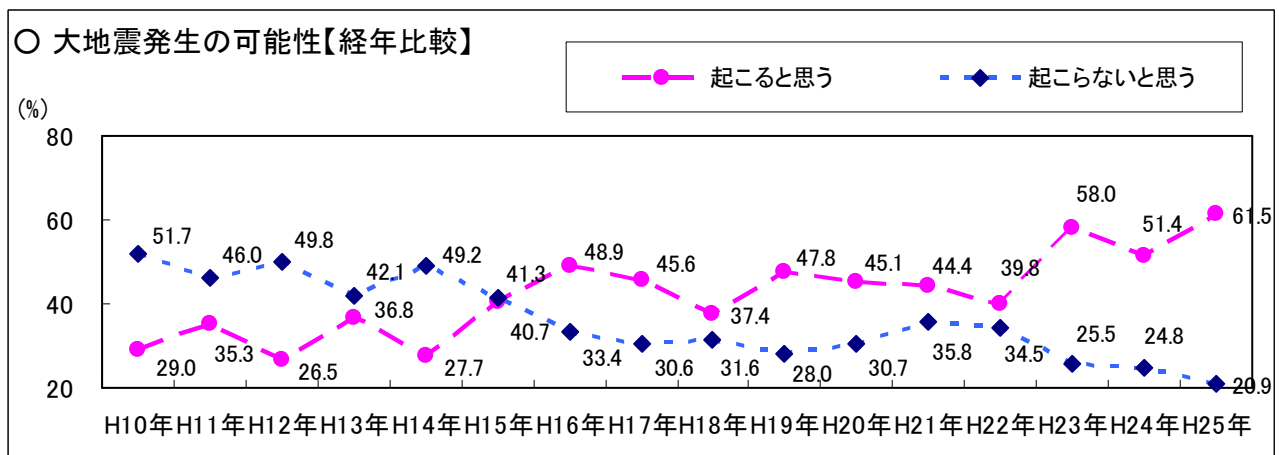
【全 県】

- 「起こると思う」、「可能性は高いと思う」を合わせた『起こると思う』は6割強で、過去最高となっており、「絶対起こらないと思う」、「可能性は低いと思う」を合わせた『起こらないと思う』は2割強となっている。



【経年比較】

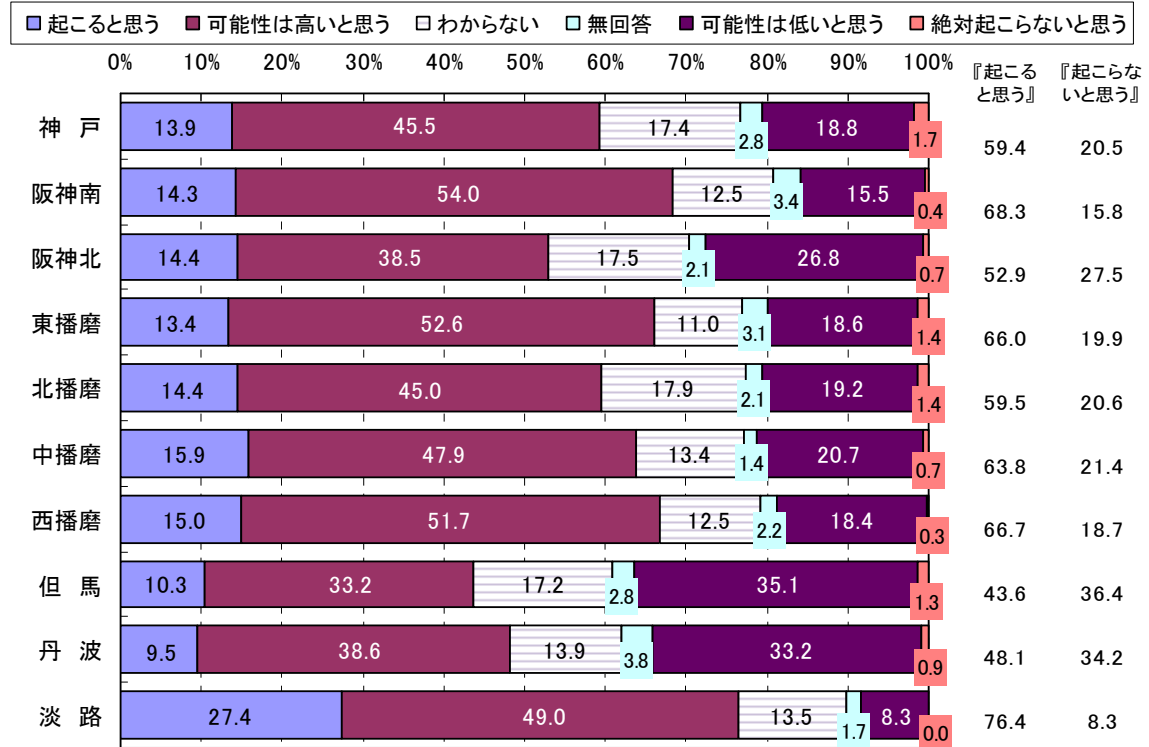
- 今年度当初に発生した淡路島を震源とする地震の発生もあり、減少傾向から一転して『起こると思う』が 10.1 ポイント増加し、6割強となっている。
一方で、『起こらないと思う』は、前年より 3.9 ポイント減少している。



【地域別】

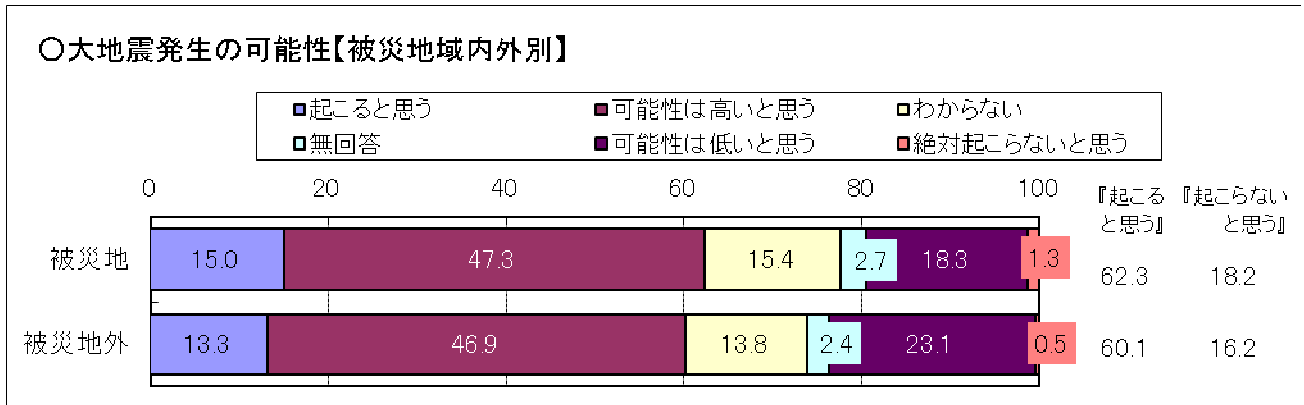
- 『起こると思う』でみると、淡路地域が7割半ばで最も高い一方で、但馬、丹波では、5割を切っ
て低くなっている。

○ 大地震発生の可能性【地域別】



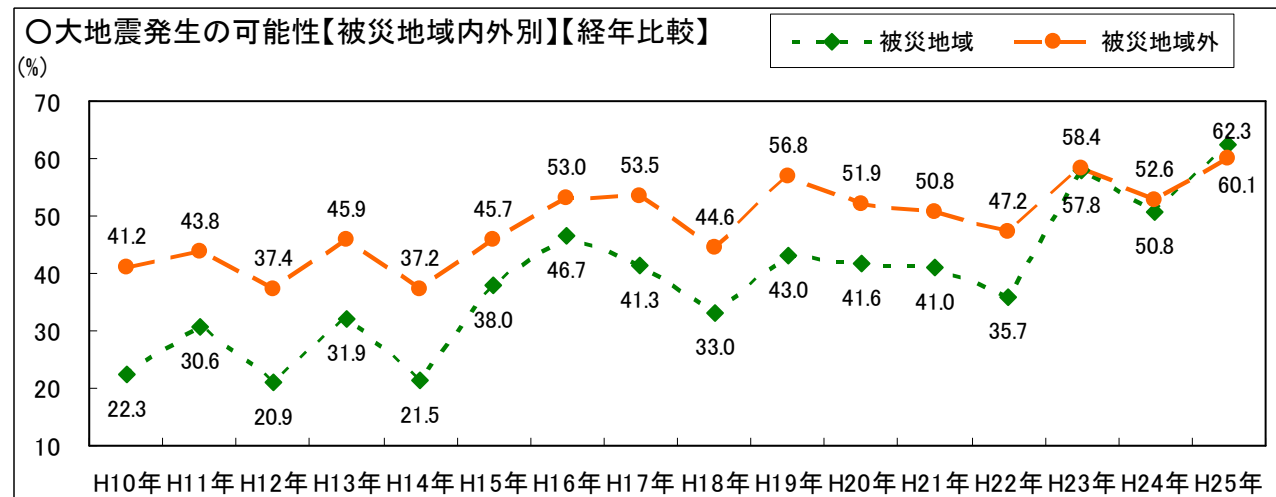
【被災地域内外別】

- 被災地内外の違いをみると、被災地内よりも被災地外の方が『起こると思う』の割合が 2.2 ポイント高くなっている。



【被災地域内外別『起こると思う』（経年比較）】

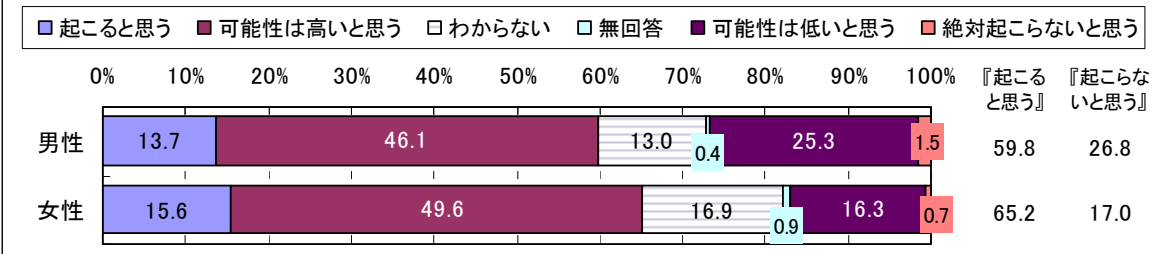
- 今年度当初に発生した淡路島を震源とする地震の発生もあり、被災地内外ともに『起こると思う』が 6 割を上回った。また、H 2 2 以前に見られたような被災地内外の差はほとんどない。



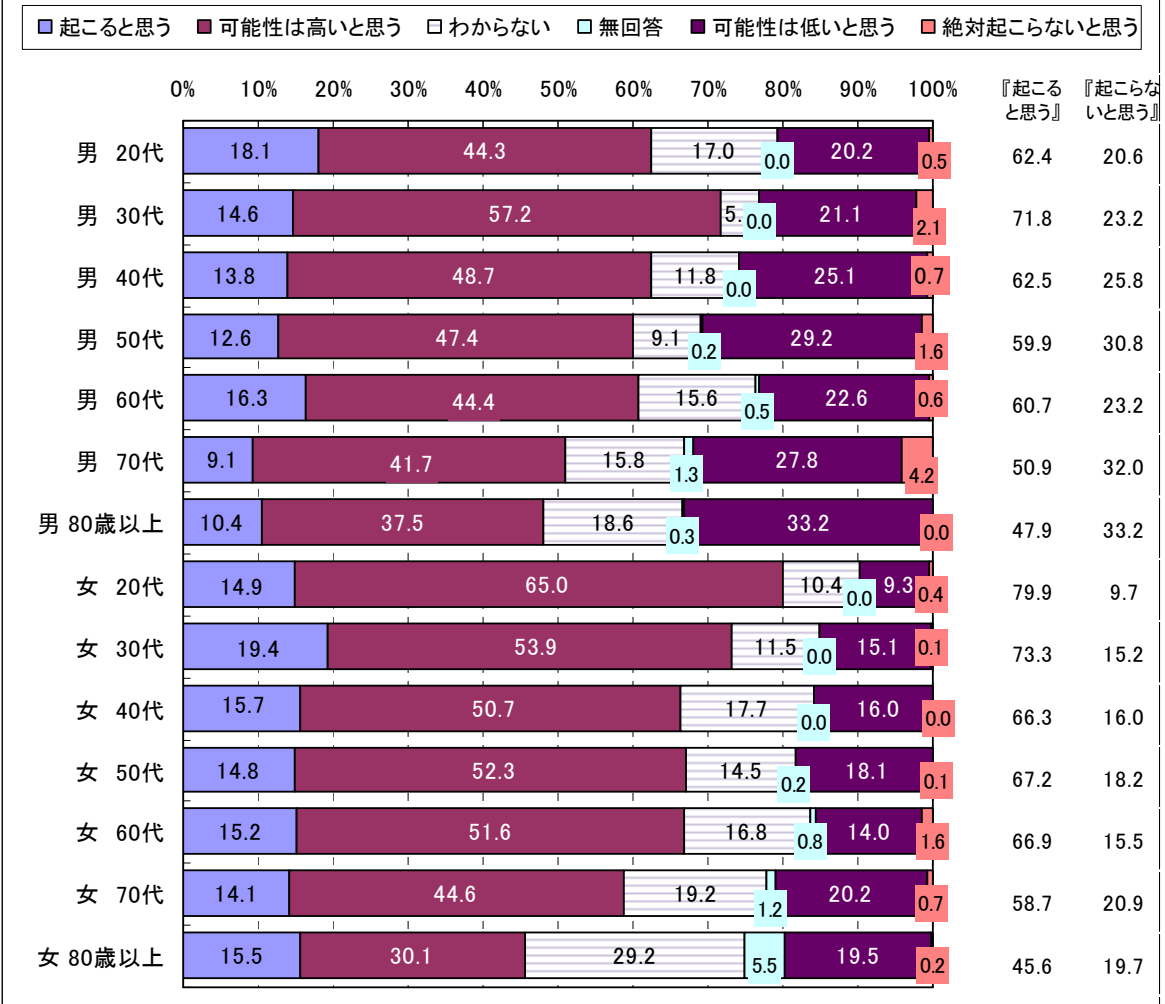
【性別、性・年代別】

- 性別で見ると、男性が女性より『起こると思う』割合が低く、80代を除き同様の傾向がみられる。

○ 大地震発生の可能性【性別】



○ 大地震発生の可能性【性・年代別】



問 2 2 地域活動への参加

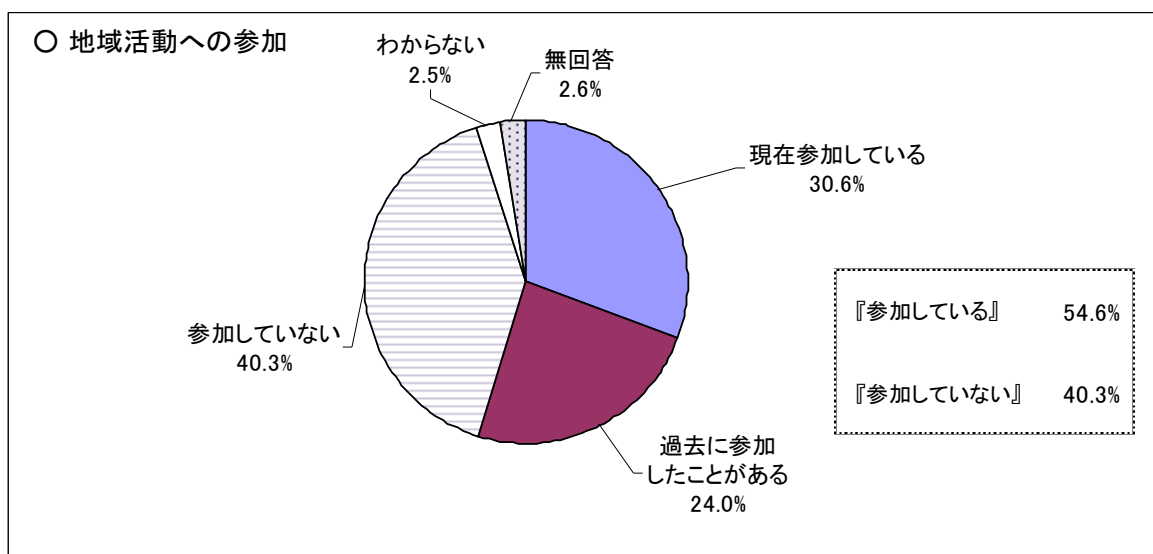
問 2 2

あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- | | |
|------------|----------------|
| 1 現在参加している | 2 過去に参加したことがある |
| 3 参加していない | 4 わからない |

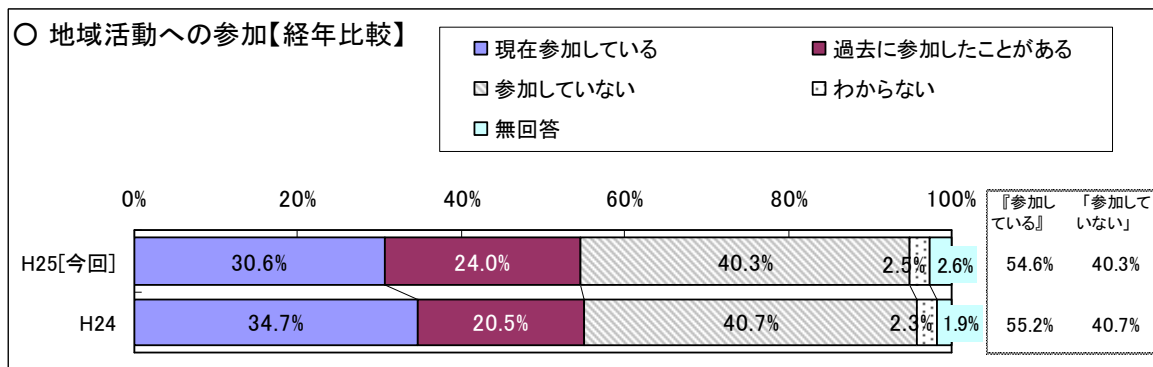
【全 県】

- 「現在参加している」と「過去に参加したことがある」を合わせた『参加している』が5割半ばとなり、半数以上の人は何らかの地域活動に参加している。



【経年比較】

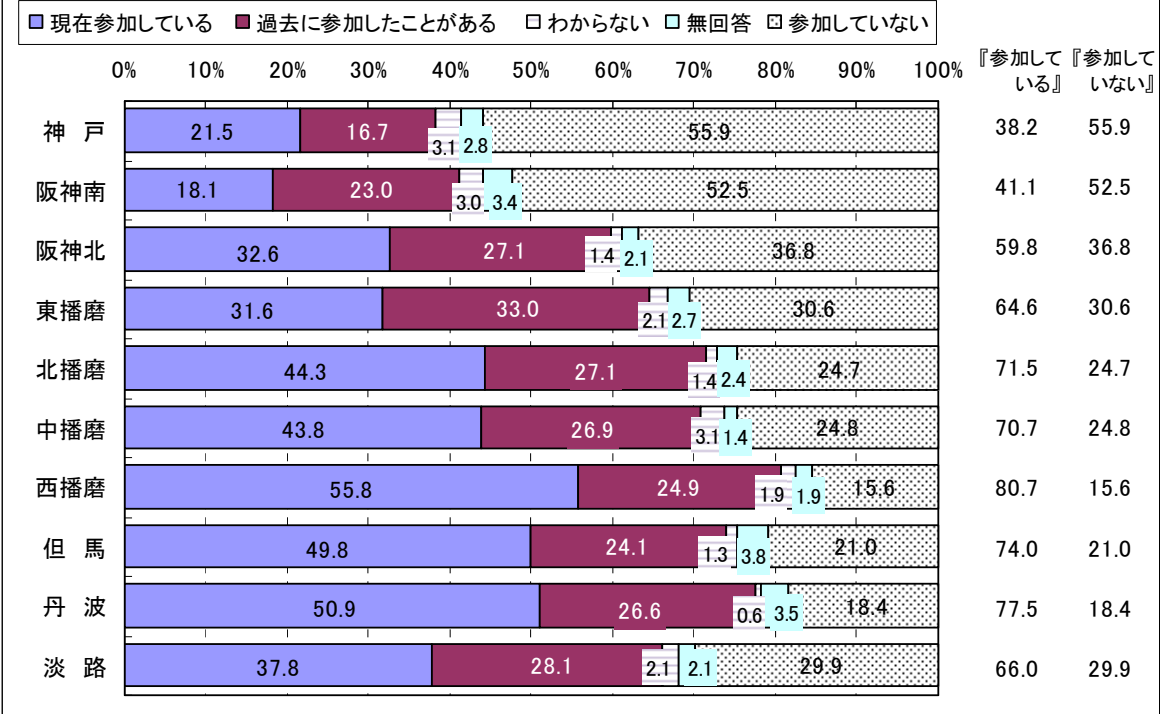
『参加している』、「参加していない」とも減少傾向にある。



【地域別】

- 『参加している』が最も多いのは西播磨で8割を超え、次に丹波が8割弱となっている。
- 阪神間では参加状況が低い傾向にある。

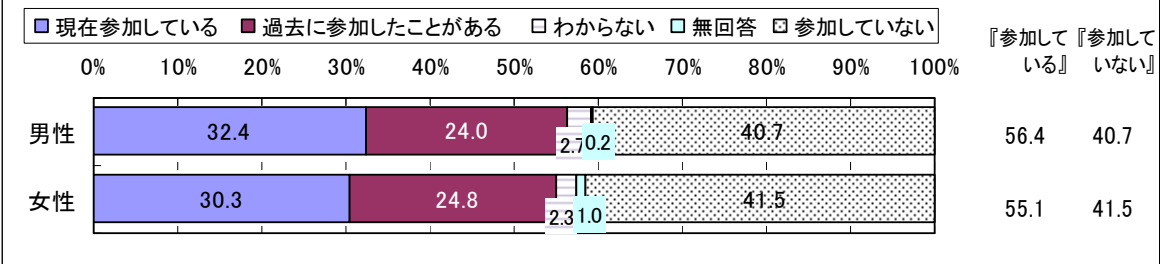
○ 地域活動への参加【地域別】



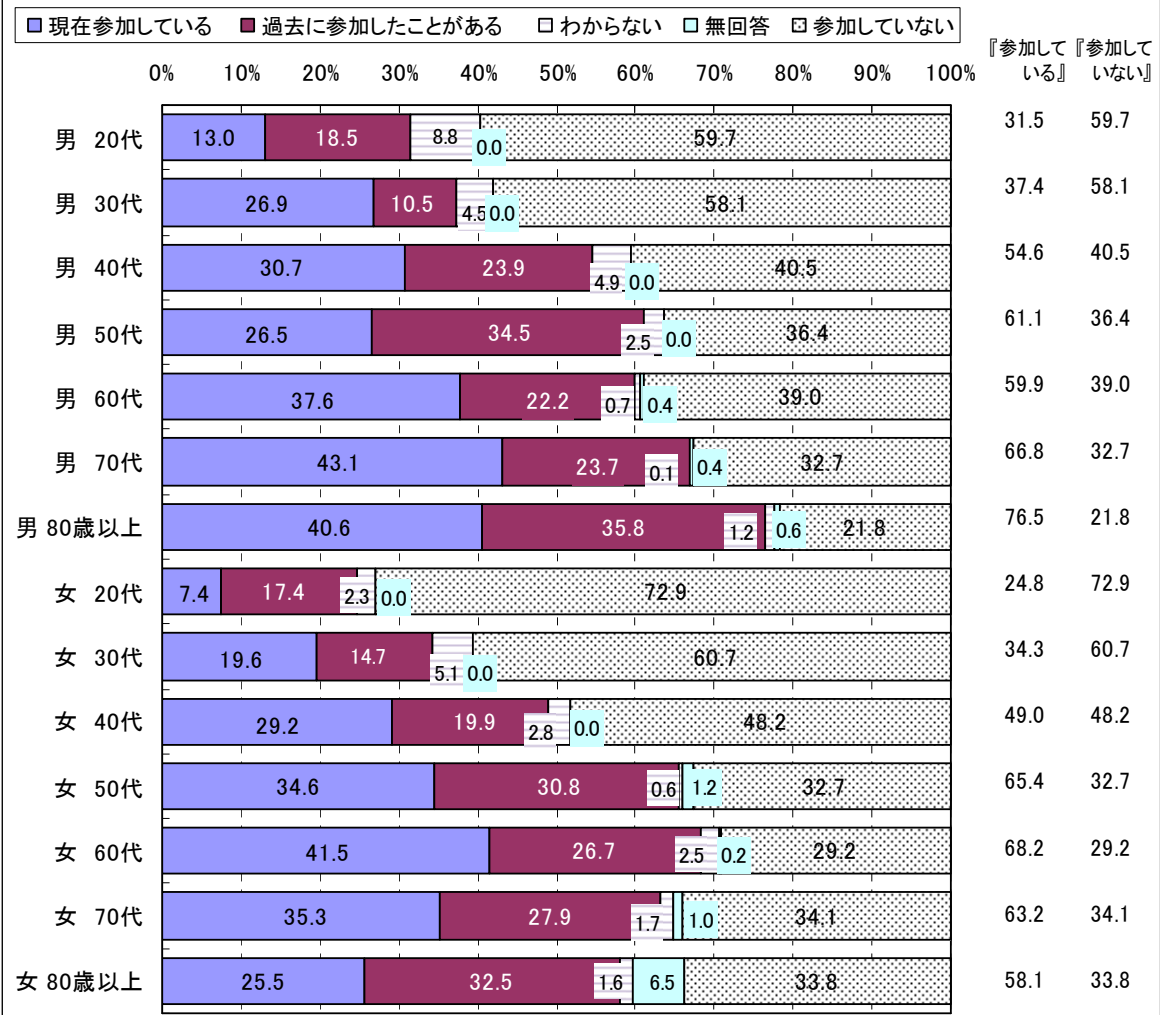
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の『参加している』割合がわずかに女性を上回っているが、大きな差は見られない。
- 性・年代別では、男女ともに高齢層ほど『参加している』割合が高い。一方、男女とも 20、30 代では 2～3 割台と低くなっている。

○ 地域活動への参加【性別】

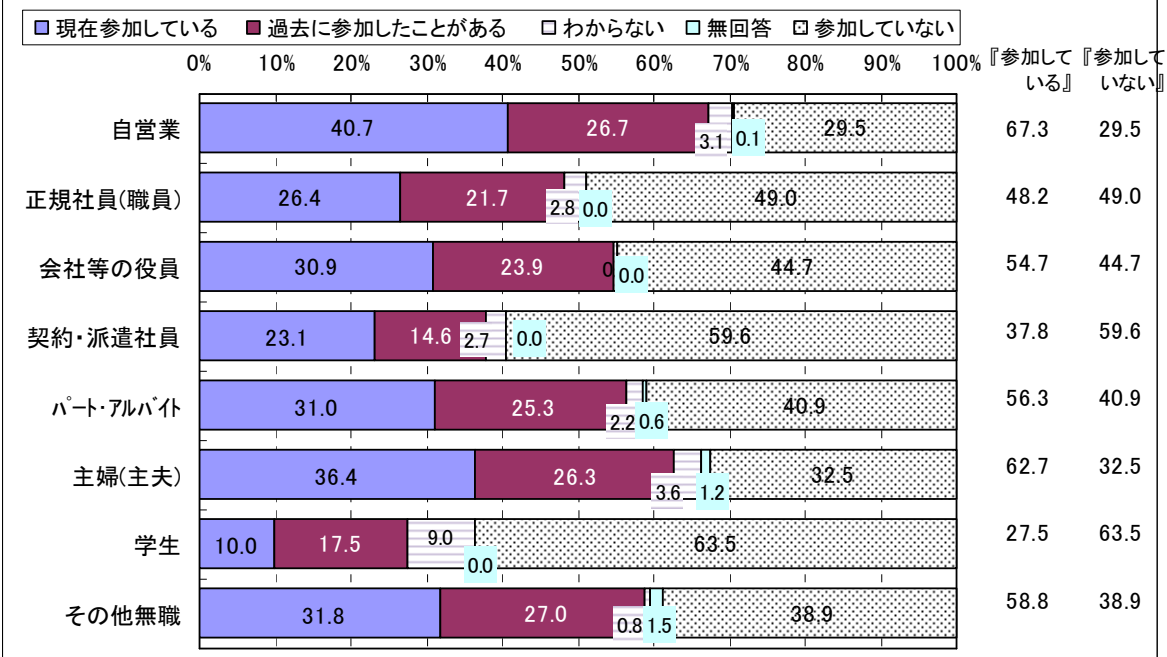


○ 地域活動への参加【性・年代別】



【職業別】

○ 地域活動への参加【職業別】



問23 県政への関心

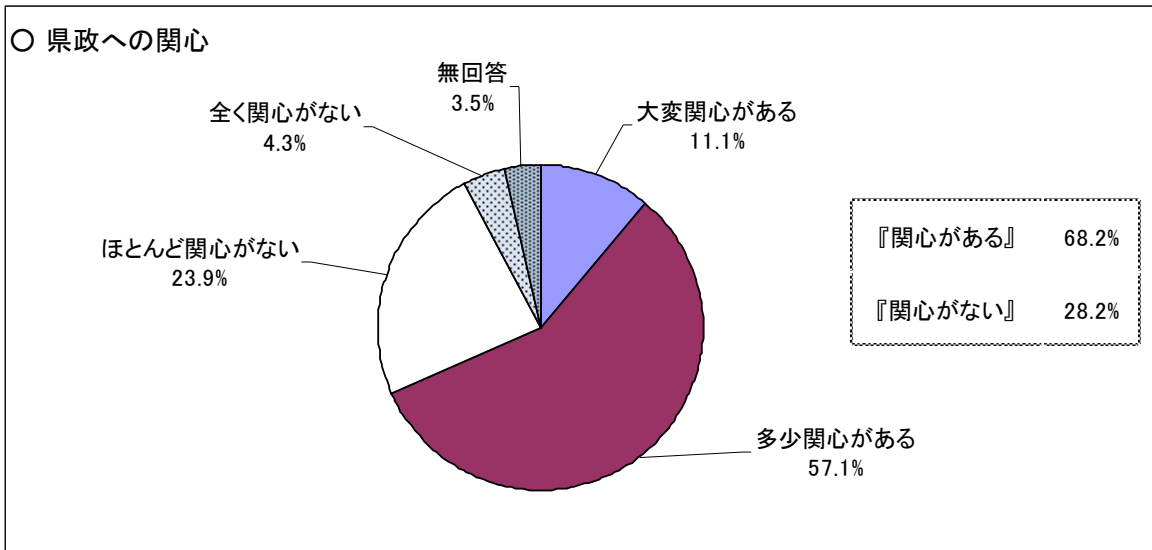
問23

あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある
- 2 多少関心がある
- 3 ほとんど関心がない
- 4 全く関心がない

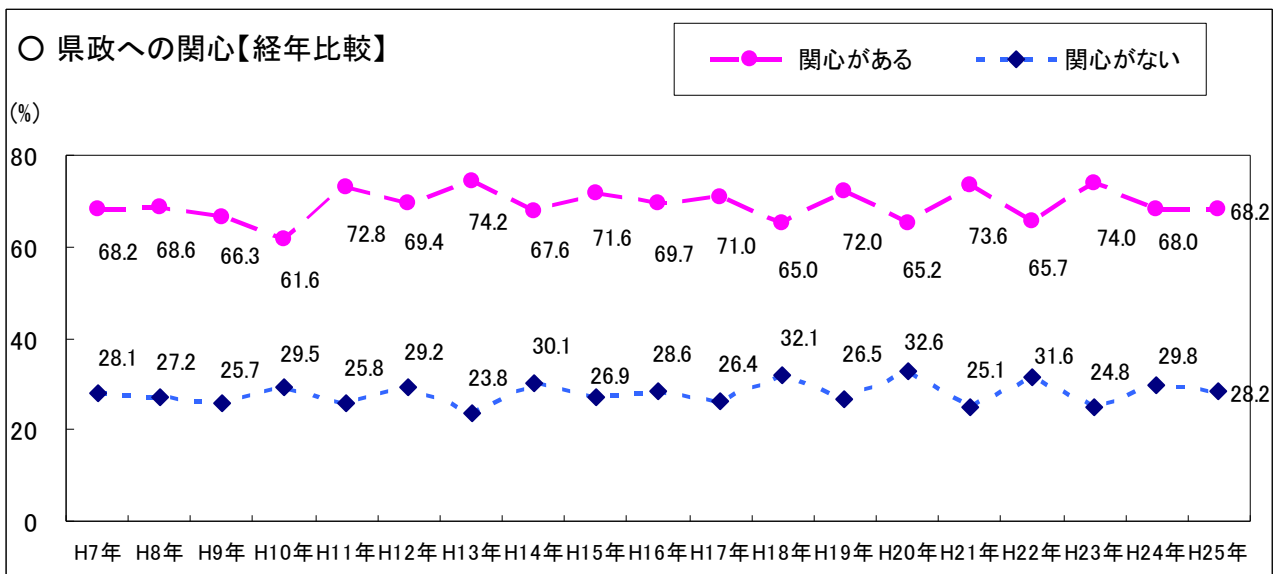
【全 県】

- 「大変関心がある」と「多少関心がある」を合わせた『関心がある』が7割弱となっている。



【経年比較】

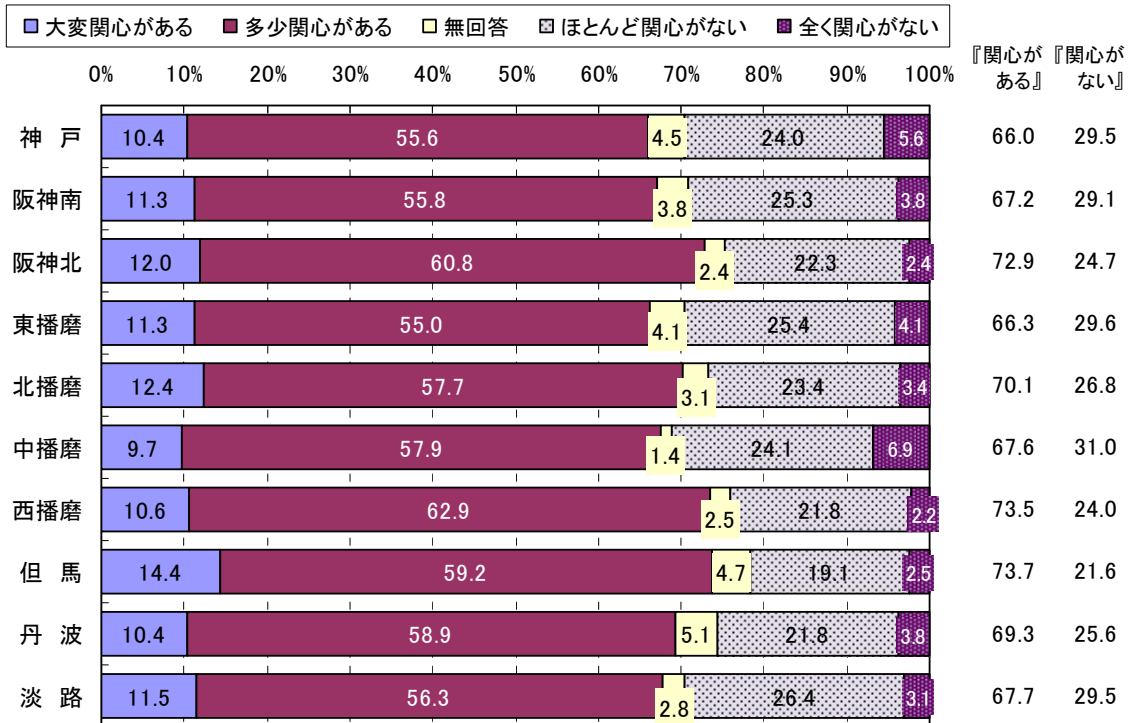
- 『関心がある』は前年より0.2ポイント増加し、一方、「まったく関心がない」と「ほとんど関心がない」を合わせた『関心がない』は前年より1.6ポイント減少している。



【地域別】

- 但馬が最も関心が高く、阪神北、北播磨、西播磨、丹波も全県の関心度（68.2%）を上回っている。

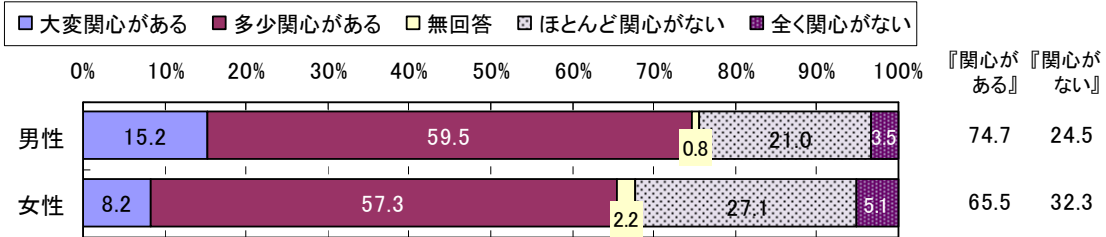
○ 県政への関心【地域別】



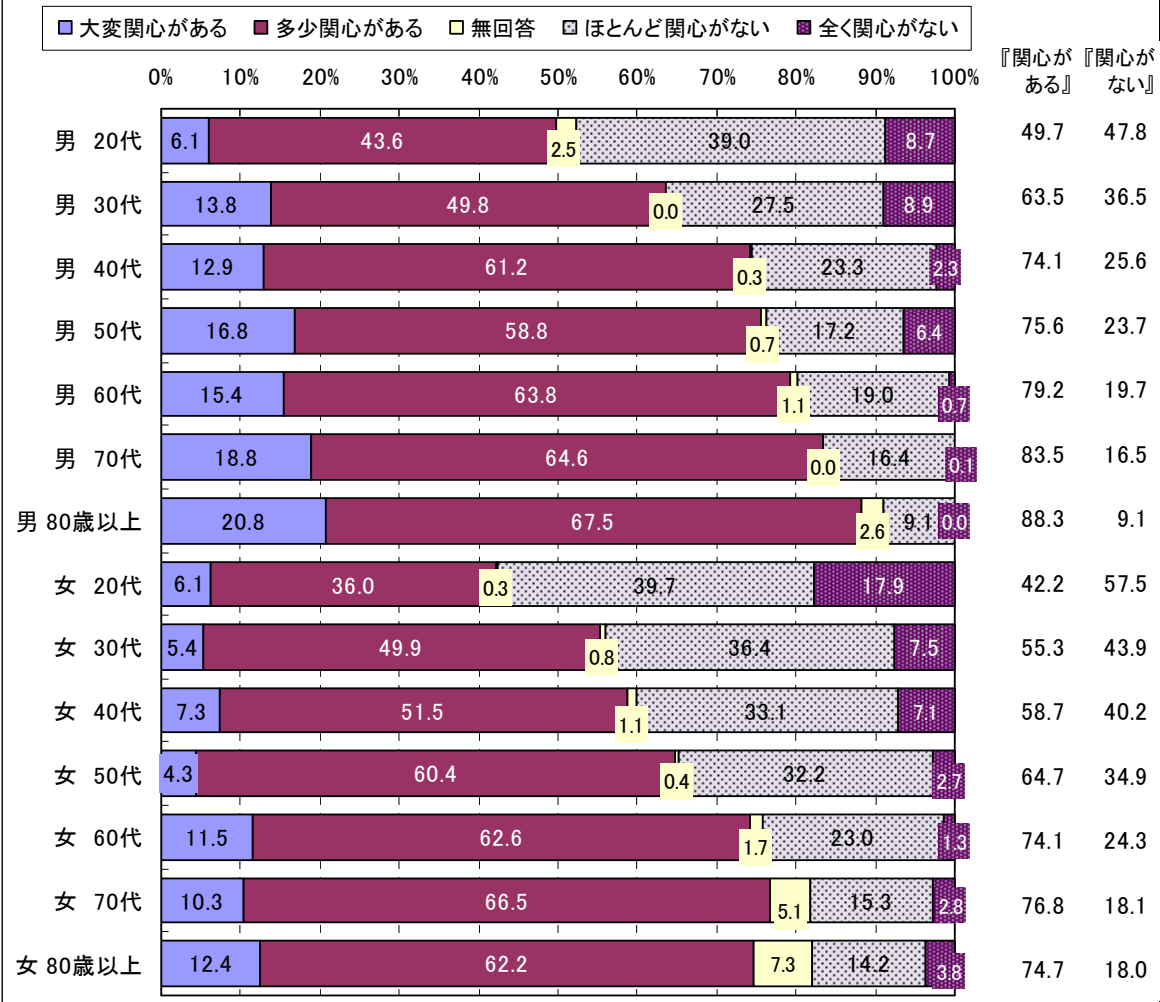
【性別、性・年代別】

- 性別では、男性の方が女性より県政に関心があり9.2ポイント高くなっている。
- 男女ともに、年代が高くなるに連れて関心が高くなる傾向がみられる。

○ 県政への関心【性別】



○ 県政への関心【性・年代別】



問24 県政への評価

問24

県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

- ア 国際的な交流や協力
- イ 県政の広報・広聴活動
- ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力
- エ 防災対策の充実
- オ 生涯学習活動への支援
- カ 芸術文化の振興
- キ 環境の保全と創造
- ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策
- ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実
- コ 県内中小企業の育成
- サ 雇用の安定と職業能力の開発
- シ 観光の振興
- ス 農林水産業の活性化対策
- セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備
- ソ 良質な住宅の供給
- タ 学校教育の充実
- チ 交通安全・防犯対策
- ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策

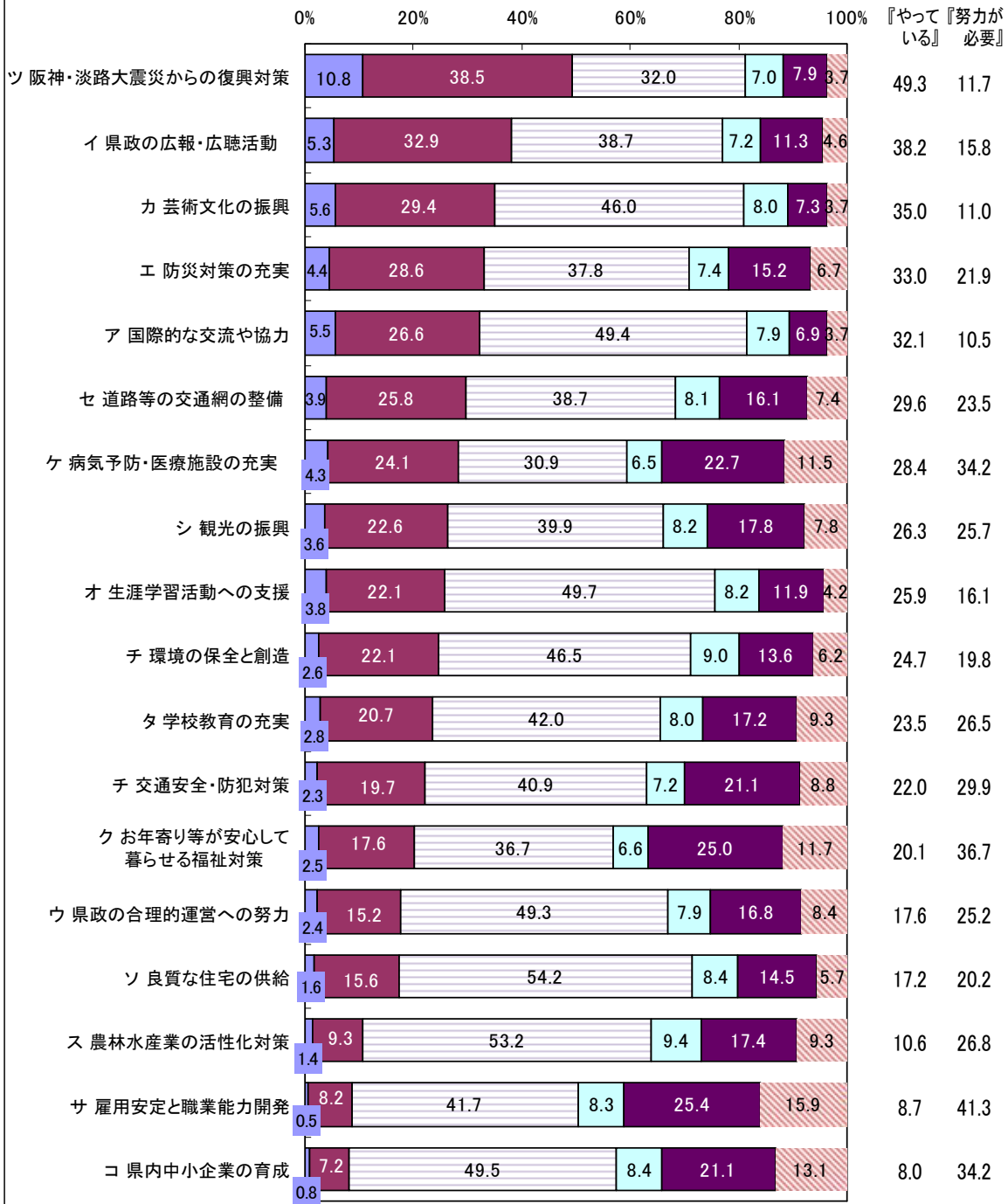
- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 よくやっている | 2 まあまあやっている | 3 どちらともいえない |
| 4 もう少し努力が必要 | 5 もっと努力が必要 | |

【全 県】

- 「よくやっている」と「まあまあやっている」を合わせた『やっている』は〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕が最も多く、〔県政の広報・広聴活動〕、〔芸術文化の振興〕、〔防災対策の充実〕と続いている。
- 「もう少し努力が必要」と「もっと努力が必要」を合わせた『努力が必要』は、〔雇用の安定と職業能力の開発〕が最も多く、〔福祉対策〕〔病気の予防や病院などの医療施設の充実〕、〔県内中小企業の育成〕〔交通安全・防犯対策〕と続いているが、前年と比較すると〔福祉対策〕は前年より2.9ポイント増加している。
- 18項目中、半数の9項目で『やっている』が『努力が必要』を上回っている。

○ 県政への評価

■ よくやっている
 ■ まあまあやっている
 どちらともいえない
 □ 無回答
 ■ もう少し努力が必要
 もっと努力が必要



【前年度比較】

- 『やっている』では、〔環境の保全と創造〕(3.0ポイント増)、〔芸術文化の振興〕(3.0ポイント増)、〔学校教育の充実〕(2.4ポイント増)など、12項目で増加している。
- 一方、『努力が必要』は〔お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策〕(2.9ポイント増)、〔道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕(2.1ポイント増)、〔観光の振興〕(1.6ポイント増)など、10項目で増加している。

◎県政への評価【前年度比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
キ 環境の保全と創造	3.0
カ 芸術文化の振興	3.0
タ 学校教育の充実	2.4
ア 国際的な交流や協力	2.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.0
イ 県政の広報・広聴活動	1.8
ソ 良質な住宅の供給	1.8
ス 農林水産業の活性化対策	1.7
オ 生涯学習活動への支援	1.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.4
コ 県内中小企業の育成	1.3
ケ 病気予防や医療施設の充実	0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.8
シ 観光の振興	-2.3
エ 防災対策の充実	-2.6
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	-2.7
チ 交通安全・防犯対策	-2.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.3

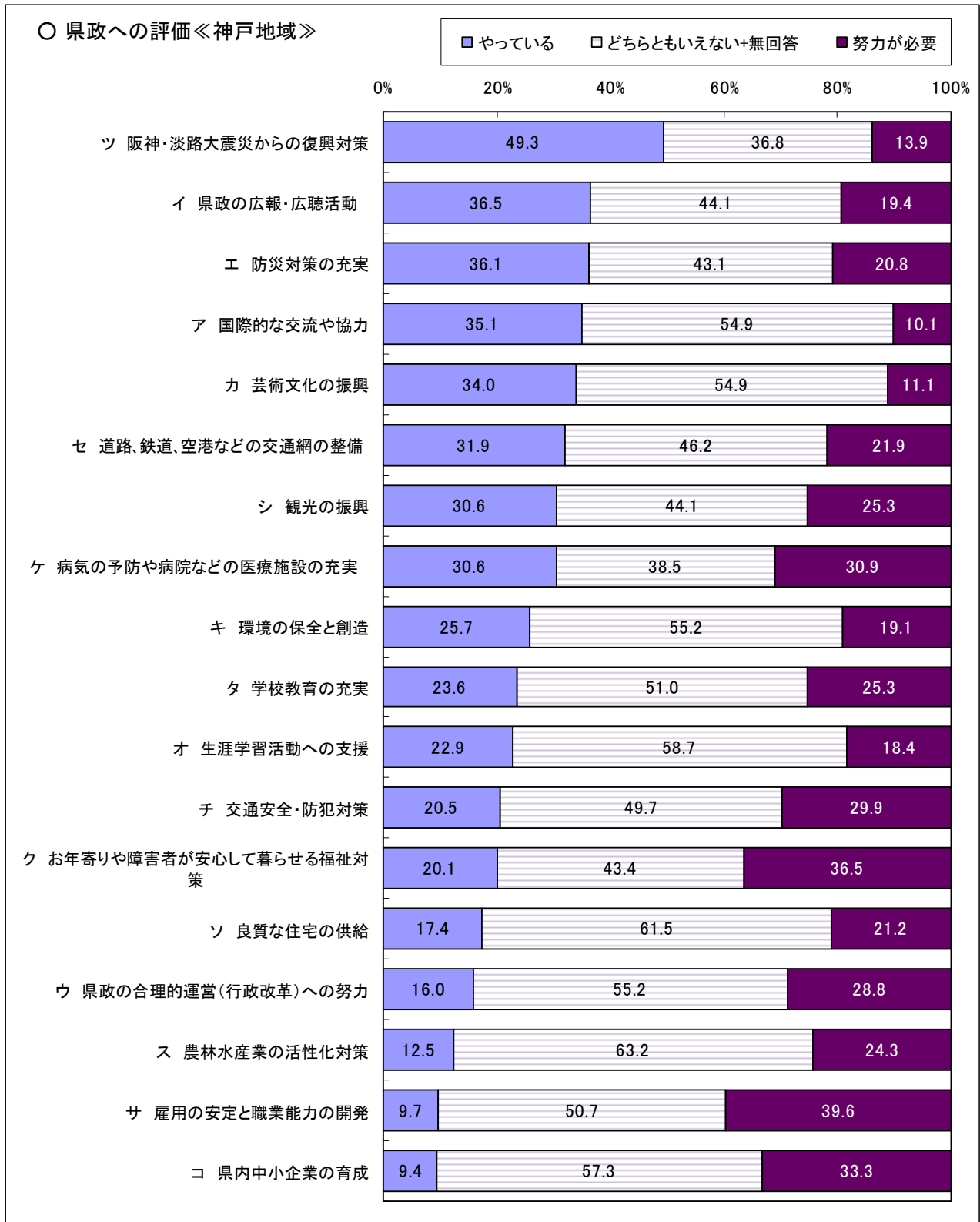
◎県政への評価【前年度比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

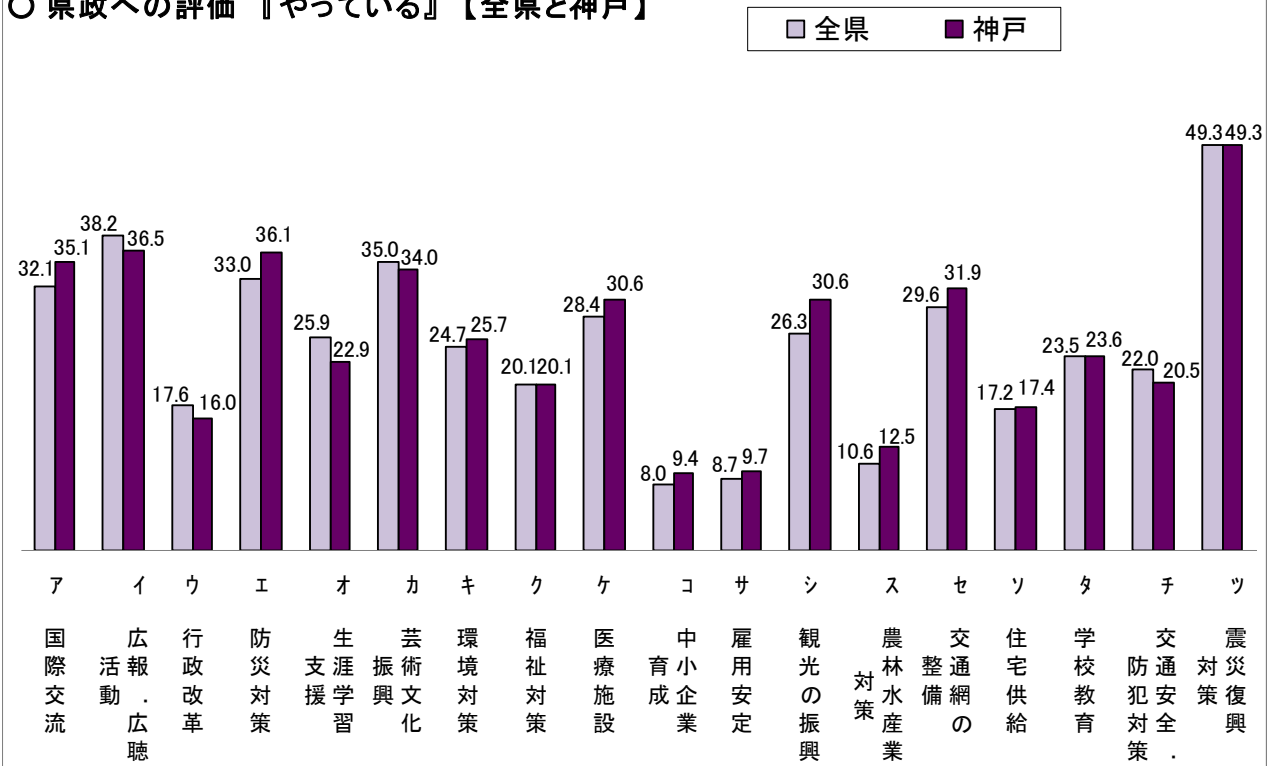
『努力が必要』	増減
ク お年寄り等が安心して暮らせる福祉対策	2.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.1
シ 観光の振興	1.6
ス 農林水産業の活性化対策	0.9
チ 交通安全・防犯対策	0.8
キ 環境の保全と創造	0.6
コ 県内中小企業の育成	0.6
イ 県政の広報・広聴活動	0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.1
ソ 良質な住宅の供給	0.1
ケ 病気予防や医療施設の充実	-0.2
オ 生涯学習活動への支援	-0.3
エ 防災対策の充実	-0.3
カ 芸術文化の振興	-1.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.3
ア 国際的な交流や協力	-1.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.0
タ 学校教育の充実	-2.7

《神戸地域》

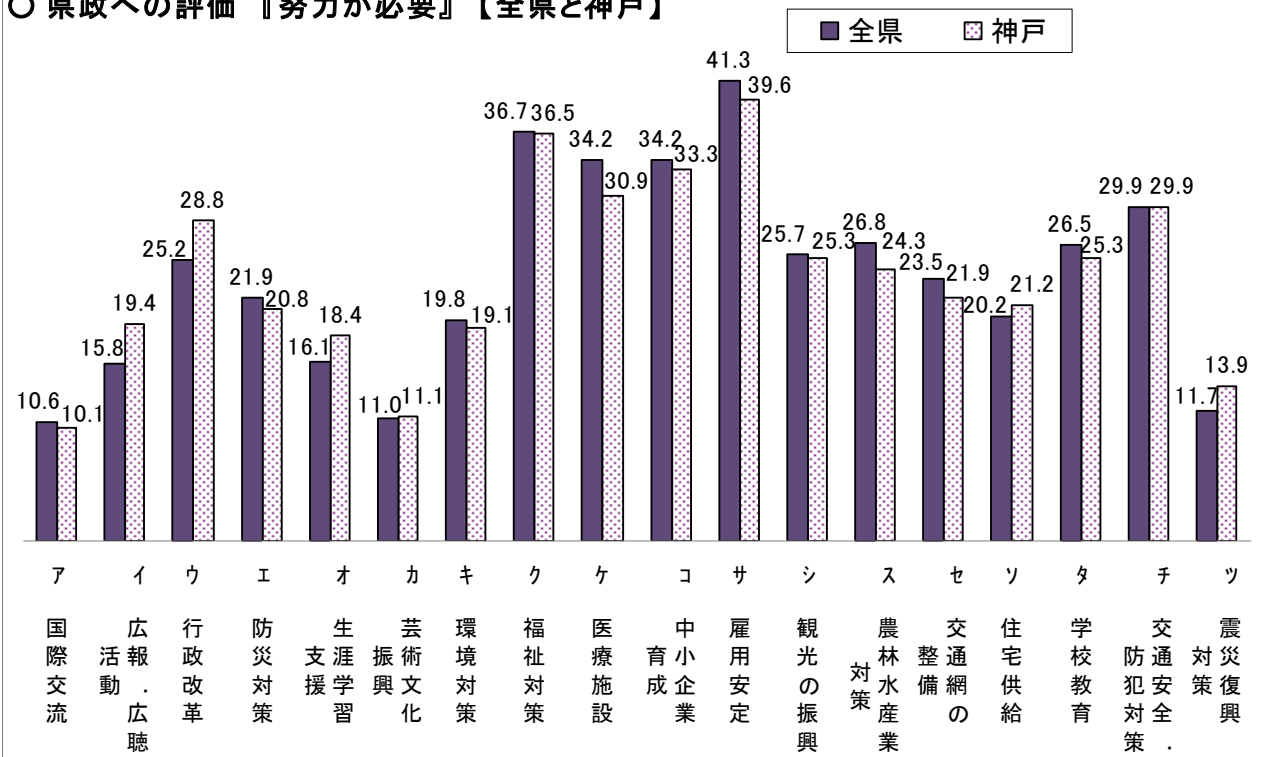
- [阪神・淡路大震災からの復興対策] [県政の広報・広聴活動]などで評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と神戸】



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と神戸】



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
シ 観光の振興	4.3
エ 防災対策の充実	3.1
ア 国際的な交流や協力	2.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.3
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.2
ス 農林水産業の活性化対策	1.9
コ 県内中小企業の育成	1.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.0
キ 環境の保全と創造	1.0
タ 学校教育の充実	0.1
ソ 良質な住宅の供給	0.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.0
カ 芸術文化の振興	-1.0
チ 交通安全・防犯対策	-1.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.6
イ 県政の広報・広聴活動	-1.8
オ 生涯学習活動への支援	-3.0

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	3.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.6
オ 生涯学習活動への支援	2.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.2
ソ 良質な住宅の供給	1.0
カ 芸術文化の振興	0.1
チ 交通安全・防犯対策	0.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.2
シ 観光の振興	-0.3
キ 環境の保全と創造	-0.7
コ 県内中小企業の育成	-0.8
ア 国際的な交流や協力	-0.5
エ 防災対策の充実	-1.0
タ 学校教育の充実	-1.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.7
ス 農林水産業の活性化対策	-2.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.3

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
キ 環境の保全と創造	4.7
ス 農林水産業の活性化対策	3.2
タ 学校教育の充実	2.6
コ 県内中小企業の育成	2.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.8
カ 芸術文化の振興	1.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.8
オ 生涯学習活動への支援	0.7
エ 防災対策の充実	0.3
ア 国際的な交流や協力	0.0
シ 観光の振興	-0.2
ソ 良質な住宅の供給	-0.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.2
イ 県政の広報・広聴活動	-3.2
チ 交通安全・防犯対策	-4.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-9.3

◎県政への評価【前年結果との比較】

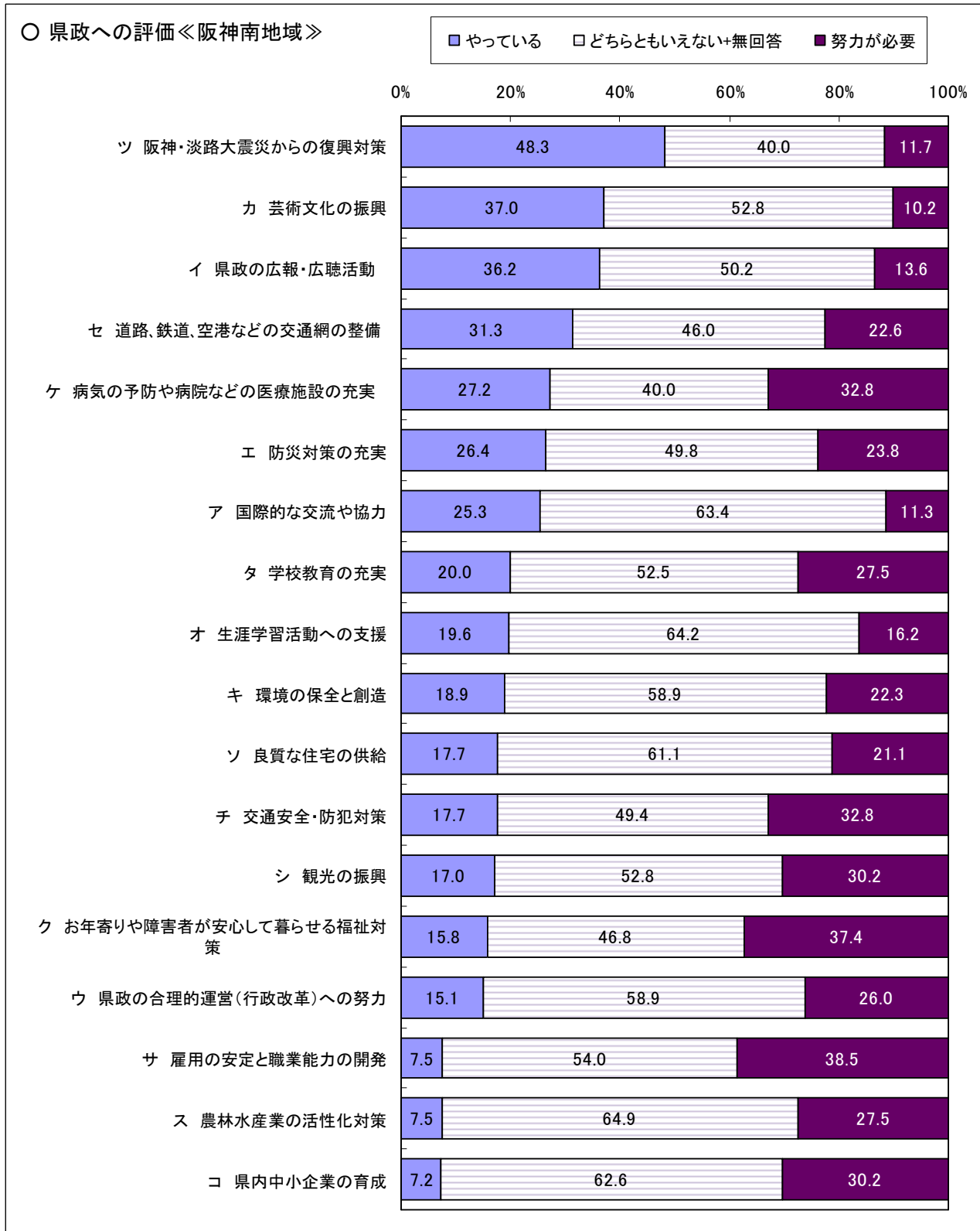
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
イ 県政の広報・広聴活動	5.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.0
オ 生涯学習活動への支援	1.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.3
シ 観光の振興	0.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.4
ソ 良質な住宅の供給	0.2
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.1
エ 防災対策の充実	-0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
キ 環境の保全と創造	-0.4
タ 学校教育の充実	-1.5
ア 国際的な交流や協力	-1.2
チ 交通安全・防犯対策	-2.4
コ 県内中小企業の育成	-3.2
カ 芸術文化の振興	-3.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-3.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.0

- 全県との比較では、〔観光の振興〕等の評価が高く、〔県政の広報・広聴活動〕〔県政の合理的運営への努力〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔環境の保全と創造〕等の評価が高く、〔県政の広報・広聴活動〕等で努力が求められている。

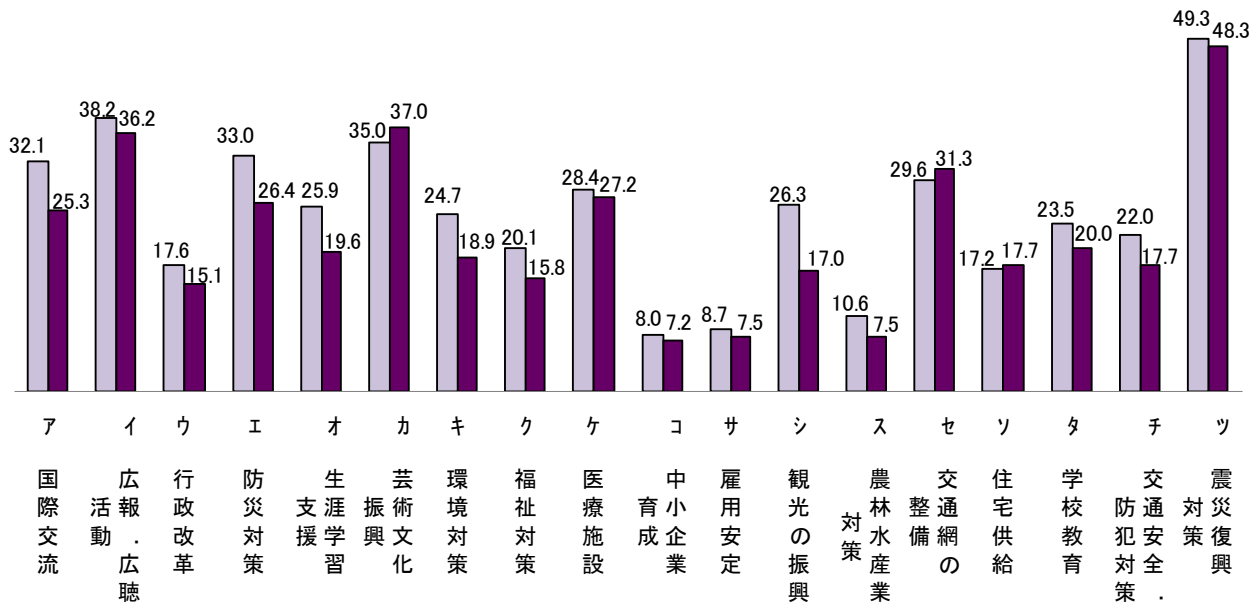
《阪神南地域》

- [阪神・淡路大震災からの復興対策] [芸術文化の振興]などで評価が高い。



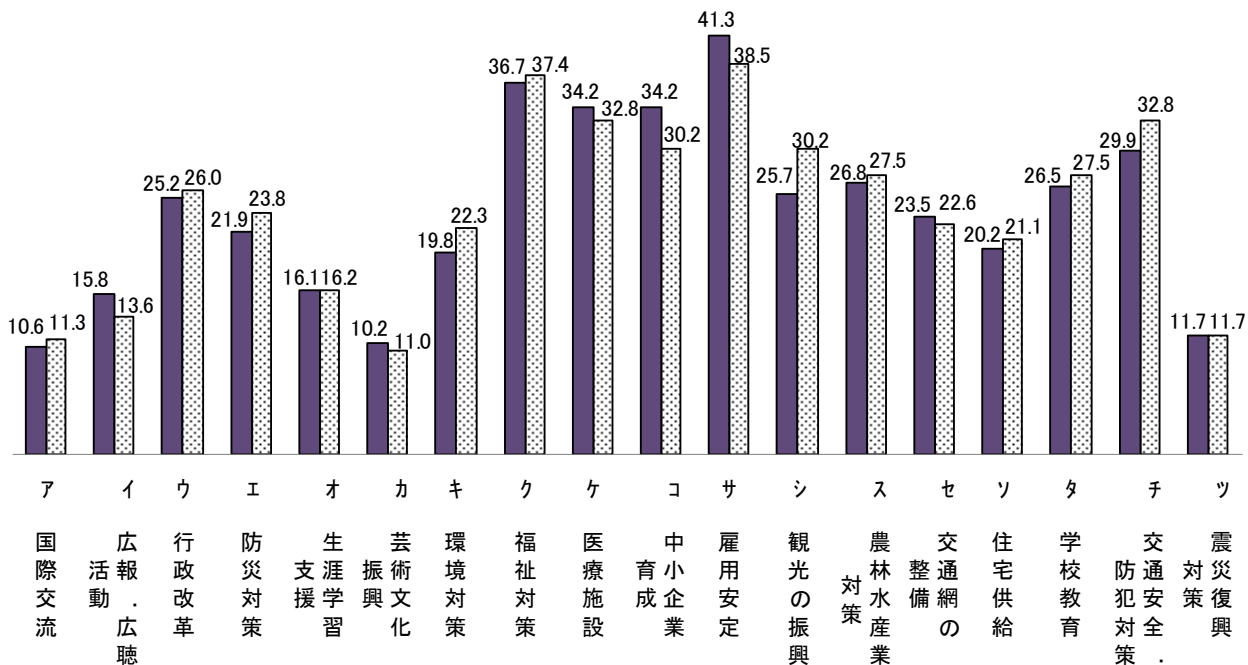
○ 県政への評価 『やっている』【全県と阪神南】

■ 全県 ■ 阪神南



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と阪神南】

■ 全県 ■ 阪神南



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
カ 芸術文化の振興	2.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.7
ソ 良質な住宅の供給	0.5
コ 県内中小企業の育成	-0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.2
イ 県政の広報・広聴活動	-2.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.5
ス 農林水産業の活性化対策	-3.1
タ 学校教育の充実	-3.5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.2
チ 交通安全・防犯対策	-4.3
キ 環境の保全と創造	-5.9
オ 生涯学習活動への支援	-6.3
エ 防災対策の充実	-6.6
ア 国際的な交流や協力	-6.8
シ 観光の振興	-9.3

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
シ 観光の振興	4.5
チ 交通安全・防犯対策	3.0
キ 環境の保全と創造	2.5
エ 防災対策の充実	1.9
タ 学校教育の充実	1.0
ソ 良質な住宅の供給	0.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.8
ス 農林水産業の活性化対策	0.8
ア 国際的な交流や協力	0.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.7
オ 生涯学習活動への支援	0.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.0
カ 芸術文化の振興	-0.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.4
イ 県政の広報・広聴活動	-2.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.8
コ 県内中小企業の育成	-4.0

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ソ 良質な住宅の供給	2.6
コ 県内中小企業の育成	2.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.8
イ 県政の広報・広聴活動	0.6
カ 芸術文化の振興	0.5
ア 国際的な交流や協力	-0.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.2
タ 学校教育の充実	-1.3
ス 農林水産業の活性化対策	-1.9
オ 生涯学習活動への支援	-2.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.3
キ 環境の保全と創造	-3.7
チ 交通安全・防犯対策	-4.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-5.1
エ 防災対策の充実	-6.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-11.7
シ 観光の振興	-14.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

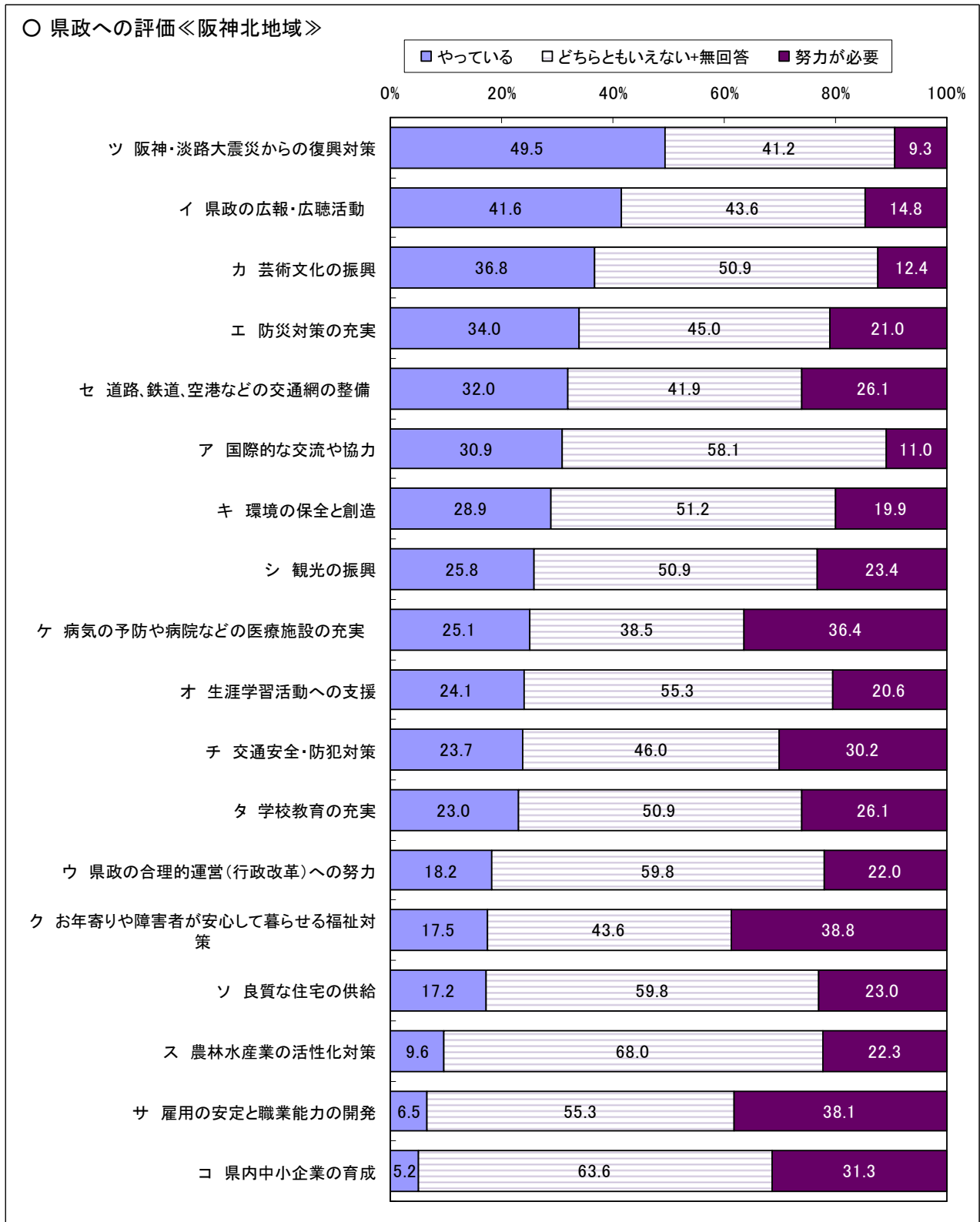
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
シ 観光の振興	6.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.2
ス 農林水産業の活性化対策	3.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.9
コ 県内中小企業の育成	2.3
ソ 良質な住宅の供給	1.9
キ 環境の保全と創造	1.4
チ 交通安全・防犯対策	1.3
カ 芸術文化の振興	0.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.2
オ 生涯学習活動への支援	-0.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-0.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.3
ア 国際的な交流や協力	-3.4
イ 県政の広報・広聴活動	-3.6
エ 防災対策の充実	-3.7
タ 学校教育の充実	-6.1

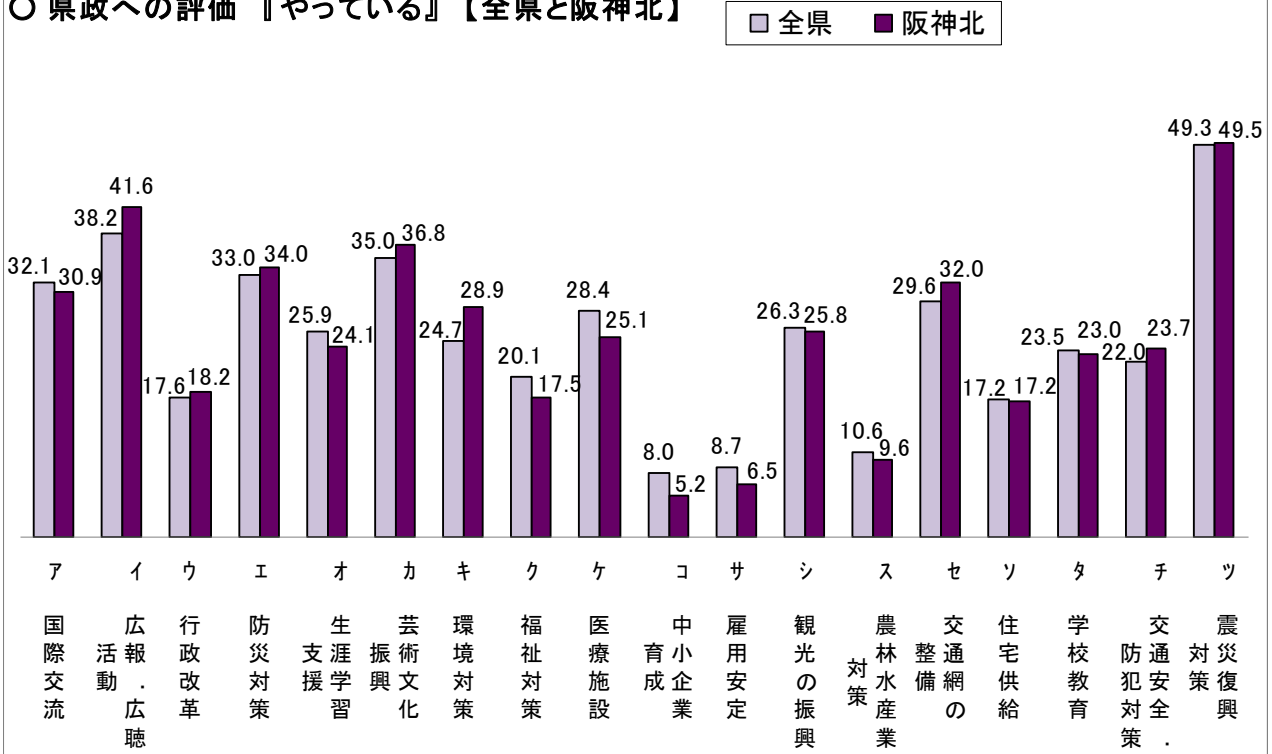
- 全県との比較では、〔芸術文化の振興〕等の評価が高く、〔観光の振興〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔良質な住宅の供給〕等の評価が高く、〔観光の振興〕等で努力が求められている。

《阪神北地域》

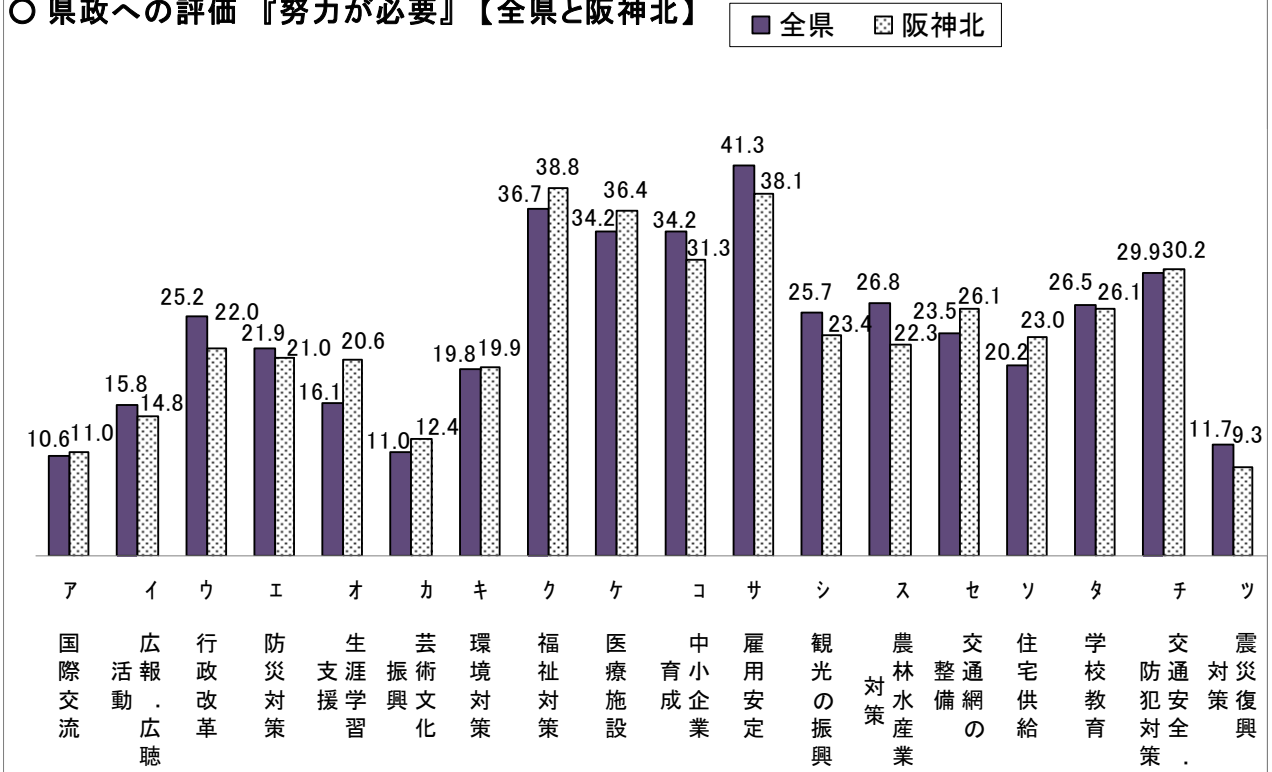
- [阪神・淡路大震災からの復興対策] [県政の広報・広聴活動]などで評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と阪神北】



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と阪神北】



◎県政への評価【全県結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
キ 環境の保全と創造	4.1
イ 県政の広報・広聴活動	3.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.3
カ 芸術文化の振興	1.8
チ 交通安全・防犯対策	1.7
エ 防災対策の充実	1.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.2
ソ 良質な住宅の供給	-0.1
タ 学校教育の充実	-0.5
シ 観光の振興	-0.5
ス 農林水産業の活性化対策	-1.0
ア 国際的な交流や協力	-1.2
オ 生涯学習活動への支援	-1.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.6
コ 県内中小企業の育成	-2.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.6

◎県政への評価【全県結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	4.5
ソ 良質な住宅の供給	2.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	2.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.2
カ 芸術文化の振興	1.4
ア 国際的な交流や協力	0.4
チ 交通安全・防犯対策	0.4
キ 環境の保全と創造	0.1
タ 学校教育の充実	-0.4
エ 防災対策の充実	-0.9
イ 県政の広報・広聴活動	-1.1
シ 観光の振興	-2.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.4
コ 県内中小企業の育成	-2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.2
ス 農林水産業の活性化対策	-4.4

◎県政への評価【前年結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
キ 環境の保全と創造	8.9
イ 県政の広報・広聴活動	8.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	8.1
ア 国際的な交流や協力	7.4
カ 芸術文化の振興	5.2
オ 生涯学習活動への支援	3.4
エ 防災対策の充実	2.5
タ 学校教育の充実	2.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.9
シ 観光の振興	0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.4
ソ 良質な住宅の供給	0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.5
チ 交通安全・防犯対策	-0.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.7
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.2
コ 県内中小企業の育成	-3.5

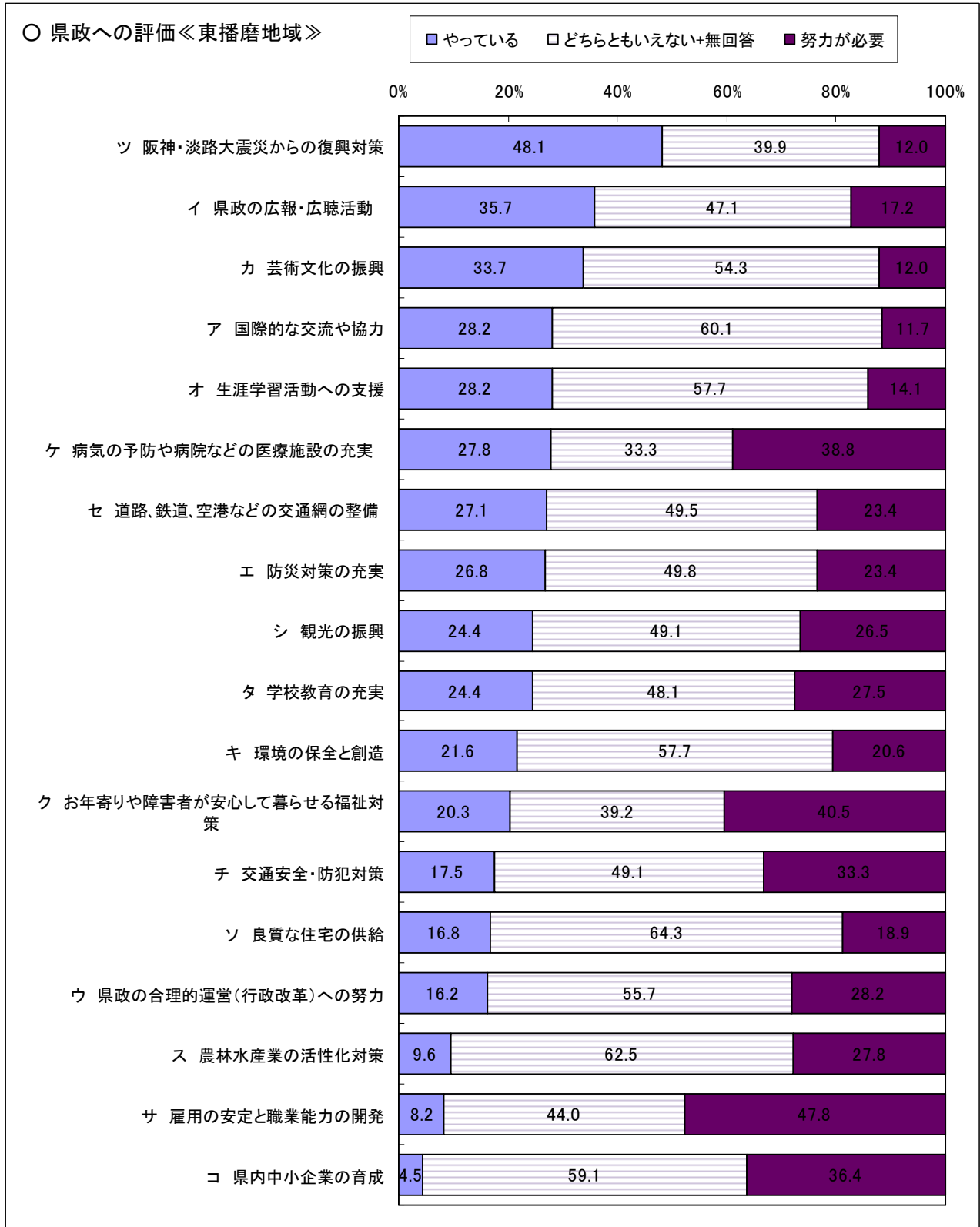
◎県政への評価【前年結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.0
シ 観光の振興	3.4
チ 交通安全・防犯対策	2.7
ソ 良質な住宅の供給	1.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.3
オ 生涯学習活動への支援	1.1
イ 県政の広報・広聴活動	-0.4
カ 芸術文化の振興	-0.7
タ 学校教育の充実	-0.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.0
ス 農林水産業の活性化対策	-1.6
ア 国際的な交流や協力	-1.7
コ 県内中小企業の育成	-1.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.0
キ 環境の保全と創造	-2.9
エ 防災対策の充実	-3.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-5.9

- 全県との比較では、〔環境の保全と創造〕等で評価が高く、〔生涯学習活動への支援〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔環境の保全と創造〕等で評価が高く、〔道路、鉄道、空港などの交通網の整備〕等で努力が求められている。

《東播磨地域》

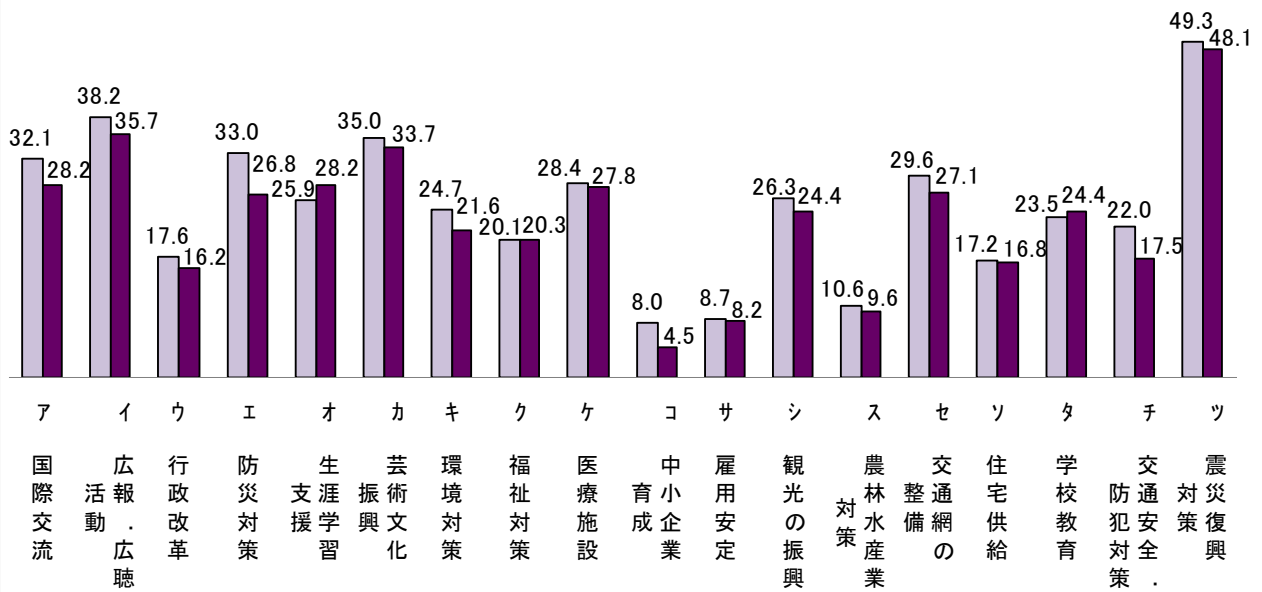
- [阪神・淡路大震災からの復興対策] [県政の広報・広聴活動]などで評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と東播磨】

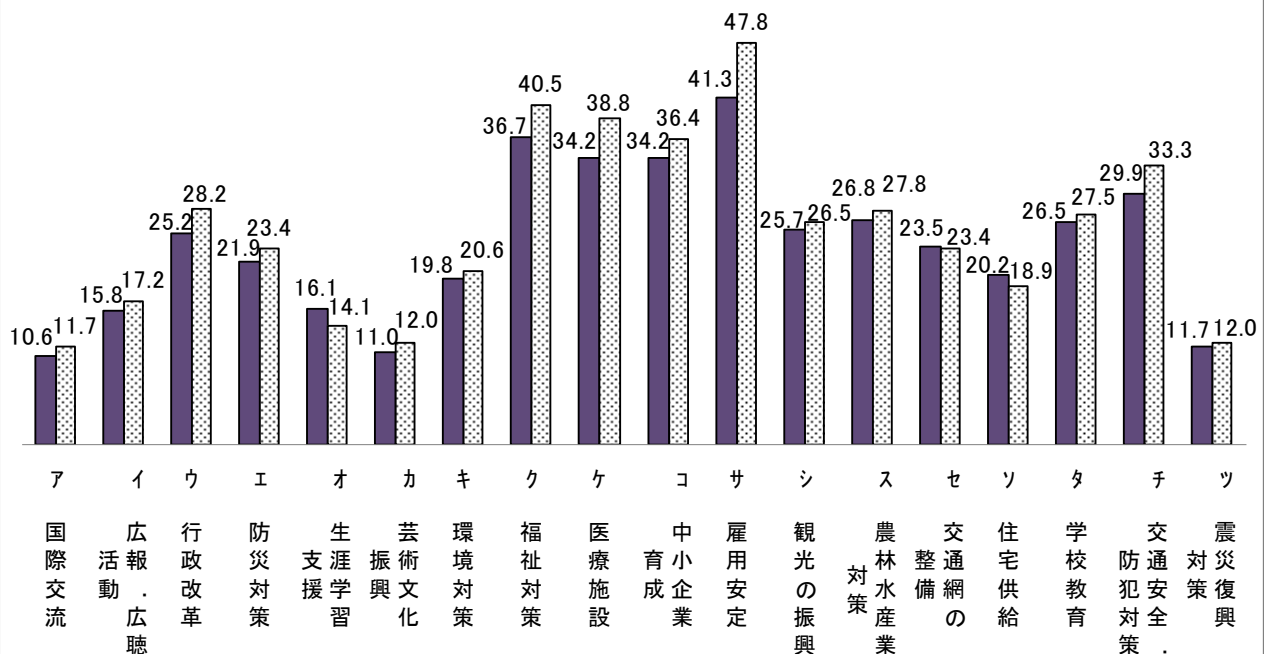
■ 全県 ■ 東播磨

(%)



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と東播磨】

■ 全県 ■ 東播磨



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	2.3
タ 学校教育の充実	0.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.2
ソ 良質な住宅の供給	-0.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-0.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.5
ス 農林水産業の活性化対策	-1.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.2
カ 芸術文化の振興	-1.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.4
シ 観光の振興	-1.9
イ 県政の広報・広聴活動	-2.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.5
キ 環境の保全と創造	-3.1
コ 県内中小企業の育成	-3.5
ア 国際的な交流や協力	-4.0
チ 交通安全・防犯対策	-4.5
エ 防災対策の充実	-6.2

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
サ 雇用の安定と職業能力の開発	6.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.6
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.9
チ 交通安全・防犯対策	3.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.9
コ 県内中小企業の育成	2.3
エ 防災対策の充実	1.5
イ 県政の広報・広聴活動	1.3
ア 国際的な交流や協力	1.1
ス 農林水産業の活性化対策	1.1
カ 芸術文化の振興	1.0
タ 学校教育の充実	1.0
キ 環境の保全と創造	0.8
シ 観光の振興	0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.1
ソ 良質な住宅の供給	-1.3
オ 生涯学習活動への支援	-2.1

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
カ 芸術文化の振興	6.2
オ 生涯学習活動への支援	5.9
イ 県政の広報・広聴活動	4.7
キ 環境の保全と創造	4.6
タ 学校教育の充実	3.8
ス 農林水産業の活性化対策	3.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.9
ソ 良質な住宅の供給	1.9
コ 県内中小企業の育成	-0.1
シ 観光の振興	-0.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.7
ア 国際的な交流や協力	-1.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.8
エ 防災対策の充実	-4.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.3
チ 交通安全・防犯対策	-6.9

◎県政への評価【前年結果との比較】

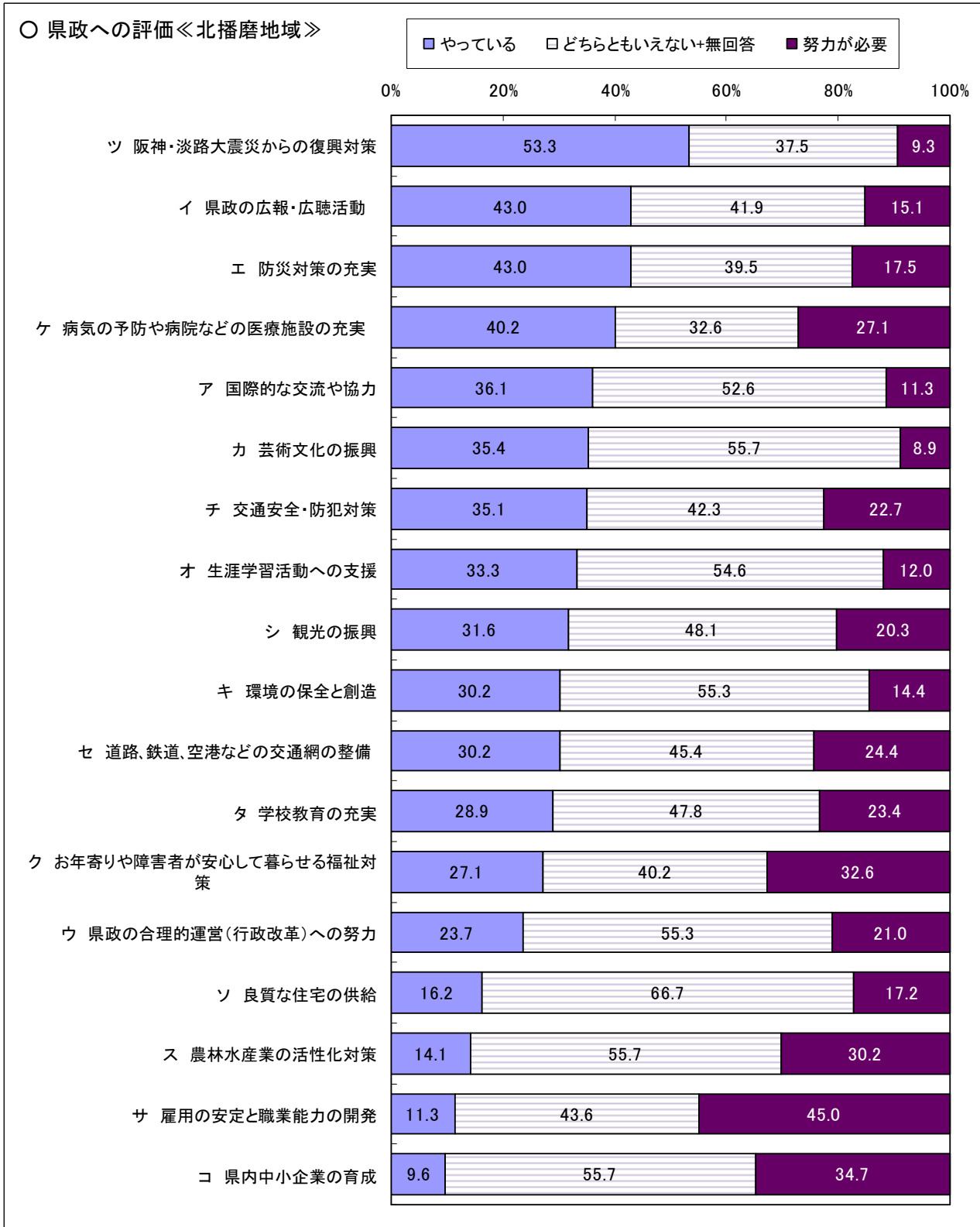
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
コ 県内中小企業の育成	6.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	6.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	3.2
チ 交通安全・防犯対策	3.0
ス 農林水産業の活性化対策	2.7
ソ 良質な住宅の供給	1.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.9
イ 県政の広報・広聴活動	0.5
シ 観光の振興	0.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.0
ア 国際的な交流や協力	-1.6
カ 芸術文化の振興	-1.6
エ 防災対策の充実	-1.7
キ 環境の保全と創造	-2.0
タ 学校教育の充実	-2.8
オ 生涯学習活動への支援	-5.4

- 全県との比較では、〔生涯学習活動への支援〕の評価が高く、〔雇用の安定と職業能力の開発〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔芸術文化の振興〕等の評価が高く、〔県内中小企業の育成〕で努力が求められている。

《北播磨地域》

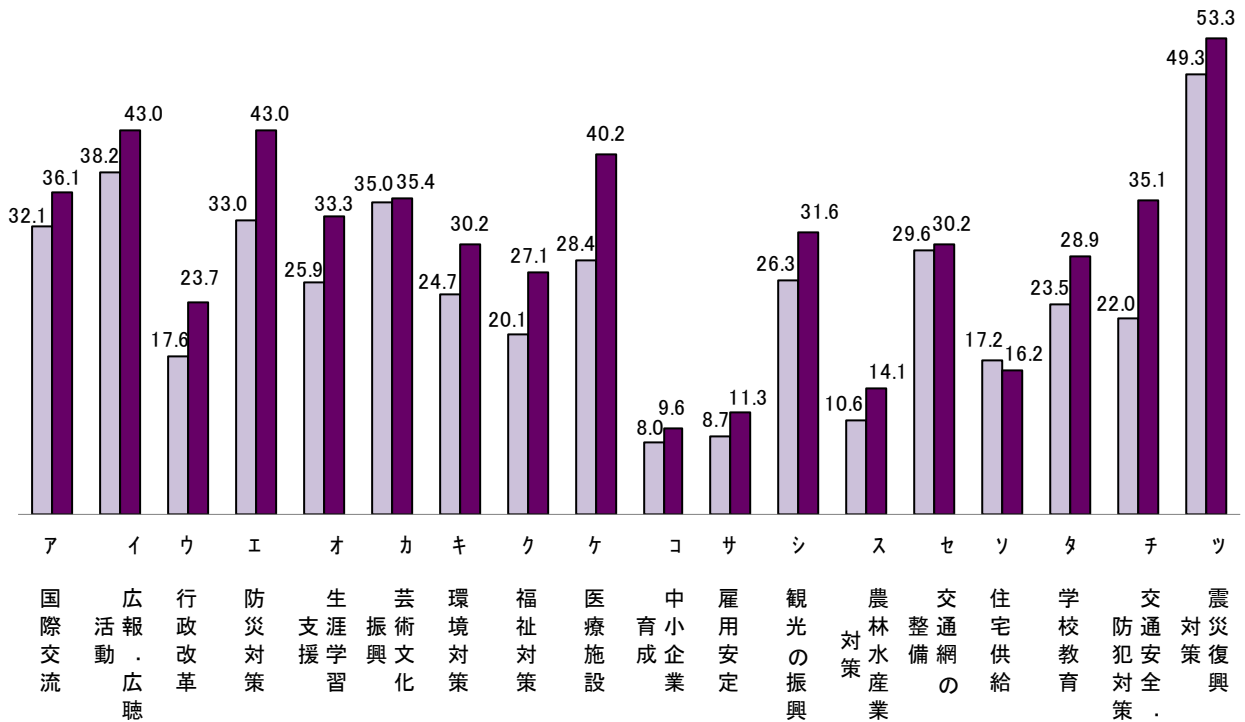
● 〔阪神・淡路大震災からの復興対策〕〔県政の広報・広聴活動〕などで評価が高い。



○ 県政への評価『やっている』【全県と北播磨】

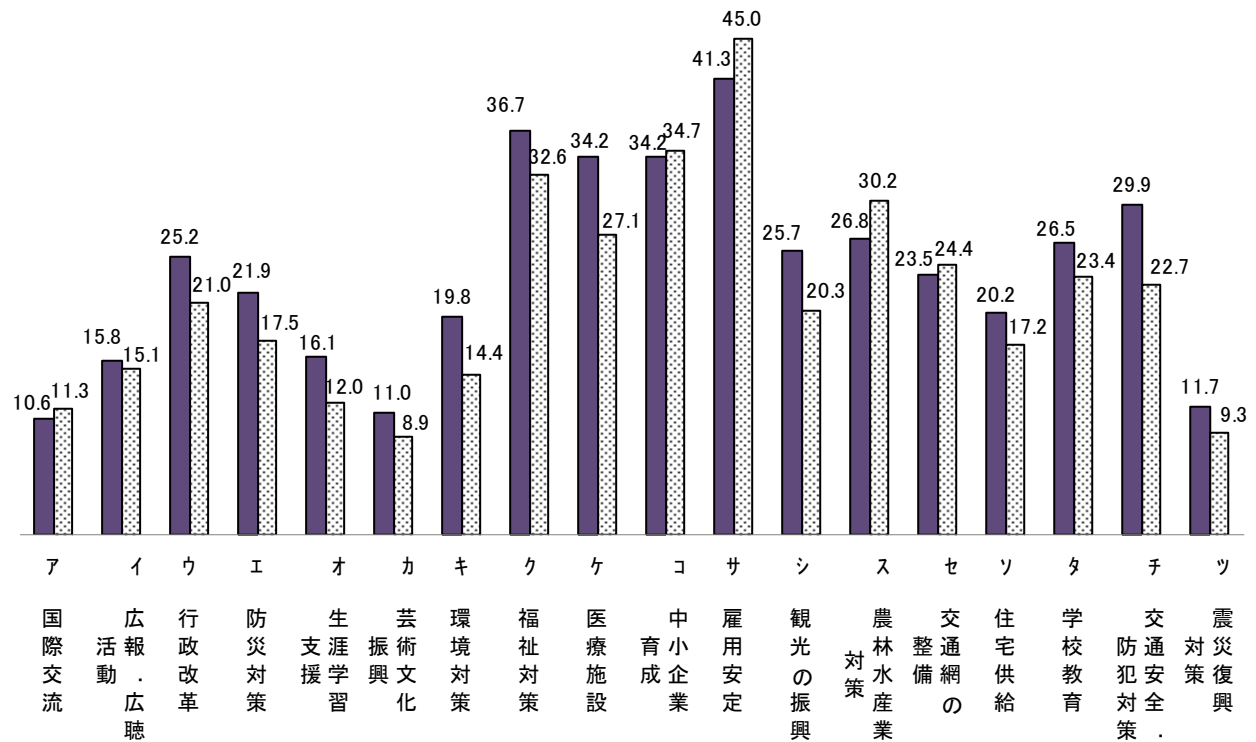
□ 全県 ■ 北播磨

(%)



○ 県政への評価『努力が必要』【全県と北播磨】

■ 全県 □ 北播磨



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
チ 交通安全・防犯対策	13.0
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	11.8
エ 防災対策の充実	9.9
オ 生涯学習活動への支援	7.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	7.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	6.1
キ 環境の保全と創造	5.5
タ 学校教育の充実	5.4
シ 観光の振興	5.3
イ 県政の広報・広聴活動	4.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	4.0
ア 国際的な交流や協力	4.0
ス 農林水産業の活性化対策	3.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.6
コ 県内中小企業の育成	1.6
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.6
カ 芸術文化の振興	0.4
ソ 良質な住宅の供給	-1.1

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.7
ス 農林水産業の活性化対策	3.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.9
ア 国際的な交流や協力	0.8
コ 県内中小企業の育成	0.6
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
カ 芸術文化の振興	-2.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.4
ソ 良質な住宅の供給	-3.0
タ 学校教育の充実	-3.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.0
オ 生涯学習活動への支援	-4.1
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.3
エ 防災対策の充実	-4.3
キ 環境の保全と創造	-5.4
シ 観光の振興	-5.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-7.1
チ 交通安全・防犯対策	-7.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	10.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	9.4
イ 県政の広報・広聴活動	8.0
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	7.3
シ 観光の振興	5.9
ス 農林水産業の活性化対策	5.5
キ 環境の保全と創造	5.2
ソ 良質な住宅の供給	4.5
カ 芸術文化の振興	4.2
チ 交通安全・防犯対策	4.2
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.1
ア 国際的な交流や協力	3.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	2.2
オ 生涯学習活動への支援	1.8
コ 県内中小企業の育成	1.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.6
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-1.9
エ 防災対策の充実	-2.9

◎県政への評価【前年結果との比較】

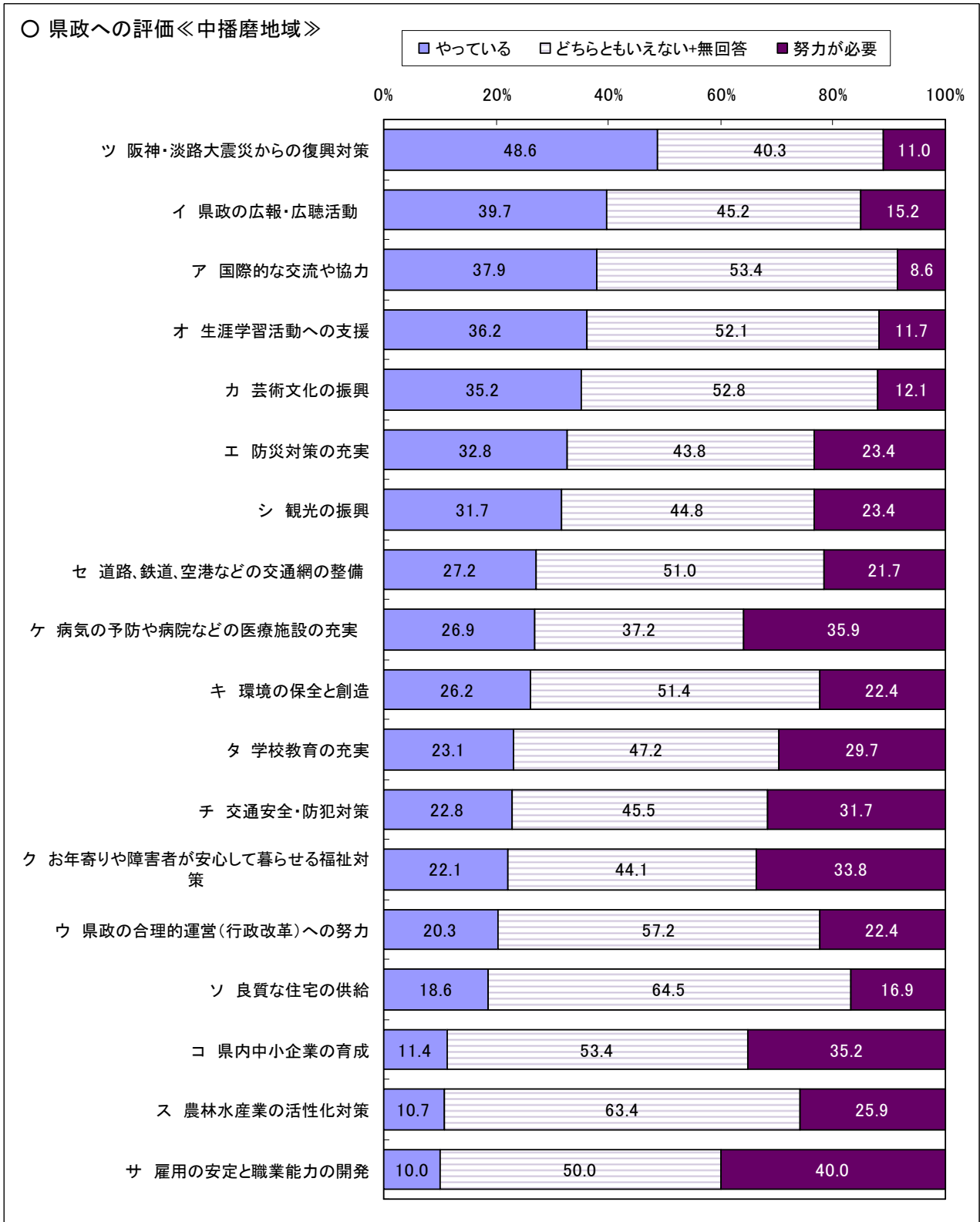
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
エ 防災対策の充実	1.1
ア 国際的な交流や協力	1.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.1
イ 県政の広報・広聴活動	0.7
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-0.2
ス 農林水産業の活性化対策	-0.6
カ 芸術文化の振興	-1.0
キ 環境の保全と創造	-1.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.2
ソ 良質な住宅の供給	-2.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.0
オ 生涯学習活動への支援	-3.0
チ 交通安全・防犯対策	-3.3
コ 県内中小企業の育成	-5.0
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.1
タ 学校教育の充実	-6.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-6.8
シ 観光の振興	-7.8

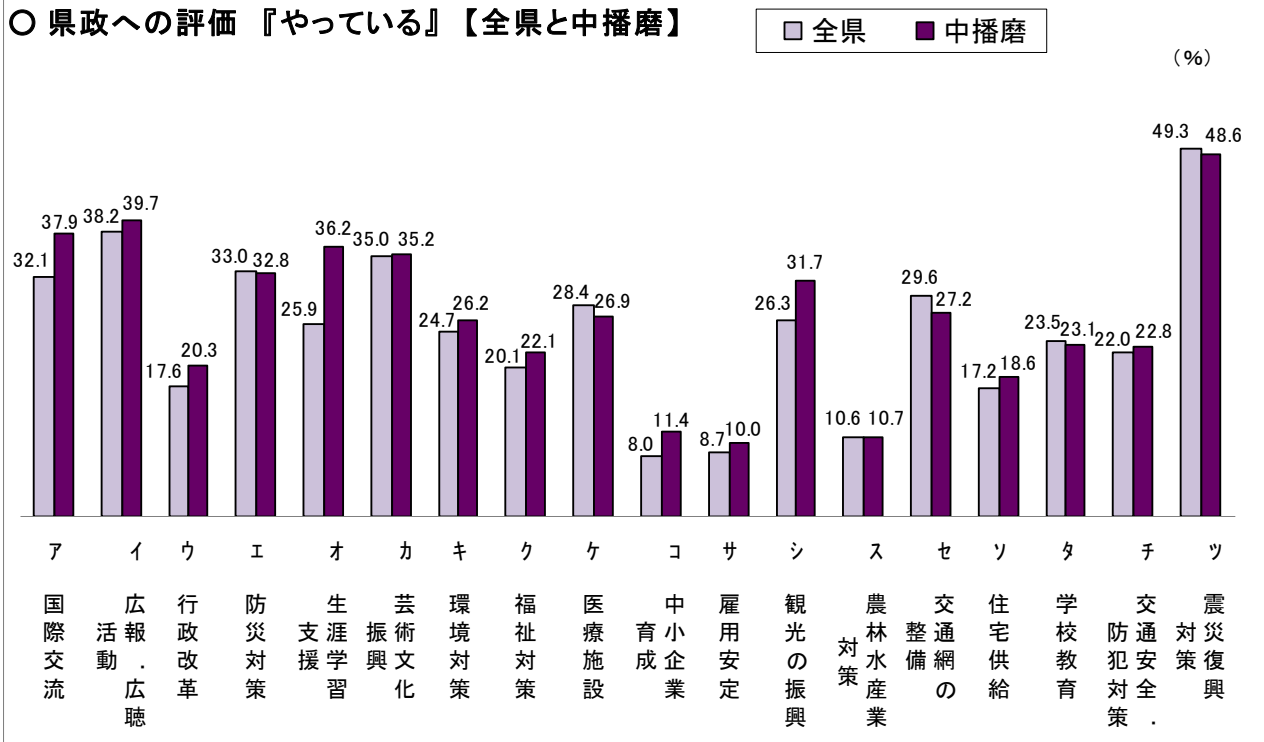
- 全県との比較では、〔交通安全・防犯対策〕等の評価が高く、〔雇用の安定と職業能力の開発〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔学校教育の充実〕等の評価が高く、〔防災対策の充実〕等で努力が求められている。

《中播磨地域》

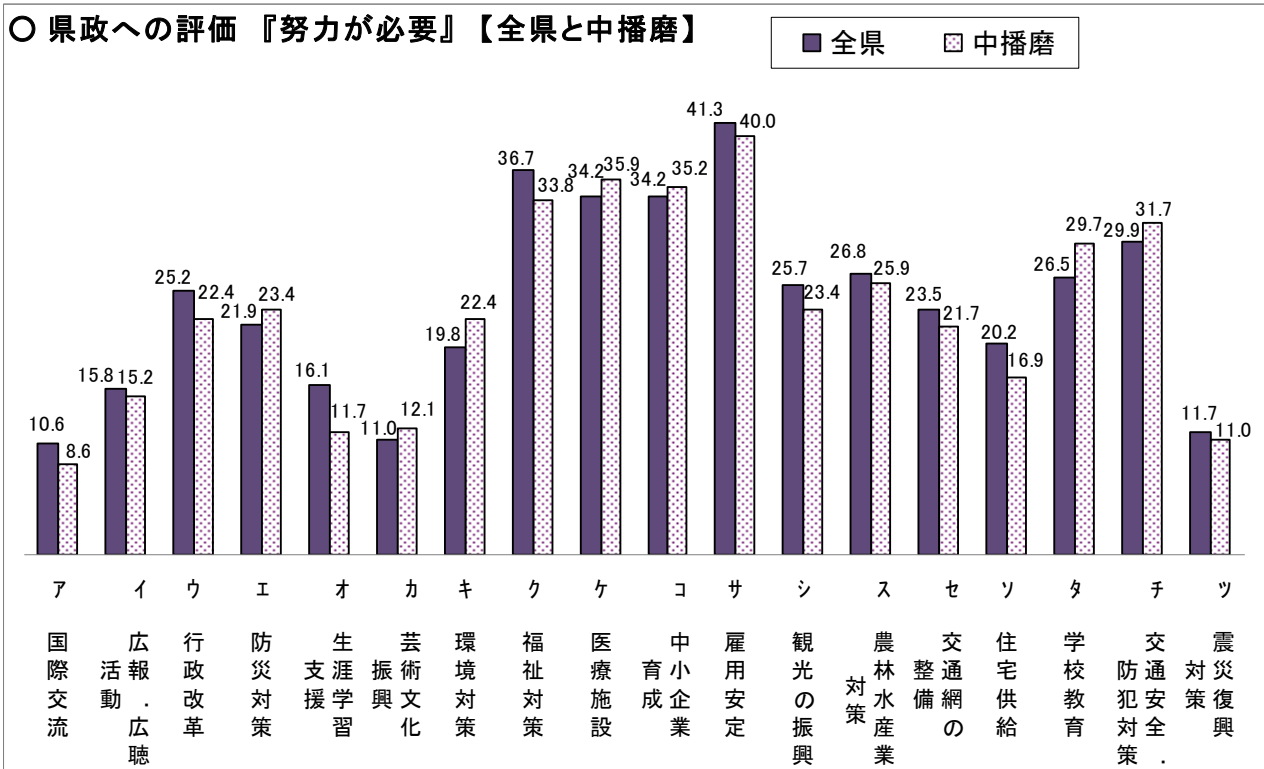
- [阪神・淡路大震災からの復興対策] [県政の広報・広聴活動] などで評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と中播磨】



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と中播磨】



◎県政への評価【全県結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	10.3
ア 国際的な交流や協力	5.8
シ 観光の振興	5.5
コ 県内中小企業の育成	3.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.0
キ 環境の保全と創造	1.5
イ 県政の広報・広聴活動	1.4
ソ 良質な住宅の供給	1.4
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.3
チ 交通安全・防犯対策	0.8
カ 芸術文化の振興	0.2
ス 農林水産業の活性化対策	0.1
エ 防災対策の充実	-0.2
タ 学校教育の充実	-0.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.4

◎県政への評価【全県結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
タ 学校教育の充実	3.2
キ 環境の保全と創造	2.6
チ 交通安全・防犯対策	1.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.6
エ 防災対策の充実	1.6
カ 芸術文化の振興	1.1
コ 県内中小企業の育成	1.0
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.6
イ 県政の広報・広聴活動	-0.7
ス 農林水産業の活性化対策	-0.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-1.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.8
ア 国際的な交流や協力	-2.0
シ 観光の振興	-2.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.9
ソ 良質な住宅の供給	-3.3
オ 生涯学習活動への支援	-4.4

◎県政への評価【前年結果との比較】
※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ア 国際的な交流や協力	8.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	6.8
イ 県政の広報・広聴活動	6.4
ソ 良質な住宅の供給	6.2
オ 生涯学習活動への支援	5.3
カ 芸術文化の振興	4.6
ス 農林水産業の活性化対策	3.5
コ 県内中小企業の育成	3.1
キ 環境の保全と創造	2.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.7
タ 学校教育の充実	0.8
シ 観光の振興	-0.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.0
チ 交通安全・防犯対策	-2.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-4.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-5.3
エ 防災対策の充実	-6.5

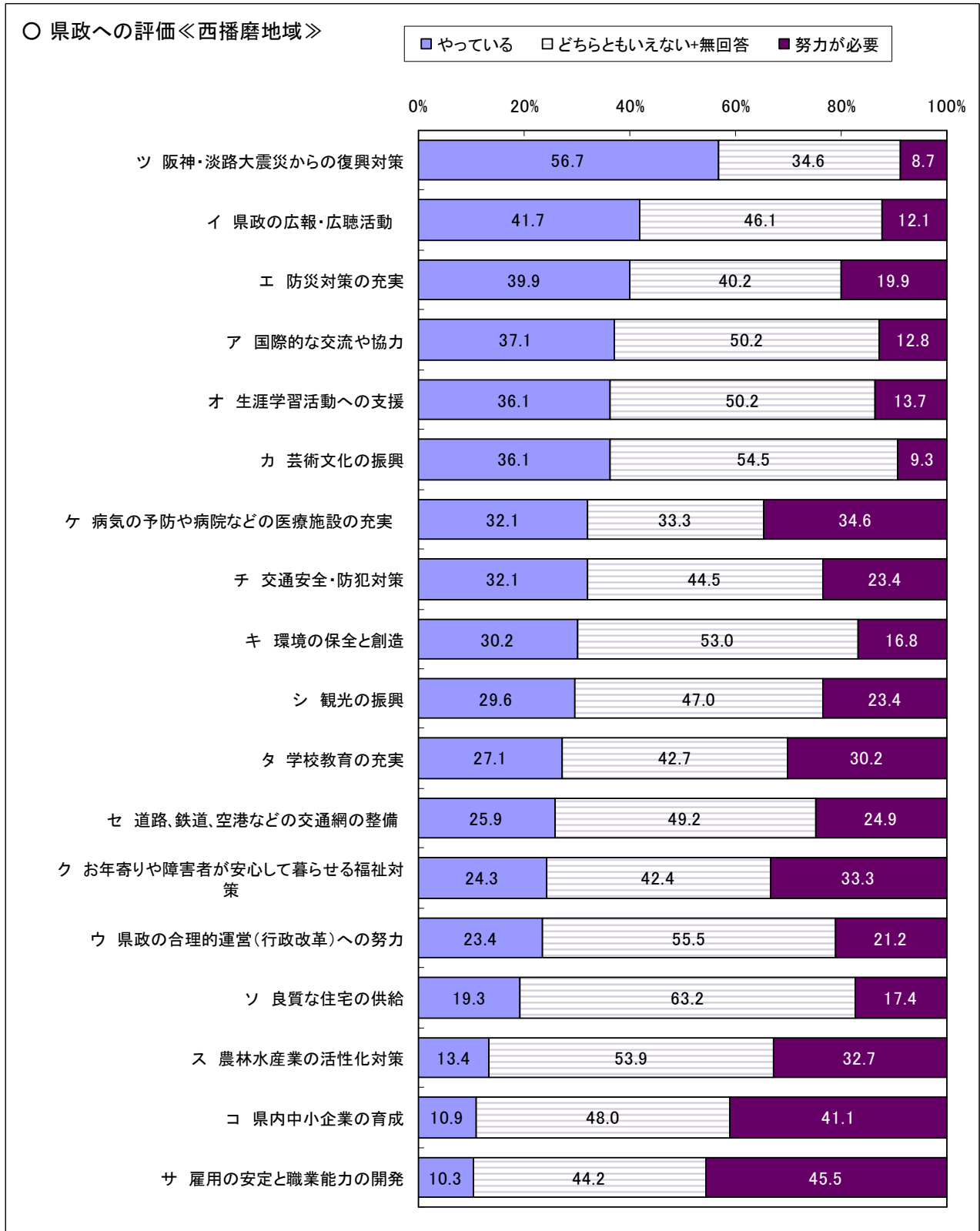
◎県政への評価【前年結果との比較】
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
キ 環境の保全と創造	9.2
チ 交通安全・防犯対策	5.3
エ 防災対策の充実	4.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	4.2
コ 県内中小企業の育成	2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1.3
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.8
ス 農林水産業の活性化対策	0.6
シ 観光の振興	0.4
ア 国際的な交流や協力	-0.4
カ 芸術文化の振興	-0.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.1
イ 県政の広報・広聴活動	-2.2
オ 生涯学習活動への支援	-2.2
タ 学校教育の充実	-2.4
ソ 良質な住宅の供給	-5.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-6.8

- 全県との比較では、〔生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔学校教育の充実〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔国際的な交流や協力〕等の評価が高く、〔環境の保全と創造〕等で努力が求められている。

《西播磨地域》

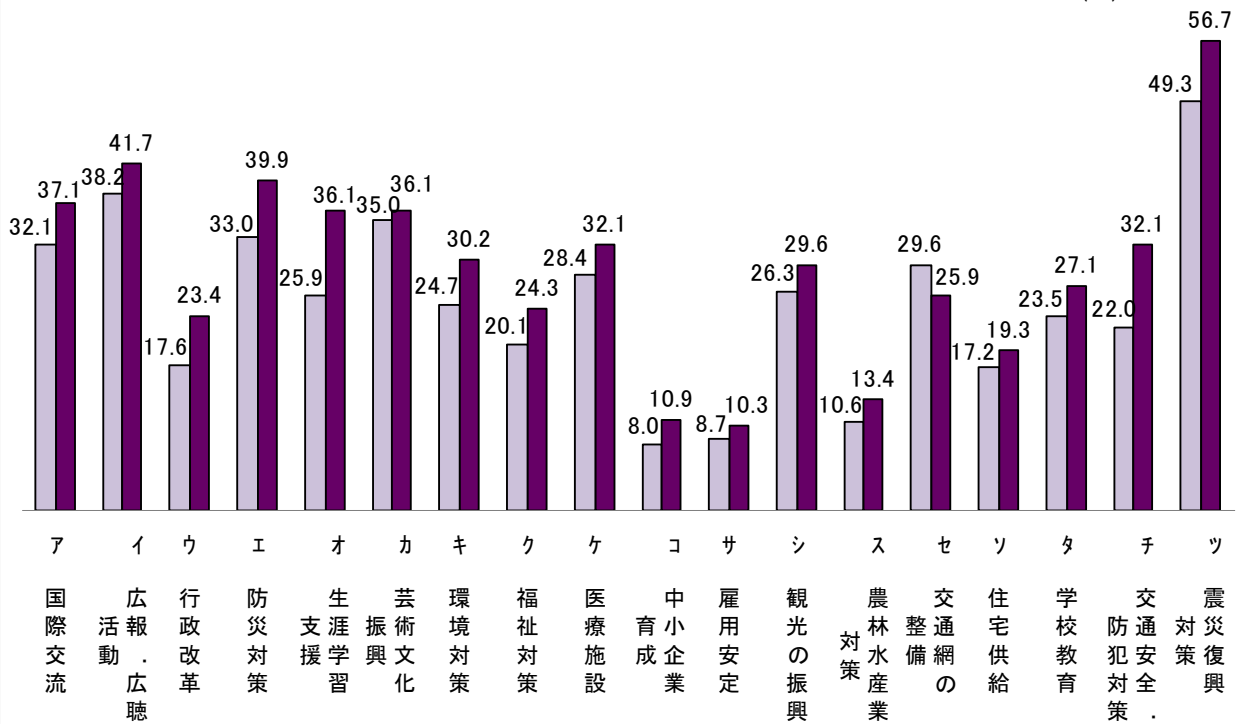
- [阪神・淡路大震災からの復興対策] [県政の広報・広聴活動] などで評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と西播磨】

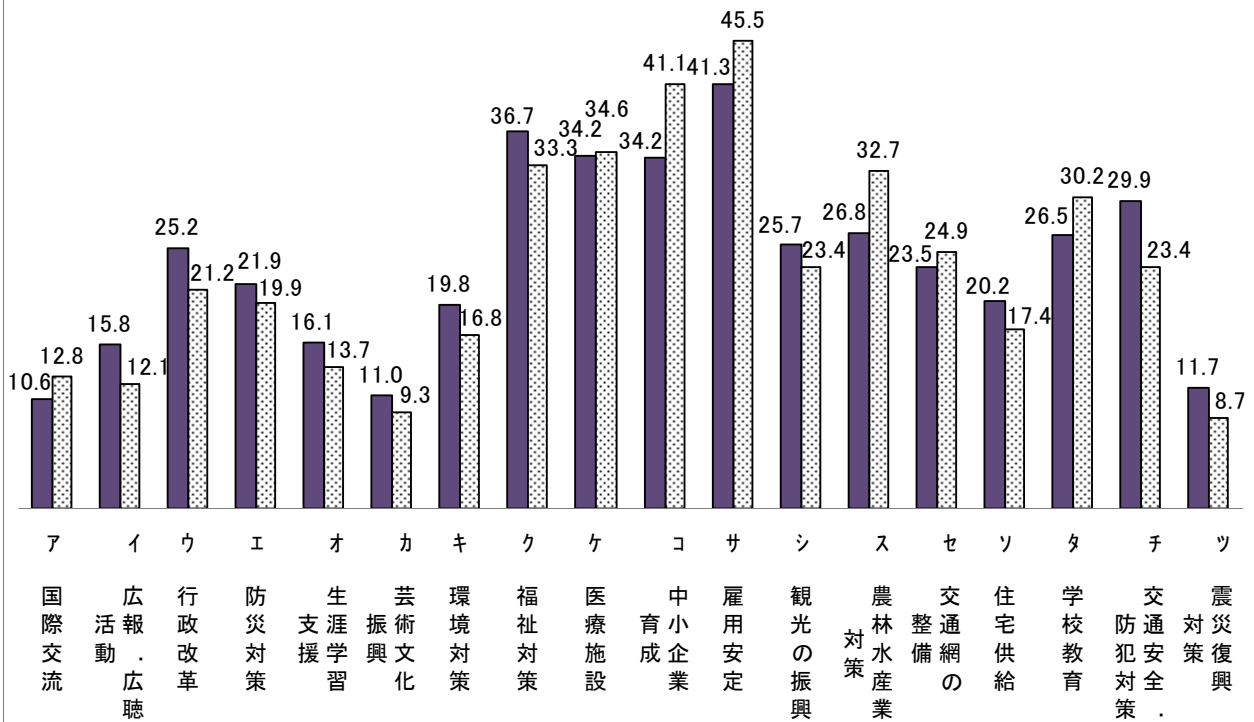
■ 全県 ■ 西播磨

(%)



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と西播磨】

■ 全県 ■ 西播磨



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
オ 生涯学習活動への支援	10.2
チ 交通安全・防犯対策	10.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	7.4
エ 防災対策の充実	6.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	5.8
キ 環境の保全と創造	5.5
ア 国際的な交流や協力	4.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	3.7
タ 学校教育の充実	3.6
イ 県政の広報・広聴活動	3.5
シ 観光の振興	3.3
コ 県内中小企業の育成	2.9
ス 農林水産業の活性化対策	2.8
ソ 良質な住宅の供給	2.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.6
カ 芸術文化の振興	1.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.8

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
コ 県内中小企業の育成	7.0
ス 農林水産業の活性化対策	5.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.2
タ 学校教育の充実	3.7
ア 国際的な交流や協力	2.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.4
カ 芸術文化の振興	-1.6
エ 防災対策の充実	-1.9
シ 観光の振興	-2.3
オ 生涯学習活動への支援	-2.4
ソ 良質な住宅の供給	-2.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.9
キ 環境の保全と創造	-3.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.3
イ 県政の広報・広聴活動	-3.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.1
チ 交通安全・防犯対策	-6.5

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ソ 良質な住宅の供給	8.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	5.8
ア 国際的な交流や協力	5.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	4.8
タ 学校教育の充実	4.2
ス 農林水産業の活性化対策	4.2
チ 交通安全・防犯対策	4.1
コ 県内中小企業の育成	3.7
オ 生涯学習活動への支援	3.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	3.6
キ 環境の保全と創造	2.9
イ 県政の広報・広聴活動	2.2
カ 芸術文化の振興	1.7
シ 観光の振興	-0.1
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.7
エ 防災対策の充実	-5.9

◎県政への評価【前年結果との比較】

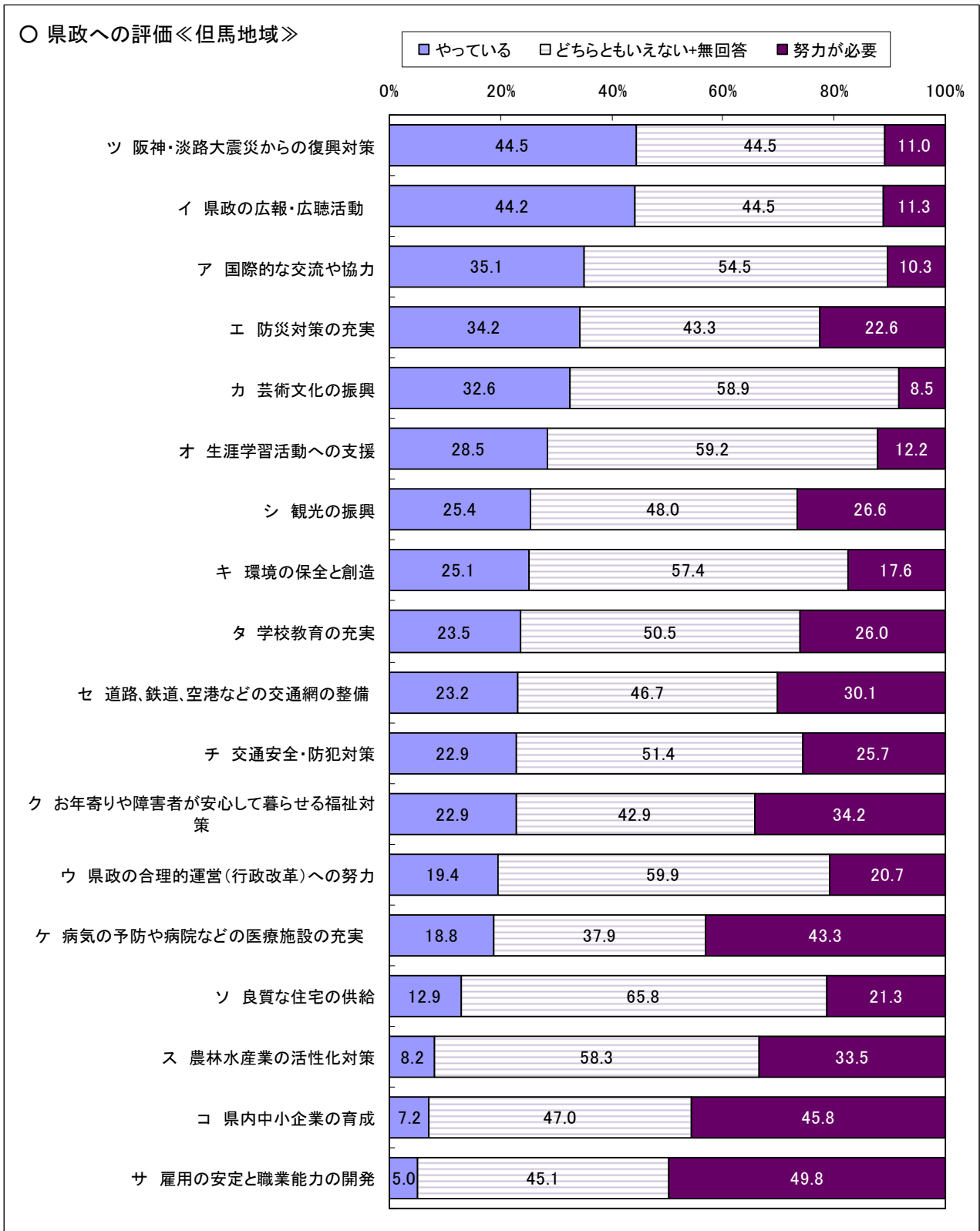
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
エ 防災対策の充実	6.6
オ 生涯学習活動への支援	5.5
ス 農林水産業の活性化対策	4.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.3
コ 県内中小企業の育成	4.3
タ 学校教育の充実	3.9
キ 環境の保全と創造	3.9
ア 国際的な交流や協力	2.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	2.8
シ 観光の振興	2.5
チ 交通安全・防犯対策	1.9
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.4
カ 芸術文化の振興	1.2
イ 県政の広報・広聴活動	0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.2
ソ 良質な住宅の供給	-1.3
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.3

- 全県との比較では、〔生涯学習活動への支援〕等の評価が高く、〔県内中小企業の育成〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔良質な住宅の供給〕等の評価が高く、〔防災対策の充実〕等で努力が求められている。

《但馬地域》

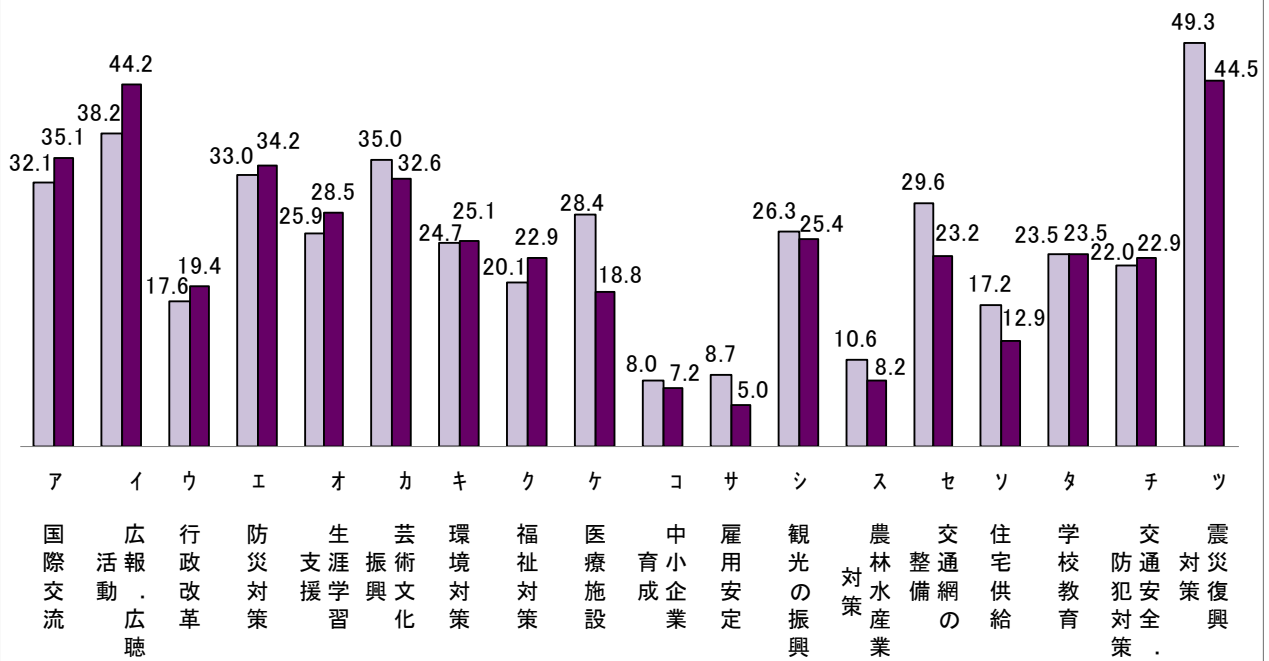
- [阪神・淡路大震災からの復興対策] [県政の広報・広聴活動] など評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と但馬】

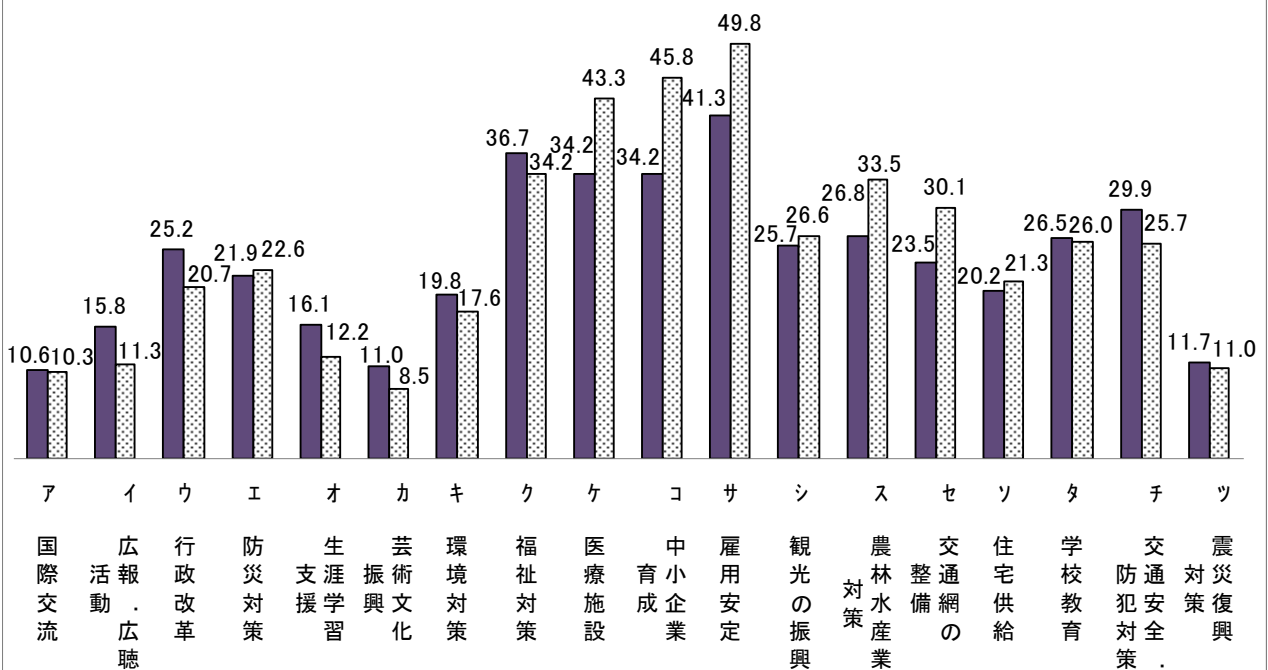
■ 全県 ■ 但馬

(%)



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と但馬】

■ 全県 ■ 但馬



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
イ 県政の広報・広聴活動	6.0
ア 国際的な交流や協力	3.0
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	2.8
オ 生涯学習活動への支援	2.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.8
エ 防災対策の充実	1.2
チ 交通安全・防犯対策	0.9
キ 環境の保全と創造	0.3
タ 学校教育の充実	0.0
コ 県内中小企業の育成	-0.8
シ 観光の振興	-0.9
カ 芸術文化の振興	-2.4
ス 農林水産業の活性化対策	-2.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.7
ソ 良質な住宅の供給	-4.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-4.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-6.5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-9.6

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
コ 県内中小企業の育成	11.6
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	9.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	8.5
ス 農林水産業の活性化対策	6.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.6
ソ 良質な住宅の供給	1.1
シ 観光の振興	1.0
エ 防災対策の充実	0.7
ア 国際的な交流や協力	-0.2
タ 学校教育の充実	-0.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.7
キ 環境の保全と創造	-2.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.5
カ 芸術文化の振興	-2.5
オ 生涯学習活動への支援	-3.9
チ 交通安全・防犯対策	-4.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-4.5
イ 県政の広報・広聴活動	-4.6

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
カ 芸術文化の振興	3.2
シ 観光の振興	2.9
ア 国際的な交流や協力	2.6
ソ 良質な住宅の供給	1.9
コ 県内中小企業の育成	1.0
オ 生涯学習活動への支援	0.7
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.6
キ 環境の保全と創造	0.1
タ 学校教育の充実	-0.9
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-1.5
イ 県政の広報・広聴活動	-2.4
ス 農林水産業の活性化対策	-2.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-2.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.6
チ 交通安全・防犯対策	-7.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-7.4
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-8.9
エ 防災対策の充実	-9.0

◎県政への評価【前年結果との比較】

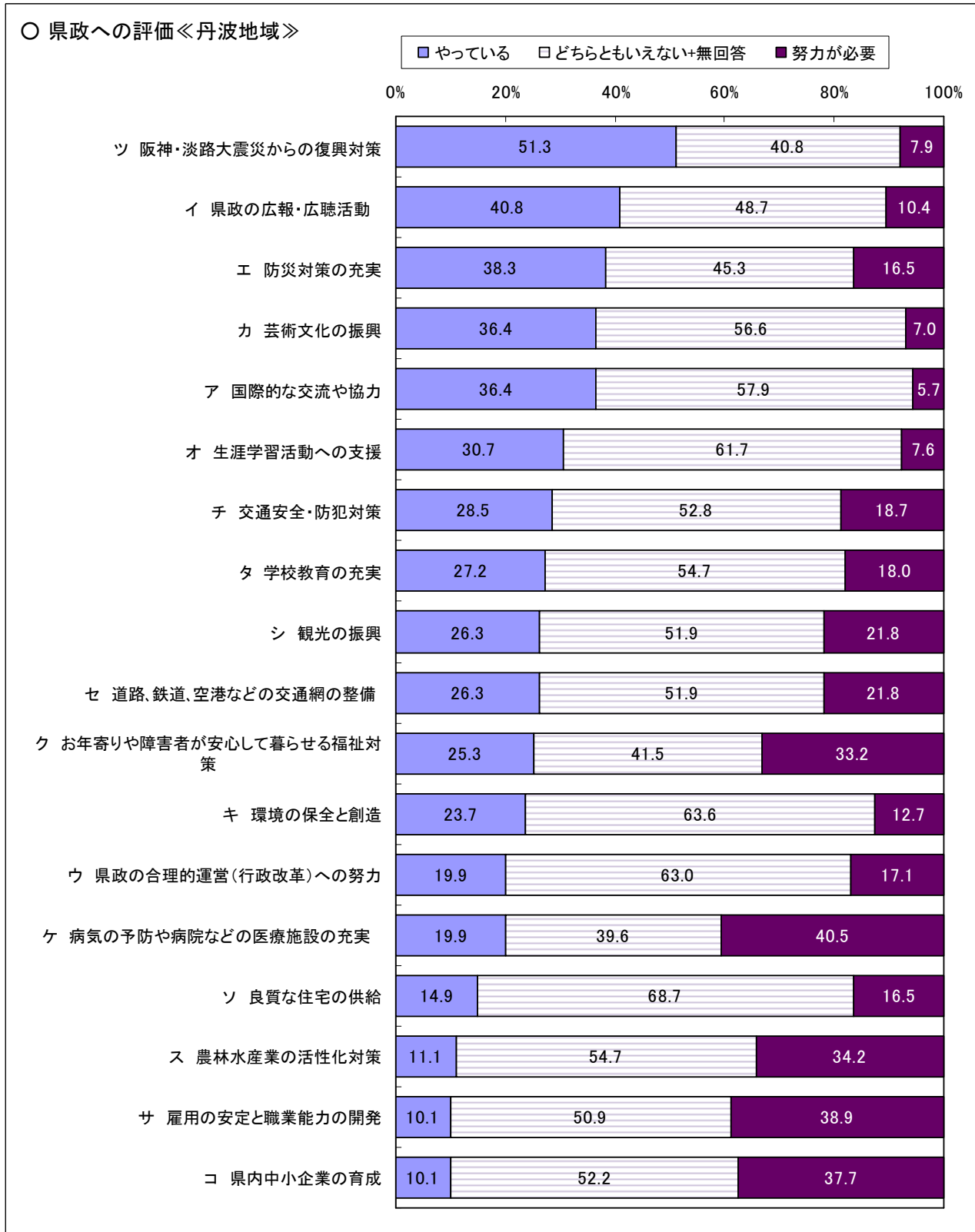
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
エ 防災対策の充実	4.8
コ 県内中小企業の育成	4.2
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.9
チ 交通安全・防犯対策	3.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.5
キ 環境の保全と創造	2.2
タ 学校教育の充実	0.4
ソ 良質な住宅の供給	-0.9
ア 国際的な交流や協力	-0.9
イ 県政の広報・広聴活動	-1.5
カ 芸術文化の振興	-2.2
ス 農林水産業の活性化対策	-2.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.1
オ 生涯学習活動への支援	-4.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-4.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-5.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-5.5
シ 観光の振興	-5.5

- 全県との比較では、〔県政の広報・広聴活動〕等の評価が高く、〔県内中小企業の育成〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔芸術文化の振興〕等の評価が高く、〔防災対策の充実〕等で努力が求められている。

《丹波地域》

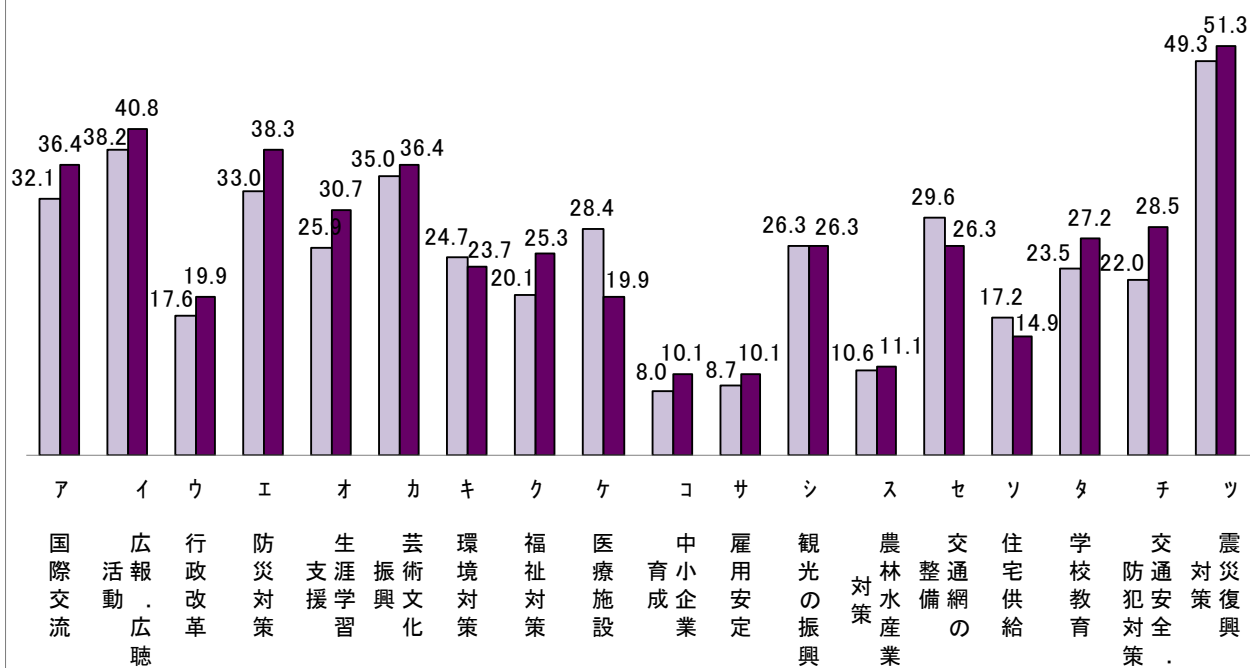
● [阪神・淡路大震災からの復興対策] [県政の広報・広聴活動]などで評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と丹波】

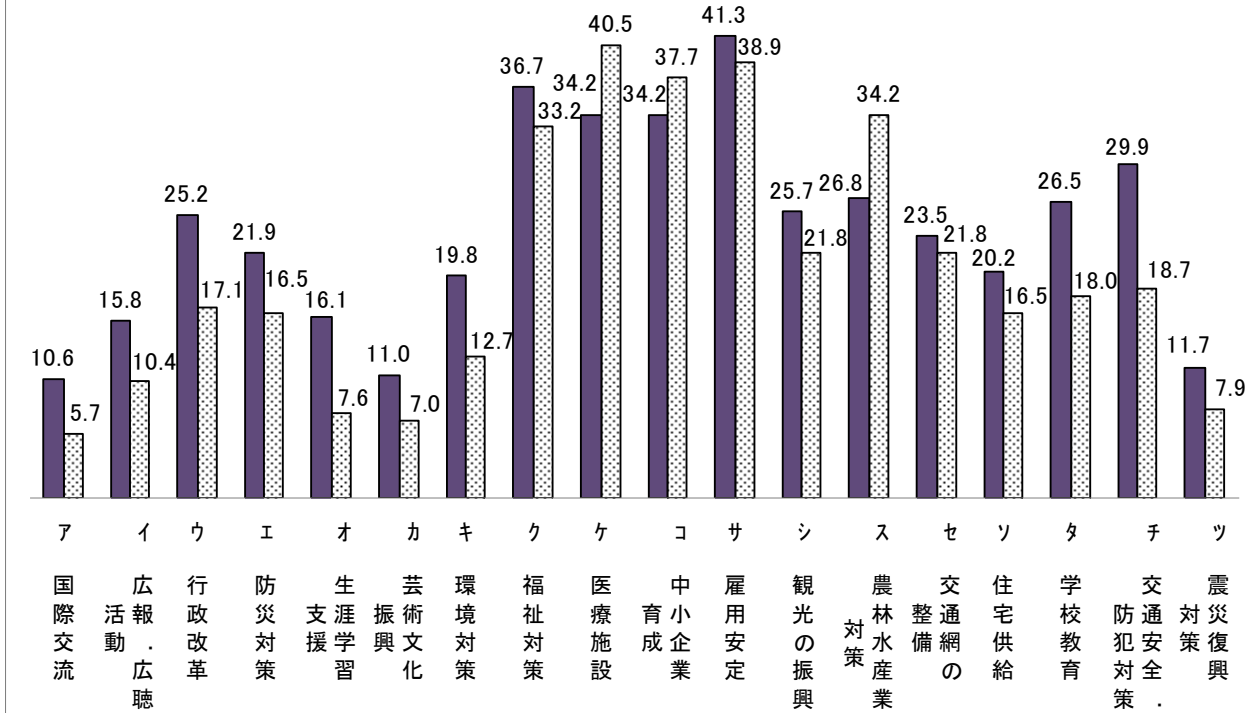
■ 全県 ■ 丹波

(%)



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と丹波】

■ 全県 ■ 丹波



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
チ 交通安全・防犯対策	6.5
エ 防災対策の充実	5.3
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	5.2
オ 生涯学習活動への支援	4.8
ア 国際的な交流や協力	4.3
タ 学校教育の充実	3.7
イ 県政の広報・広聴活動	2.6
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	2.3
コ 県内中小企業の育成	2.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.0
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1.4
カ 芸術文化の振興	1.4
ス 農林水産業の活性化対策	0.4
シ 観光の振興	0.0
キ 環境の保全と創造	-1.0
ソ 良質な住宅の供給	-2.4
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-3.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-8.4

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
ア 国際的な交流や協力	5.6
タ 学校教育の充実	5.5
カ 芸術文化の振興	5.3
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.1
キ 環境の保全と創造	2.0
コ 県内中小企業の育成	1.8
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1.2
シ 観光の振興	0.8
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.8
チ 交通安全・防犯対策	0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.3
オ 生涯学習活動への支援	-1.1
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.1
エ 防災対策の充実	-1.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-1.8
ソ 良質な住宅の供給	-1.8
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-2.8
イ 県政の広報・広聴活動	-4.0

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	7.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	6.3
コ 県内中小企業の育成	3.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-1.6
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-3.4
ソ 良質な住宅の供給	-3.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-3.7
シ 観光の振興	-3.8
カ 芸術文化の振興	-4.0
ア 国際的な交流や協力	-4.9
イ 県政の広報・広聴活動	-5.4
エ 防災対策の充実	-5.4
キ 環境の保全と創造	-7.2
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-8.1
タ 学校教育の充実	-8.5
オ 生涯学習活動への支援	-8.5
チ 交通安全・防犯対策	-11.2

◎県政への評価【前年結果との比較】

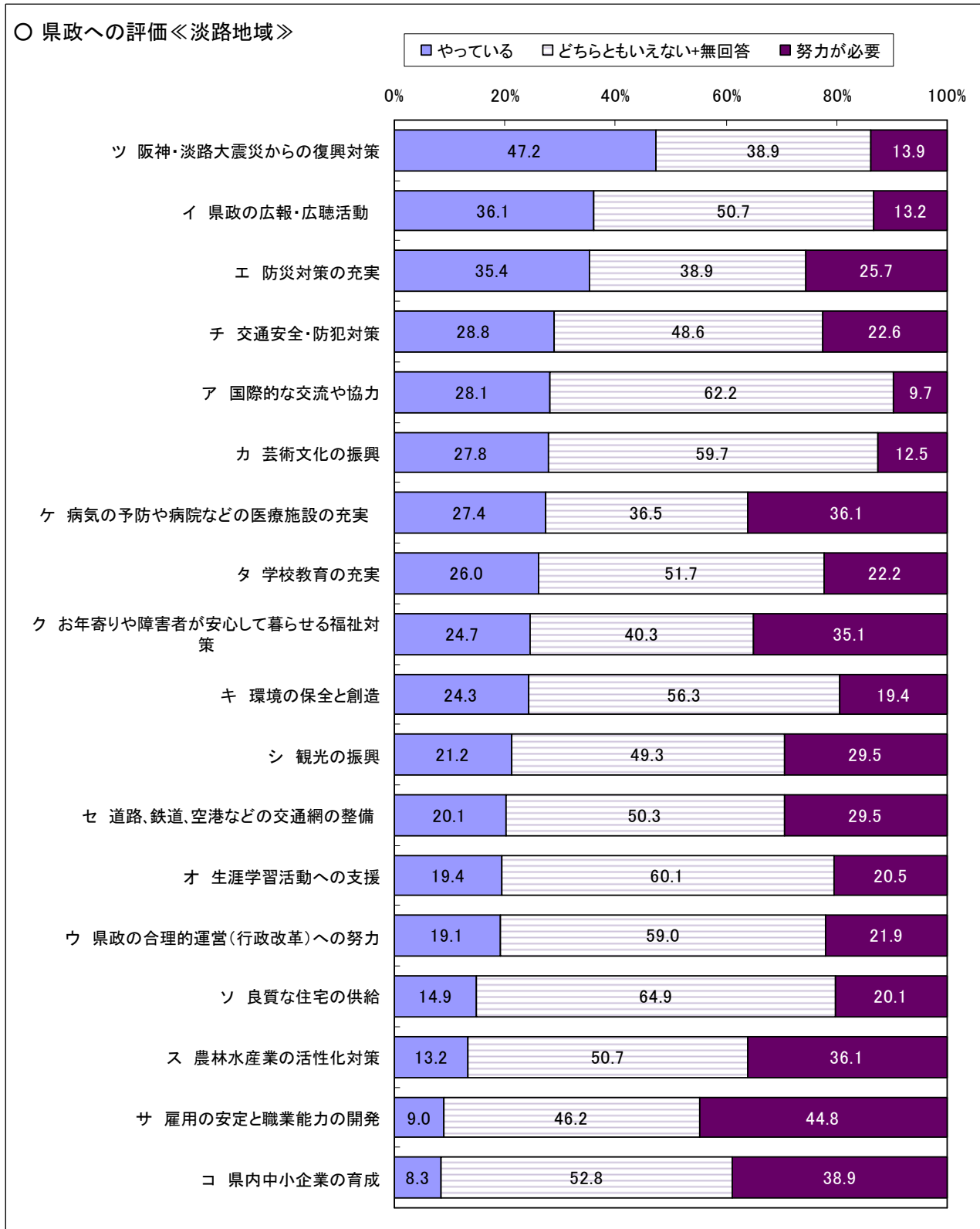
※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
ス 農林水産業の活性化対策	5.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	3.8
コ 県内中小企業の育成	2.2
シ 観光の振興	1.1
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	0.2
イ 県政の広報・広聴活動	0.1
エ 防災対策の充実	-1.9
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-2.5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-2.9
ソ 良質な住宅の供給	-2.9
ア 国際的な交流や協力	-3.3
チ 交通安全・防犯対策	-3.4
オ 生涯学習活動への支援	-3.4
カ 芸術文化の振興	-3.7
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-4.0
キ 環境の保全と創造	-4.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-7.0
タ 学校教育の充実	-9.7

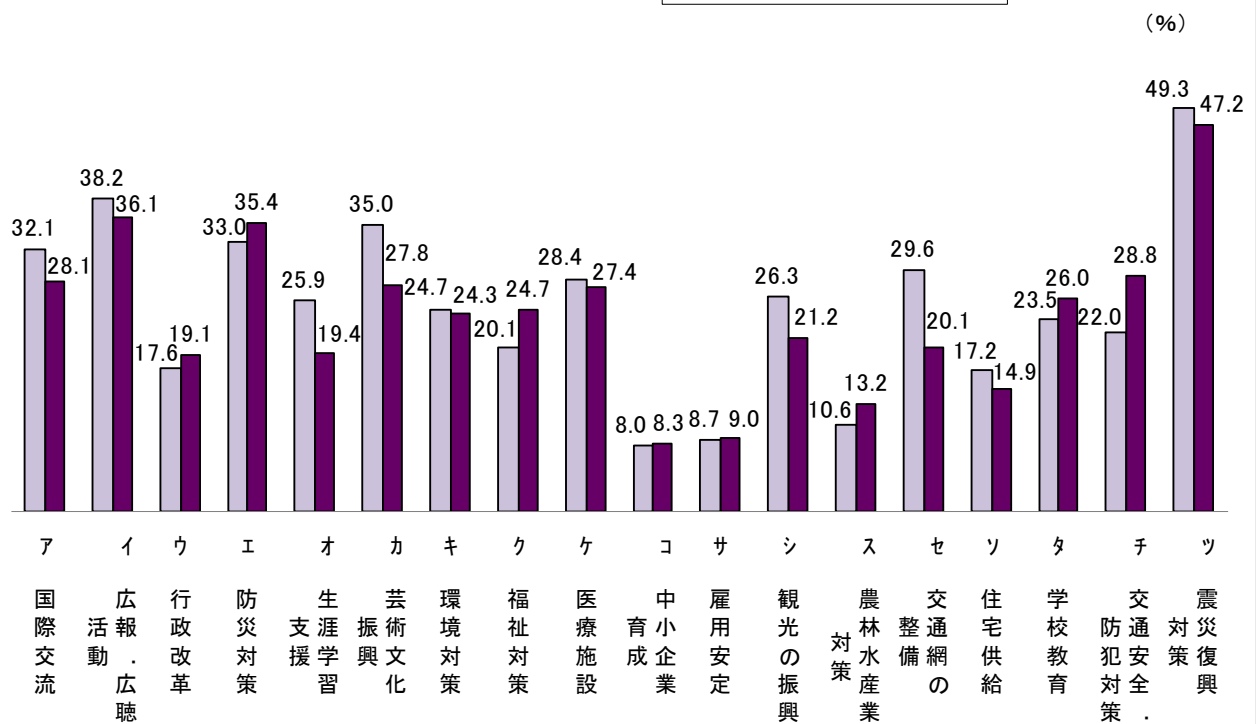
- 全県との比較では、〔交通安全・防犯対策〕等の評価が高く、〔農林水産業の活性化対策〕等で努力が求められている。
- 前年との比較では、〔国際的な交流や協力〕等の評価が高く、〔農林水産業の活性化対策〕等で努力が求められている。

《淡路地域》

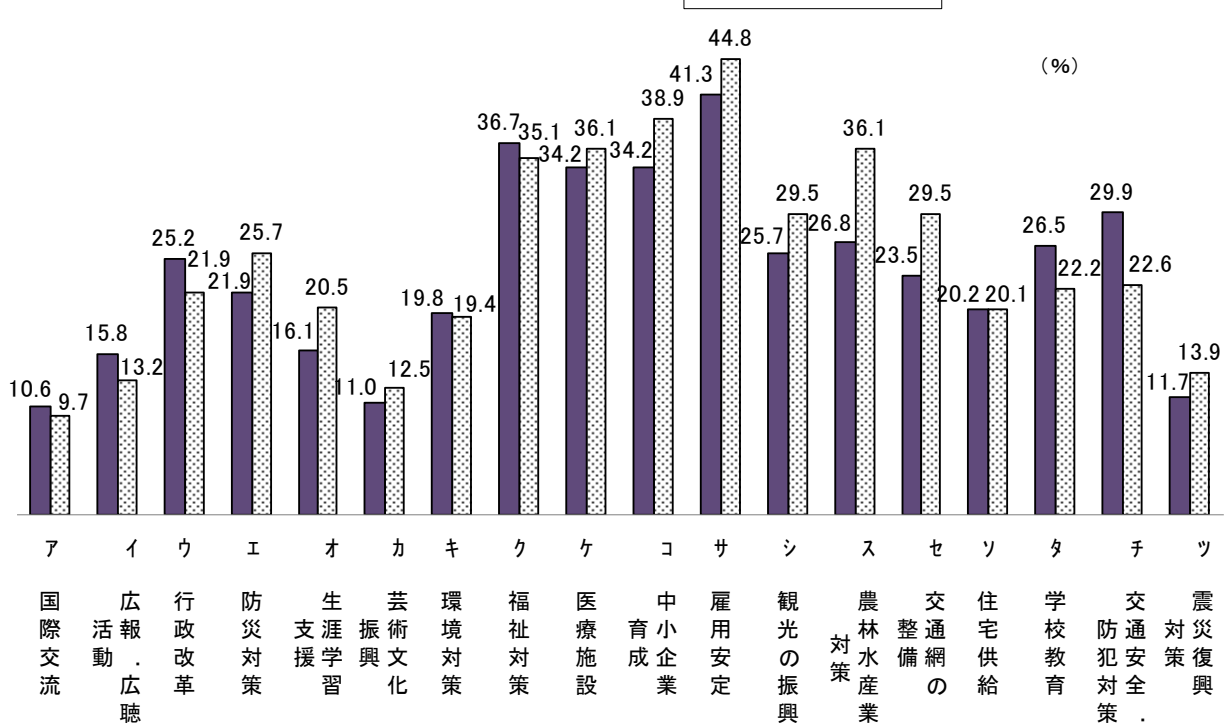
- [阪神・淡路大震災からの復興対策] [県政の広報・広聴活動]などで評価が高い。



○ 県政への評価 『やっている』【全県と淡路】



○ 県政への評価 『努力が必要』【全県と淡路】



◎県政への評価【全県結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	比率の差
チ 交通安全・防犯対策	6.8
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	4.6
ス 農林水産業の活性化対策	2.6
タ 学校教育の充実	2.6
エ 防災対策の充実	2.4
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	0.3
コ 県内中小企業の育成	0.3
キ 環境の保全と創造	-0.4
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	-0.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-2.1
イ 県政の広報・広聴活動	-2.1
ソ 良質な住宅の供給	-2.3
ア 国際的な交流や協力	-4.0
シ 観光の振興	-5.1
オ 生涯学習活動への支援	-6.5
カ 芸術文化の振興	-7.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-9.5

◎県政への評価【全県結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	比率の差
ス 農林水産業の活性化対策	9.3
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	6.0
コ 県内中小企業の育成	4.7
オ 生涯学習活動への支援	4.3
シ 観光の振興	3.9
エ 防災対策の充実	3.8
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	2.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.9
カ 芸術文化の振興	1.5
ソ 良質な住宅の供給	0.0
キ 環境の保全と創造	-0.4
ア 国際的な交流や協力	-0.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-1.6
イ 県政の広報・広聴活動	-2.7
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	-3.4
タ 学校教育の充実	-4.3
チ 交通安全・防犯対策	-7.3

◎県政への評価【前年結果との比較】

※よくやっている+まあまあやっている (%)

『やっている』	増減
タ 学校教育の充実	10.1
サ 雇用の安定と職業能力の開発	3.5
ア 国際的な交流や協力	2.5
チ 交通安全・防犯対策	2.1
ソ 良質な住宅の供給	1.9
コ 県内中小企業の育成	1.3
エ 防災対策の充実	1.2
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1.0
キ 環境の保全と創造	0.9
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	0.1
ス 農林水産業の活性化対策	-0.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	-0.7
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	-0.7
カ 芸術文化の振興	-1.6
シ 観光の振興	-1.9
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	-2.5
イ 県政の広報・広聴活動	-3.7
オ 生涯学習活動への支援	-7.3

◎県政への評価【前年結果との比較】

※もう少し努力が必要+もっと努力が必要 (%)

『努力が必要』	増減
オ 生涯学習活動への支援	5.2
シ 観光の振興	3.5
カ 芸術文化の振興	3.2
キ 環境の保全と創造	2.3
コ 県内中小企業の育成	2.1
エ 防災対策の充実	1.9
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1.6
ソ 良質な住宅の供給	1.6
ス 農林水産業の活性化対策	1.5
ウ 県政の合理的運営(行政改革)への努力	1.4
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	0.5
イ 県政の広報・広聴活動	0.2
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	0.1
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	0.1
チ 交通安全・防犯対策	-2.3
ア 国際的な交流や協力	-2.5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	-3.5
タ 学校教育の充実	-6.4

- 全県との比較では、[交通安全・防犯対策]等の評価が高いが、[農林水産業の活性化対策]等で努力が求められている。
- 前年との比較では、[学校教育の充実]等の評価が高く、[生涯学習活動への支援]等で努力が求められている。

問25 県民局の認知度

問25

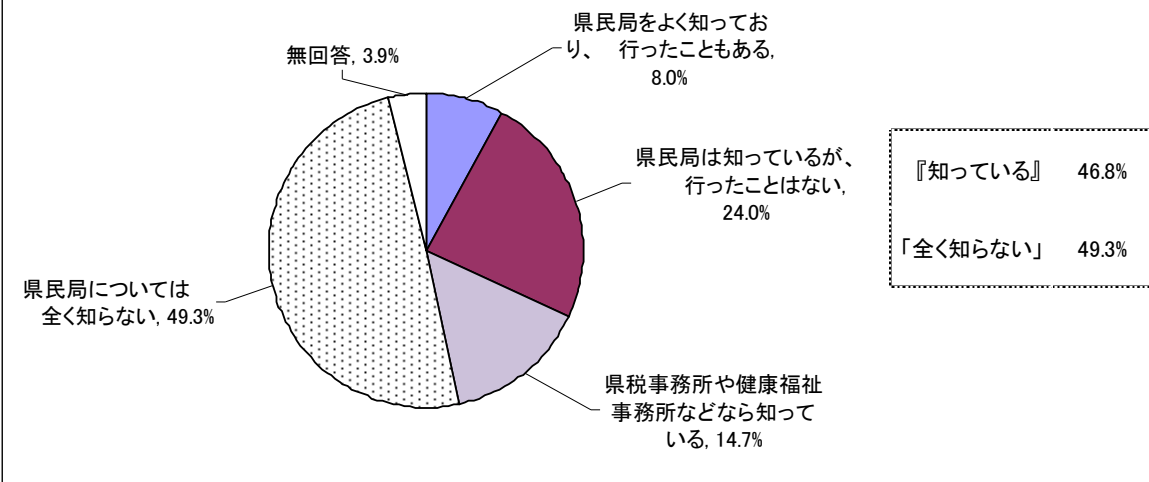
あなたがお住まいの地域の県民局について、あてはまるものを次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局をよく知っており、行ったこともある
- 2 県民局は知っているが、行ったことはない
- 3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
- 4 県民局については全く知らない

【全 県】

- 県民局の認知度は、「よく知っており、行ったこともある」、「知っているが行ったことはない」、「事務所なら知っている」を合わせた『知っている』は4割半ばにとどまっている。

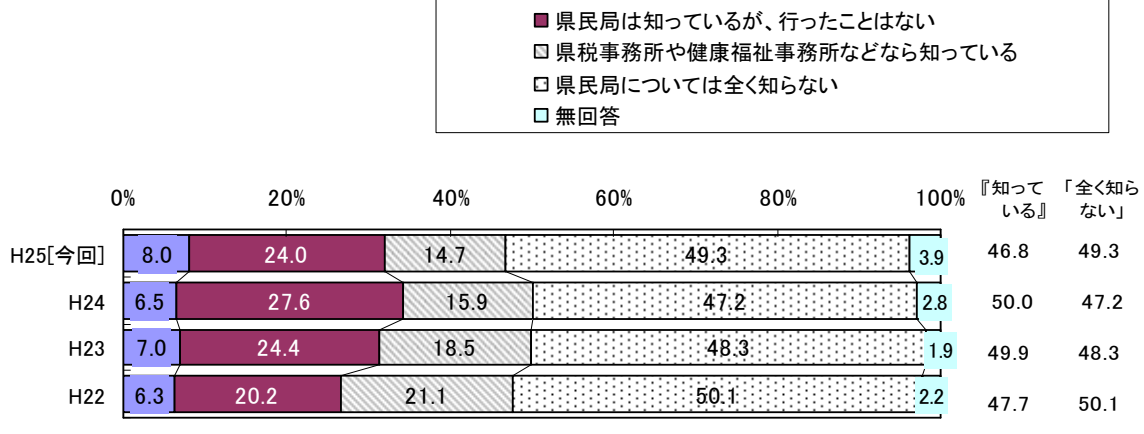
○ 県民局の認知度



【経年比較】

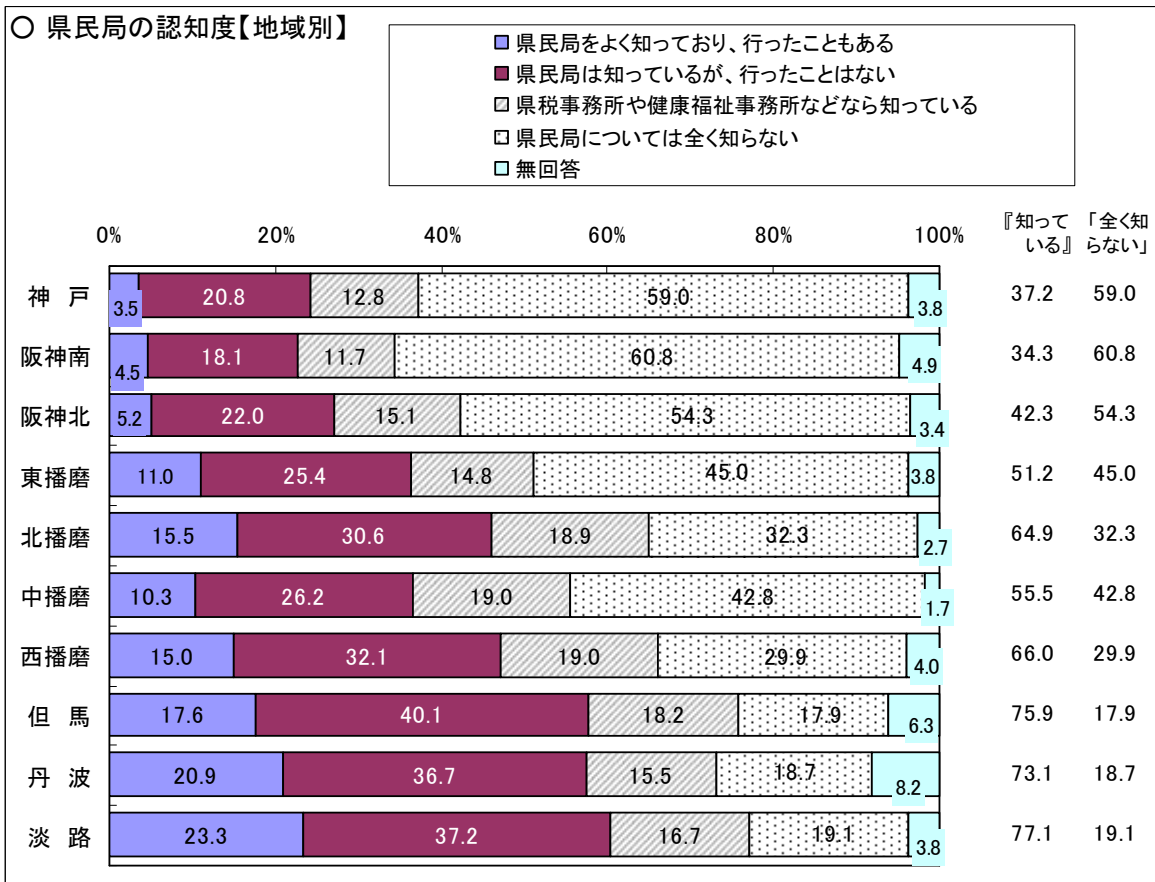
- 県民局の認知度は増加傾向にあったが、今年度は3.2ポイント減少した。

○ 県民局の認知度【経年比較】



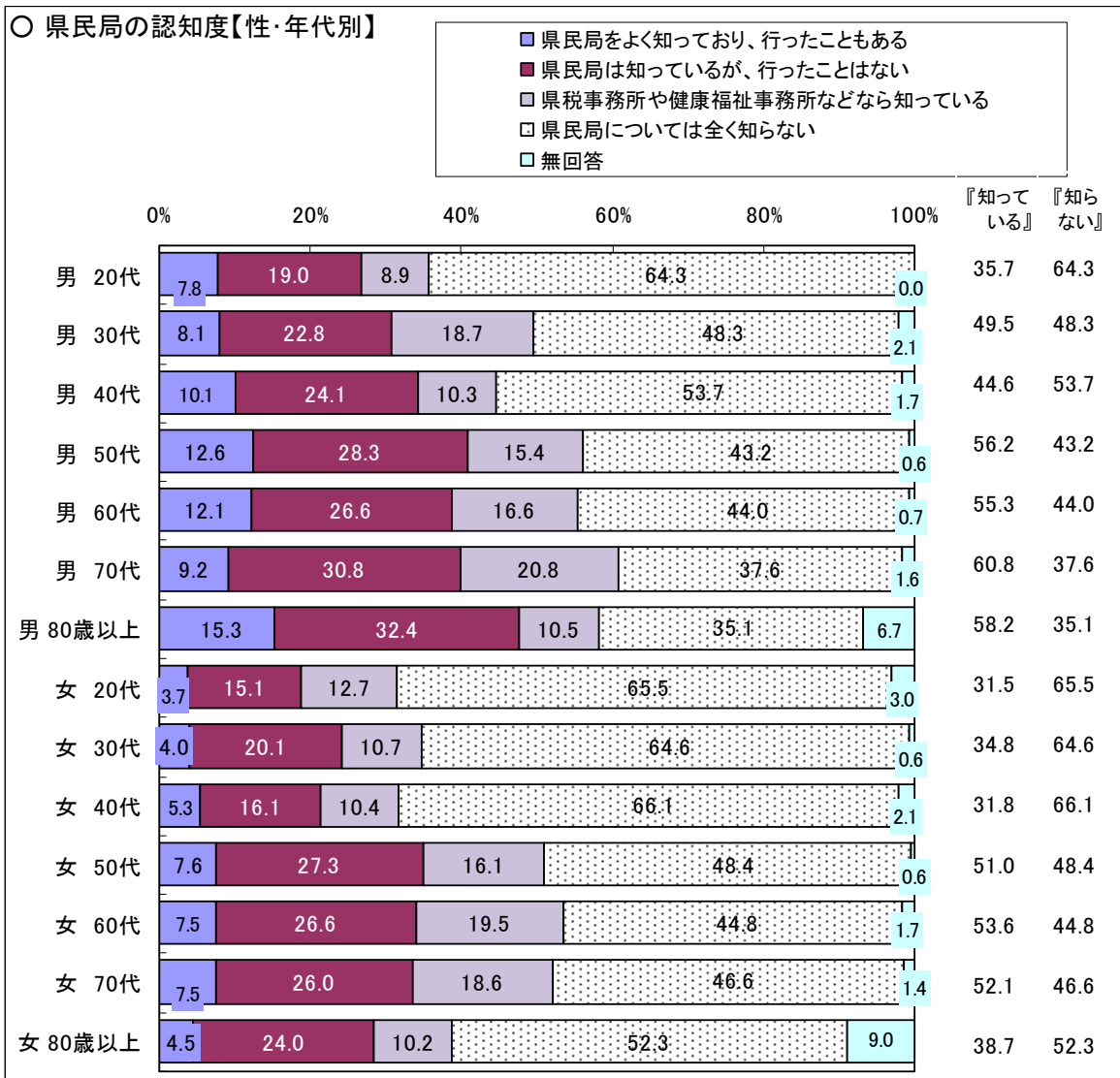
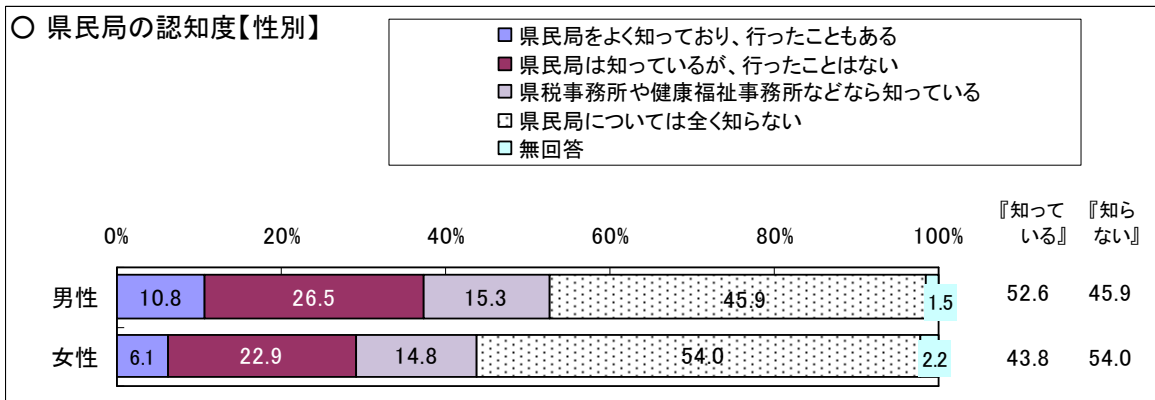
【地域別】

- 県民局の認知度は、神戸や阪神南、阪神北といった阪神間で認知度が低い傾向にある。



【性別、性・年代別】

- 男性の方が女性よりも認知度が高く、女性の80代を除き、男女ともに年齢が高くなるほど『知っている』が多くなる傾向にある。



問 5 あなたが居住地から他府県など長距離を移動する際に使う「自動車専用道路」について、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない
- 4 やや不満 5 不満 6 わからない

問 6 あなたは、「自動車専用道路」について、どのようなことを不満に思いますか。次の中から該当するものを2つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 自動車専用道路が渋滞している
- 2 行きたい地域まで自動車専用道路がつながっていない
- 3 自動車専用道路のインターチェンジが近くにない
- 4 自動車専用道路までの道が不便である
- 5 通行料金が低い
- 6 不満はない
- 7 その他 ()
- 8 わからない

◆次に、「海や川など水辺の環境の保全」についてお聞きします。

問 7 あなたがお住まいの地域の海・川など水辺の環境について、どの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない
- 4 やや不満 5 不満 6 わからない

問 8 あなたは、どのようなことを不満に思っていますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 水質が悪い
- 2 悪臭がする
- 3 ゴミが目立つ
- 4 水量が少ない
- 5 景観が悪い
- 6 安心して水辺に親しめる場所がない
- 7 生物を育む環境が少ない
- 8 不満はない
- 9 その他 ()
- 10 わからない

◆次に、「自然災害に対する意識」についてお聞きします。

問 9 あなたがお住まいの地域で特に不安を感じる自然災害はどれですか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 地震
- 2 津波
- 3 台風・豪雨等による浸水
- 4 がけ崩れ、土石流、地すべり
- 5 高潮による浸水
- 6 豪雪・雪崩
- 7 その他 ()

問 10 あなたがお住まいの地域において、自然災害への備えで特に不安を感じることはどれですか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 災害を未然に防ぐ河川堤防・防潮堤・砂防えん堤や道路の落石防護柵の整備等が不十分
- 2 橋りょう等の老朽化対策が不十分
- 3 道路の除雪対策が不十分
- 4 過去に災害にあうなど危険な所に住んでいる
- 5 避難場所や避難経路を知らない
- 6 地域に高齢者など災害時要援護者が多い
- 7 災害時の警戒・避難情報等が得られない
- 8 その他 ()
- 9 わからない

問 11 あなたは、水害・土砂災害について、的確に避難準備や避難判断するためには、どのような情報が必要だと思いますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 雨量
- 2 川の水位
- 3 津波や高潮の高さ
- 4 土石流やがけ崩れの発生危険度の予測情報
- 5 川や海の様子が把握できるカメラ画像
- 6 ハザードマップ（災害予測図）
- 7 避難所・避難経路を示した地図
- 8 その他 ()
- 9 特にない
- 10 わからない

兵庫県では、水害・土砂災害等に関連する災害危険情報を集約し、「CGハザードマップ(地域の風水害情報)」として、インターネットで提供しています。

〈CGハザードマップの掲載情報〉

- ・ハザードマップ(災害予測図)…洪水・津波・高潮の浸水想定区域図、土砂災害危険箇所図 等
- ・リアルタイム情報…県内各地の雨量、河川水位、土砂災害危険度、潮位 等

問 12 あなたは「CGハザードマップ」を知っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 見て、実際に災害に備えて利用している
- 2 見たことがあるが、あまり活用していない
- 3 見たことはないが、言葉は知っている
- 4 全く知らない



兵庫県マスコット はばタン

最後までよろしくお願ひします。

◆「今後の社会基盤整備の方向性」等についてお聞きします。

問 13 あなたは、道路や橋りょう、トンネルなど戦後の一時期（高度経済成長期）に多く建設した施設が、一気に老朽化することを知っていますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 知っている 2 まあ知っている
3 どちらともいえない 4 ほとんど知らない
5 知らない

問 14 地域住民主体で実施している道路や河川等の花や木の手入れ、草刈りなどの美化活動に参加したことがありますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 参加したことがある
2 参加したことはないが、機会があれば参加したい
3 参加したくない
4 地域で美化活動等を行っているかどうか知らない
5 わからない

問 15 あなたは、今後の社会基盤整備について、どのような視点を重視して進めるべきだと思いますか。次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 市(町)外や県外に移動するための利便性
2 産業の発展
3 日常生活の利便性
4 地域の交通安全
5 快適な環境の保全・創造
6 老朽化施設の安全性
7 自然災害に対する安全・安心
8 コスト縮減効果が高い新技術・新工法
9 その他 ()
10 わからない

問 16 あなたがお住まいの地域に、特に整備が必要と思う社会基盤施設やその対策を、次の中から該当するものを3つまで選んで番号に○をつけてください。

- 1 一般道路の整備 (道路の拡幅やバイパス道路の整備、渋滞の原因となる交差点改良や踏切の解消など)
2 自動車専用道路の整備
3 歩道・自転車レーンの整備
4 地震・津波対策 (橋梁などの耐震対策、防潮堤、水門の整備)
5 土砂・風水害対策 (河川堤防、砂防えん堤、治山ダムの整備)
6 災害時の警戒避難に役立つ災害危険情報の充実
7 美しい水辺(海・川)の整備
8 橋梁やトンネル、防潮堤、下水道、ため池等の老朽化対策
9 公園・緑地の整備
10 その他 ()
11 特にな
12 わからない

問 17 今後の社会基盤整備を考える上で、あなたが重要だと考えている事柄や、あなたがお住まいの地域で、社会基盤整備が必要な具体的な場所やその内容を自由にお書きください。

回答欄

◆「生活全般や県政」に関することについてお聞きします。

問 18 あなたは、全体として、今の生活にどの程度満足していますか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 満足 2 まあ満足 3 どちらともいえない
4 やや不満 5 不満

問 19 あなたは、今の生活の次のような面ではそれぞれの程度満足していますか。次のア～スについて、それぞれの項目ごとに1つ選んで番号に○をつけてください。

	満足	まあ満足	どちらともいえない	やや不満	不満
ア 所得・収入	1	2	3	4	5
イ 貯蓄などの金融資産	1	2	3	4	5
ウ 住居	1	2	3	4	5
エ 車、家具などの耐久消費財	1	2	3	4	5
オ 時間のゆとり	1	2	3	4	5
カ 趣味やレクリエーションへの取組	1	2	3	4	5
キ 地域活動やボランティアへの取組	1	2	3	4	5
ク 仕事の内容	1	2	3	4	5
ケ 家族との関係	1	2	3	4	5
コ 知人や近所の人との関係	1	2	3	4	5
サ 住んでいる地域の住み心地	1	2	3	4	5
シ あなた自身の健康	1	2	3	4	5
ス 家族の健康	1	2	3	4	5

問 20 あなたが、今の生活をどう思っておられるかお聞きします。あなたの生活は、去年の今頃と比べてどうでしょうか。次の中から1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 向上している 2 同じようなもの
3 低下している 4 わからない

問 21 あなたの住んでいる地域で、今後 10 年くらいの間に大地震が起こると思いますか。次の中から 1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 起こると思う 2 可能性は高いと思う
3 可能性は低いと思う 4 絶対起こらないと思う
5 わからない

問 22 あなたは、お住まいの地域の自治会や婦人会をはじめ、コミュニティ組織などによる地域活動に参加されていますか。次の中から 1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 現在参加している 2 過去に参加したことがある
3 参加していない 4 わからない

問 23 あなたは県政に関心がありますか。次の中から、あなたのお考えに近いものを 1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 大変関心がある 2 多少関心がある
3 ほとんど関心がない 4 全く関心がない

問 24 県の行っている仕事をあげています。次のア～ツについて、あなたのお考えに近いものをそれぞれの項目ごとに 1つ選んで番号に○をつけてください。

	よくやっている	まあまあやっている	どちらともいえない	もう少し努力が必要	もっと努力が必要
ア 国際的な交流や協力	1	2	3	4	5
イ 県政の広報・広聴活動	1	2	3	4	5
ウ 県政の合理的運営（行政改革）への努力	1	2	3	4	5
エ 防災対策の充実	1	2	3	4	5
オ 生涯学習活動への支援	1	2	3	4	5
カ 芸術文化の振興	1	2	3	4	5
キ 環境の保全と創造	1	2	3	4	5
ク お年寄りや障害者が安心して暮らせる福祉対策	1	2	3	4	5
ケ 病気の予防や病院などの医療施設の充実	1	2	3	4	5
コ 県内中小企業の育成	1	2	3	4	5
サ 雇用の安定と職業能力の開発	1	2	3	4	5
シ 観光の振興	1	2	3	4	5
ス 農林水産業の活性化対策	1	2	3	4	5
セ 道路、鉄道、空港などの交通網の整備	1	2	3	4	5
ソ 良質な住宅の供給	1	2	3	4	5
タ 学校教育の充実	1	2	3	4	5
チ 交通安全・防犯対策	1	2	3	4	5
ツ 阪神・淡路大震災からの復興対策	1	2	3	4	5

問 25 あなたがお住まいの地域の県民局について、あてはまるものを次の中から 1つ選んで番号に○をつけてください。

- 1 県民局をよく知っており、行ったこともある
2 県民局は知っているが、行ったことはない
3 事務所（県税・健康福祉・農林水産振興・土木等）なら知っている
4 県民局については全く知らない

★ 最後に、お答えいただいた回答を統計的に分析するため、あなたご自身や家族構成等についてお聞かせください。下記のことについて、あてはまるものに○をつけてください。

F 1 あなたの性別は

- 1 男性 2 女性

F 2 あなたの年代は

- 1 20代 2 30代 3 40代 4 50代
5 60代 6 70代 7 80歳以上

F 3 あなたの職業は

- 1 自営業（農林漁業、商工サービス業、自由業などを含む）
2 会社・団体などの正規社員（職員）
3 会社・団体などの役員
4 契約社員や派遣社員など
5 短時間勤務のパートタイマーやアルバイト
6 専業主婦（主夫）
7 学生
8 無職（専業主婦（主夫）・学生を除く）

F 4 あなたが現在お住まいのところの郵便番号は

（ご不明の場合、当調査票をお届けした封筒に記載の郵便番号をご覧ください）

-

F 5 あなたの同居のご家族の構成は

- 1 1人世帯
2 夫婦だけ（1世代）
3 自分（たち）と子ども、または親と自分（たち）（2世代）
4 親と子と孫（3世代）
5 その他（ ）



兵庫県マスコット はばタン

ご協力ありがとうございました。

同封の返信用封筒でご返送ください。